噂をたしかめにタイソンのジム、行っちゃいました♥
平成12年4月25日第3種郵便物認可　平成13年4月12日発行（毎月第2・第4木曜日発行）第3巻・6号・通算42号
No.42
2001
3・22&4・12 合併号
毎月第2・4木曜発売
定価680YEN
話題騒然！
『ZERO-ONE』旗揚げ戦
藤田vs秋山
これは「アングル」なのか？
偶発の「出来事」か？
PRIDE vs プロレス
21世紀サバイバル戦突入!!
SRS DX
3・22 4・12合併号 No.42
2・23 UFC／2・24 KING OF THE CAGE詳報!

K-1 WORLD GP 2001 in Osaka

2001年4月29日（日）大阪城ホール

開場15:00　試合開始16:30

SRS・DX先行予約でいい席をゲ〜ット！

入場料金（全席指定・税込）
SRS（アリーナ席）…25,000円
S（スタンド席）…12,000円
A（スタンド席）…6,000円

SRS・DX 先行予約
3/11㊐ 11:00〜17:00
☎06-6344-4441

いきなり、ジェロム・レ・バンナ登場！ドラマはここから始まるー

東京ドーム大会に進めるのは、優勝者1名のみ！

さらにサバイバル度倍増
21世紀のK-1ワールドGP！
4・29 大阪からトーナメント開幕！

4・29（日・祝）大阪城ホール大会から、いよいよ『K-1 WORLD GRAND PRIX 2001』が本格的にスタートする。今年のK-1ワールドGPはチェコ、オランダ、オーストラリアなど、世界25カ国以上で予選を開催。空前絶後の規模とレベルで打撃格闘技の世界最高峰の実力者が決まる。しかも、東京ドームのキップを賭けた8人の本戦開幕トーナメントも、優勝者1名しかキップを手にできないというサバイバル度倍増のシステムに改革。その先陣を切って行われるのが、この4・29大阪城ホール大会だ。つまりドラマはここから始まるのである。その大阪大会には、なんといきなり優勝候補のジェロム・レ・バンナが登場。欠場した昨年の決勝大会をメッタ切りの言いたい放題のバンナだが、大阪大会にはシリル・アビディらベスト8ファイター&強豪ファイターが集うと噂されるだけに、トーナメントに不向きと言われるバンナもハッキリ言って危ない！　ちょうどGWだし、これは行くしかないでしょ！

そ・こ・で、この売り切れゼッタイ間違いなしの大阪大会のチケットを、『SRS・DX』読者の皆さんに先行発売しちゃうぞ！　チャンスは3月11日（日）の1日のみ。この機会を逃すな〜ッ！

受付方法

①	電話にて予約
②	現金書留に、❶チケット代金、❷返送料（430円）、❸返信用宛名（8cm×5cm）、❹名前・住所・電話番号・予約番号を明記したメモを同封（現金書留表の氏名欄にも予約番号を記載）し、下記住所に送付 現金書留の送付先　〒530-0001　大阪市北区梅田2-4-13阪神産経桜橋ビル3F （株）ステージア「K-1 SRS・DXチケット係」 お問い合わせ◎ステージア　☎06-6344-4441

話題騒然！大乱闘！

3・2『ZERO−ONE』旗揚げ、

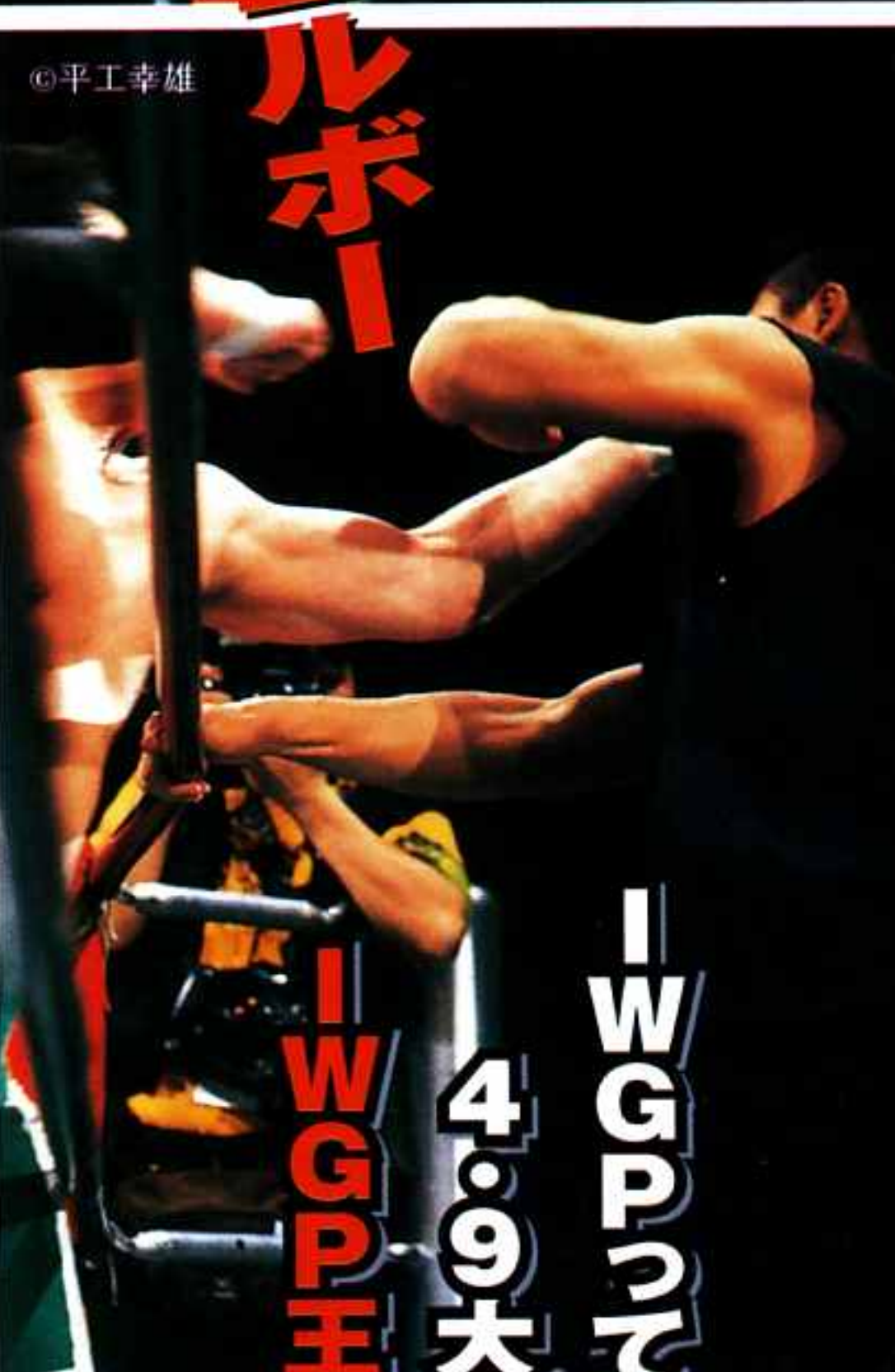
©平工幸雄

「誰が一番強いか
ここで決めよう、オラァ！」と言った男

藤田和之、激白！

「秋山準？俺を蹴るぐらいなら、それなりの覚悟はできてるんだろうな。3・25PRIDEで席を用意しておくよ」

3・2橋本真也の『ZERO-ONE』両国国技館・旗揚げ戦で事件は起こった！ メイン終了後、小川直也が乱入。これを止めに入った藤田に対し、秋山準が蹴りを入れたのだ。これに怒った藤田はシャツを脱いで秋山に突っかかる。まさにリング上は闘いの地獄絵図と化し、いったい今後どうなっていくのか見当もつかない状態だ。そこで『SRS・DX』では翌朝、当事者の一人である藤田を直撃。すると、今後の展開を大きく左右する衝撃発言が飛び出した。

聞き手◎“Show”大谷泰顕

IWGPって世界で最強のベルトなんでしょう？ 4・9大阪ドームでトップの佐々木健介からIWGP王座を取って誰の挑戦でも受けますよ

小川の挑発に三沢がエルボー

©平工幸雄

©平工幸雄

▶メイン終了後、『ZERO—ONE』勢と『NOAH』勢が乱闘をしている最中、突如としてエプロンサイドに小川が登場！　小川は「橋本ーッ！　だらしねえ試合してんじゃねえ！　三沢ーッ！　受けてもらおうじゃねえか！」と挑発した。これに怒った三沢がナント、小川にランニングエルボーを一発！　決して交わるとは思えなかった両者が、ついに接点を持った歴史的瞬間だ！

——もしも～し。

藤田　なんですか、こんなに朝早くから。

——あ、おはようございます、藤田さん。起きてました？

藤田　起きてますよ。

——朝、早いですねえ。

藤田　そうですか？　このくらいの時間（午前9時半）に起きてるのは普通ですよ。日常生活じゃないですか。

——早起きだなあ。僕なんか午後にならないと、起きないのになあ。

藤田　で、なんですか？

——いや、昨日のZERO—ONEの旗揚げ戦で、藤田さんが怒ってたから、ぜひ話を聞こうと思って。

藤田　いや、怒ってたっていうか、あれはちょっかいを出されたから。

——あ、NOAHの秋山準選手に蹴られてましたね（苦笑）。

藤田　そうそう。俺は普通に観戦してただけなんですよ。やっぱり新日本時代は橋本（真也）さんに世話になってたし、永田（裕志）さんも出てたから。

——藤田さんのお世話になった先輩方が出てましたもんね。

藤田　そうそう。橋本さんには協力できることは極力していきたいと思ってたし。それが「試合」ってなっちゃうと、また別だけど（苦笑）。

——それで、メインの橋本&永田VS三沢光晴&秋山の試合を見てたと。

藤田　そう。そしたら試合後に小川（直也）選手が出てきたでしょう。

——「橋本！　だらしねえ試合してんじゃねえ、この野郎！」ってマイクで言って、その後に「三沢！」って、三沢選手も挑発して、リング上が乱闘になりましたよね。

藤田　だから俺は小川選手を止めに入ってああなっちゃった（苦笑）。

——さっきも言ったけど、秋山選手に蹴られたと（苦笑）。

藤田　やっぱり、ちょっかい出されたら、自然の成り行きとしてやり返さないと。こっちもリングで飯を食ってるんだから。プライドもあるしね。

——その前に、秋山選手の印象ってどんな感じなんですか？

藤田　いや、特には。だって昨日も橋本さんと永田さんしか見てなかったし。秋山選手がどうと言われても、たまたま蹴られたっていうだけの話でね。

——蹴られたから、突発的にシャツを脱いで、乱闘になったと。

藤田　突発的っていうか、俺を蹴るぐらいだから、やっぱりそれなりの覚悟はできてるんだろうな、とは思いますよ。

——覚悟がなかったら、蹴ってはこないと。

藤田　それはそうでしょう。

——で、藤田さんがマイクを持って、「誰が一番強いか決めればいいじゃねえか」って言ったじゃないですか。

藤田　あれはね、なんか「間」があったでしょう。

——たしかに、乱闘の中で一瞬「間」があった。

藤田　だから、なんか流れで、ああ言ったんですよ。

——昔、あの「誰が一番強いか～」っていうのと同じようなことを前田日明さんが、やっぱり国技館でしたけど、言ったことがあるんですよ（※87年6月）。

藤田　いや、それと同じとかっていうことは知らないけど、普通に考えてああ言っただけですよ。だって、今そういうことが求められてるんじゃないですか？

——いや、ホントそうですよ。誰が一番強いのか、絶対に知りたいですもん。

藤田　でしょう？　今は「団体」とかっていうんじゃなくて、「個人」の時代になってるし、ボーダレスって言うの？　誰が一番強いのか、闘って決めればいいんじゃないのかなって。

——そうなると、やっぱり藤田VS秋山戦って、ガ然注目されますよね。

藤田　べつに、秋山選手にかぎらず、そういう気があるんだったら、いつ何時、フフッ。

——いつ何時、誰にでも挑戦させてもらうと。

藤田　久し振りに出ましたね、「いつ何時」って（笑）。

——ホントに（笑）。ただそうなると、どこのリングでやるかっていうのも注目されますよね。

藤田　それはどこのリングでもいいですよ、ZERO—ONEだろうが、NOAHだろうが、『プライド』だろうが……、どこでもね。

——リングは問わないと。

藤田　だったら入札すればいいじゃないですか。

——ああ、それはいい。一番その闘いに価値のあると思ったリングでやればいいと。

藤田　うん。

——でもね、試合後に秋山選手は「（藤田が）来たからジーッと見てるわけにはいかなかった。今後は分からないけど、何かにつながるようにツバをつけといた」って言ってたみたいですね。だから、藤田さんはツバをつけられたんですよ（笑）。

藤田　ツバですか……。そこまで言うんだったら、今度の『プライド13』に秋山選手を招待しますよ。

——ええーッ、『プライド13』に秋山選手を？

藤田　俺が闘ってるリングがどういう場所なのか、自分の目で見てもらえばいいじゃないですか。ぜひ招待させてもらいたいですね。せっかくツバをつけてもら

偶発？　秋山の蹴りに藤田がマジギレ

©Essei Hara

©Essei Hara

©Essei Hara

▶挑発し合う小川と秋山の間に割って入った藤田。試合後、「ツバをつけといた」と語った秋山の蹴りが、藤田に直撃した！　これにマジギレした藤田が、上半身むき出しにして秋山へ襲いかかった！

ったんだったら、こっちも秋山選手のイスくらい用意させてもらいますよ。

——えっ、マジで!?

藤田　ええ。そのくらいはしてもいいでしょう。ツバをつけられたんだから。たしかに、俺も前に「日本人同士ではやらない」って言ったけど、べつにそれを決めてたわけじゃないし。やっぱり、みんなが見たいと思う闘いをやるっていうのが前提だと思うしね。

——見る側ありきだと。

藤田　そうなんじゃないですか？

——でも、リングによっては若干ルールが違ってくるじゃないですか。たとえば『プライド』と「プロレス」では、全然闘い方が違うし。

藤田　ルールなんてね、破るヤツのためにあるんだから。マイク・タイソンだってボクシングの試合で相手の耳を食いちぎったわけでしょう。

——なるほど、なるほど。

藤田　俺だって、最近までタイソン戦が騒がれてて、「どんなルールで？」みたいなことも考えてたことはあったけど、ルール無用の覚悟があったから名乗りを上げたわけだから。いつも死に物狂いだしね。

——そうかそうか。

藤田　ええ。ただ、今はタイソン戦も流れちゃったし、トーンダウンしてるんですよ。だから、あんまりテンションも高くないんですよ。朝だしね（苦笑）。

——すみません（苦笑）。

藤田　昨日（両国に）来てたんですか？

——いましたよ。藤田さん、僕の目の前を通ったじゃないですか。

藤田　どこで見てたんですか？

——藤田さんの帰って行った通路の辺りですよ。

藤田　へえ〜。せっかくなんだから、リングサイドまで来て見ればよかったのに。

——たしかに（苦笑）。それは惜しいことをしたなあ。でも藤田さん、なんだか、一回り大きくなってましたよ、身体が。

藤田　体重は10キロくらい増えましたね。今は少し時間をかけて、今までの自分の弱かったところを整備中ですよ。

——それは楽しみだなあ。ところで、新日本の4月9日の大阪ドームに藤田さんは出るんですか？

藤田　出るのかどうかも分かんないですよ。ただ、「出場予定選手」に入ってるだけですよ。

——じゃあ、出る予定はあるんだ。

藤田　オファーはあったみたいですね。

——じゃあまだ誰と闘うのかは分からないんですね。

藤田　決まってないですね。ただ、やるんだったらトップとやりたいですよね。

——トップっていうと、やっぱりＩＷＧＰヘビー級のベルトを持ってる佐々木健介選手ですか？

藤田　当然ですよ！　それに、ＩＷＧＰって世界で最強のベルトなんでしょう？

——まあ、そうですよね。さすが『プライド』で世界の強豪を撃破してきた人は、言うことが違いますね。藤田さんが勝ってきたのは〝霊長類最強〟のマーク・ケアーとか〝アルティメット王〟のケン・シャムロックなわけだから、当初のＩＷＧＰの理念を実践してるわけだしね。

藤田　そしたら、誰がチャンピオンにふさわしいのか分かるでしょう。それにベルトって、闘う相手によってその価値が変わっていくじゃないですか。

——そうそうそう。

藤田　だったら俺に挑戦させるべきじゃないですか？　やっぱり、ベルトっていうのは巻いたことがないから、一度は巻いてみたいしね（とニヤリ）。

——いや、やるんだったらＩＷＧＰヘビー級のベルトを取って、『プライド』でマーク・コールマンの『プライドＧＰ』ベルトのダブルタイトルマッチが見たいですよ！

藤田　そうですか？　あんまり余計なことを言うと、責任を取らなくちゃいけないからね。大谷さんも、あんまりフライングすると、出入り禁止になりますよ（笑）。

——えぇーッ、それは勘弁してくださいよぉ！（苦笑）。

藤田　でも、まずＩＷＧＰを取って、コールマンだろうが、秋山選手だろうが、誰の挑戦でも受けてやりますよ！　■

橋本『ZERO—ONE』検証
『プライド』にない世界で純プロレスが甦った…………?

猪木ワールドとは、「偶発性のアングル」にあり!

文◎谷川貞治(プロレス考えてみました)

橋本真也が作った3・2『ZERO—ONE』旗揚げ戦が、タダ事ならぬ反響を呼んでいる。

会場となった両国国技館から帰ってきた本誌記者は、興奮醒めやらぬ感じで何が起こったのか、まくしたてるように話してくるし、ネットを見ると、「久々に純プロレスで興奮した」「歴史に残る大会だった」といった絶賛する書き込みがズラリと並んでいる。何人かのライターからも「今日は最高でしたよ」という電話をもらい、意見も聞かせてもらった。

僕は直感的にヤバイと思った。何がヤバイかというと、格闘技にとって〝プロレス〟の全ての出来事は、決して対岸の火事ではないからだ。

さっそく、その日のライブで放送された『スカパー!』のPPV録画ビデオを取りよせて見た。まずは、自分の目で見ること、これが一番大切だからだ。

まず、最初に目を引いたのが、あふれんばかりに集まった会場の熱気だった。

〝プロレスは終わった〟と、最近よく言われるようになった状況の中で、それは、この新しい〝新日本〟『ZERO—ONE』になんとかしてほしいという、ファンの切実な思いに見えた。

そんな熱気の中で、試合が進んでいく。僕は一緒に見ていた人の何人かに「どうなの、この試合のレベルは? 最近の中でも、特別に面白いの?」と聞いてみた。すると、答えの多くは「〝特別に〟とまではいかないですけど、かなり面白いですよ」だった。

メインで橋本が秋山に気を取られている間に、三沢にフォールされた。そこから、問題の大乱闘シーンが始まった。

小川がマイクを持って、橋本と三沢を挑発! すぐさま三沢が小川にランニングエルボーを決めた。交わることがないと思われた両者の初めての接近遭遇。

その後は、橋本、永田、三沢、秋山、小川、村上といった陣傘の取れた平成世代のトップ選手たちが大乱闘しながら、それぞれの陣取り合戦を繰り広げる。意外なことに藤田もいる。何もしていなかったが小路もいた。

これは、僕から見ても、実に凄いメンバーがひとつのリング上に集結していることが分かった。平成プロレスに新しい何かが生まれようとしている。その光景を見てまっ先に思い出されたのが、87年6月、同じ両国で起こった旧世代軍と新世代軍の抗争勃発! あの前田日明が「誰が一番強いか、決めたらええやんか」と関西弁で言った興行だ。

くしくも、この日『プライド』効果で、一気に存在を逞しくした藤田も「誰が一番強いか、ここで決めよう」と言っていた。その意味でも、この光景は明らかに新世代による猪木ワールドだった。

しかし、全てを見終わって、これでプロレスにまた時代をひっくり返されたという気持ちまでには、なぜかならなかった。それは正直、少しホッとした。

決して、これは負け惜しみでもなんでもない。この興行が『プライド』やK—1といった格闘技に足りないもの、できないもので大ブレイクしたというのはよく分かる。でも、僕がプロレスを見ていて、一番ヤバイという気持ちにさせられるのは、猪木さんが仕掛けた99年1・4東京ドームの橋本VS小川戦の時だ。

というより、僕自身一番興奮できるのは、プロレスとか、格闘技という範疇を超えて、ああいう出来事なのである。

僕が言うのもおこがましいが、これは「猪木ワールド」の魅力をひも解いていくと、非常に理解しやすい。

「猪木ワールド」の真骨頂は、「偶発性をアングルに変える」ということである。猪木になぜ興奮できたかというと、常にそこに偶発性があったからだ。そのガチンコ性に、僕らはシビレてきたのである。〝プロレスが終わった〟と言われるようになったのは、ファンが「予定調和のアングル」を拒否し始めたからだ。

そこで、最初からガチンコが前提の格闘技のほうが、よほど偶発性の出来事が起こるので、格闘技に流れていったような気がする。何を隠そう、僕自身もその一人なのである。

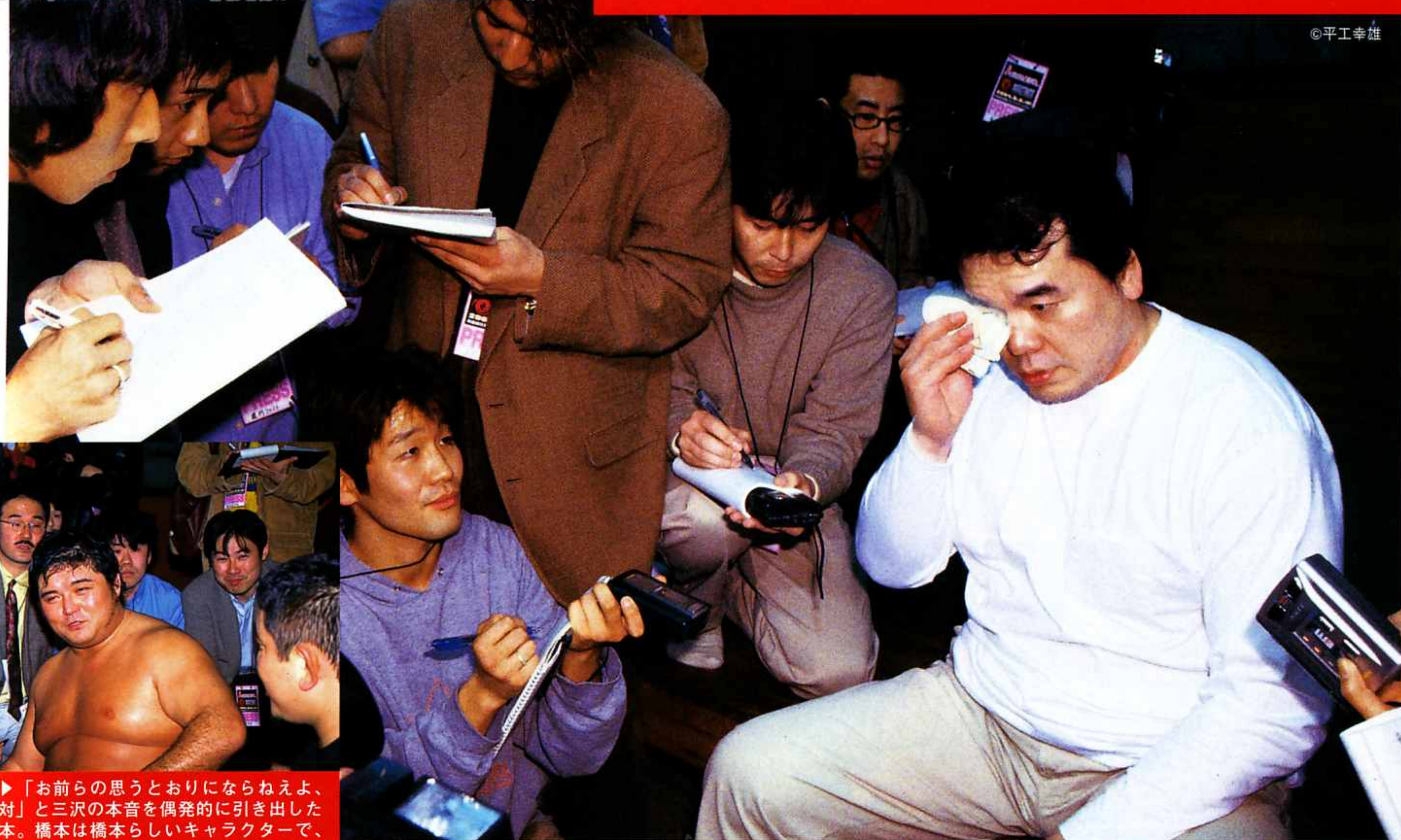
見る側が、一番ドキッとするのは、その偶発性の度合いである。しかし、『プライド』やK—1は、その偶発性はあるが、それをアングルに変える力もなければ、意識もない。プロレスファンが「ド格闘技は見ていてつまらない」と言いたくなるのは、その部分を差している。

話をもっと分かりやすく整理してみよう。

今の新日本をはじめとするプロレスには、「アングル」はあっても「偶発性」がない。その「偶発性」を封じ込めよう

話題騒然！大乱闘！

3・2『ZERO−ONE』旗揚げ、

©平工幸雄

▲▶「お前らの思うとおりにならねえよ、絶対」と三沢の本音を偶発的に引き出した橋本。橋本は橋本らしいキャラクターで、猪木ワールドを作った

としているようにすら見える。

だが、『プライド』には、「偶発性」はあっても、「アングル」がない。

そして、その「偶発性」と「アングル」が共存しているのが、僕らが一番興奮してきた猪木ワールドなのだ。ただ、その猪木ワールドも、今は試合自体に〝闘い〟がないと時代性はついてこなくなってきている。そこは凄く重要なポイントである。

今回の大乱闘劇で、ヒャッと思った偶発性の出来事は、2つあった。

まず、最後に三沢がマイクを取って、「お前らの思うとおりにはならねえよ、絶対！」と言ったシーン。あれはアングルではなく、明らかに偶発的な言葉だ。三沢は今回、小川とからむことを本当に嫌がっていたということが、マスコミ報道で何度も伝わってきた。当日、取材に行った記者から話を聞くと、控室をシャットアウトし、マジの厳戒体制が敷かれていたという。

その中で出たあのセリフにはガチンコ性が100%漂う。それを引き出した時の橋本のニヤリと笑った時の表情が、いかに猪木チックだったことか（そのあとのセリフは橋本らしかったけどね）。

不思議なことに、偶発性のものとそうでないもののセリフには、心に染みるものが違う。前田が「誰が一番強いか……」と言ったセリフは、明らかに偶発的だったから脳天から突き刺さったが、藤田のセリフはそこまで来なかった（ちなみに、猪木の次に偶発性を呼んできたプロレスラーは、やっぱり前田日明だ）。

でも、あの時の馬場さんが乗り移ったような三沢のセリフは、本音以外の何ものでもない。本当にこういう偶発的な展開って、馬場育ちには嫌なんだろう。

もうひとつ、偶発性を感じたのは、藤田と秋山の乱闘シーンだった。そこに藤田がいるだけで目新しかったが、あの秋山とのからみはどう考えても偶発性にしか見えなかった。これから新日本の大阪ドーム大会に出ようとしている藤田が、なぜあそこで秋山と殴り合うのか。2人の展開なんて、まったく計算になかっただけに凄くドキドキしたのである。

でも、今回の『ZERO−ONE』旗揚げ戦は、本当に見る側の大きな刺激になった。僕が分かったのは、自分が何に一番興奮できるかということである。

それは、平成世代のプロレスラーが、自己プロデュースをし始めたってことや、プロレスは今後、試合ではなく『プライド』にできない今回のような場外乱闘プロレスで見せていく方向性が見えてきたとか、これが真性闘魂VS王道の闘いだといった、みんなが語りそうなテーマよりも大きかったのだ。

自分が興奮できるものとは、やはり99年の1・4橋本VS小川戦のようなもの。あるいは、『プライド』におけるグレイシーVS髙田、グレイシーVS桜庭のような「偶発の〝出来事〟を〝アングル〟に変えていく」ことだということが、より分かってきたのだ。

さて、それではここで問題です。もし藤田VS秋山の試合が実現するとして、あなたはどこのリングでそれが見たいですか？

①ZERO−ONE
②NOAH
③PRIDE

これをじっくり考えることで、『ZERO−ONE』旗揚げ戦が面白かったかどうかの度合いが分かるはずだ。それでは、ファイナル・アンサー？ ■

本拠地ラスベガスでタイソンのジム潜入に成功！

島田裕二がアレクを伴い極秘リポート！

2月26日（月）、「キング・オブ・ザ・ケイジ7」での名レフェリングを終え、LAで束の間の休息を取っていた俺様の元に、不吉な電話がかかってきた。

電話の主はサダハルンバ谷川。

島田「ハローハロー」

谷川「島ちゃん？　ちょっとさあ、ラスベガスまで行ってタイソンに会ってきてくれない？」

島田「えぇーっ？　アポ取れたの？」

谷川「いや、いるかどうか分からないけど、ジムに行って直接話を聞いてきてよ。日本はタイソンの話でもちきりだよぉ」

島田「そ、そんないいかげんな話でこの天下の名レフェリーを動かすんですかぁ？」

谷川「ラスベガス近いしさぁ、アレクでも連れて観光気分で行ってきてよぉ」

島田「ラスベガスのどこに行けばいいんですか？」

谷川「ダウンタウンの近くの黄色と青のプレハブがジムらしいよぉ」

島田「らしいよって、住所は？」

谷川「適当に行ってみれば分かるって。探してみてぇ」

ファック！

結局、飛行機の予約も取れずにレンタカーで行く羽目に。雨の中、4時間かけてラスベガスに向かうと、天才的な俺様の動物的カンで見事にタイソンのジムを探し当てることができた。

場所はネバタ州アスレチックコミッションが入っている建物のすぐ近くで、周りに何もないだだっ広い敷地の中に、ポツンと黄色と青のプレハブが浮かび上がっている。

午後12時過ぎ。プレハブの前には何台かの車が止まっている。果たしてタイソンはこの中にいるのだろうか？

谷川編集長からは、2つのテーマを与えられていた。一つはもちろん、今日本で話題になっている「タイソンVS小川」「タイソンVSベルナルド」といった異種格闘技戦は本当に実現するのか？

もう一つは「タイソンは本当に凶暴なのか？」。タイソンの人間性を確かめてこいという。まったくムチャクチャな人だ。俺様の耳が囓られでもしたら、どう責任を取ってくれるんだ！

ちょっとチキンハートな俺様は、やはりアレクを用心棒に伴っている。

アレク「島田さ〜ん、タイソンがいたらやっぱりワイも挑戦とかしたほうがいいんですかねぇ？」

島田「そりゃそうだよ！　挑戦状書いとけよ。おいしいところは全部持ってかなきゃ。プロなんだから」（この模様はP102からのアレクインタビューで）

おそるおそるプレハブのドアを開けると、中からパンチングミットの小気味いい音が聞こえてくる。入り口にはちょっとしたソファースペースがあって、そこの壁には一面にタイソンのスナップ写真が飾ってあった。やっぱりここがタイソンのジムなんだ。俺様はますますチキンハートに……。

お構いなしにアレクがずかずかとジムの中に入っていく。おずおずと付いていくと、すぐ右側に受付が。おばちゃんが不審げにこちらを見つめている。

俺様が流暢な英語で尋ねる。

島田「ここはタイソンのジムですか？」

受付「そうよ。あんたたちは何者？」

島田「俺様は日本で最も有名なレフェリーで、この男はただのハゲです」

受付「私はこのジムのオーナーだけど、なんの用？」

島田「日本のマスコミに頼まれてタイソ

緊急直撃取材 in ラスベガス

タイソンを探せっ!

タイソンとは何者だ!?

この恐るべき経歴を読めぇぇぇ!

年月日	出来事
1966年6月30日	ニューヨーク市ブルックリンのスラム、ベッドフォード・スタイブサントに『マイク・ジェラルド・カークパトリック・タイソン』として生まれる。母ローナ・タイソンとその内縁の夫ジミー・カークパトリックの間の3人姉弟の末っ子で、上には兄と姉がいる。
1968年	母と父が離別。マイクはほかの兄弟とともに母に引き取られ、同じブルックリンのブラウンズビルに移る。
1978年	暴行、強盗と非行を繰り返し、再三再四逮捕される。ついに鑑別所のタイロン・スクールに送られる。
1978年	看守の元ボクサー、ボビー・スチュワートと出会い、ボクシングを習う。
1979年	最初のスパーリングを経験。スチュワートの紹介で名トレーナー、カス・ダマトと会う。
1980年	ダマトが同時に保証人となって鑑別所を出所。ニューヨーク州キャッツキルのダマトの住むアパートに移り住む。この時から、ダマトの英才教育が始まる。高校にも通い始める。
1981年	15歳以下を対象とした全米ジュニア・オリンピック大会に優勝。
1982年	全米選手権ヘビー級に初出場も1回戦敗退。
1983年	全米ゴールデン・グローブ大会ヘビー級2位入賞。
1984年	母ローナが死去。ダマトが戸籍上の父親となる。
1984年	全米ゴールデン・グローブ大会ヘビー級優勝。
1984年	ロサンゼルス五輪米国代表決定トーナメント、並びに代表決定戦でヘンリー・ティルマンに連敗。ティルマンはロス五輪で金メダル獲得。
1984年	当時のダマト・ファミリーのひとりで、最初にタイソンの専任コーチとなっていたテディ・アトラスと衝突。原因はタイソンが12歳の女の子を暴行しようとしたことで、アトラスは銃で身構えながら諫めた。この事件をきっかけに専任コーチはケビン・ルーニーに変更される。
1985年3月6日	プロデビュー。エクトール・メルセデスに初回KO勝ち。ダマトをチーフに、熱烈なボクシング研究家ジム・ジェイカブス、ビジネスマンのビル・ケイトンを共同マネージャーとして、タイソン・プロジェクトはスタートを切る。
1985年11月4日	ダマト死去。
1985年11月22日	元カナダ王者コンロイ・ネルソンを2RTKOし、デビュー以来の13連続KOをマーク。
1986年2月16日	元世界ランカー、ジェシー・ファーガソンに6R失格勝ち。タイソンの強打に恐れをなしたファーガソンが逃げ回っての実質的なKO勝ちだが、連続KOは17でストップする。この後、世界的な強豪を連破、世界ランキング入り。
1986年11月22日	トレバー・バービックを2RTKOして、WBC世界ヘビー級タイトルを獲得。20歳145日でのヘビー級王座獲得は、同じくダマトが育てたフロイド・パターソンの記録を187日更新する史上最年少記録。
1987年3月7日	ジェームス・ボーンクラッシャー・スミスに判定勝ちし、WBAタイトル統一。
1987年10月16日	トニー・タッカーに判定勝ちし、IBF王座獲得。主要3団体のヘビー級王座を統一。
1988年1月22日	21度防衛の名王者ラリー・ホームズを4RTKO。
1988年2月5日	テレビ女優のロビン・ギブンスと結婚。
1988年3月21日	東京ドームで元WBA王者トニー・タッブスと闘い、2RKO勝ち。
1988年3月23日	マネージャーのひとり、ジム・ジェイカブスが病死。
1988年6月27日	不敗の強豪マイケル・スピンクスとの世紀の一戦で91秒KO勝ち。
1988年	かつての対戦者で世界ランカーのミッチェル・グリーンとストリート・ファイト。右手を骨折。
1988年	旅行中のモスクワのホテルで、妻ロビンとその母親に暴行。義理の母親とは、タイソンの収入の分配を巡って対立が伝えられる。同年、離婚。
1988年	プライベートを追いかけるテレビカメラを殴り壊す。
1988年	ケイトンとともにマネージメント権を主張するジェイカブスの未亡人と決別。トレーナーのルーニーを解雇。ダマト・ファミリーと決別し、ドン・キングと契約。
1988年	2人の女性から暴行容疑で訴えられる。
1990年2月10日	東京ドームの驚愕。掛け率42-1のアンダードッグ、ジェームス・バスター・ダグラスにKO負けする大番狂わせで、無冠に。
1990年6月16日	アマチュア時代のライバル、ヘンリー・ティルマンを1RKOに下して、カムバックに成功。
1991年6月23日	強烈無二な秘技スマッシュを武器にする強敵レーザー・ラドックに3月に続いて連勝。秋にダグラスを破って王者になっていたイベンダー・ホリフィールドとの対決が決定。
1991年7月19日	ミス・ブラック・アメリカの18歳の少女デジリー・ワシントンのレイプ容疑で、取り調べを受ける。このためホリフィールド戦はキャンセル。
1992年3月	レイプ事件で懲役6年の刑が確定。収監される。
1995年3月	仮釈放。刑務所内で腕に毛沢東、胸に黒人テニスプレーヤーのアーサー・アッシュの入れ墨を入れていたことが判明。また、イスラム教の改宗をしたことも明らかにした。
1995年	タイソンの復帰に、プロモーター、メディアが殺到。ラスベガスの巨大カジノホテル、MGMグランドと6試合の契約。ペイテレビのショータイムとも復帰戦で2200万ドル(約24億円)の契約を完了。
1995年8月19日	格下のピーター・マクニーリーに1R失格勝ちし、カムバック。
1995年12月16日	バスター・マシスに3RKO勝ち。この一戦は当初ニュージャージー州アトランティックシティでの開催が予定されていたが、プロモーターのドン・キングにマフィアとの関与の疑いがかけられ、同州が開催拒否。ペンシルバニア州のフィラデルフィアに変更される。
1996年3月16日	フランク・ブルーノに3RTKO勝ちしてWBC王座に復帰。
1996年9月7日	ブルース・セルドンを1RTKOしてWBA王座獲得。
1996年9月24日	イベンダー・ホリフィールドとのビッグマッチを実現させるため、WBCの指名挑戦者レノックス・ルイスを拒否し、王座返上。
1996年11月9日	ホリフィールドに11RTKO負け。無冠に。
1997年6月28日	ホリフィールドとのリターンマッチ。相手のバッティングにぶち切れ、3R、ホリフィールドの耳を食いちぎり、失格負け。ネバダ州アスレチック・コミッションではタイソンの3000万ドル(33億円)のうち300万ドルという史上最高の罰金を課し、さらに1年間のサスペンドを通達。
1997年	医師のモニカ・ターナーと再婚。
1998年3月	ドン・キングとの間に金銭闘争が勃発。ロサンゼルスのホテルでの話し合いで、タイソンがキングの顔面に蹴りを入れる。タイソンは正当な試合報酬のうち、キングが4500万ドル(50億円)を未払いとして、コンビを解消。
1998年3月	3000万ドルの報酬でレッスルマニアのリングにサブレフェリーとして登場。無法なレスラーをKOして、拍手喝采を浴びる。
1998年10月19日	タイソンのライセンス発給請求に対し、ネバダ州アスレチック・コミッションは多数の精神科医を参考人に、2度に及ぶ公聴会を開催。最終的には審議委員の評決により、4対1でカムバックが認められる。
1999年1月	フランソワ・ボタを5RKOに破りカムバック。
1999年10月23日	オーリン・ノリスを1R終了後のパンチでKO。ノリスが続行不可能を主張し、ノーコンテストに。
2000年1月29日	英国でジュリアス・フランシスを2RTKO。グロッギーのフランシスを救いに入ったレフェリーを無視して殴り続け、物議を醸す。
2000年6月24日	再び英国でルー・サバリーズを1RTKO。しかし、前回のアンスポーツマンライクな闘いと、薬物常用の疑いで入国に際して、英国議会で議論される。
2000年10月20日	アンドリュー・ゴロタが3R突然試合放棄。ブチキレ状態のタイソンは試合後の尿検査を無視して、6カ月のサスペンド。

ンに会いに来たんですけど、今日は来てますか?」

オーナー「もうすぐ来るわよ」

もうすぐタイソンが来るっ! いつもなら、あと30分から1時間後にタイソンはやって来るという。我々はそれまでの間、許可を得てジムの中の撮影と突撃取材を試みることにした。

トレーナーや練習生の何人かに話を聞いてみると、俺様の人徳が幸いしてみんなフレンドリーに答えてくれる。

特に驚いたのは、全員が全員、タイソンをべた誉めすること。「あんなにいいヤツはいない」というのだ。ずいぶんと話が違う。急に俺様の気が大きくなった。タイソンのマブダチになろうと心に誓う。

もう一つ驚いたのは、やはり日本での異種格闘技戦の話は、このジムでも話題になっていた。みんな「たしかにそんな噂がある」と証言しているのだ。よし、タイソンに直接確認しよう。

しかし……午後1時30分。タイソンを待っていたトレーナーが突然荷物をまとめ、帰り支度を始める。

島田「もう帰っちゃうんですか?」

トレーナー「この時間に来ないから、今日は休むんだろう。昨日まで2週間くらい全米各地を回っていたから、明日から来るのかもしれない」

ガーンッ……惜しい。ここまで来たのに……。結局タイソンとは会えずに我々は帰るしかなかった。

谷川編集長にそれを報告すると「ちぇ〜っ。島ちゃんが耳を噛られたら表紙にしようと思ったのになぁ」などとのたまう。くっそ〜っ。でもタイソンのジムのやつらに「日本のタニカワという格闘技解説者はタイソンの悪口ばかり言ってるから会ったらブン殴れ」と言い触らしておいたから、おあいこでーす。(島田)

タイソン・ジムの面々に突撃取材！

タイソンは今までで一番のグッドシェイプよ。今なら誰とやっても勝てるわ。

フェイ・ミラーさん（ジム・オーナー）

――タイソンは毎日、ジムに来ているんですか？

ミラー 月曜から金曜まで毎日来ています。

――タイソンはどういう人なんですか？

ミラー 私にとっては養子のようなものよ。息子だと思っているわ。もともと私の夫がこのジムのオーナーだったのよ。もう死んでしまったけど。それで、私がこのジムの跡を継いでいるの。私は68歳の老女だけど、このジムを運営できているのはマイクのおかげよ。他のボクサーだったら、私はこういうことはできなかったわ。タイソンは、アマチュア選手や子供たちに凄く貢献しているの。このジムには20年間エアコンがなかったけど、最近タイソンのおかげで入れることができるようになったの。そこの写真を見てもらっても分かるように、子供たちとふれ合うことで育てようと思っているの。他のプロのボクサーはアマチュアに教えたりはしないんだけども、タイソンだけは、熱くても雨が降っても天候が悪くても「やる」って言ったの。だからとても人気のある選手よ。

――タイソンのスキャンダルについてはどう思いますか？

ミラー マスコミが、マイクのことが凶暴で悪いように書くけど私はそれを信じません。女の子を暴行したっていうけど、そんな感じはしないわ。もし、暴行したら、その女の子は青あざがいっぱいできているはずだけど、そんなのはなかった。そんなことしなくても、女の子はいつでも列を作っているわ。マイクが暴行したっていう直前に、ケネディ・ジュニアがフロリダで暴行事件を起こしているの。それを隠すためにマスコミが作り上げたでっち上げの事件よ。私が信じるのは、ホリフィールドをスターにしたかったので、マイクをボクシング界から排除したってこと。

――タイソンが日本のプロレスラーと闘うという噂がありますけど、聞いたことはありますか？

ミラー 噂は出てるみたいだけど、私はそんな話をマイクから聞いたことはないわ。

――じゃあタイソンは次に誰と闘うと思いますか？

ミラー アイゾン。

――アントン!?

ミラー デビッド・アイゾンというアメリカ人の選手と4月以降に試合を行って、その後にルイスと闘うでしょう。タイソンは今まで一番のグッドシェイプよ。今なら誰とやっても勝てるわ。

現在、タイソンが練習しているのがラスベガスにある「ゴールデン・グローブズ・ジム」。黄色と青のツートンカラーの建物は大きな倉庫みたいでかなり目立っていた

⬇ジムの入り口のところにたくさん飾ってあった写真は、ほとんどタイソンのもの。ここに写っているタイソンは、これまで伝えられているイメージとはかけ離れるくらいリラックスした表情のものばかりだった

チャールズ・エドワードさん（トレーナー）

「ワシはフォアマンが１６歳の時から知っていて、教えたこともある。今はここでアマチュアボクサーに教えているんじゃ。昔ワシは日本の横田基地で働いていたことがある。講道館柔道と空手もやっていたよ。タイソンが日本人ファイターと試合を？　ファイティング原田か？」

ジョーさん（トレーナー）

「タイソンはグレートな男だね。日本で闘うってことは聞いたことないけど、ただルイスとやるってのは聞いたよ」

謎のごきげんトレーナー

「♬う～え～を～む～う～い～て～（突然「スキヤキ」を歌いながら近づいてくる）。いいことを教えてやろう！　ワシは日本に行ったことがあるが、日本のボクサーはみんなこんな形でディフェンスするんじゃ。マイクが日本人と闘うならこれを教えてやらにゃあいかん。何！？　レスラーと！　うむむむむ……」

ジェフ・フェニックさん（元WBCチャンピオン）

「１９８４年に日本のトシ・シンガキと闘ったことがあるんだ。今はマイクのトレーナーをやっているよ。マイクはベストマンだ。１回友達になると、ず～っと友達になるんだよ。マイクがプロレスラーと闘うというのは聞いたことあるけど、オーストラリアからこっちに帰ってきたばかりだからよく分からないなぁ」

ジェーン・スミスさん（練習生）

「タイソンはとてもいいヤツで、あんないいヤツは見たことないよ。とてもフレンドリーだし、話もよくしてくれるんだ。そういえばタイソンが日本でプロレスラーと試合をする噂があるんだって？　本当かい？もしそうだったら見てみたいよ」

世界に発信されたタイソンVS小川 全否定！

2月27日AP／エド・スカイラー記者のレポート

マイク・タイソンは5月に米国で闘う予定だ。日本でレスリングを闘うことはありえない。

「これだけは言える。マイクはレスリングをやらない。彼はそんなことを言っている人間と話したこともないはずだ」。マイク・タイソンのアドバイザーであるシェリー・フィンケルは火曜日（2月27日）、元統一世界ヘビー級チャンピオンが日本でレスリングを闘うという報道に対し、こう答えた。

った）の公式サイトによる。猪木によると、タイソンの弁護士から「日本のマーシャル・アーツ・エキスパートと闘いたい」というオファーを受け取り、試合日ははっきりしないが、6月15日か16日を考えているという。対戦相手にはプロレスラーの小川直也が候補に上がっている。マロニーは猪木にファックスを送った弁

緊急直撃取材 in ラスベガス タイソンを探せっ！

↓ジム内はリングが２つ入ってもまだスペースが余るくらい広い。ウェイト・トレができるコーナーもゆったりしたものだ

←タイソンはいなかったが、アマチュアの選手が練習をしていた

↑壁にはポスターの他に、タイソンなどのイラストも飾れらていた。ポスターを見てもらえば分かるが、結構大きいサイズのイラストだ

↓ジム内には所狭しとタイソンのポスターが貼ってある。どれを見ても「タイソンってかっこいい！」の一言に尽きるものばかり。この他にも、タイソンの初期のロゴが入ったTシャツ（現在はこのジムにある２枚だけ）も飾ってあった

↓たくさん貼ってあるポスターを眺めていてビックリ！ なんとK―1のポスターを発見！ 去年の大会のものだ

↓タイソンの写真の他に、なんとモハメド・アリの写真も飾ってあった。ふらりとジムに立ち寄ったのだろうか？

フィンケルは、フランク・マロニー（WBC／IBF世界ヘビー級王者レノックス・ルイスのマネージャー）がロンドンから発信した声明に対して怒っていた。マロニーの声明には「タイソンはルイスと闘うことに興味を持っていない。その代わり日本でレスリングをやる計画があるらしい」とあったからだ。

「なぜ、タイソンはこのことに対して、ちゃんと発言しないんだ？ チーム・タイソンは偉大なるモハメド・アリと同じフットステップを歩もうとしている。ただし、それはボクシングのリングではない。日本のレスリングのリングである」（マロニー）

情報はインターネット上のアントニオ猪木（1976年にアリとレスリングを闘

――2月27日ニューヨーク発／ボクシング・プレス――
イノキは世界でもっとも恥知らずなセルフ・プロモーターである。

マイク・タイソンのアドバイザー、シェリー・フィンケルは、日本のプロレス団体『新日本』が世界進出のために、元世界ヘビー級チャンピオンと交渉しているという噂を否定した。『新日本』の総帥、猪木は日本のファンにタイソンが6月に東京ドームでレスリングを行うと約束したが、フィンケルはこの話にはまったく根拠がないとしている。

ここ数週間、ファンタジックな噂が広まっていた。そのひとつが、マイク・タイソンが『シュートマッチ』を闘うというものだった（UFCのような合法的なノー・ホールズ・バード試合。あのケン・シャムロックやマーク・コールマンが闘っている）。フィンケルはそんな話はまったくナンセンスとうち消した。彼は言う。「これだけは言える。マイクはレスリングをやらない。彼はそんなことを言っている人間と話したこともないはずだ」。

こんな作り話が立ち消えにならなかった理由は、たぶん、猪木自身が何世代か前

護士が、マイケル・J・スミスだとしている。

「マイケル・スミスはマイク・タイソンの弁護士ではない。会ったこともない」（フィンケル）

フィンケルによると、「（タイソンの次の試合は）ホリフィールドVSジョン・ルイスの勝者か、あるいはデビッド・アイゾンを予定している。もし、アイゾンになるなら、5月初旬の試合になるだろう」

1976年6月26日、アリが猪木と15ラウンズを闘った時、猪木は試合の大半を寝そべって過ごし、ボクシング・チャンピオンの足をキックし続けた。アリは足に入院を要するようなダメージを負っている。

に、モハメド・アリとミックスト・ルール・マッチを闘って引き分けているからだ。それに1999年にタイソンもWWFの風変わりな世界に参加していることもまた、猪木のファンタジーを信じさせるように介添えしたに違いない。

7フィート近い猪木はたぶん、世界でもっとも恥知らずなセルフ・プロモーターである。彼はタイソンの弁護士と称するマイケル・J・スミスという人物から、契約を押し進めたいという手紙をもらったと、2月はじめの記者会見で主張している。しかしながら、フィンケルはそんな手紙は偽物で、スミスはタイソンの弁護士ではないと断言している。

フィンケルは言う。

「全てはナンセンスだ。私たちはボクシングのことしか考えていない。次はホリフィールドVSジョン・ルイスの勝者か、あるいはデビッド・アイゾンを予定している。もし、アイゾンになるなら、5月初旬の試合になるだろう」

アントニオ猪木の主張！

信じてないんだもん、皆さん！ 俺はもう信じてくれていると思って一生懸命しゃべっていたのに（笑）

2月26日、アメリカに帰るアントニオ猪木は恒例の成田会見でマイク・タイソンVS小川直也の一戦を正式に発表してしまった！　翌日のスポーツ紙では一面に「小川VSタイソン決定」という見出しも躍ったが、果たして本当に実現するのだろうか。今まで、雲をつかむような話だったタイソンと小川の試合が、突如として現実味を帯びてきたが、猪木が語ったその一部始終をお届けする。

猪木　どうぞ、皆さん何か頼んでください。なんでしょう、はい。

——まず、タイソン戦に関してなんですけど……。

猪木　まずですね、6月の16か17日ということで、ペイパービューの関係があるもんですから、日程はそのどっちか。で、一応東京ドームは押さえることができましたので、だから6月の16か17で、東京ドームということで、それは決定ということになりますけど、一応最終的なことは帰ってからのあれになりますけど、だいたいそれでいいという返事はもらってますので、これで決定かなと思います。

——16と17のどちらになりそうですか？

猪木　これがねえ、アメリカの放送の都合があるものですから、とりあえず2日間押さえています。だから、何を中心にするかということで、ペイパービューを中心にするとやっぱり一番のプライムタイムっていうことになって、向こうが夜の放送になると試合は昼間になってくるし。逆に言えば、インターネットでやるんであれば、向こうが朝でもこっちから送れば、夜の試合でも十分彼らは見てくれるし。両日どっちでも条件は一緒だと思います。で、対戦相手は一応小川ということで、第一候補というか、これで決定したいなと思っております。

——当初、藤田選手の名前も、猪木さんは挙げてらっしゃいましたけど？

猪木　まあ、藤田が今かなりがなってるんでね。まあ、相手もいろいろ研究しているようで、藤田のことも『プライド』のフィルムを見ているようで、一番危険な男という評判が藤田にはついたようなんで（笑）。でも藤田がそういうふうに一番危険だと思われただけでも幸せじゃないの、ンムフフ（笑）。最終的には俺が決めたんですけど、向こうの要望として小川という線が強いです。最初誰でもいいよって言っていたのが絞ってきましたんで。あと、ルールについては、オープンルールという、まだこれは細かいことを打ち合わせしなきゃならないのですが、かなり強気なことを言ってきてます。まあ、これからルールについては次第に詰めていかないといけませんけども。なんかね、タイソン側は、「なんでもいいよ」みたいな偉そうなこと言ってやがんで。

——対戦相手に決定した小川さんのほうには猪木さんのほうから？

猪木　今んとこ何もないです。まだ半信半疑なんじゃないですか、本人は。

——オープンルールで小川選手とタイソンが闘った場合の見通しみたいなのは？

猪木　べつに……。勝っても負けても、とにかく面白れえことやってくれればいいなと思っています。逆に言えば今、いろんな格闘技がこうできている中で、オープンルールっていうのは一番面白いかもしれない。アリ戦の場合でも後で分かったことだけど、要するに拳の中に何を入れたのかはともかく、それが卑怯であるかどうかっていうと。オープンルールが許されるということになれば、逆に言えばオープンルールの恐さというかな、入った瞬間に一発、凶器だから一発ポンと入ってしまえば終わっちゃいますからね。

——アリがグローブの中に何か入れていた、と。

猪木　分からない（笑）、それはもう。俺も鉄板入れていたけどね。試合前に外したんだけど。

——リングシューズにですか？

猪木　それはもう外しましたよ。

——タイソンの言っているオープンルールはそういうことも含まれているんですか？

猪木　分かんないけど（笑）、たぶん。だって、オープンていうことはべつに制約がなくなるわけだから。

——タイソン側のほうは小川選手のことをどんなふうに思っているんですか？

猪木　全然ナメているよ、フフン（笑）。

——小川選手をナメてると、具体的にはどういうふうなことを言ってるんですか？

猪木　あんなの一発でみたいな（笑）。

——結果的に藤田を回避して、小川になったということですか？

猪木　まあ、どこまで本当なのかっていうのは俺も直接話したわけじゃないから。

構成◎小松伸太郎

——東京ドームということなんですけど、例えばアメリカのラスベガスとかでやるというのは考えられなかったんですか？

猪木　うん、それも一つあるけど、残念ながらやっぱりタイソンに対して、今の段階ではね、小川にしても藤田にしてもバリューが低すぎるんですよね。そこんとこがまあ、東京ということに。

——小川VSタイソンの試合以外にも東京ドームでは何試合か考えてるんですか？

猪木　当然まあ。いろんな絡みが出てきそうなもんですから。日本のテレビもどこにするかという問題もあって、すでに交渉はしております。

——地上波？

対戦相手は小川直也！
日時は6月16日か17日！
場所は東京ドーム！
ルールはオープンルール！
ファイトマネーはナント50億円？

猪木　地上波とインターネットとそれから衛星。衛星はまだ俺なんにも話してませんが。たぶん、これから本格的な動きになるんだろうと思います。今、日程調整をやってるところなんですが、デトロイトかニューヨークかロスアンゼルスのどこかでミーティングをして、できればその時記者会見を……。

——ミーティングはいつぐらいに？

猪木　その日程調整をやってるんで、今日もやってるんですよ。なにせ広いもんだからアメリカは（笑）。後は弁護士の仕事になるんでね。俺たちが基本的なことを決めたら弁護士同士の話になりますから。

——ルールに関してすんなりいくと思いますか？

猪木　さあ、今のところではそういうことですから、わりとオープンルールというか。いろんな過激なことを言ってるから、ストリートファイトでも結構だとか偉そうなことを。超過激になる可能性があるんじゃない？（笑）。

——猪木さん、前にアリとやった時、ルールの部分で凄く相手側と難航したというのがありましたけど、今回はそういうところはすんなりと？

猪木　いや、分かんないです。そんなにすんなりはいくはずがないと思います。絶対に問題がないということはありえないから、そういうふうに考えておけば楽なんじゃないかな。まあ、当初言ったと

2月18日、新日本プロレスのリングにホームレス姿で登場した猪木。タイソンサイドからファックスされてきた、正式なオファーを読み上げた

打ち上げ花火？　猪木ならできる？

おり、実現することが俺の夢なんで、まあ、そこに全力を注いで、よっぽど偏ったルールじゃなければいいんじゃないですかね。ボクシングやれというのは、それは酷な話だけどそれ以外の部分だと。

——アメリカのメディアの反応というのはどうなんですか？

猪木 これからでしょうね。事務所にもインタビューやなんかが相当殺到しているみたいなんで。まあ、なんだか知らないけど目立たないようにさりげなくいきたいなと思ってたのに、だんだん忙しくなってきたっていう（笑）。

——主催はどこになるんですか？

猪木 まあ、とりあえず金額が結構かさむもんですから、主催は俺がやるしかないんだろうと。まあ、みんなジョイントしたいっていう人がいるもんですからね。そりゃもう大いに結構ですよ、と。みんなでジョイントして。まあ、こういう夢のない時代ですから、ちょうどみんなで共有して何かやれたらという。ファンがインターネットでも猪木事務所でも2、3万件が毎日アクセス入ってるという、こういうのをちょっと呼びかければみんなで共有するのが面白いかなという。まあ、具体的にはみんなが出せる範囲以内、何千円か1万円その程度の金額でですね、このイベントをみんなで。まあ、今回はちゃんとペイパービューの問題を押さえとけば、昔はクローズサーキットというのは誰がやってどうなってるのかさっぱり分からなかったから。これはもの凄い金額が上がっても、それでみんな儲けて俺だけ儲けなかったという（笑）。今回はそういうことのないように、きちっと見ておけば。今、かなりギャンブルじゃないけどお遊び程度の投資で面白いことができるような、そういう単なる興行だけじゃなくて、そういう楽しみも入れたらいいかなあというアイデアを考えております。

タイソンの相手に選ばれたのは暴走王・小川直也！ タイソンサイドは小川をナメてるとのことだが、果たして………

——それをやると、21世紀のプロモーターとしてドン・キングを越えるような存在に猪木さんは、なると思うんですよ。その辺についてはどうお考えですか？

猪木 どうですかね？ べつに俺、興行師になりたいと思ってるわけじゃないけど。なんとなく生きてると使命が与えられるというか、そういう意味では今回も。非常に残念なのは、何かが萎縮しちゃったのか、ぶち上げてもそれの反応が弱いんでね。弱いってのはなんだろうな？ 全体の意識で面白れえやっていう、そう思っているのかもしれないけど、それが伝わってこないんでね。そうするとどうしても日本じゃなくて世界っていうかアメリカに目が向いてしまうんでね。まあ、結果を見なきゃ分かりませんけど、50億か100億かなんだかそれぐらいの興行が成り立つかもしれない。

——アリ戦の時も散々、ボクシング業界との軋轢だとかルールの違いみたいなのとかで苦しんだと思うんですけど、今回もすでにありますか？

タイソンは小川のことをナメているよ、あんなの一発でみたいな（笑）

猪木 これはねえ、やっぱり起きてくる状況なんでね。一つにはボクシング業界の非常に閉塞化した状態というのか、闘ってる選手に夢がなくなってきちゃったというか。やっぱり試合数がなくなってくる、チャンスが少なくなるというのは、結局周りを支えている人たちを含めてそれでみんな生活しているわけだから。そういう部分でのタイミングというか事情が良かったんじゃないかなと。これは願ってできることじゃなくて、たまたまそういうタイミングというものが。それから、ボクシング自体が低迷してきているんで、それほど大きなビジネスに繋がらないという事情もあるんでね。

——猪木さんの中ではこれはどれくらい前から準備されてたプランなんですか？

猪木 いえいえ、前回帰る時にほぼ話が進行というか、オファーが入った状態だったので。

——構想としてはだいぶ前からあったのですか？

猪木 構想？ 構想はないよ、全然。俺は何も考えてないし、何もしたくない。

——アメリカ側のプロレスメディアの反応はどうなると思いますか？ WWFとかWCWとか。

猪木 面白れえ反応するだろうね。まあ、アイデアは俺の頭の中にあるけど、べつに俺から売り込むつもりはないから、アイデアは。

（ここで安田から電話）

お付きの人 安田が出てます。

猪木 はい、もしもし。どうだい。そうか、へへへ。お前もタイソンとやりたいって言ってるの？ じゃあ、明日会おうよ、ありがとう、はいはい。

——相手側から具体的なファイトマネーの提示なり具体的なことはまだ？

猪木 いや、それなりに出てますよ。東スポに書いてあるよ、50億って。

——50億ですか？

猪木 う〜ん、だから50億じゃないけどまあそれに近いというか。50億か40億か分かんないけどね、できるだけもうちょっと値切りたいと思って（笑）。

——今回やると決定したタイソン側の一番の理由はなんなんでしょうか？

猪木 まあ、タイソンというキャラクターが、唯一金を稼げるキャラクターであるという、今のチャンピオン以上にね。それからまあ、ボクシングという枠にはめるとダーティーだとかクレイジーだとかっていうふうになってしまって、価値観という物が低くなる。でも、一歩それを外してみたらとんでもない価値観に変わってしまうってことが面白いわけで、その辺をタイソンのブレーンの方が制約を外したいというか、ボクシングという制約を外してやらせてみたいという気になってるんじゃないかな。そうしたらまあ、名前は挙げられないけど、とにかくそんなら俺にもやらせろっちゅうのが、いっぱい出て来ちゃって、さあどうしようと。俺まで引っぱり出されて冗談じゃないよって、ンムフフ（笑）。

——猪木さんがタイソンと？

猪木 いや、タイソンだホームズだとかいっぱいいるじゃんよ。フォアマンだとか、いい加減にしてくれって。でもいい

新日本は俺を安っぽく使うな（怒）ホントは殺してしまったほうがいいのかも

じゃない、話はね。だからできればね、3月中には正式発表というか、両者立ち会いで記者会見できれば一番いいなと思っています。後は今テレビ関係とか全部いろんなものが、皆さん大変興味を持ってくれてますんで、できるだけこっちも金銭的な負担を自分で抱えることがなくなればいいなと思って、交渉していこうかなと思います。ということで、信じてないんだ皆さん！ まあ、いいや（笑）。俺はもう皆さんが信じてくれてるものと思って、一生懸命しゃべっていたのに。

――6月、タイソンのほうに、ボクシングの試合の話が出てるんですけども。その辺については？

猪木 （語気を強めて）知らないです。それはそれで考えてるんじゃないですか？ だから、第一報でありえないとかどうとか、聞いてないとかっていう話が回り回っていろんなとこから来ましたけど。まあ、俺らは直接やりたいっていうオファーがあったからそういう話でやったんだよっていう。まあ、それよりも4月の8日に大阪ドームがあって、どっか大きい会場で前哨戦をさせたいなと思ってますよ。何人か名乗りを挙げてきてるボクサーがいるものですから、それで負けちゃったら困るんだけどなあ。まあ、度胸試しということで1回してもいいのかなと。まあ、負けたら負けたでいいじゃないと。

――大阪ですか？

猪木 まあ、大阪で。新日本がもちゃもちゃしてっから、これも面白くないから別の会場に持ってっても構わないしね。『プライド』のリングに持ってっても構わないし。

――それは小川選手は知っているんでしょうか？

猪木 知らない（キッパリ）。いつもいつもマスコミ先行で彼が知らないで「えーっ！」なんつって気がついて（笑）。まあ、一部のマニアックな人たちの間では、小川が殺されるんじゃないかっていう評判が立っているようだから。そんなことはないと思うけど（笑）。

――次回、日本にやってくるのは？

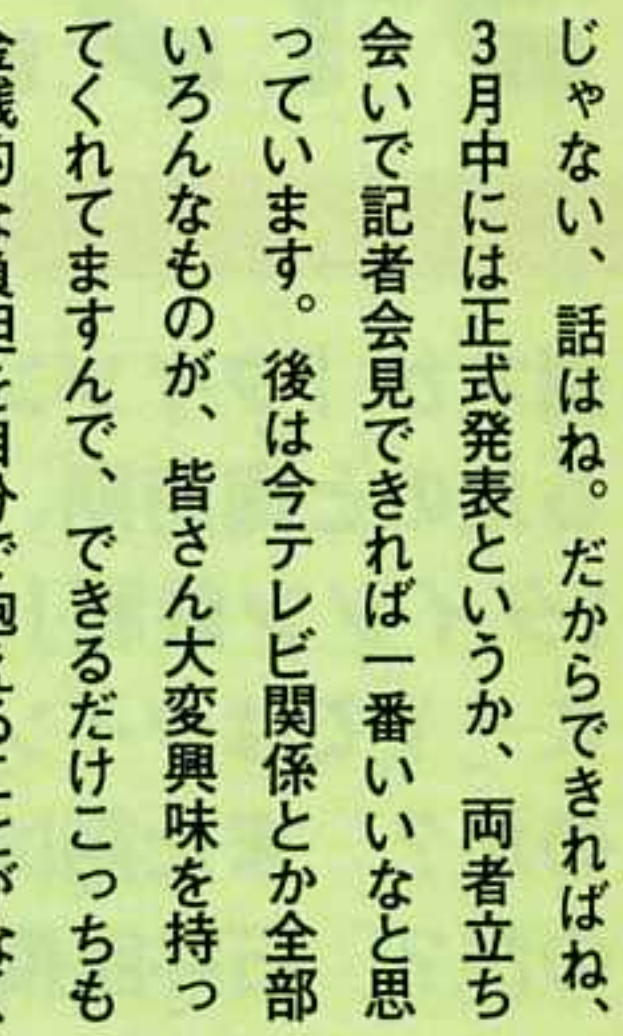
猪木 3月の半ばぐらいに考えています。また、ニューヨーク行ったとか、デトロイト行ったとかっつうとまたうちにいる時間がないんだよ。それこそホントのホームレスで（笑）。

――やっぱり猪木さんの中でのプロレス最強論は変わらないですか？

猪木 うん、それは変わらないんですけどね。それからもう一つは異種格闘技の張本人だから俺は。だから、プロレスという枠を超えた部分で、やってきた部分がありましたからね。最強であってほしいという願いはあるけど、残念ながら今それはそうは言い切れない。だから逆に言えば、そういう意味では『プライド』も含めていろんなものを共有しながら、21世紀型のプロレスっていうものをこれから、作っていけたらいいなと。

――新日本プロレスについて、今回は何か言われてることはありますか？

猪木 結局白覆面で来るとか来ないとか、俺のことを安っぽく使うんじゃねえよっていうのが俺の怒りなんですね。その怒りに対して、この間のホームレスというのをたまたまフッと思いついた。あの新日本の会場に行きたくないという俺の気持ちの中で、どうやって自分を活かせるかっていう闘いが俺の中にあって、それはいろんなメッセージがその中に含まれてると思うんですね。金じゃねえんだと。もっともっと闘いのロマンを追えよと。闘魂という力道山から俺が伝授したそういう闘いがあって金は後からついてくるよと。なんかそういうことがね、新日本に限ったことじゃないんだけど、俺のメッセージでもあったんですけどね。それをどう受け取るかというと、新日本の連中の目を見たらよく分かると思うけど、リングアナの目なんか見たら「こんなに俺らが一生懸命やってるところに、なんだこの格好で出てくるのは」というような言葉になって聞こえてくるのね。俺、もう最近不思議なことに、べつに言葉がなくても目を見た瞬間にその人の心の言葉が聞こえてくるんでね。まさに、このレベルにみんな立ってるんだなというのがホントに悲しい限りだったね。それは強いて言えば、俺にも責任がある。それを置き去りにして政治へ走ってしまって、それをちゃんと置いていかなかった俺にも責任があるけどね。だから長州と俺が対立するとか、そんな小賢しい話は俺はもうまっぴらだって。今こそインターネットだ、世界だ、世界だ、世界だって何十年言い続けてきて、やっとその時を迎えている時にホントにそこらの石ころみたいな小さな感じになってしまったという状態をね、俺はホントに悲しく思ってるんですね。ちょろっと力を貸すと息を吹き返し、ホントは殺してしまったほうがいいのかもしれないけどね。小川と橋本の一戦があった時に、もう一発刺せば新日本は死んだと。そこに気付かなかったっていうか、気付こうとしなかった、で今日まで生き延びてしまったっていうことがね、俺の失敗だったかなという反省をしています。ホントは殺してしまえば良かったかなと。やっぱりホントに世界に通用する新日本というものに、もの凄い大きな期待があるだけに、今そういうきつい言葉を言わざるをえないというのが、俺の心情なんです。ホントは「バカ野郎！」というのは新日本全体に対してというか。だから、今年は殺すか大改革を仕掛けるかどっちかだと思うんだよ、ズバリ言えば。で、眠ってる奴はたたき斬る！ そこにメッセージが伝わらない体制っていうんであれば、バッサリ斬るしかないだろうな。今日はきつい一言を言っておきます。■

インカレで優勝した嘉悦女子短大バレー部の選手たちと、一緒に「ダーッ！」

K-1にとって、タイソンの意味とは何か？

聞き手◎谷川貞治

猪木が「タイソンVS小川戦」を発表したのと同時期、偶然にもK―1でも「タイソン参戦」の噂が出た。では、K―1ではタイソンをどう考えているのか？　また話はどこまで進んでいるのか？　石井館長に聞いてみた。

――石井館長、今日は噂のマイク・タイソンの話です。

石井　はい、どうぞ。

――まず、昨年K―1のマイク・ベルナルドがボクシングのWBF世界王者になって、そのベルナルドに対してタイソン側から対戦を打診するレターが届いたそうですけど……。

石井　そうですね。これはマイクのボクシングのプロモーターがイギリスにいるんですけど、そんな話があったみたいですね。それと、現役チャンピオンのレノックス・ルイスからも。まぁ、二つとも本当に打診なんで、初期の段階かもしれないですけどね。で、これが面白い話になっちゃったんですけど、そのイギリスのプロモーターは当然、マイクが主戦場にしているK―1について調査するじゃないですか。そうしたら、そのプロモーターは「ボクシングよりK―1のほうが面白い」ってなって、K―1のプロモーターになっちゃったんですよ。今年はその人がK―1のヨーロッパ大会を主催するんです。

――へぇ〜。

石井　だから、K―1は今、ヨーロッパを中心に世界中でテレビ放送されるようになりましたからね。そうなると、ドン・キングがジェロムに興味を持ってプロモートしようとしたり、そういう話はいっぱいあるんですよ。タイソンだって、K―1のビデオを熱心に見てるって言ってましたからね。僕は21世紀のK―1のひとつの目標は、映像で全世界同時にライブで中継するという、オリンピックやサッカーのワールドカップみたいな環境を作るというのがあるんですけど、そういう作業の過程の中でその手の話はいっぱい出てくると思うんです。でも、プロレスでもボクシングでも、日本の格闘技の団体が全世界同時にライブで中継するって、誰もやってませんからね。

――もう会場の大きさじゃないんだ、と。で、その中でタイソンっていう話がK―1の中でも出てきましたよね。そのルートというのは、猪木さんとは違うんですか？

石井　まぁ、これはまだ水面下でいろいろ動いていることですから詳しくは言えないですけど、猪木さんと一緒の部分もあるし、違う部分もあります。だから、猪木さんがまったく大ボラでタイソンって言ってるわけじゃないと思うんですよ。そういう話は僕、あると思いますね。僕なんかも3月17日の横浜大会にタイソンを呼んでくれって話をしましたからね。もう、お金は心配するな、って（笑）。

――じゃあ、横アリにタイソンが来るってことは本当にあるんですかぁ？

石井　う〜ん、でも猪木さんがああいうことになっちゃったからねぇ。

――館長は猪木さんが「タイソンVS小川戦」を発表した時は、どう思ったんですか？

石井　そりゃあ、驚きましたよ。でも、できないことはないなぁと僕は思いましたけどね、猪木さんなら。ただ、タイソ

タイソンを担ぎ出すには
発表のタイミングが難しい!
水面下では動いていますが……

ンの場合は、彼の周りにいろんなビジネスの環境があって複雑ですから、慎重に話をしないと壊れる可能性が高いですからね。だから、猪木さんがああいうふうに猪木さんらしくブチ上げたことで、タイソン側の代理人から否定するコメントが出たじゃないですかぁ。やっぱり、発表の仕方とか、慎重にやらないと難しいんじゃないですかね。

――館長は猪木さんの発表を聞いて、先を越されたとか、プロデューサーとしてのライバル心が燃えたとか、動揺したとか、そういうのはないんですか?

石井 いや、ないですよ。まったくないです。僕はおとなしくやるほうですから(笑)。

――いやいや、そんなことはないと思いますけど(笑)。

石井 いや、だけど話があったとしても発表のタイミングってやっぱり難しいと思いますよ。

――タイソン側の代理人であるシェリー・フィンクル氏から「そんな話はない。アリと闘った猪木は、非常に恥知らずなプロモーターだ」という賞賛の言葉が世界中に流れてしまいましたからね(笑)。

石井 ハハハハハハハ、本当ですか。

――いやぁ、猪木ファンとしてはもう誉められたとしか思えませんけど(笑)。

石井 凄いなぁ、猪木さんは(笑)。でも、僕はべつに猪木さんに対抗しようという気はまったくないんですけど、猪木さんのほうがタイソンを担ぎ出せる可能性は高いなって思いましたね。だって、やっぱり猪木さんはプロレスの人ですから、プロレスのリングのほうがタイソンは上がりやすいと思うんですよ。それで、総合の試合にもっていければ言うことないし、プロレスの試合だとしても途中でタイソンがキレたりすれば興行は大成功するわけじゃないですか。どちらに転んでも、猪木さんは評価される。もし実現したら、どっちのルールになっても見たいですからねぇ。

――館長もタイソンVS小川戦は見たいですか?

石井 そりゃあ、見たいですよぉ。

――でも、やっぱりK―1のほうが難しい、と?

石井 そりゃあ、K―1はやっぱりルールのしっかりとした競技ですからね。タイソン側にとっては、「プロレスに出る」ってほうが出やすいでしょう。でも、逆に言えば、同じ打撃系の格闘技として、タイソンの良さが出るのはK―1のほうでしょうね。プロレスや総合の試合ではタイソンのボクサーとしての良さっていうのは、ちっとも出ないでしょう。ボクサーのパンチはやっぱり立ち技に限定されているからこそ発揮できることですからね。タイソンは試合となったら、K―1のほうが絶対に面白くなると思いますよ。

――それこそ、ノールールだと耳を噛んだりするような、そういう面白さになっちゃいますよね。それも見たいけど(笑)。

石井 猪木さんも、そういうのが狙いでしょ。でも、僕らがタイソンに感じている魅力はそういう部分ももちろんあるけど、タイソンのパンチがK―1でどれだけ通用するか、そういうのを見てみたい。やっぱり、K―1にはキックもあるから、特にローキックはタイソンにとっても厳しいと思う。でも、タイソンなら、そのキックをかいくぐって、パンチであっという間に倒すという幻想があるじゃないですか。K―1ならそういう楽しみがありますよね。

――今はバンナとかベルナルドとか、ボクシング系の選手がK―1でも活躍してますからね。タイソンなら……っていうのはありますね。

石井 だから、そのベルナルドとかバンナがタイソンとボクシングの試合をするっていうんじゃ意味がないと思うんですよ。僕がやるなら、タイソンをK―1のリングに上げるってことですよね。去年、ホーストとメシを食っている時、「タイソンと試合をやったらどうなる」って聞いたんですよ。そしたら、ホーストは「ルールは何?」ってすぐに聞いてきた。で、「じゃあ、K―1とボクシングのルールをラウンドごとにチェンジしてやろう」と言ったんです。そうしたらホーストは「ぜひ、1R目はK―1ルールでね、カンチョウ」って言ってましたけどね。僕が面白くさせるんだったら、そうやってラウンドごとにボクシングとK―1のルールを替えることじゃないですかねぇ。

▲「ボクシングの試合だったら僕がやる意味がない。K―1ルールでやらせたい」と石井館長

――ああ、それは昔、館長が実際に佐竹VSモーリス・スミス戦でやってましたね。1Rは空手ルール、2Rはキックルールみたいに。

石井 あれしかないと思いますよ。それも盛り上がると思いますけどね。

――なるほど、なるほど。

石井 だから、マイクやジェロムに対しては、K―1のチャンピオンになって、ボクシングの試合でもタイソンとやりたいと言うんだったら、それこそ何十億円かかっても夢をかなえさせたいなって気持ちはありますよ。でも、本当は先ほども言いましたけど、ボクシングのヘビー級タイトルマッチのように世界中で何億人の人がテレビで見るような環境をK―1自体で作ることなんですよ。そんなK―1にタイソンを上げる。ヘビー級のボクサーから「俺はK―1に上がりたい」と思われるようなK―1にしたいんですよね。

――そうなれば本当に凄いですよね。でも、現時点での話でタイソンが猪木さんのところに上がったり、K―1に上がる可能性はあるんですか?

石井 それは分かりませんねぇ。でも、タイソン側の周辺でそういう話は当然、あるでしょう。レノックス・ルイスとやって、もう一度チャンピオンになれば話

タイソンの引退を考えているグループはいるんじゃないですか？　そうなれば……

は別ですけど、今のタイソンの状況を考えると、ボクシングは引退させて他の格闘技で稼がせようという動きは当然あると思うんですよ。

──ボクシングは引退！　ですか……。

石井　そういう話もあると聞いてますよ。だって、タイソンは世界中でなかなかボクシングのできない環境に追いやられているじゃないですか。仮にもし10月か何月か知らないけど、ルイスとの試合が実現しても、もし負けてしまえば今度こそタイソンの商品価値が下がってしまいますからね。じゃあ、その前にタイソンに違う環境を作ろうという話は出てきてもおかしくないんじゃないですか？

──ああ、そうかぁ。

石井　そうなってくれたら嬉しいんですけどねぇ（笑）。だって、ジェロムでもマイクでも、みんなタイソンとやらせたいじゃないですかぁ。猪木さんは、「タイソンVS小川」みたいな一発勝負の試合を考えているけど、僕は何回もやらせたいですね。ジェロムVSタイソン、ベルナルドVSタイソン、ホーストVSタイソン、アーツVSタイソンってやってずっとドラマを作っていきたい。で、最後はフィリォVSタイソンですよ。

──ああ、極真VSタイソン！　それは一番最初に見たいですねぇ（笑）。でも、そういう連続ドラマができたらK─1はいっぺんに世界のK─1になって、ボクシングを超えますよ！　それこそ地道に世界で予選を開くより、よっぽど早いじゃないですかぁ。館長、K─1にとってのタイソンはそういう世界戦略の大きなタマになりますねぇ。

石井　冷静に考えたら、そっちのほうが世界に広めるのは早いんですよね。でも、それにはぶっちゃけた話お金がない（笑）。

──それをやるには、途方もない金がかかりそうですねぇ。

石井　100億かかるでしょう（笑）。ルートはあるんで、あとはそういう資金をどうするかってことなんですよ。結局、タイソンを担ぎ出すのに一番苦労するのは誰でもそこですからね。

──フ〜ッ、僕の貯金でなんとかなればいいんですけどねぇ。

石井　谷川さんの貯金じゃあどうにもならないでしょ（笑）。

──ですよねぇ（笑）。

石井　だから、そういうのも実現に向けてね、K─1を大きくするってことですよ。たとえば、今年はK─1の本戦トーナメントを8月にラスベガスでやるじゃないですか。それなんかも今年はベスト8ファイターを出すことになるんで、だったらマイク・ベルナルドとか、レイ・セフォーとかね、ボクシングのうまいヤツをそこに出そうかと思って。やっぱり、アメリカの人たちにとっては、ボクシングのうまい人間のほうが分かりやすいですからね。

──ああ、それは面白いですね。ボクシング関係者にとっては、そういう選手が出たら引っかかるでしょう。

石井　そうですよね。でも、決して僕はボクシングと敵対関係になる気持ちはないんですよ。だから、ジェロムにしても、マイクにしても、ボクシングはボクシングの試合で認めてやらせてますからね。

──逆にボクシングやってるヤツが、ベルナルドやセフォーの試合を見て「俺もできる」と思ってK─1に流れてきたら面白いですね。

石井　そうなんですよ。やっぱりアメリカのマーケットを考えると、ボクシングに人材がいますからねぇ。

──ああ、なるほど。話は変わるんですけど、館長。ハワイで宇和島水産高校の船がアメリカの潜水艦にぶつかって沈んでしまいましたねぇ。

石井　ああ、びっくりしましたね。僕、「水産高校」っていえば、宇和島水産高校しか浮かばないほどのイメージなんですよ。すぐ近所だったし、友達もたくさんいたんですよね。

──館長の地元ですよねぇ。

石井　ええ。だから、アメリカっていうのは日本より大きな国だし、力もあるし、経済大国なんだけど、人の命の重たさは変わらないですからねぇ。だから、ご家族の方が納得するような、そういう対処をしてほしいですよね。もう過ぎたことは仕方がないと言えば仕方がないんで。

──館長、あの沈んだ船を引き上げるのに、70億円かかるらしいですよ。

石井　そんなにぃ？

──だから、タイソンをK─1に呼ぶのもやってもらいたいんですけど、館長にぜひ宇和島の英雄として、あの船を引き上げてもらいたいんですけど。

石井　そんなことできるわけがないじゃないですか。僕は谷川さんより貯金少ないんですから（笑）。

──んあ〜。

■

▲今年8月には、K─1の本戦が本場ラスベガスで行われる。石井館長はここにベルナルドやセフォーといったボクサータイプの選手を用意しようとしている

ティト、「UFC30」での「サクラバと闘いたい」発言の翌日、「キング・オブ・ザ・ケイジ」で桜庭をロック・オン？

▶握手だけではアピールが弱いと思ったのか、桜庭の耳元で語りかけていたティト。桜庭はニコニコしていただけ

◀ティト自ら歩み寄って桜庭と握手。ティトは目一杯の笑顔で桜庭を見つめていた

ミドル級世界一決定戦！桜庭VSティト戦実現へ……？

2・24「キング・オブ・ザ・ケイジ7」のメインイベント前に、ケン・シャムロック、マーク・ケアーらVT界のスーパースターたちが紹介され、その中に桜庭和志の姿もあった。さらに、あのティト・オーティズがケイジに入り桜庭の隣に並んだ！ティトと言えば、前日に行われた「UFC30」の試合後に「もうミドル級で相手になるヤツはサクラバしかいない」と対戦表明したばかり。ティトは自ら桜庭のほうへ歩み寄りまずは握手。桜庭はいつものようにニコニコと応じていたが、その後にティトは必死に桜庭にゴニョゴニョ話しかけていた。その光景は、ティトが必死に対戦アピールをしていたように見えていたのだが、後で桜庭に聞いてみると「英語だったので何を言っていたのか分かりません（ニヤリ）」といつもの桜庭節でさらりと交わされてしまった。果たして、この2人の対戦は実現するのか？それは『プライド』のリングなのかUFCなのか……今後の動向に注目！

桜庭inUSA アメリカでも大人気!

桜庭vsティト戦、桜庭vsヒクソン戦は大きな話題になっていた!

2・24「キング・オブ・ザ・ケイジ」編

▶会場に入る時にはボディチェックされないと入れない。厳しい!

んあ〜!雨の中のVT?

▲3000人は収容できる特設屋外会場。雨が凄く降っていて、ケイジの上に屋根が一応ついているがまったく役には立っていなかった

▲ちゃんとグッズ売場もあって、Tシャツ類が充実していた

▲雨がっぱを着て観戦する人がほとんど。それでもテンションはめちゃくちゃ高い

▲選手控室はキャンピングカー。ライオンズ・デンチームのキャンピングカーには、首領・シャムロックのかっこいいポスターが貼られていた

◀会場の隅にあるテントの中でルールミーティングが行われた。日本人選手は控室で島田レフェリーが説明した

桜庭、ティト戦について語る!

◀ちょっと会場内にいるとすぐに声を掛けられてしまう桜庭。その人気ぶりは凄いものがあった

――ティト選手がUFCで「俺の相手はサクラバしかいない」と言ってましたね。

桜庭 あ〜、分からない。なんか英語でしゃべってましたけど。

――それって「闘いたい」って言ってたんじゃないですか?

桜庭 分からない、英語だから。だって体重違うでしょ?

――ティト選手はミドル級ですから。

桜庭 ミドルって言っても体重は絶対重いですから(笑)。

――ケイジの中での様子では、「ボクは合わせます」みたいなアクションしてたように見えましたけど。

桜庭 いや、分からない。英語分からないから(笑)。

――今村選手の対戦相手が「サクラバと試合したい。日本で会おう」と言ってましたね。

桜庭 いやあ〜、ねぇ、そんなおいしいとこだけ持っていこうとする人とはやりたくないですけどね(笑)。

――アレックス選手にしてもティト選手にしても桜庭さんと闘いたいと言う人がいっぱいいますね(笑)。

桜庭 ティトは絶対に体重重いですよ。

――じゃあ、ティト選手が「体重合わせるよ」って言ってきたらどうするんですか?

桜庭 落とすんだったらいいですよ、ちゃんと。ちゃんと落とすんだったらいいけど。でも、絶対にちゃんと落とさないだろうから(笑)、そういう人とはやりたくない。反則やってるようなもんですから。オリンピックだって、アマレスは計量で何百グラムでもオーバーしてたら失格ですからね。試合できないから。

――では、3・25『プライド13』でのシウバ戦に向けては順調ですか?

桜庭 全然練習してないです(ニヤッ)。

――このアメリカの旅で秘策なんか見つけたりして……?

桜庭 秘策? いや、セコンドで来ただけです(笑)。

――桜庭さんは、もう金網で試合しないんですか?

桜庭 いや、組んでくれればやりますけど。望んで組んでくれとは言わないです(笑)。

アメリカに来て一番驚いたのは、現地での桜庭人気がすさまじいものだったということだ。

前ページでもお伝えしたように、2・23「UFC30」でティト・オーティズが試合後に桜庭にラブコール。そして、その翌日の「キング・オブ・ザ・ケイジ」に現れ、桜庭と握手を交わした。

何も、桜庭を狙っているのはティトだけではない。桜庭の後輩の今村と対戦したアレックス・アンドラデも試合後に「サクラバ、やろう!」と対戦をアピール。今村のセコンドに就いていた桜庭に「桜庭さん、なんか対戦したいって言ってますよ」と言いながら後を追ったが、桜庭は横目でチラリとアレックスを見て、ニヤッとしたまま何も言わずに控室へ向かった(その後に、「おいしいとこだけ持っていこうとする人とはやりたくない」と発言)。

脱・膠着大王のメッツアーもアレクのことは気にしつつ、桜庭との再戦を望んでいるという。

さらに、セミでピート・ウィリアムスに敗れたリック・マティスも試合後に桜庭のところへ歩み寄り「サクラバ、キミは素晴らしい」と桜庭を絶賛。なんだかとってもモテモテなのである。

ファイターだけでなく、ファンの熱狂さもハンパではなかった。自分で作ったと思われる、胸に「桜庭」と入った白のTシャツをわざわざ桜庭に見せに来るファン。

また、あるファンはちょうど私が桜庭と話をしている時に「すいませ〜ん、ちょっとすいませ〜ん」と流暢な日本語で話しかけてきた。「なんですかね、ちょっと聞いてき

2・25「サイン会」編

サイン会に集まった人数はナント700人（主催者談）！

▲サイン会の日も雨がしとしと降る中、開場前から長蛇の列。桜庭人気恐るべしである

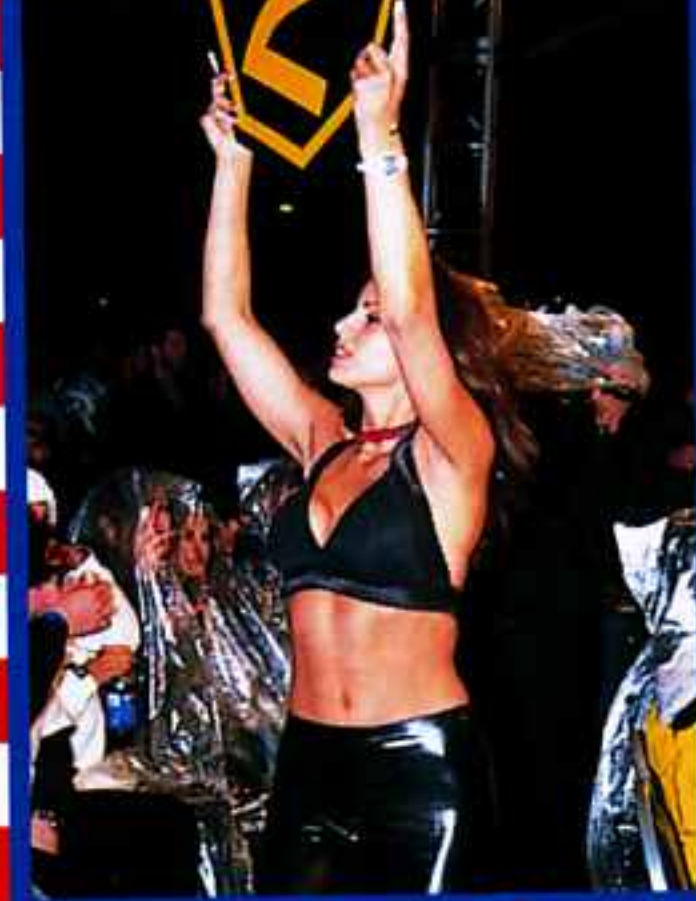
▲大会翌日に『プライド』と「キング・オブ・ザ・ケイジ」のDVDとビデオ発売を記念したサイン会が開催された

▲やたらとサクグッズを買い込んでいる人たちを発見。他にもSAKUTシャツを着ている人がいっぱいいた。SAKUTシャツも世界進出？

▲サイン会が始まって1時間以上たっても、長い列は続いたままだった

▶ビデオやDVDの他に自分で持ち込んだものにも丁寧にサインしていた桜庭。予定時間をはるかにオーバーしていたが、「これだけ並んでくれてるのに帰るの悪いですよ」とさらに延長してサインを書き続けていた

▶桜庭の他に、シャムロックやリコ、そしてメッツアーらライオンズ・デン軍団も集結。さらにはドン・星野・ウィルソンも途中から加わってサインをしていた

▶バス・ルッテンも観戦に。ケイジには入らなかったが、途中でゲストとして紹介された

◀インターバルの間に華を添えるラウンド・ガール。雨の中で大変である

おやっ？ ティトとケン・シャムが握手してるっ！

◀おおっ！　桜庭との握手だけでなく、ティトがあのケン・シャムともがっちり握手。以前「UFC」でティトがメッツアーと対戦した時に、ティトがメッツアーをバカにした態度を取ったことに対して猛然と怒り狂ったシャムロックとの一件があっただけに、この握手はおおっって感じ

▶雨の中で行われていたので、試合が進んでいくうちに温度差からか選手たちの体から蒸気が出ていた

▶ケイジの中に容赦なく降り注がれる雨のため、インターバルや試合後にはスタッフが一斉にケイジに入ってきて猛スピードで拭きまくっていた

てくださいよ」と桜庭に言われ、彼の話を聞きに行く。

「なんですか？」

「あの、ボクはサクラバさんのファンで、どうしても彼に伝えたいことがあって、それは2、3分かかるんだけど」

「はい、いいですよ」

「僕たちはみんなサクラバさんのファンです。サクラバさんがヒクソンとやったらサクラバさんが勝てます」

「そ、それだけですか？」

「はい！」

ズコッ！　3分もかからないじゃない。さっそく桜庭に伝えると「ああ、そうですか。握手したほうがいいですかねぇ」と言って握手をしに行った。アメリカでもファンに対して優しい一面を見せる桜庭だった。

翌日に行われたサイン会では、早くからサクTシャツを着たファンが長蛇の列を作るほどの大盛況で、桜庭は予定の時間をオーバーして「お腹がすいてヘロヘロです」と言いつつも、ひとり一人に丁寧にサインをしていた。

あるファンから「ヒクソンと闘わないんですか？」と聞かれると、「僕が決めることでないので」と相変わらずのらりくらり戦法をみせる場面も。そんな中、桜庭が「あっ、この人昨日試合をしてた人ですよ」と教えてくれた。なんと、選手までわざわざ並んで桜庭のサインをもらっていたのである。

日本だけでなく、いよいよアメリカでもサク人気は本物になってきたようだが、当の本人は飄々としたもの。アメリカでも桜庭はずっと自然体だった。

（石黒）

お詫びと訂正

本誌41号P25で紹介した桜庭和志の期間限定（3月9日〜4月16日まで）ホームページのアドレスが間違っていました。
正しくはhttp://www.sakuraba39.com/です。桜庭選手、ならびに関係者の皆様に大変ご迷惑をおかけしました。ここに訂正してお詫びいたします。

UFC新社長
ダナ・ホワイト氏
インタビュー

『どうしても桜庭VSティト戦を実現させたい！』

サク・マニアが買収したUFCの進む方向はどっちだ!?

取材◎石黒由佳子

サクラバマシン・フィギアをプレゼントすると、この満面の笑み！

——まずはダナさんがUFCを新たに経営することになった経緯から、話を聞きたいんですけど。

ダナ　私はもともとボクシング業界でマネージメントをしていて、その後ティト・オーティズやチャック・リデル、ジョン・ルイスのマネージャーもやっていました。昨年末、SEGの社長であるボブ・メロウィッツがUFCを売ろうとしているという噂を聞きました。それで、私が今回オーナーになったロレンゾ・フエティータの友達に電話したんです。実際その話を確かめたら、ボブ・メロウィッツは本当に売りたいと思っていました。それで、ロレンゾがボブ・メロウィッツと話をして、交渉を始めてから2週間で話が煮詰まってきて、1カ月で契約にこぎ着けました。

——正式な契約の日にちはいつでしたか？

ダナ　1月12日だと思います。

——買収金額は？

ダナ　それは秘密です（笑）。みんなそれを聞くけどそれは言えません。

——元々ダナさんはUFCに興味があったんですか？

ダナ　ミックス・マーシャル・アーツ（MMA）全体のファンだったんですが、UFCのファンでもあり、『プライド』のファンでもあり、他の小さな試合も見ていました。

——オーナーのロレンゾさんもファンなんですよね？

ダナ　ロレンゾ自身も、彼の兄弟のフランクもMMAのファンです。ロレンゾはネバタ州アスレチックコミッショナーの一人でした。今回の買収にはそのロレンゾと弟のフランク、そしてブレイク・サーティンというロレンゾの親戚を合わせ

『プライド』との選手交流はあり得ます
日本市場についても今交渉中です

た3人が関係しています。

——今回行われた『UFC30』から、その新体制で運営したわけですね？

ダナ　そういうことです。

——その『UFC30』では、それまでの大会と比べて大きく変わった点がありますか？

ダナ　まず、ニューオーリンズで『UFC27』をやった時は、高校の体育館でレスリングの大会をやってるようなものでした。あれはショーではない。マーチャンダイズもないし派手な照明もありませんでした。今回の『UFC30』では、普通の花道の他にメインの選手が入場する花道を作ったり、最初の2～3試合は今まで通りの入場音楽を使っていても、メインイベントではその選手独自の音楽を使ったり、照明を当てたり、別の通路から出てきたり、ということをやりました。

——たしかに演出面や営業面での努力を評価する人が多いみたいですね。マッチメイクのほうで変わった部分は？

ダナ　過去は一人のマッチメイカーがいて、その人が全部決めていましたけど、今はいろんな人が話し合いながら決めることにしています。

——これまでのマッチメイカーはジョン・ペレッティですが、これからもジョン・ペレッティは起用するんですか？

ダナ　彼は今イタリアにいるので、話をしていません。べつに辞めさせたわけでもないし、積極的に使ってるわけでもありません。

——じゃあ、今回『UFC30』のマッチメイクにはジョン・ペレッティは関わっていないんですか？

ダナ　そうです。全て新しいコミッティが決めました。

——ダナさんのインタビューで「新しいUFCはスター選手を生み出せる場にしたい」という発言がありましたけど、それはどういう方法でやろうとしているのですか？

ダナ　まあ、スターを作るというのがこの業界で難しかったのは、タイソンとかオスカー・デラホーヤみたいにそのスポーツに自分を捧げてるような選手がこれまでいなかったからだと思います。今まで、UFCというのは選手をプロモートするんじゃなくて、UFC自体をメジャーにするのが目的でした。だからボクシングファンがボクシングの試合を見るというんじゃなくて、「僕はタイソンを見たい」っていうように、このMMAに関しても、特定の選手が見たくて見に行くようにしたい。そのために我々が何をやったかというと、ニューヨークで街中にティトのポスターを貼ったり、テレビ番組で毎日スポットをうったり、ニュースでもCMを流しました。それはティトを中心にしたプロモーションなんです。

——なるほど。やっぱりティトをそういうスター選手にしていきたいわけですね？

ダナ　ティトはこれまでもセルフプロモートしていて、スターになる素質があったし、すでにスターだと言えるかもしれません。過去ガイ・メッツアーとティトの2回目の対決のような面白い試合がケーブルで放映されていれば、その次のフランク対ティトの試合はもの凄い爆発的な人気が出ただろうと思います。残念なことにその時は、ディレクTVでしか放映していなかったから、そうはなりませんでしたけど。日本でのティトの人気はどうですか？

——日本の中ではティトはまだ知名度もありませんし、とてもスター選手とは言えません。

ダナ　う～ん、でもコアなファンはみんな知っていて、昨年の12月のUFC—Jの試合でも、その場にいるファンは試合が終わった後もそこを去らずに、ティトがTシャツを投げたらそれを取ろうとして一生懸命でした。だから、コアなファンは知っているんだけど、ティトの試合そのものがあまりプロモーションされていないということでしょう。ティトが過去にやった試合だとか、彼が自分自身でプロモートしてきたものをちゃんと日本に紹介すれば、彼はスターになれると思います。

——日本でのシウバとのデビュー戦が印象が悪すぎたんだと思いますよ。期待が高かった分、試合スタイルにがっかりしたファンも多かったと思います。

ダナ　それはそのとおりですね。ヴァンダレイとの試合に関しては、保守的にタイトルを取ることだけに集中していたので、私自身もとても退屈だったと認めます。

——今後、UFCとしては日本市場はどういう方向性で考えているんですか？

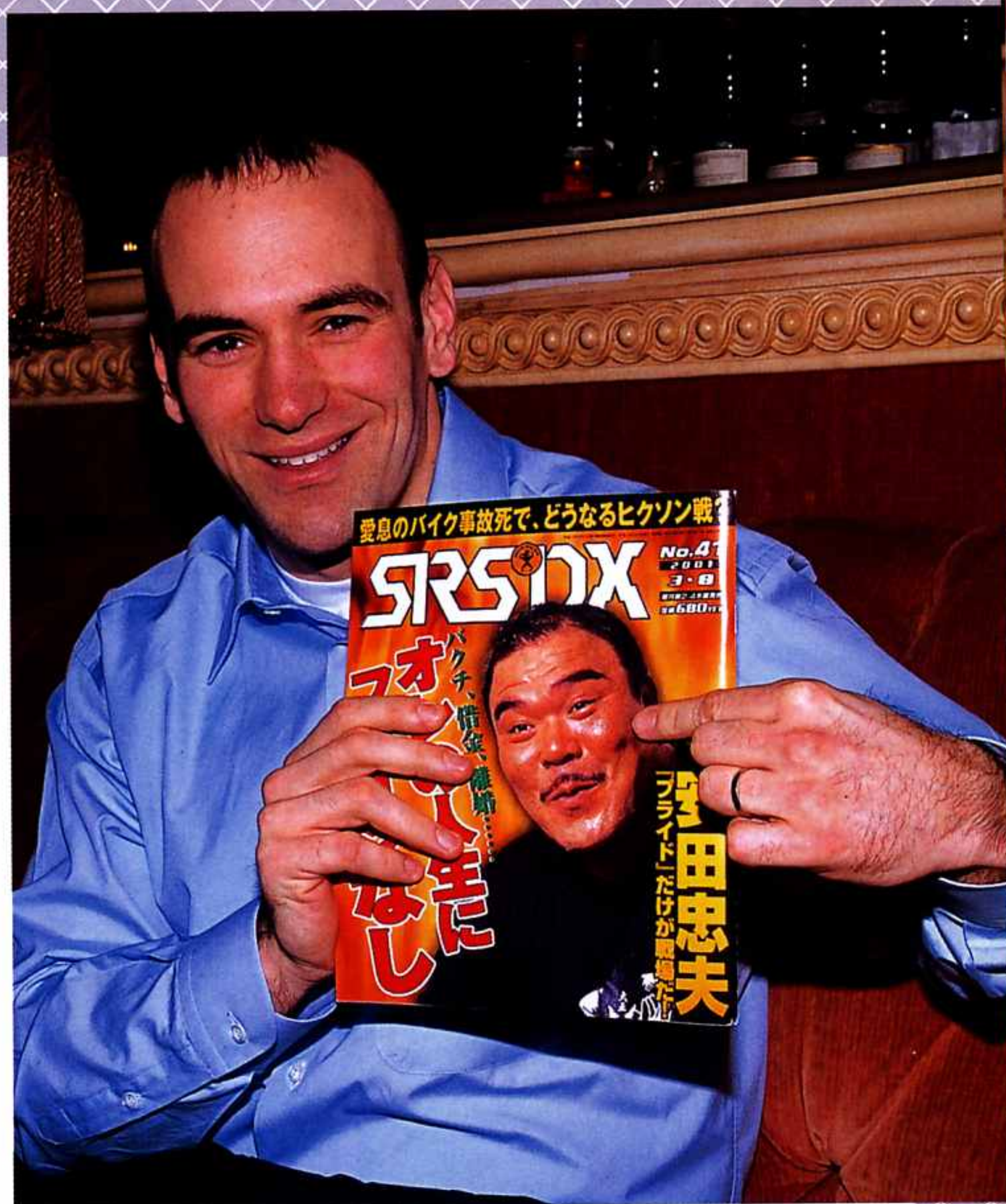
ダナ　もちろん、日本市場にも食い込んでいきたいし、それは今交渉中です。我々は日本のファンです。やっぱり日本のファンというのは業界の中でいうと非常に偏差値が高くて、日本のファンが世界全体のファンを教育できる、先導できるということが、日本に対して感謝している点です。

——具体的に今後UFCが日本に進出するのはいつ頃を目指してますか？

ダナ　今それを交渉中だから……。申し訳ないけど、今はそれしか言えません。

——新体制のUFCが『プライド』と提携するという噂もありますが、今後『プライド』とUFCの中での選手の交流っていうのは実現する可能性はあるんですか？

▼弱冠31歳のダナ社長。オーナーのロレンゾ氏も同い年だというから、恐るべしアメリカ！

なんとか年内にラスベガスで桜庭VSティト戦を実現したい

ダナ　あり得ます。

——へぇ〜、『プライド』の中で一番興味のある選手は誰ですか?

ダナ　それはもちろんサクラバ選手です!　私はサクラバさんの大ファンですから（笑）。

——そういえば、通販で桜庭Tシャツを何枚も買うぐらいのサク・マニアらしいですね（笑）。

ダナ　そうです（笑）。

——桜庭選手を初めて見たのはいつなんですか?

ダナ　ホイス戦が最初です。ディレクTVのPPVであの試合を見て非常にファンになりました。『プライド』のショーを見たのもその時が初めてだったんですけど、いまだにグランプリの決勝戦が一番いい大会だったと思っています。

——桜庭選手のどこが良かったんですか?

ダナ　一言で言うとカリスマがあるから。例えば同じ技術を持っている選手でも、スターダムになれる選手というのは限られていて、ティトがそうであり、サクラバ選手がそうであったりするんですけど、そういう人にはファンが付きます。サクラバ選手はそういうものを持っている選手だと思います。アジアの東洋人のスターが、アメリカで受け入れられるのは非常に希なんですよ。今まで、それができたのはブルース・リー、ジャッキー・チェン、サクラバ選手もそのうちの一人でしょう。私の周りでも格闘技をよく知らない若い女性従業員がサクラバさんのファンなんですから。

——やはりアメリカでも桜庭人気の理由は、あの闘い方にあるんですか?

ダナ　どれか一つの理由ということではなくて、全部パッケージで、トータルなものでしょう。サクラバ選手はグッド・ルッキングだし、闘い方もいいし、最初のホイスを倒した倒し方は、エキサイティングだった。その後も、グレイシーを破って、ヒクソンとエリオ以外はみんな倒しているでしょう?

——ホリオンもまだ倒してないですけどね（笑）。でも、桜庭人気がアメリカでもこんなに爆発してるのは驚きですね。

ダナ　やっぱりカリスマ性があるからアメリカでも非常に人気があります。インターネットでもサクラバ選手について、悪く書かれているのを見たことがない。ティトっていうのはサクラバ選手と同じくらいファンもいるんだけど、半分は嫌いなんです。ヒールとしてのキャラクターがたっているんだけど、サクラバ選手はみんなに好かれています。だからそういう意味でも、サクラバ選手とティトが闘えばとても面白いと思います。

——桜庭VSティト戦をやりたいですか（笑）。

ダナ　どうにかして実現したいですね。

——桜庭選手以外に、興味のある日本人ファイターはいませんか?

ダナ　あなたのマガジンのこの表紙の人は誰ですか?

——あっ!　これは安田選手です!　日本のオススメファイターですから、ぜひUFCにも出してください（笑）。

ダナ　そうなるといいですね（笑）。彼はどんな選手ですか?

——安田選手は元相撲レスラーで、今度の『プライド13』でストライカーの佐竹選手と闘います。

ダナ　ゲーリーと闘って負けたヤツ選手みたいにならなければいいんだけど……。（パラパラと雑誌を見ながら）タイソンVSオガワというのは本当にあるんですか?

——さあ……（笑）。でもUFCでタイソンを引っぱり出そうとかは思わないんですか?

ダナ　今はUFCを構築しているところなんで、寝技も知らない人にオクタゴンに入って荒っぽいだけのファイトをやらせるつもりはありません。ネバダ州の許可を取るにはキチッと確立したスポーツじゃなければならないので。そういう意味で、枠からはみ出てるような人は出したくないですね。タイトルマッチにふさわしい技術を持った選手を出していきたい。身体が小さくても技術を持った選手が必要なんです。だから日本のマッハサクライやルミナといった修斗の選手は素晴らしいと思いますよ。

——その桜井選手やルミナ選手が次回UFCに参戦するという噂がありますけど、そういう話はあるんですか?

ダナ　話はありますけど、次回の大会じゃなくて、その次になると思います。

——次回は5月4日に今回と同じニュージャージーで開催されるんですよね?

ダナ　そうです。ペドロ・ヒーゾVSランディ・クートゥアーのヘビー級タイトルマッチを予定しています。

——その次というと?

ダナ　6月に、まだ日にちは決まっていません。ニューヨークの北のコネチカット州カナディカップというところで予定しています。

——では最後に、桜庭VSティト戦はいつ頃実現しそうですか?

ダナ　具体的には『プライド』側との交渉の結果次第ですが、なんとか今年中にはやりたいですね。できればラスベガスで。

——期待しちゃっていいんですか?（笑）。

ダナ　頑張ります（笑）。■

▲早くも安田のキャラクターに目をつけたダナ社長!?
安田よ、佐竹を倒してアメリカに乗り込め!

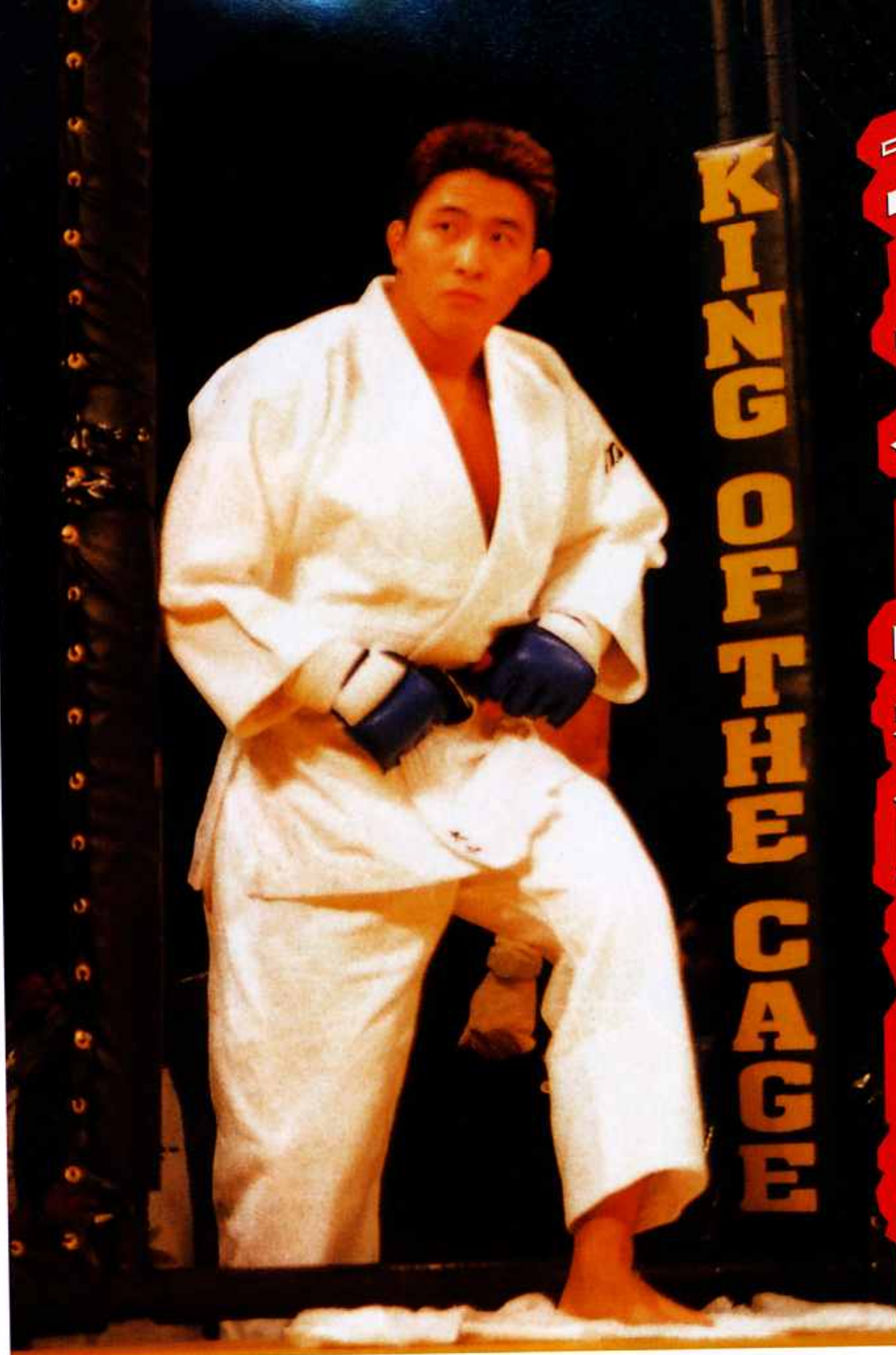
2・24★アメリカ
カリフォルニア州ソボバ・カジノ

この瞬間は勝利を告げられた後ではない。パンチが当たった瞬間に大山はＫＯを確信し、このポーズ

「さらばアマチュア！」17秒間のファイナル・アンサー

“金網の鬼”マイク・ボークを秒殺KO！

遂にベールを脱いだ柔道界の新鋭

大物ルーキー・大山峻護、『プライド』参戦を目指し、いざ金網へ！

▶日本人柔道家が金網の中へ。今大会に参戦した日本人3選手の一番手として登場した

▲今大会は雨の中、野外で開催されたため、マット上は濡れていた。試合開始早々、ボークがプレッシャーをかけると大山は滑って転倒！

▲転んだ大山にボークが襲いかかる。この試合で唯一ヒヤッとした場面だった

▲バックに回るボークを背負いのような形で前に出すと、そのまま立ち上がった両者。大山は試合後、「転んでも冷静でいられました」とコメント

▶大山の相手はKOTC無差別級王者のマイク・ボーク。『プライド11』でアレクサンダー大塚と闘った選手だ

「プロ？　まだまだです。やっていける自信がついたら考えます」
昨年3月、『コンバット・レスリング』85キロ級で優勝した後
貴方はボクにそう言いました。
「そうか、プロに打撃はつきもの。
大山さんは柔道家だから打撃が怖いのだろう」
短絡的なボクはそう思いました。
今回、貴方を取材してその考えが
まったく間違っていたことに
気付きました。
恥ずかしい限りです。
貴方が考えるプロとは
勝っても負けても光る選手。
中途半端な成功ではなく、
大きな成功を手に入れる選手。
そうですよね？
プロのハードルはもの凄く高い。
そう思ってたんでしょう？
それでも貴方は
プロになりたいと思った。
夢を見たいと思った。
当然、貴方は悩んだはずです。
今は仕事をしながら
好きな柔道ができる。
組み技系の大会で実績を残し
知る人ぞ知る存在にもなった。
安定した収入がある。
素晴らしい生活です。
でも、プロになるということは
その生活に別れを告げること。
しかも貴方には
小川直也に猪木さん
今村雄介に桜庭選手
そんな後ろ盾は誰もいません。
それなのに貴方は
そんな生活を全て捨て
一世一代の覚悟を決めて
ひとりぼっちで
異国の金網の中に
足を踏み入れました。

2・24★アメリカ
カリフォルニア州ソボバ・カジノ

柔道家の"一撃"が炸裂!

大山のコメント

「勝ててホッとしてます。カウンターの右フックは狙っていました。「いいマウスピースを用意しとけよ」ってボークが言っていたみたいなんで、「この野郎」って思ってたんですけど。まあ、勝てて良かったです。目標は、『プライド』で自分の力を試したいですね。ハイアンみたいな選手と殴り合いをしてみたいです」

両者の体が離れた後、狙いすましたカウンターの右フックが見事にヒット。フィリォの一撃を彷彿とさせるパンチだった

▲ボークの顔つきを確認した島田レフェリーは、すぐさま試合をストップ。島田レフェリーは試合後「"バコッ!"というもの凄い音がしましたよ」と大山のパンチ力の凄さを語っていた

◀『プライド』のリングに上がるのはいつになるのか? 活躍を期待せずにはいられない

▶プロデビュー戦を秒殺KO勝利で飾った大山。「どうだ!」と言わんばかりのこの表情に会場は大フィーバー

★第3試合(5分2R)
○大山峻護(1R17秒、KO勝ち)マイク・ボーク●
〈日本/フリー〉 〈アメリカ/アカデミー・オブ・アーツ〉
※右フック

寂しかったでしょう?
心細かったでしょう?
怖かったでしょう?
計り知れないプレッシャーが
貴方を襲ったと思います。
試合前とはうって変わった
貴方の鋭い眼。
本能!
恐怖!
リングサイドで
貴方の眼を見ていると
ボクまでドキドキしてきました。
さあ、貴方の覚悟を
見せる時がきました。
プロへの変貌の時です。
「バコッ!」
強烈な"一撃"。
這いつくばりながら
虚空を見つめるボーク。
両拳を天にかざす貴方。
見事な勝ちっぷりでした。
その一撃は
プロとしての成功を目指し
もう後には引けないという
貴方の悲壮なる覚悟が
生み出した奇跡です。
たしかに貴方は
小川直也のような
柔道エリートではありません。
でも、でも、貴方には
プロへ天下ってきた
小川にはない
下から這い上がる
ピュアな男の色気が
身体全体に満ち溢れています。
そのハングリーさを
ずっと忘れないでください。
ハングリーな貴方の成功
そして挫折が
きっとファンを魅了するはずです。
貴方のファイナル・アンサー
しかと受け止めました。
(宗忠)

アレクVSメッツアー第2Rも またまた不透明決着!?

左額をざっくり切られてドクターストップになったアレク。メッツアーの手が挙げられているがなんだかすっきりしない後味なのである

▲試合後に救急車で病院へ直行したアレク。メッツアーのヒジ一閃は思いのほか深い傷となっていた

	メッツアー	アレク
モチベーション（闘志・気迫）	10	10
技術・戦略	9	4
KOスピリット	1	1
勝ちっぷり負けっぷり	0	0
全体的な印象・インパクト	5	5
合計	25	20

砂漠地帯はほとんど雨に縁がない。ところが、大会前日は晴れていたらしいが、試合当日は朝から雨がしとしとどころか、かなり本格的に降ってきた。

「キング・オブ・ザ・ケイジ7」が開催されたのは、砂漠の中にド～ンと建ったカジノの駐車場の特設屋外会場。ロサンゼルスのホテルから会場へ移動する時に、現地で雨が降っていることを知らされたが、ケイジの上には屋根があるから大丈夫と言われホッとしていた。だが、約2時間半後に着いた会場を見て驚いた。

屋根って言っても、お飾り程度のものでケイジの中は水浸し状態。さらに雨が降り込んでいたのだ。素人だって、こんな状況でVTをしたら、つるつる滑って試合にならないことぐらい分かる。

雨は一向に上がる気配がないどころか、どんどんひどくなっていった。さすがに延期だろう。雨の中のVTなんて聞いたことないし、見たこともないなんて思っていたら、お客さんがどんどん入って来るではないか。傘を差している人、かっぱを着ている人など席はちょっとずつ埋まり、開始直前には超満員になってしまった。

アメリカの観客は熱い。雨の中でもテンションは一向に落ちない。驚いたことにケイジの中がビショビショ状態の雨が降る中、試合が始まってしまった。

この日は土曜日。主催者も翌日が日曜日ということで延期も考えたようだが、予報によると翌日も雨。これではどうしようもない。まさかまさかの雨天決行で困った選手がいた。アレクである。まさか雨が降ると思ってなかったアレ

2・24★アメリカ
カリフォルニア州ソボバ・カジノ

メッツアーのコメント

「とにかく滑った。お互いがそうだったんだけど、悪いコンディションだったよ(笑)。でも、天候だけはどうしようもないからね。オーツカのほうが不利だったと思う。まあ、オーツカは再戦を望むだろうし、オレもそれを受ける準備はある。でも、オーツカは相変わらず予測できない闘い方をするね(笑)」

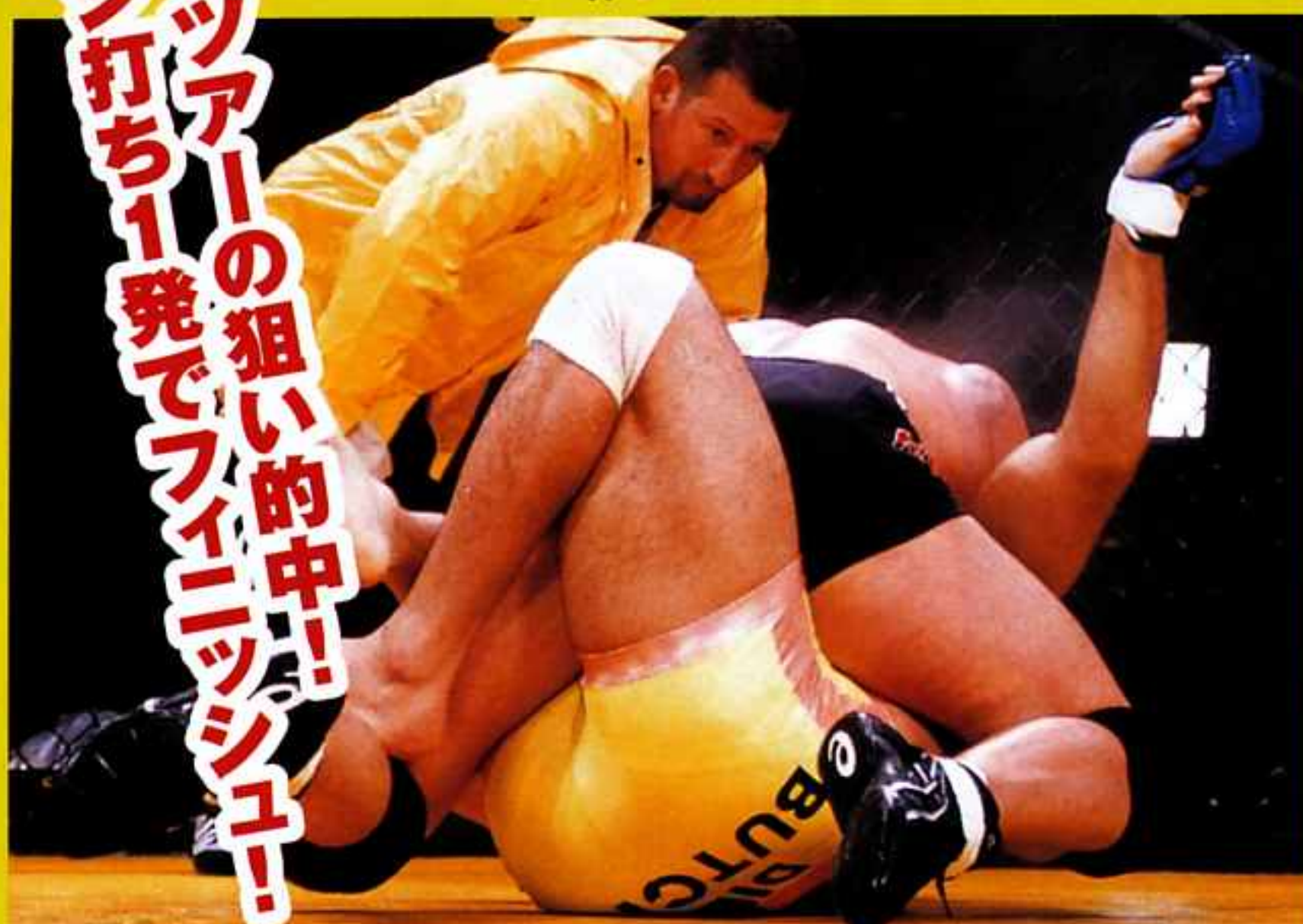
アレクのコメント

「(金網は)そんなにやりづらいとは感じなかったですね。逆にやれることの幅が広いというか。試合に関しては"いろんな状況を考えて"というのがなさ過ぎと言えば、なさ過ぎでした。例えば、レスリング・シューズを持ってきてどっちでも大丈夫なようにしておくとか、そういうところが適当過ぎだったかなと思います」

メッツアーの狙い的中！ヒジ打ち1発でフィニッシュ！

▼メッツアーがマウントの状態から狙いすましたヒジ打ち一撃！ メッツアーはカット狙いだった

◀すっかり膠着知らずな男になっているメッツアーは、前回の対戦同様にスタンド勝負。いいパンチが1発入った

▶雨で滑るので思い切った攻撃ができないアレク。セコンドについた島田レフェリーが「自分のペースで！ 無理しないで」と声を張り上げていた

▶もの凄い鮮血が流れ落ち、すぐさまドクターチェックが行われ当然のようにドクターストップになってしまった。え～、これで終わり……なの？

▼大会翌日に行われたサイン会でアレクの傷を満足そうに眺めるメッツアー。再々戦にも意欲的なメッツアーはしまいには「フォーエバーでもOK」とこちらがめげるほど泣かせるコメントを聞かせてくれた

「今度はドライなところで闘おう!!」(メッツアー)
えっ？アゲインってこと？

雨の中のVT……蹴ろうとしてもツルっ！

▶ケイジの中にまで雨が降り込んでいる状態で、裸足のまま蹴りを出すのはかなり勇気がいるが、アレクのローキックは唯一の有効打となった

★第9試合(5分2R)
○ガイ・メッツアー(2R1分53秒、ドクターストップ)アレクサンダー大塚●
〈アメリカ／ライオンズ・デン〉　〈日本／格闘探偵団バトラーツ〉

か雨が降ると思ってなかったアレクは、レスリングシューズを持ってきていなかったのだ。

普段、VTの試合で裸足で闘っているアレクにとって、この展開はまったく予想外のこと。でも、他の選手が持ってきているんだから、やっぱりこういうことも想定していないといけなかった。

ところが、こんな困った状況になっているにも関わらず、アレクは「雨はおいしい展開になる可能性があります」とニヤリとしている。

ガイ・メッツアーはアレクについて「オーツカはまったく動きが予想できない」と警戒していた。それもそうだろう、前回の闘いで秒殺KO負けを喫したアレクだが、あれはほとんどマグレの出会い頭で、アレクはまったく何もしていないからだ。

メッツアーは、この雨の状況でアレクがいつも以上に予想外のことをしてくるのではないかと、さらに警戒をしていたのだ。

でも、結果的にアレクにとって雨はおいしくもなんともなかった。裸足でつるつる滑って持ち味を出せず、最後もつるっと体が滑ってメッツアーにマウント状態にならされ、狙いすましたヒジ打ちでざっくり額を切られてドクターストップ負け。あちゃ～、なんでこうも相変わらず不透明な結末になっちゃうのかなぁ。

でも、でもなのである。

この2人の試合は妙な味があるのだ。この味ってなんなんだろう。おそらく2人の間にある両極端なモチベーションの高さのせいではないか？ 試合はかみ合わなくて

癒し系ファイター・安田忠夫
アレクのセコンドで大活躍!?

▲アレクが控室から出てきた。横にぴったり付く安田。そうだ、今日はセコンドとして来ているのだ。カジノではない！　タオルと水をしっかり持って準備万端！　この後、アレクがケイジに入ってすぐに「水、水」と叫び、安田は左右のポケットをまさぐり必死に水を探してケイジの中へ投げ入れていた。そのしぐさを見ているだけでこっちは癒されてしまう

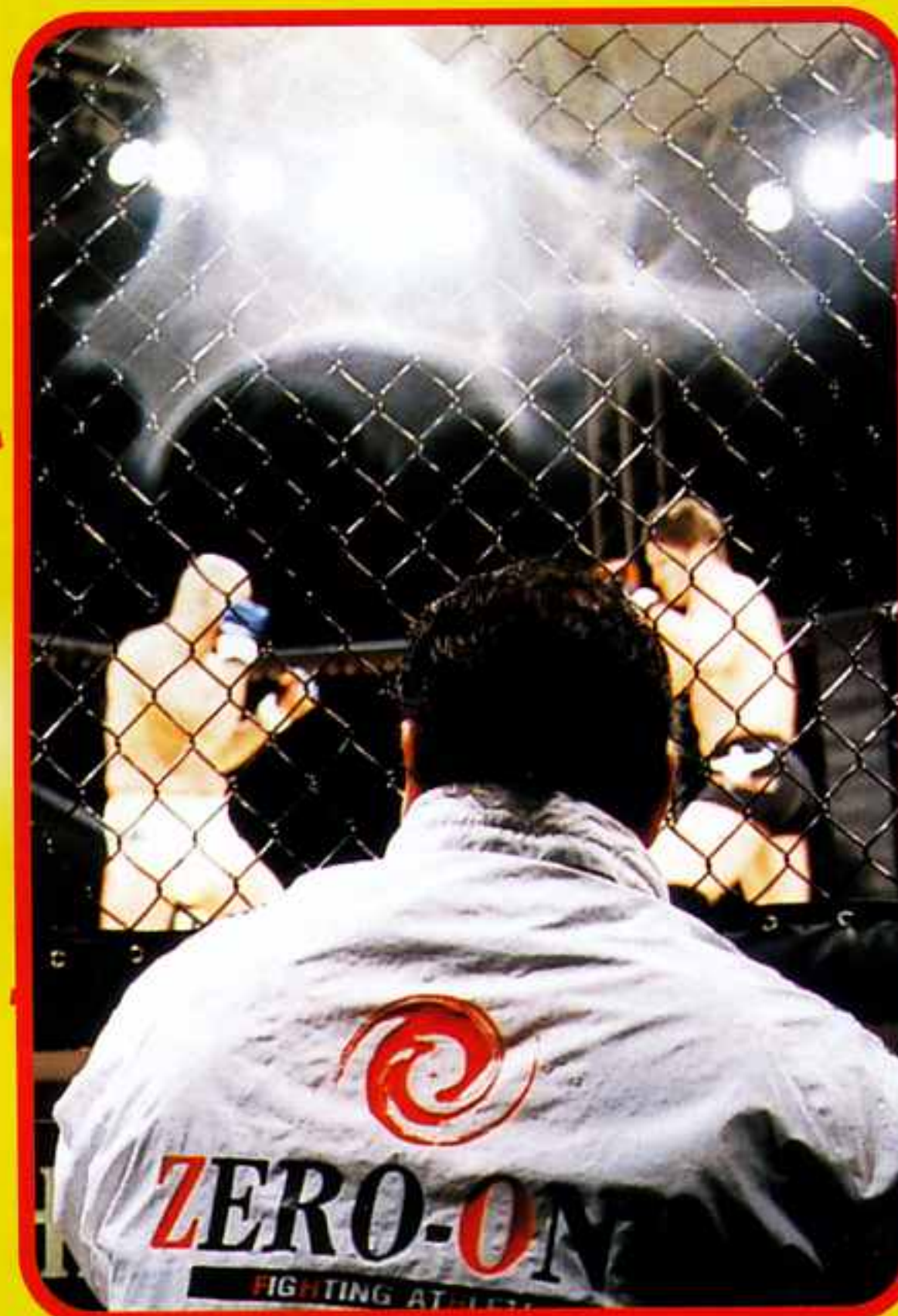
▶安田に言われたとおりに金網を撮ろうとしたが、安田の体がデカ過ぎるのと、金網まで遠すぎてうまく撮れなかった。ガッカリ……

▲大会が始まって数試合進んだ頃に、我が編集部の女性陣の間で癒し系ファイターとして抜群の人気を誇る安田を発見！　癒されたい一心で安田に近づきシャッターを切る。すると安田がこっちを向き一言。「俺はいいからさぁ、金網撮ってよ、金網！」。ムムム、金網ですとぉ！　素敵すぎるゾ、安田！

▲バックステージ付近でアレクの出番を待っている時に、なぜかビタミンを売りつけられそうになっている安田。でも、英語で言われていたから分からないはずなのに安田は堂々と笑顔で断っていた。ここで金を使うくらいならもちろん、カジノで使ったほうがいいもんね。ちなみに、このビタミン売りのおじさんは、桜庭にも売りつけようとしていた（桜庭も断った）

▶こちらも出番前のヒトコマ。セコンドとしてはしっかり時間を知らせるのも重要な任務。安田の手にはストップウォッチがしっかり握られ確認をしていた。だが……試合が始まってた直後に同じくセコンドについていた島田レフェリーに「ストップウォッチが動かない」と訴える安田の姿があった。この大会はレフェリーがだが、もちろん英語。安田は時間の経過を伝えてくれるレフェリーが時間を告げ、それを島田レフェリーが日本語で伝えた後に、時間差で叫んでいた。この間、すでに時差は10秒以上はあるはず。安田、最高っ！

▼アレクの試合を見つめる安田。安田の目には、金網が、そしてＶＴの試合がどう映っていたのだろうか？

▶不透明決着の末に敗れてしまったアレク。試合後、引き上げようとする安田がキッとカメラをにらみつけた。この後、コメントを求めようと安田を追いかけると「コメントは後で、後で」と言ったきり、どこかへ消えてしまったのでコメントはなし。おいおいおい、まさか会場横にあるカジノに行っちゃった……わけないよね

▲厳しい表情でアレクの試合を見つめる安田。その指示は「落ち着け！　落ち着け！」の一点張り！　素敵だ、安田っ！

も、モチベーション対決の部分でしっかりかみ合ってしまう。だからＰＰＪ的にはモチベーションは10対10である。

アレクのモチベーションは、お客さんを沸かせたいという一点集中型のものだ。それに対して、メッツアーのモチベーションは、ここ最近の試合では膠着打破を自ら計っているが、アレクのように客を沸かせるというまでには至っていない。

今回の試合だって、フィニッシュはお客さんに伝わりにくい地味なカット狙い。メッツアーはヒジを決めた時に、セコンドに向かって「どうだい？」という表情を見せたそうだ。それに対してセコンドは「よ〜し、やったぞっ！」と喜んでいたらしい（この話はアレクの目撃談です）。

この妙なモチベーションの高さ。恐るべし、ライオンズ・デン軍団である。

試合後コメントをしていたアレクに「今度はドライなところでやろうなっ！」とメッツアーが声を掛けてきた。えっ？　それってアゲインってこと……？　また、アレクとやるって言うの？

そして次の日。前日の我が耳を疑ったあの言葉を確かめようと、サイン会に来ていたメッツアーに「また闘うの？」と聞いてみた。

すると「もちろん！」と答え、「フォーエバー！」とまで言った。フォ、フォーエバー……？

このモチベーションの高さは何？　いったい、何戦やれば気が済むの？　でも、もし再戦が決まったら何気に見たくなるんだろうなぁ……あ〜、恐ろしっ！（石黒）

2・24★アメリカ
カリフォルニア州ソボバ・カジノ

桜庭の後輩・今村、ホロ苦デビュー！
相手のアレックスがサクを挑発！

▼今村のセコンドに就いた桜庭は「仕方ないですね。こういうのは若いうちにしか経験できないからいいんじゃないですか」とコメント

▲試合後に「サクラバ！　サクラバ！」とマイクアピールを始めたアレックス。桜庭は一切無視して今村と引き上げた

▶雨でマットが濡れてるため、得意のタックルに行けない今村。最初はお互いに見合う場面が続いた

▶最後はアレックスのパンチを浴びてタップしてしまった今村

▲プロデビュー戦はホロ苦い結果となった今村は「気持ち良かったですよ、殴られて(笑)。一発いいのをもらって効いちゃって、それから全然分からなくなっちゃいました。練習が全然足らなかったですね。3カ月くらいしか練習してなかったんで。（プロの世界はどうですか？）……う～ん、結構引いちゃいましたね(笑)。まあ、これから、いろいろと課題があるから」とコメント。ここからどう巻き返してくるか？

髙田道場期待の新鋭・今村雄介はデビュー戦から厄介な相手との対戦になった。相手のアレックス・アンドラデは今村がチーム・サクラバの選手と聞いて試合をOKしたらしい。アレックスの狙いは今村を倒して、桜庭との対戦にこぎ着けるためのものだった。今村はそこはなんとしても阻止しなければならなかった。だが、試合当日は雨が降ってマットが滑るなど、コンディションは最悪。今村はデビュー戦の緊張からか、レスリングがベースでタックルから殴るという得意な攻撃ができないなど、最悪の状況で試合をしなければならなかったのは不運だったかもしれない。結局、自分らしさをアピールできないままアレックスのパンチの連打を浴びてしまいタップ。アレックスに桜庭戦アピールを許してしまった。試合後にプロでやっていくことに対して「ちょっと引いてしまった」と言った今村。果たして、どれだけ気持ちを入れ替えて2戦目を迎えられるだろうか。同じデビュー戦だった大山とは対照的な結果だった。

★第7試合（5分2R）
○アレックス・アンドラデ（1R2分47秒、KO勝ち）今村雄介●
〈アメリカ／ライオンズ・デン〉　〈日本／髙田道場〉
※パンチの連打

主な試合ダイジェスト

▶セミファイナルに登場したピート・ウィリアムスは、リック・マジスと対戦。1R終了ゴングと同時にグラウンドの状態で、上になっていたウィリアムスのヒザ蹴りが顔面に直撃し、マジスは戦意喪失。セコンドがタオルを投入してウィリアムスの勝利となった

▶メインで行われたKOTCヘビー級タイトルマッチに登場した王者・リコは、チャンスがありながらもなかなか極められず、ポール・ブエナテロのパンチで顔を腫らすなど苦戦したが、最後は2R4分16秒、ヒザ十字固めで一本勝ちした

▶試合後、マジスのセコンドに就いていたデュセル・バットが、ゴングが鳴った後の攻撃として「ノーコンテストだ！」と大騒ぎしていたが、微妙なタイミングだった

▶タイトル防衛を果たしたリコを祝福するティトやケアーたち

安田忠夫 後編 interview

安田忠夫のフェイクなし人生を読めぇぇぇ！

“『プライド』に出て、家族を取り戻したい！”

聞き手◎“Show”大谷泰顕
撮影◎乾晋也（インタビューカット）
猪木事務所（ＬＡ写真）

『プライド13』で佐竹雅昭との対戦決定！

前号のインタビュー前編が大反響だった安田忠夫。後編では、さらに突っ込んでバクチ、借金、離婚についての真相を赤裸々に語ってもらった。「全てを失ってやっと気が付いた」「今は『プライド』一本。『プライド』で結果を残して家族を取り戻したい」。“フェイクなしの人生を送る”安田は、他の選手とは違う意味で『プライド13』の隠れメインイベンターだ。

相撲VS空手対決

大きい声で言えることじゃないけど俺がやってないバクチってドッグレースくらいだよ

—素朴な疑問として、バクチで借金が膨大な額になったって聞きますけど、どんなバクチをしてそうなったんですか？

安田　それはいろいろですよ。僕の場合、趣味がほとんどバクチだから。

—すみません。僕は賭け事をやったことがないので分からないんですよ（苦笑）。だから教えてほしいんですけど、バクチっていうと、競馬とか競輪とか、パチンコとか、日本にある賭け事っていうとそれ以外は何があるんですか？

安田　いや〜、そんなのは、大きい声で言えることじゃないですよ（苦笑）。たぶん、俺がやってないバクチって、ドッグレースくらいじゃないかと思いますよ。

—ドッグレース（苦笑）。じゃあ日本でいうと、ありとあらゆるバクチをやり尽くしたと。

安田　そりゃあ今まで三十何年間生きてますからね。

—だけど、安田さんがバクチやってると、身体が大きいから目立つじゃないですか。

安田　いや、そんなことないですよ。たとえ目立ったって、みんな目的が違うじゃないですか。そりゃあ「デカいヤツがいるな」くらいは思ってるでしょうけど、周りの人も目的はバクチなんですから、目立とうが目立つまいが関係ないじゃないですか（笑）。

—一攫千金を目指してるわけですからね。

安田　あとから「お前、またそういうところに行ってたろ」とは言われたりしますけど（苦笑）。

—ちなみに安田さんの好みはなんだったんですか？

安田　バクチですか？　競輪ですね。

—競輪。

安田　あとは○○とか。

—へえ〜。どのくらいスっちゃうんですか？

安田　持ってるだけ。ある時は100万とか200万とかもありますしね。

—そんなに！　じゃあ勝つ時はいくらぐらい勝ったりするんですか？

安田　勝ったことはないですよ。だって24時間やってるし、面白いもんで人間て50万くらい勝っても、スッと帰っちゃうけど、負けると追いかけるじゃない。

—それで、いつのまにか200万円になっちゃうと。

安田　銀行も24時間開いてるしね（苦笑）。それによって借金ができて、それとともにプロレスも停滞して（苦笑）。不満もあったし。結局、ホントは身体もあるんだから、鍛えてアピールしていけばいいのに、そうなると楽なほう楽なほうを求めるじゃないですか。ひと山当ててとか（笑）。そのほうが楽じゃないですか。金の返し方として。

—そうかそうかそうか。

安田　だけど、気が付いたら右も左も行けないような状態になってて（苦笑）。

—借金の取り立てに来られたりもしたんですか？

安田　いや、それは来ないですよ。周りの人から借りたりもしたけど、それは新日本の人がどうにかしてくれましたしね。で、新日本にも迷惑かけたりして。

—そういえば昨年の一時期、内臓疾患という理由で戦列を離れていましたよね。

安田　ああ、はいはい。

—それも猪木さんが「安田は金がナイゾウ疾患」って、借金取りから逃げてるみたいな話をバラしてましたけど（苦笑）。

安田　ま、その後に一度、新日本に戻ったんですけど、それでも前が見えない状態ですね。みんなは「1、2年頑張れば、すぐに普通の生活に戻れるんだから」とは言ってくれますけど、明確なものは出してはくれませんよね。あんまりこういうことは言いたかないんだけどね。

—というと？

安田　だって新日本からすれば、「あれだけしてやったのに」って言いたくなりますからね。でも、一番困ってる時に手を差し延べてくれたのが橋本さんであり、猪木さんですよね。で、橋本さんは自分も悩んでる時期だったし、「対新日本という部分で、俺よりも猪木さんのほうがいいだろう」っていうことでね。会長の大きさはみんな知ってますからね。だから会長を隠れミノにして、好きなことをやってるんですよ、ガハハハハッ！

—隠れミノにして（笑）。

安田　そしたら会長は「何もしないで流されてるよりも、いろんな方法はあるんだから、やってみないか」って。そう言われればついて行くしかないじゃないですか（苦笑）。

—そうなりますよね。

安田　会長は「お前なんか、身体もあるんだから、もっと身体を生かしてやれば、お前の借金なんてたいしたことはないよ、俺のと比べれば」なんて言ってくれると、会長の借金がいくらあるのか知らないけど、「お前の借金なんかカワイイ、カワイイ」って言ってますからね。だから会長

LAボクシングジムでは『プライド』参戦のため、猪木会長の指導の元、ショーン（右端）＆ジャスティン・マッコリー兄弟をパートナーに、トレーニングに取り組んでいる

後編 interview

去年の藤田クンの例もあるけど
その二匹目を狙ってるのが俺かな、ガハハハハッ！

といると、ホッとする部分もあるし。そういうことは橋本さんも言っていてくれたんですけど、こっちに来る前に橋本さんから「猪木信者になって帰って来い！」って言われたんですけどね（笑）。

――猪木信者になって（笑）。

安田　そう言われると、な～んだ、借金なんてちっぽけなことかな？　と思えるようにもなりましたし。

――借金っていうと、億単位のお金なんですか？

安田　俺、そこまではいってませんよ！

――じゃあ猪木さんからすれば、ホントにカワイイもんなんでしょうね。

安田　そうでしょうね。もうちょっとあったら、俺は今頃、ここにはいないかもしれないけど、ガハハハハッ！

――そんな（苦笑）。

安田　今回だっていなくなろうと思ったこともあったけど、いなくなれなかったから。そういう逆境を踏まえて、一度は新日本に戻ったけど、「このままじゃなあ……」っていう状態だったから。それが去年の暮れあたりですね。で、大晦日に小川（直也）戦を組んでもらったら、ボロばっかり出て（苦笑）。このままじゃいけないな、と思ってるところで、会長が「やる気があるならロスへ来い」ってことで、喜んで！　っていうのが本音です。だから今は新日本との契約の問題も保留になってますけど、とにかく今は猪木さん預かりの立場で、周りが何を言ってきても平気なようにしてあると。去年だと、藤田（和之）クンの例がありましたけど、その二匹目を狙ってるのが俺かな、と、ガハハハハッ！

――二匹目のドジョウを。

安田　この後どうなるのかは自分にも分かりませんし。べつに僕は普通のサラリーマンじゃないですから、これから『プライド』で結果を残してっていう「夢」を持ってもいいかな？　と思ったりもしますし。

――いや、でもそうだと思いますよ。

安田　まあ、こういう言い方をすると、語弊があるけど、身体で稼ごうと思えば稼げるわけですよ。だから結果を出していけば……って考えると、それを出すにはどうすればいいかっていうと、練習しかないわけですよ。だからいい言い方をすれば「猪木さんに助けてもらった」ですけど、悪い言い方をすれば「猪木さんにすがっている状態」です（苦笑）。でもそう言われても会長の場合は、全然気にしないで面倒を見てもらえるんで。あとは会長が決めてくれれば、そのとおりやるし。

――実際、見ているほうとしてはそういう波乱に富んだ人生のほうが面白いんですけど、やってる本人としては大変でしょうね。

安田　いや、そうでもないですよ。

――あ、そうなんですか。

安田　あんまり苦しいと思うと、何もできないから。それに、あんまりチャンスはないと自分でも思ってますからね。だから好きなようにやりたいと思ってますよ。

――でも、今の世の中で、そういう無頼派人生を歩んでる安田さんみたいな人は貴重な存在ですよね。

安田　いやあ、決して自慢できる話じゃないですよ。人に言ったら「バカじゃないの？」っていう話ですよ、ガハハハハッ！　普通はもっと若いうちにそのバカさ加減に気が付いて、もっと真面目になるんだけど、僕の人生はずっとそうやってきてるから、全て失ったんですよ。でも、全て失って、やっと気が付いたと。それが今の現状ですよ。そんなバカな人生をずっと送ってきましたよ。ま、そん中にも幸せは何個かあったけど。そういうものを全てなくしてきたんですよ。

――いやいや、これからのし上がっていけば、全然いい話として残るんですもん。

安田　のし上がっていけばいい話ですけど、のし上がれなかったらただのバカ。

――その部分でも「挑戦」なんですね。

安田　いくつになっても人生は「挑戦」しないと…とか言って、ガハハハハッ！

――猪木信者に近づいてますね（笑）。

安田　まあ、言葉じゃいいことを言っても、内心はヒヤヒヤしてるんですから。だって思うよ、俺だって。俺らぐらいの年齢になったら「普通の生活をしたいな」って。家族があって子供がいたら、それで十分じゃないですか。だって今まで家が建つくらいのお金も稼いだわけだし。それも右から左に行っちゃってね。そり

どん底から這い上がるため、無心にトレーニングをする安田。必死な顔もちょっとラブリー♥

練習の合間に見せる笑顔はサイコー！！
25日は安田の笑顔を見に行こう

自分がバカなことをしなければ家族もいたのに……やっぱり取り戻したいと思うわけですよ

やあ女房がこぼすのも分かるよな（しみじみ）。

——分かりますか。

安田 時折言われる言葉も響いてたよ。「お父さんがちゃんとしてたらねえ。家ぐらい買えてたのに」って（苦笑）。

——そう言われて、安田さんはなんて答えてたんですか？

安田 その頃はまだ強気だったからさ、「大丈夫だよ。これよりも大きな家を建ててやるからさ」なんて言ってたけど、今じゃあなんにもない、ガハハハハッ！

——実を言うと、2年前にインタビューをさせてもらった時に、「実は昨日、離婚届けを出して来たばっかりなんですよ」って言われて、生々しすぎて書けなかったんですよね（苦笑）。

安田 ああ、そういうこともありましたね。結局、仕事がうまくいかないと、ファミレスに行ったって、家族連れがいるわけですよ。それを見ながら「自分がバカなことをしなければ、家族もいたのに」って思うわけですよ。そしたらやっぱり取り戻したいと思うわけですよ。そこで、ある程度の小金を持ってれば、「じゃあバクチで増やそう」って思うじゃないですか。

——あ、そこで「仕事」じゃなく「バクチ」に行っちゃうわけですね（苦笑）。

安田 唯一の趣味だから（笑）。今は『プライド』一本ですけどね、ガハハッ！

——ちなみに、子供さんとは全然会ってないんですか？

安田 いや、子供はこっちに来る前に久々に会ってくれましたよ。

——久々に。何歳になったんですか？

安田 えーっと、いくつだっけ？ 13歳か。もうすぐ14歳になるんですよ。早生まれだから。

——じゃあ中学1年生ですか。

安田 中学2年ですね。4月に3年になるんですよ。女の子なんですけどね（デレデレ）。

——だったらもういろんなことが分かっている年頃ですよね。

安田 全部分かってると思いますよ。バアさんが「み～んなあんたの父親が悪い」って言ってるみたいですけどね（苦笑）。でも、自分の娘だからそう言われながらも、それだけを信じてはいないだろうなと。ただ、俺からは直接連絡は取れないんです。

——あ、そうなんですか。

安田 ええ。だからそういう連絡は全部橋本（真也）さんの奥さんがしてくれてるんですよ。僕には信用がないんで、向こうの家庭に連絡を入れることは許されないんですよ。

——それは、ホロッとくる話ですね。

安田 いや、ホロッとくる前にバカをやらなければそういうことにはならないっていうのが前提にないとダメなんです。今は「夢」があるからこうやって話せますけど、ちょっと前まではかなり落ち込んでましたよ。

——ぜひ、娘さんのためにもバチッと勝って、実際にその姿が見れなかったとしても、話として人伝に聞かせてあげたいですよね。

安田 ですね。会場には来てほしくはないですけどね。要するに勝っても負けても見せたいですけど、女の子だから。そういうのはあんまり見せないように、普通の女の子として育ってほしいから。

——波乱に富んだ人生は親父だけでいいと。

安田 自分がそういうことをやってますから、娘は普通の幸せを掴んでほしいですね。

——いい話だなあ。

安田 結婚相手も公務員かなんかを探してね。

——公務員ですか（笑）。

安田 親父がバカだから、できればそういう堅実な相手を探して。でもまあ、自分が言えた義理じゃないんですけどね。

——いやいや、奥さんとは縁が切れても、子供はいつまで経っても子供であることに変わりはないわけだから。

安田 それは離婚する時の裁判でも言われましたからね。「子供は親を選べませんからね」って、ガハハハハッ！

——いやあ、それは僕も身につまされる言葉だなあ（苦笑）。

安田 え？ なんで？

——いやいや、僕のことはいいんです…。でも、ガ然、安田さんに親近感が増してきましたよ。ぜひ頑張ってください。

安田 頑張りますんで、応援よろしくお願いします。■

まずはじっくり見てみ、この表情。
この顔見せられたら応援したくなっちゃうよね

フランス『KARATE・BUSHIDO』誌提携
SRS・DX
スペシャル・リング・サイド
No.42 3・22&4・12合併号

CONTENTS

※印刷工程の都合上、目次の内容やページが異なることがございます。予めご了承ください。

表紙デザイン◎梅村あゆみ

ボクシング側から見たタイソンVS.小川戦を読めぇぇ!

猪木さん、石井館長……本当にこんな野獣をプロモートできますかっ？

聞き手◎谷川貞治

©ユニフォト・プレス

K—1、猪木プロデュースの「タイソンVS小川戦発表」といった一連のタイソン異種格闘技戦話を、果たしてボクシング側の人間はどう見ているのか？　そこで、本誌でもライターとして活躍する、ボクシング記者歴20年のベテラン宮崎正博氏に、ボクシング側から見た「タイソンVS小川戦」について聞いてみた。そこで出てきたのは、あらためて知る驚愕のタイソン人間像だった——。

——猪木さんが突然、「タイソンVS小川直也戦決定」というカードを発表したんですけど、これに対してボクシング側の人間がどう思っているかということで、ボクシング・ライターとして20年以上活躍されているベテラン記者・宮崎さんに今日はお話をうかがおうと思っています。それで、実際のところ猪木さんがタイソンVS小川戦を発表してからのボクシング界の反応っていうのはどうだったんですか？

宮崎　もちろん、今のところは実現するわけないだろうっていう意見が大半ですけどね。実際、イギリスで2回タイソンが試合した時も、薬物使用の問題で、入国するだけでもあれだけモメたじゃないですか。結局、政府の特別処置かなんかでなんとか実現したんですけど、3カ月か4カ月でできるわけがないという意見の人が多いですね。

——入国するのも大変？（笑）。

宮崎　ただの選手じゃないですからねぇ。でも、僕も気になっていろいろ情報をとったんですけど、一部の人の中には、まったくの絵空事の話じゃないという人もいますよ。

——絵空事の話じゃない？　というと、タイソンの周辺で、そういうことで動いている人はいるということですか？

宮崎　いてもおかしくないです。でも、それも確かなことじゃない。タイソンの周辺にはいっぱいタイソンでビジネスしようという人間がいますから。特にドン・キングと離れてからは、タイソンを上からガッチリと押さえつけるプロモーターがいなくなりましたから、余計にそういう状態なんですよ。今のところ、ボクシングの興行権はシェリー・フィンケル氏が持っていると思いますけどね。

——あの～、猪木さんが「タイソンVS小川戦」を発表してから、タイソンの代理人シェリー・フィンケル氏から、「そんな試合はやらない！」という否定のコメントが発表されたんですけど、このフィンケル氏はどういう人物なんですか？

宮崎　フィンケル氏は元々音楽プロデューサーを務めていた資産家で、大のボクシング・ファンの人なんですよ。それで、リディック・ボウという選手を抱えていたりした。タイソンとの関係は、タイソンの物心両面でバックアップをしている人で、タイソンの資産を管理したり、投資したりしているオーナーみたいな人なんですよ。だから、シェリー・フィンケル氏が「ノー！」と言えば、かなりの確率で実現は難しくなったと言わざるを得ませんよね。タイソンにとって、影響力が一番大きいのはたしかですし、フィンケル氏はやっぱりレノックス・ルイスとの一戦とか、タイソンにはボクシングをやらせたいでしょう。

——う～ん、そうかぁ。

宮崎　ご存知のように、タイソンは昨年の10月のアンドリュー・ゴロタ戦の時に、義務づけられている試合後のドーピング検査を拒否したじゃないですかぁ。そのため、ミシガン州のコミッションからライセンス停止処分を食らってるんですね。それで、全米で試合ができなくなっているし、海外でもダメ。ということで、その処分が解ける4月からの活動になりますけど、まだスケジュール的には確定していないんですよ。フィンケル氏の計画では5月に闘いたいというだけ。コンディション的な問題もあるし、ああいう性格ですから、これまでに何度も直前になってキャンセルしている前科がありますからね。そういう状況の中で、話はあったんじゃないですかねぇ。

タイソンの「ある一日の買い物」を見たら、1日で車5台買って、宝石2000万円分買ってたんですよ

——タイソンの周りには、そういう話を持ってくる人がたくさんいるんですか？

宮崎　だから、オファーがあれば考える環境はありますよね。もう、どんどん試合をやって借金を返さなきゃいけない状態なんで（笑）。

——借金！　借金って、タイソンはどのくらいあるんですか？

宮崎　あ？　これは想像の域を出ませんけどねぇ……。この前、タイソンの「ある一日の買い物」っていう記事が出たんですよ。それを見たら、1日のうちに車5台買って、宝石を2000万円分買っているんですよ。ビックリしましたよね（笑）。

——そ、そ、そんなにぃ？

宮崎　もちろん、それは極端な例かもしれないですけど、イギリスでも2000万円か3000万円する宝石を買って、それを全部プロモーター持ちにしたら、プロモーターが「そんな覚えはない」っていって訴訟沙汰になったって話もありますからね。今まで200億円くらい稼いでますけど、ほとんど残ってなんかいないんじゃないですか？

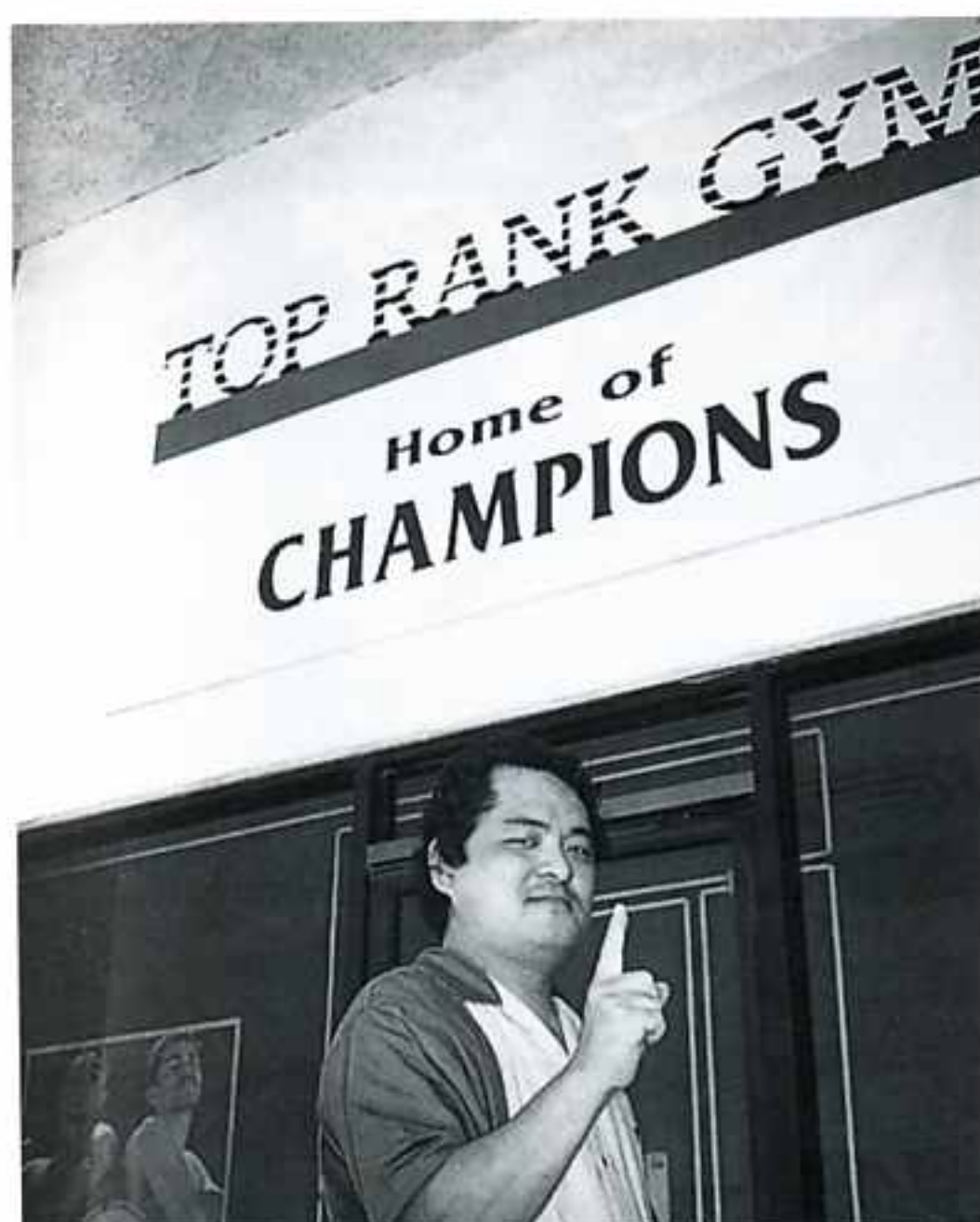
——フ～、目まいがしますねぇ。女性関係でも、結構慰謝料取られていると聞きますけど……。

宮崎　最初の夫人のロビンさんに、慰謝料としてあらかた持っていかれた分もあるし。認知している子供でも、分かっているだけで数人いますから。正確には今、資料がないから分からないですけど、女性への暴行事件も含めると、かなりの金額を支払っているんじゃないですか？

——というと、タイソンはこれからもずっと、リングで闘い続けなくちゃいけないじゃないですかぁ？

宮崎　そりゃあ、引退したら経済状態は破綻しますよ。

——かぁ～。

宮崎　もう彼は一生働き続けなきゃいけないんでしょうね。他のボクサーと違って講演活動ができるわけじゃないし、慈善事業ができるわけでもない。いろんな事業も、自分ではできないでしょうね。

▲辰吉丈一郎やイベンダー・ホリフィールドが練習したラスベガスの一流ボクシング・ジム「トップランク・ジム」の前でカメラに収まる宮崎正博氏。宮崎氏は『ボクシング・マガジン』で長年記者を務めた後、フリーのライターとして活躍中。本誌にとっても心強いボクシング担当者だ

そうなると、今言われているイメージでは、リングに埋没するしかないんじゃないかという気もしますね。かわいそうですけどね……。

――いやぁ、話を聞いていると、ますます人間タイソンに興味が出てきますねぇ。タイソンってどういう人間なんですか？

宮崎　よく言われるエピソードっていうのは、タイソンは子供の頃、鳩をたくさん飼っていたんですよね。それで、非常に内向的で、お姉さんっ子で、家から一歩も出ないような子だった。で、その鳩が友達に殺されちゃったんですよ。それで彼が怒って、そいつらを全員ぶん殴って、初めて自分に特別な力があることを知ったんです。それからタイソンは、不良の道に走って、36回も補導されて鑑別所に入れられた。そこで運良く出会ったのが、カス・ダマトなんですね。

――タイソンを鉄人にした名トレーナーですね。

宮崎　そうですね。鑑別所の看守がたまたまカス・ダマトの教え子だったんですよ。それで「凄ぇヤツが来た」ということで、カス・ダマトに紹介し、タイソンに非凡な才能を見たダマトは、すぐに気に入って養子縁組してもらったんです。だから、2人は親子関係になったんですね。それから、タイソンを出所させて、高校に入れてからボクシングを教えたんですよ。

――そのカス・ダマトが死んでから、タイソンが今のように荒れたり、コントロールができなくなったとよく言うじゃないですか。それからのタイソンの性格っていうのは、やっぱり狂暴なんですか？

宮崎　あの〜、結局、鬱病なんですよ。誰でもそうですけど、ボクシングの世界チャンピオンって、全部彼のお金で何十人ものスタッフが食べているわけじゃないですか？　だから、王様なんですよね。そのスタッフに対して、タイソンは心から信頼しきっていない。彼はマネージャーに、自分の幼馴染みなんか連れてきたりするんですが、そんな人たちとも今はケンカ別れしたりして、そのくらい孤独なんですよね。

――ああ、なるほど。

宮崎　だから、東京ドームで負けたダグラス戦の時も、最も信用できる人が日本人のカメラマンで、その人だけをホテルの自分の部屋に入れて、一晩中その寂しさについてしゃべっていたというエピソードもあるんですよね。本当の意味で、タイソンを癒してくれる人はいないんじゃないですか？

――ああ、よくタイソンはキレると言いますよね。

宮崎　もの凄くキレやすいでしょうね。話で聞く限り。エピソードなんて、数えきれないくらいありますね。刑務所に入っている時も看守を殴ったり、駐車場の守衛の人を殴ったり、それからドライブしてて後ろからクラクション鳴らされたら、そのまま降りて殴ったとかね。やっぱり、それはタイソンの一部なんですけど、精神状態はかなり不安定な人間ですよね。

――それが鬱病なんですかぁ……？

宮崎　そんなことがあって、薬物の乱用が違反になるからって、ドーピング検査を拒否しているんじゃないですかね。鬱病だから、かなり乱用しているという噂ですね。日本で試合をする場合も、そのへんがまずネックになるでしょうね。

――薬物って、マリファナ疑惑って報道されていますよね。

タイソンの精神構造を考えると、プロレスは絶対にできませんよぉ

宮崎　いやぁ〜、マリファナというより今問題になっているのは、抗鬱剤とか精神安定剤っていう話はありますねぇ。

――こりゃあ、プロモーターの人は大変ですねぇ。

宮崎　いや、だからですね。もし仮にいつかタイソンVS小川戦が実現するとして、それがプロレスかどうかの議論をするなら、僕だけじゃなく、ボクシング関係者の人は「タイソンにはプロレスは絶対にできない」と思っていますよ。

――プロレスはできないっ！

宮崎　絶対にできないでしょ！　相手のうまさを引き出すのがプロレスの条件だったとしたら、そんなこと考えられるわけがない。どうにかして、それをやらせようとしても無理ですよ。キレて、本当にヤバイ状態になるか「あ〜、やってられない」って言って帰っちゃうかもしれないですね。

――じゃあ、決まった時点で今まで見たこともない壮絶な内容になりそうですね。興奮するなぁ。

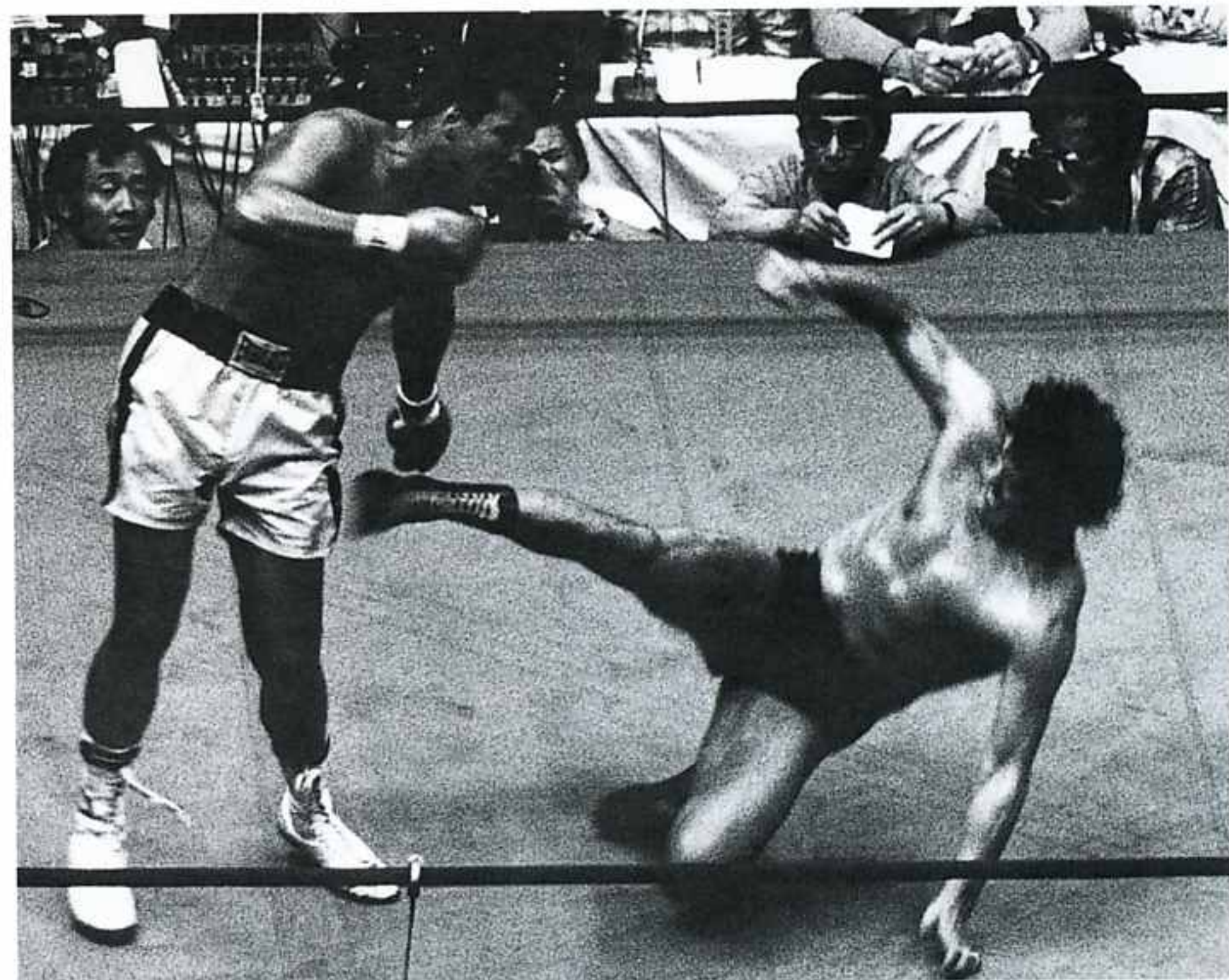
宮崎　う〜ん、だからさすがにグラウンドになって、殴りかかっていて捕まったら絶対ダメだっていうのは分かっているでしょうから、たぶん「打ち合いにならない」って怒って、レフェリーかなんかをブッ飛ばして帰ってくる可能性が強いんじゃないですかね。ちょっと本気で考えたことないですけど……。

――ああ、ボクシングの入場の時でも、相当テンパッた表情してますもんねぇ。

宮崎　そうでしょ。凄い入り方ですよね。それも抑える人が誰もいないんですよ。今ついているセコンドにはジェイ・ブライトっていう人がいるんですけど、この人なんかボクシングは何も知らないんですよ。

――えっ？　それはどういう意味ですか？

宮崎　いや、だからこの人は、カス・ダマトのアパートで、一緒に少年時代を過ごした仲間なんですよ。そういう人がセコンドにいるというのはね、もう精神的なものなんですよ。

――でも、タイソンは一度、WWFでレ

▲25年前に行われた猪木VSアリ戦は、「アリがボクシングから一歩も出なかった真剣勝負だった」と宮崎氏は語る

フェリーをやってますよね。

宮崎 ああ、タイソンは元々、プロレスファンですから。

——えぇっ!? プロレスファンなんですか？

宮崎 大好きですよ。だから、タイソンがボクシング以外のリングに上がる可能性がまったくないってことはないんですよ。WWFに上がった時も、もうはしゃいでたらしいですからね。あの時も、胸のあたりだったんですけど、かなり本気で殴ったらしいですけどね。

——へぇ〜。

宮崎 でも、いざ試合となったらやっぱりレフェリーとは別ですよね。だから、タイソンとアリでは全然違いますから。

——宮崎さんみたいなボクシング側から見た猪木VSアリ戦の話は面白いですね。

宮崎 あの猪木と闘った時のアリっていうのは、自分がままならない時でも、全体を見渡せる広い視野を持っていることが十分伝わってきたでしょ。でも、タイソンは一点に集中して、周りが見えなくなっちゃうタイプ。それがキレるということですよね。つまり、猪木VSアリ状態になんかなった時点で、アリにはもう打つ手がなかったんですよ。それでも、アリは15R闘い続けた。タイソンなら、間違いなくキレて帰りますよ。

——ああ、なるほどね。

宮崎 あれがアリの誠実さだし、プライドなんですよね。僕はあの15Rのアリの必死な姿を見て、明らかにこれは真剣勝負だって思ったんです。なぜかというと、アリはあそこでボクシングの枠から一歩も出なかったからです。猪木戦の前にアリは、試運転としてプロレスの試合を2試合ほどやってますけど、もっとプロレスっぽい技を自分でもいっぱいやってているんですよね。でも、猪木の時は全然できなかった。本当はアリは最初、そういう気持ちじゃなかったのかもしれないけど、猪木がアリをそういう試合に追い込んだんだって思いますけどね。

——あの時、アリは最初からボクシングをやろうとして、できなくても最後までスタイルを崩しませんでしたからね。

宮崎 アリの場合は、そういう状況になっても、自分がどうあるべきか、客が自分に何を求めているのか、ちゃんとスーパースターとして考えられる。ところが、タイソンの場合は、報道されているような精神状態だったら、まったく周りが見えなくなりますからね。それは無理。猪木VSアリ戦のような試合は、タイソンには絶対にできないと思いますよ。

©ユニフォト・プレス
▲圧倒的な孤独と無頼。こんなファイターは他のジャンルにまったく存在しない！

タイソンは元々、プロレスファン！ でもアリとはまったくタイプが違いますからね

——面白いなぁ。

宮崎 だって、タイソンはボクシングの試合だって、枠に収まらないんですよ。周りが見えなくならないとしたら、あんな大事なホリフィールド戦で、耳なんて噛みちぎらないですよ（笑）。あの試合がタイソンにとってどれだけ大切で、あんなことをしたらどうなるかってことはタイソン以外の人なら誰でも分かるでしょ。それほど自分をコントロールするのが、難しいタイプなんですよ。

——へぇ〜。今日は宮崎さんの話を聞いていて、凄ぇタイソンのファンになりましたよ。逆にますますタイソンのボクシング以外の試合が見たくなりました。でも、宮崎さん、ボクシングって凄く協会がうるさそうなんですけど、ボクサーが異種格闘技戦をやることって、意外と多くないですか？

宮崎 いや、それはボクシングとレスリングが元々一緒だったからですよ。特にアメリカでは、そういう歴史もあって、意外とプロレスとボクシングは仲がいいんです。

——仲がいい？ 本当ですか、それ？ それは信じられないですね。

宮崎 いやぁ、だってベア・ナックルボクシングの時代ってあったでしょ。あれは要するに打撃有りのグレコローマンなんですよ。それで、そこから打撃だけ抜き出したのがボクシングで、打撃を抜いたのがレスリングなんです。そういう一派があったんですよ。これは話すとマニアックになっちゃうんですけど、アメリカでは元々一緒だったんです。

——へぇ〜、そうなんですかぁ。

宮崎 だから、有名なところでは、ジャック・デンプシーもジョー・ルイスも、モハメッド・アリもみんな歴代の世界チャンピオンがプロレスをやっているんですよ。レオン・スピンクスとか、トレバー・バービックとかも（笑）。だから、決して遠い関係じゃないんですよ。

——言われてみれば、そうですよね。

宮崎 今でもアスレチック・コミッションが一緒に管理していますからね。たとえば、ネバダ州アスレチック・コミッションのホームページを見れば、ボクシングとプロレスのスケジュールが一緒に載ってますからね。

——ふ〜ん、いやぁ勉強不足でした。じゃあ、タイソンがボクシング以外の試合をやることも十分考えられますねぇ。

宮崎 だから、まったくないというのは言えないですよね、僕らも。将来的には分からないでしょ。

——じゃあ宮崎さんから見て最後に、タイソンのバーリ・トゥードの実力の可能性はどう見てますか？

宮崎 いやぁ、僕の少ない格闘技取材経験から言っても、やっぱり別もんですからね。K−1にしても、バーリ・トゥードにしても。だから、1年も2年も修行したら別ですけど、タイソンがマジメに試合をしたとしても難しいと思いますよ。う〜ん、勝負は30秒ですよ、きっと。30秒以内だったら、タイソンが勝つかもしれないですけど、それ以上になったらやっぱり経験のある、その道の実力者が強いでしょうね。

——30秒というのは、最初にガーッと行くわけですね。

宮崎 そうそう。でも、本当に試合になるのかなぁ。それを見たいかどうかと言われたら、ボクシング側の人間にとっては非常に複雑な心境ですね。■

Show魂爆発！の特別コラム

僕とパンクラスとワンギャル

写真&文◎〝Show〟大谷泰顕

「危機感のないヤツとは仕事ができないよ！　仕事というのはぁ、常在戦場なんだよね。だから前回の表紙は猪木さんのホームレスなんだよなぁ。俺は4人の人から言われたよ。前回の『SRS・DX』は面白くない言うて。とにかく表紙と座談会を面白くしないとダメなんだよぉ。俺はもう『SRS・DX』とは付き合ってられませんよぉぉぉぉ！」

まあ、こんな感じでターザン山本さん(54)は、僕(32)に対して今回の座談会のボイコットの説明をしてくれた。

これに対して谷川編集長(39)はというと、**「困ったなあ。山本さんが言うのも分かるんだけど、『プロレスは終わった』なんて言っていても、その先のことは誰も語っていないじゃない。だから、僕は今、それを考えているんだけどなぁ」**と、こちらもまた**「んあ～」**な見解で返す。

そんな中で僕はというと、花粉症の季節に突入し元気が出ないという情けなさ。

とはいえ、谷川編集長は**「Showに2ページ何か書いてもらおうかと思ってさ」**と言う。ならばと思いついたのは、最近出入り禁止になったパンクラスとの関係について。だが、これはキチンと順序立てて説明したいという願望があり、今回は別のネタで勝負したいと思った次第である。

ただ、一言だけ言っておくと、巷では**「Showが近藤有己(25)を焚き付けた」**ということになっているらしいが、そんなことを話題にする以前に、**何度考えても「やっぱりヤバいぞパンクラス！」と一人で勝手に危機感を抱いた末の行動である、**と

だけしか説明ができないのだ。

だって昨年末、船木誠勝(31)プロデューサーは僕に対して**「守ったらダメなんです。なぜなら攻撃は最大の防御攻撃あるのみ。なぜなら攻撃は最大の防御だからです」**って、『REAL HEART～真心～』(二見書房)の「まえがき」で語ってくれたんだから(あ～あ、ノーフィアーの高山善廣にまた先を越されたよぉ)。

さて、パンクラスの一件を先送りにした場合、今回の僕に与えられたページをどうすべきか。

そう考えた時、**やっぱり『ワンダフル』(TBS)絡みの話題でいこう、**と決めた。実際、昨年の暮れから、なぜか僕に白羽の矢が立ち、現在は毎週月曜日の同番組の中で『格闘新世紀』というコーナーを担当させてもらっている。

今のところ、これは全体的に好評らしく、なかなかの視聴率を弾き出している様子で、僕が知るかぎり業界内の評判も決して悪くはない(と思っている)。**「裏番組でオッパイが出ないかぎり、顔面パンチには数字を取る力がありますよ(笑)」**とは番組スタッフの弁だが、それにしても僕にとっては嬉しいかぎりである。

ところで、**『ワンダフル』と『SRS・DX』といえば、前号よりワンギャルと山本さんの確執が本格的にスタートしたが、**今回は座談会の穴埋め企画として、これについての検証を進めていきたいと思う(やっと本題に入った)。

両者の確執を要約すると、事の発端は39号の座談会で、**『SRS・DX』発行人の柳沢さんがワンギャルを「キャバクラ嬢」と発言。**それを読んだワンギャルが僕に怒りをぶつけ、前号でその旨を僕が伝書したところ、**山本さんが「ワンギャル＝キャバクラ嬢」論を展開させたわけだが、**一方的に言われているワンギャルにも反論の場を与えないと不公平だと感じた僕は、**本番前のワンギャルの控室を直撃！　ワンギャル全員(北沢まりあ氏のみ欠席)からコメントを聞き出すことに成功した。**

ということで**「ワンギャル＝キャバクラ嬢」は是か非か。全員の見解を読めぇぇぇぇぇ！**

まずは過去にターザンと『超K―1宣言』(NTV)で共演したことのあるワンギャル・相沢真紀氏の意見。

「えー、非常に失礼だと思います。せめて銀座のホステスさんくらいにしといてくれないと(笑)。まあ、それは軽い冗談なんですけど、私たちは深夜の番組ということで、みんな演じてるわけですよ、キャバクラ嬢を。だってタレントだし。それから山本さん、もしかしたら私たちはキャバクラ嬢を気取ってるかもしれないけど、普段はトレーナーにジーパンなんですよ。それと私は以前『超K―1宣言』でご一緒させてもらったことがあるんですけど、あなたはフリーライターじゃないですか！　それなのにイスでみんなを威嚇したり、『俺は目立ちたがり屋だ』みたいなことを言ったり、自分も『ライターとは何か』を考えてみてはどうですか？」(相沢真紀)

ちなみにこの相沢氏は、僕と『格闘新世紀』でよくロケを一緒にしているのだが、それは次に登場するアリーネ氏(ブラジル人とのハーフ)も同様。しかもアリーネ氏は最近、闘龍門(2月25日、ディファ有明)で山本さんと遭遇している。その点も合わせて見解を聞いてみた。

「(タドタドしい日本語で)えーっと、この前、山本さんと会いましたけど、Showさんから山本さんが私を見て、『オッパイを触らせろ』なんて言ってたって聞いたんですけど、それじゃあ単なるスケベ親父じゃないですか！　だから私たちのようなカワイイ女の子を見ると、『キャバクラ嬢』と簡単に言ってしまうんですよ。もっと女性について勉強してみてはどうですか？」(アリーネ)

さあ、続いてどんどんワンギャルの見解を聞いていこう。そこから格闘技とキャバクラ嬢、いやワンギャルが見えてくるはずだ！(順番は五十音順)。

「山本さん、『キャバクラ嬢っぽいファッションを変えろ！』って言ってますけど、ちゃんと見てないんじゃないですか？　だって私たちは流行の最先端の洋服を着てるんですよ。それのどこがキャバクラ嬢っぽいの？　それにShowさんも『ワンギャルは孵化寸前のタレントの卵なんです！』ってことを伝えておいてください。それと『俺の行ってるキャバクラと同じ』って言ってますけど、こんなにカワイイ子たちのいるキャバクラなんてありませんよ。あ、ホントは私たちのこと好きなんじゃないの？」(井川絵美)

「ワンギャルはキャバクラ嬢でも銀座のク

ラブ嬢でもございません。タレントでございます。女優でございます。演じてるんですよ、全てを。だからもしキャバクラ嬢に見えてるんだったらそれは女優として成功なんですよ。これから芽が咲く女優なんです」（石川瞳）

「私は番組で情報を伝えるために、雑誌や新聞を読んでいろんな情報を収集してるんですけど、その一環で『SRS・DX』（39号）を買って読んだら、そんなことが書いてあったので文句を言ったんです。私は資格マニアなんですけど、そんなことばっかり言ってると、ブルドーザーで持ち上げて上から落としてやるから！　でも、もし仲良くなったら私がバスの運転をしますので、みんなで旅行に行きましょう！」（北川えり）

「小学校とか幼稚園の時に、好きな女の子がいると、イジメたくなるじゃないですか。たぶんその心境だと思うんです。だからこの人はワンギャルのことが大好きだと思うんですよ。しかもワンギャルが好きで『ワンダフル』を見ていてくれるんだから、実はこの人はいい人なんですよ。だから菜緒はこの人のことは好きですよ（笑）。っていうか、この人は菜緒のことが好きなんですよ（笑）」（高井菜緒）

「山本さん、ワンギャルと仲良くなりたいなら、スタジオに来てワンギャルの味を知ってください。仲良くしたいんでしょうに。それができないから、そこから始まった文句だと思うんですね。だから一度遊びに来て、私たちと会話をしてみませんか？」（竹下玲奈）

「（大阪弁で）こういう格好してるのは、タレントっていうのは夢を売る仕事だからなんですよ。世の中のオッサンたちは、こういう若い子のファッションを見て勃つわけですよ。だから、みんなの人生に波を起こすためにこういう格好してるわけですよ」（中馬めぐみ）

「私たちはキャバクラ嬢じゃなくて、タレントさんなんですよ。たしかに服装とかケバいかもしれないけど、いろいろ勉強とかしてることもあるから、それを軽く見ないでください」（福岡沙耶歌）

「ワンギャル全員のことを『キャバクラ嬢』って言ってるじゃないですか。でもひとり一人を見ると、全員違うじゃないですか。だからもっとひとり一人を見てください。そしたらカジュアルな服を着てる子も、モード系の服を着てる子もいるし、そんなに派手な髪形をしてる子もいませんよ。あと、私は前に住んでたところが小岩の近くだったんですけど、ワンギャルほどカワイイ子はいませんでしたよ（笑）。そこが重要なポイントですね」（松梨知果）

「普通のキャバクラの3倍の料金は取るけど、その分サービスしますよ（笑）。それは冗談として、たしかにキャバクラ嬢です。でもそれは見えてはいないはずです。だって楽屋のみキャバクラ嬢なんですから。たしかに竹下さんはオナラをしたり、パンツが見えてたりはしますけど（笑）。以上です」（宮本愛子）

以上がワンギャル全員の見解である。

ワンギャルの憤り（？）が分かってもらえただろうか？

ちなみに前号で山本さんは「**膠着についてワンギャルに聞いて来い！**」と言っていたが、そんなことをこの僕が聞くわけがない。

だって、**そんな話をしているワンギャルなんてワンギャルじゃない！**　というのが僕の見解だから。それに、「**膠着」という行き詰まり状態に対しての彼女たちの話を聞くこと自体、僕の仕事だとは思っていないのだ。**

ところで、**ワンギャルと山本さんの確執は今後どうなっていくのか。**そこに話を展開させると、ここにそれを占うコメントを僕は入手した。

これは、現在発売中の『ｓａｂｒａ』（小学館）で、僕と山本さんと谷川編集長で出張座談会を行った際のものだが、結局、誌面にはなっていないものの、その席で僕ら3人はこんな会話を交わしているのだ。

山本　大谷ッ！　お前が『ワンダフル』に出るとは失礼だよな。

大谷　なんで失礼なんですか！

山本　世の中ってチョロコイんだな、と思ってさ。

谷川　チョロコイ（笑）。

大谷　まだまだ山本さんと谷川さんの足元にも及ばないですよ。

山本　超えたよ、完全に俺を。

谷川　僕も超えられました。

山本　でも、言っておくけど、ワンギャルはキャバクラ嬢だよ、あれは。

大谷　まだ言ってる（笑）。

山本　だってキャバクラ嬢の服装と言語体系になってるじゃない。短縮語系というヤツですよ。

大谷　でも、実際に会ったらコロッと変わるよ（苦笑）。

山本　いや、俺に会いに来れば文句は言わないよ。なあ、谷川？

谷川　僕はあのブラジル人のワンギャルが好きです（ポッ♥）。言っておいてね。

大谷　分かりました。アリーネ氏はどこに行っても人気があるなあ……。

◆

この発言を聞くにつけ、要するに「ワンギャル＝キャバクラ嬢」とは正解のひとつでもあるのだが、こと山本さんが言うかぎり、54歳の寂しい一人のオッサンの偽言にすぎない、ということが分かる（最初から分かってたんだけど）。

それでもさ、こうやって山本さんへのコメントをわざわざワンギャル全員から取ってくるなんて、僕はなんて山本さん思いなんだろう……。そう思わない？

さてさて実際のところ、今後ワンギャルと山本さんの関係はどうなっていくのか。さらに次号の座談会は？　まあ、その辺は今後の『格闘新世紀』と合わせて乞うご期待ということで……。

えっ、まるで危機感が感じられない!?　ヒャッ!?

■

▲キャバクラ嬢発言に憤るワンギャルの皆さん。上段左端より中馬めぐみ、井川絵美、竹下玲奈、松梨知果、下段左端よりアリーネ、宮本愛子、福岡沙耶歌、北川えり、石川瞳、相沢真紀、高井菜緒（なおターザン座談会ボイコットの真の理由は『格闘伝説』で対談し、関係を修復した新日本・永島取締役への配慮、との噂あり）

さあ、いよいよ国内ビッグイベント開催!
3・17 K-1&3・25 PRIDE.13の読者PPJ(プロフェッショナル ポイント ジャッジメント)をFAXで

3月に入って、いよいよ国内でも格闘技のビッグイベントが開催! 本誌39&40号の『膠着大研究』の特集以後、ファンの皆さんの"見る目"がより厳しくなってきているという噂も聞きます。そこで、久々にPPJ読者大募集をしま~す。昨年の『K-1 ワールドGP』や『プライド12』は、膠着が多くてつまらなかったと厳しい意見がたくさんありましたが、果たして、膠着は打破されているのか! 3・17『K-1 GLADIATORS 2001』横浜アリーナ大会と3・25『プライド13』を、皆さんにPPJ採点をしていただき、皆さんのご意見・ご感想をバッチリ誌面に反映させたいと思います。締め切りは、『K-1 GLADIATORS 2001』が3月19日(月)中。『プライド13』は3月26日(月)午前2時(試合当日の深夜2時)まで。締め切りの都合上、募集期間は短いですが、じっくり考えてどしどしファックス送ってネ!

住所

氏名 (名前は掲載する可能性がありますので、ペンネーム希望の方はペンネームも明記のこと)

職業　年齢　TEL&FAX

3・17『K-1 GLADIATORS 2001』横浜アリーナ大会

締め切りは3/20 AM0時まで

	バンナ	ベルナルド	中迫　剛	グラウベ	アビディ	グレート草津
モチベーション(闘志・気迫)						
技術・戦略						
KOスピリット						
勝ちっぷり負けっぷり						
全体的な印象・インパクト						
合　計						
寸　評						

3・25『プライド13』さいたまスーパーアリーナ大会

締め切りは3/26 AM2時まで

	桜庭和志	シウバ	ヘンゾ	ヘンダーソン	佐竹雅昭	安田忠夫
モチベーション(闘志・気迫)						
技術・戦略						
KOスピリット						
勝ちっぷり負けっぷり						
全体的な印象・インパクト						
合　計						
寸　評						

※用紙は同じですが、それぞれ締め切りが異なりますので別々にFAXしてください。片方だけの応募もモチロンOKです。

FAXナンバーは 03(3295)4441

FAXナンバーはお間違えのないようにお願いします。なお、混み合ってつながりにくいことが予想されますが、編集部へのお電話はご遠慮ください。

キリトリ

3/8THU～3/29THU CALENDAR

Date	Events
3/8 THU	★『SRS・DX』42号発売日
3/9 FRI	●フジテレビ系『SRS』(26:15～26:45) 放送⬅p69
3/10 SAT	
3/11 SUN	■KASSHIN2（合戦）/沖縄・FIGHTING STADIUM神風（15:00～）⬅p46 ■アルティメットボクシング/東京・ディファ有明（18:00～）⬅p46 ◆5・13PANCRASE 2001 PROOF TUOR/チケット発売⬅p48
3/12 MON	
3/13 TUE	
3/14 WED	
3/15 THU	
3/16 FRI	■全日本キック連盟/東京・後楽園ホール（17:15～）⬅p49 ●フジテレビ系『SRS』(26:15～26:45) 放送⬅p69
3/17 SAT	■K-1 GLADIATORS 2001/神奈川・横浜アリーナ（16:00～）⬅p46
3/18 SUN	◆K-1 ワールドＧＰ 2001 in 大阪/チケット一般発売⬅p46
3/19 MON	
3/20 TUE	■LLPWトータルエネルギーチャリティーファイト/東京・後楽園ホール（12:30～）⬅p46 ■ニュージャパンキック連盟/愛知・名古屋市公会堂４Ｆホール（16:00～）⬅p50
3/21 WED	■修斗/東京・北沢タウンホール（18:00～）⬅p47
3/22 THU	
3/23 FRI	■J-NETWORK/東京・北沢タウンホール（18:00～）⬅p48 ●フジテレビ系『SRS』(26:15～26:45) 放送⬅p69
3/24 SAT	
3/25 SUN	■PRIDE.13/さいたまスーパーアリーナ（17:00～）⬅p47 ■第３回TITAN FIGHT/東京・アールンホール（14:00～）⬅p50
3/26 MON	
3/27 TUE	
3/28 WED	
3/29 THU	★『SRS・DX』43号発売日

格闘技パーフェクトガイド
Perfect Guide

GUIDE & TICKET
大会ガイド&チケット情報

◎主なチケット発売所は、P75『イエローページ』をご覧ください

掣圏道

初代タイガーマスクvsアレク戦、ジャイ落vs桜木裕司戦が決定！

掣圏道アルティメットボクシング ～初代タイガーマスク引退試合カウントダウン3・第1弾～
3月11日（日）東京・ディファ有明

◆開場/17:00　試合開始/18:00
◆入場料/RS席9,500円　S席6,500円　A席4,500円　B席2,500円　※当日は500円増し
◆チケット発売/発売中
◆チケット発売所/チケットぴあ、ローソンチケット、CNプレイガイド、チケット&トラベルT-1☎03-5275-2778
◆会場アクセス/新交通ゆりかもめ有明駅より徒歩10分、臨海副都心線国際展示場駅より徒歩5分、品川駅東口から都バスで有明テニスの森下車、徒歩3分
◆お問い合わせ/S.W.A 掣圏道・ワールド・アソシエーション☎042-544-6979

決定対戦カード
- 初代タイガーマスク（掣圏道）vsアレクサンダー大塚（バトラーツ）
- ジャイアント落合（怪獣王国）vs桜木裕司（掣圏道）
- ボドリャチン・デニス（ロシア）vsケベドフ・ミカイル（ロシア）
- ドロズド・グレゴリ（ロシア）vs中西陽介（山木ジム）
- グル・セルゲイ（ベラルーシ）vs加瀬大作（截空道）
- Xvs瓜田幸造（掣圏道）
- アフラメンコ・ビタリ（ベラルーシ）vsウイリアム"THE" ANIMAL（ブラジル／截空道）
- グスニエフ・アブドゥラフ（ダゲスタン）vsチャナベック・ガイティディン（タイ／習志野ジム）
- ワルダニャン・アルタク（ロシア）vsマウリシオ"THE" BLACK（ブラジル／截空道）
- ゾドフ・ミカイル（ロシア）vsリッキー・バウンサー（ブラジル／截空道）

LLPWトータルエネルギー・スーパーチャリティーファイト
3月20日（火・祝）東京・後楽園ホール

◆開場/11:30　試合開始/12:30
◆入場料/SRS席6,000円　RS席6,000円　指定席5,000円　一般立見3,000円（当日のみ）
◆チケット発売/発売中
◆チケット発売所/チケットぴあ、ローソンチケット、ほか
◆会場アクセス/新交通ゆりかもめ有明駅より徒歩10分、臨海副都心線国際展示場駅より徒歩5分、品川駅東口から都バスで有明テニスの森下車、徒歩3分
◆お問い合わせ/LLPW☎03-3945-7926

K-1ワールドGP・シリーズ

K-1 GLADIATORS 2001
3月17日（土）神奈川・横浜アリーナ

◆開場/14:30　試合開始/16:00
◆入場料/SRS席25,000円　RS席17,000円　S席7,000円　A席5,000円
◆チケット発売/発売中
◆チケット発売所/チケットぴあ、ローソンチケット、CNプレイガイド、イープラス、キョードー東京
◆会場アクセス/JR東海道新幹線、横浜線新横浜駅、地下鉄新横浜駅より徒歩5分
◆チケットに関するお問い合わせ/キョードー東京☎03-3498-9999
◆お問い合わせ/K-1事務局☎03-3796-2977

決定対戦カード
- ジェロム・レ・バンナ（フランス）vsマイク・ベルナルド（南アフリカ）
- ニコラス・ペタス（デンマーク）vsX
- グラウベ・フェイトーザ（ブラジル）vs中迫剛（正道会館）
- ピーター・アーツ（オランダ）vsミルコ・クロコップ（クロアチア）
- シリル・アビディ（フランス）vsグレート草津（チーム・アンディ）

K-1ワールドGP 2000 in 大阪
4月29日（日）大阪城ホール

◆開場/15:00　試合開始/16:30
◆入場料/SRS席25,000円　S席12,000円　A席6,000円
◆チケット発売/右の表を参照
◆会場アクセス/JR大阪環状線大阪城公園駅より徒歩5分
◆お問い合わせ/K-1事務局☎03-3796-2977
◆チケットに関するお問い合わせ/ステージア☎06-6344-4441

出場予定選手
- ジェロム・レ・バンナ（フランス）

K-1ジャパン・シリーズ

K-1 BURNING 2001
4月15日（日）アクアドームくまもと

◆開場/15:30（予定）　試合開始/17:00（予定）
◆入場料/SRS席20,000円　RS席14,000円　S席8,000円　A席5,000円
◆チケット発売/発売中
◆チケット発売所/ローソンチケット
◆会場アクセス/JR熊本駅よりバス川口行き土河原下車（15分）
◆お問い合わせ/K-1事務局☎03-3796-2977

出場予定選手
- アーネスト・ホースト（オランダ）
- 武蔵（正道会館）
- 天田ヒロミ（フリー）
- 中迫剛（正道会館）
- グレート草津（チーム・アンディ）
- 宮本正明（正道会館）

4・29「K-1ワールドGP 2000 in 大阪」チケット一般発売

3月18日（日）10:00～18:00

チケットぴあ・店頭発売	【特電】☎06-6363-9922
	【特電】☎06-6363-9955
ローソンチケット・OMCプラザ	【特電】☎06-6369-6666
	【特電】☎06-6369-6655
e+（イープラス）	http://eee.eplus.co.jp/west

3月19日（月）以降　10:00～

チケットぴあ・店頭販売・ファミリーマート	☎06-6363-9999
	☎06-6363-9966［Pコード：600-843］
ローソンチケット・OMCプラザ	☎06-6369-6633［Lコード：57118］
	☎06-6387-1900
e+（イープラス）	http://eee.eplus.co.jp/west

真樹ジムオキナワ

パンクラスの菊田も参戦！相手は"米軍最強バーリ・トゥーダー"！

本土から来る強豪格闘家を沖縄の格闘家が迎え撃つというコンセプトで、昨年に続いて開催されるKASSHIN 2（合戦）に、バトラーツのカール・マレンコ、パンクラスの菊田早苗が参戦する。カールは昨年に引き続いての参戦だが、菊田はもちろん初めて。しかも、試合相手のトゥ・レンは"米軍最強バーリ・トゥーダー"という肩書きを持っている男だ。果たして、菊田は生きて本土に戻れるのか？

▶カール・マレンコは、沖縄のルー・ザ・ボーンクラッシャーと対戦

◀菊田の闘うトゥ・レンとは、いったい何者なのか？

KASSHIN 2（合戦）
3月11日（日）沖縄・FIGHTING STADIUM 神風

◆開場/14:00　試合開始/15:00
◆入場料/SRS席10,000円　イス席5,000円　立見3,000円
◆チケット発売/発売中
◆お問い合わせ/真樹ジムオキナワ☎098-926-2523

決定対戦カード
- カール・マレンコ（バトラーツ）vsルー・ザ・ボーンクラッシャー（真樹ジムオキナワ）
- 菊田早苗（パンクラスGRABAKA）vsトゥ・レン（米軍最強バーリ・トゥーダー）
- ロバート・ゲンノラシンvsX（ジョッキージム）
- 波平義彰（真樹ジムオキナワ）vsトゥーナー・パンダ（フリー）
- 赤嶺斉（真樹ジムオキナワ）vs比嘉リヤン（赤雲會）
- 早千予（白龍ジム）vs小泉かおり（白龍ジム）
- 富川盛治（真樹ジムオキナワ）vs龍野右紀（真樹ジム本部）
- マイケル・ギーザック（真樹ジムオキナワ）vs大山健作（フリー）
- ディビットvsX（真樹ジムオキナワ）

修斗

SHOOTO TO THE TOP
3月21日（水）東京・北沢タウンホール

◆開場/16:00　試合開始/18:00
◆入場料/S席6,000円　A席4,000円
◆チケット発売/発売中
◆チケット発売所/ファイター、書泉ブックマート、後楽園ホール、フィットネスショップ水道橋店、KEEL CAFE、e-ticket（http://www.e-ticket.net/）
◆会場アクセス/小田急線、京王井の頭線下北沢駅南口より徒歩5分
◆お問い合わせ/K'zファクトリー☎0427-40-5710

決定対戦カード

吉岡広明vs秋本じん
（パレストラ東京）　（K'zファクトリー）
―2回戦―
松本光央vs大内敬
（WILD PHOENIX）　（パレストラ東京）
松根良太vs梯沢智治
（パレストラ東京）　（RJWセントラル）
石井俊光vs赤崎勝久
（タイガー・プレイス）　（K'zファクトリー）
丸山弘道vs川尻達也
（WILD PHOENIX）　（総合格闘技TOPS）
久保山誉vs漆谷康宏
（K'zファクトリー）　（RJWセントラル）

WANNA SHOOTO 2001（Part.Ⅰ）
4月8日（日）東京・北沢タウンホール

◆会場/14:00　試合開始/15:00
◆入場料/S席6,000円　A席4,000円　S席1部&2部共通券10,000円（KEEL CAFEで10組20名限定発売）
◆チケット発売/発売中
◆チケット発売所/KEEL CAFE、後楽園ホール
◆会場アクセス/小田急線、京王井の頭線下北沢駅南口より徒歩5分
◆お問い合わせ/K'zファクトリー☎0427-40-5710

決定対戦カード

ライアン・ディアスvs勝村周一朗
（カナダ/フランコ&ギブソン・パンクレイション）　（K'zファクトリー）
マサ・マルコメvs高田和道
（アメリカ/USA修斗協会イノサント・アカデミー）　（WILD PHOENIX）
マルタイン・メインハスvs伊藤忍
（オランダ/NTL修斗マルタイン道場）　（パレストラ東京）
小谷ヒロキvs山崎剛
（K'zファクトリー）　（インプレス）

WANNA SHOOTO 2001（Part.Ⅱ）
4月8日（日）東京・北沢タウンホール

◆会場/17:30　試合開始/18:00
◆入場料/S席6,000円　A席4,000円　S席1部&2部共通券10,000円（KEEL CAFEで10組20名限定発売）
◆チケット発売/発売中
◆チケット発売所/KEEL CAFE、後楽園ホール
◆会場アクセス/小田急線、京王井の頭線下北沢駅南口より徒歩5分
◆お問い合わせ/K'zファクトリー☎0427-40-5710

決定対戦カード

キム・メイソンvs鶴屋浩
（アメリカ/AMCパンクレイション）　（パレストラ松戸）
ジェレミー・ベネットvs山下志巧
（アメリカ/USA修斗協会イノサント・アカデミー）　（パレストラ東京）
高橋大児vs今泉堅太郎
（K'zファクトリー）　（SKアブソリュート）
ユージン・ヒンソンvs植野雄
（ニュージーランド/ウェリントン・サブミッション）　（後藤柔術クラブ）
ウーモア・トロンペットvs飛田拓人
（オランダ/NTL修斗マルタイン道場）　（インプレス）
田村彰敏vs村山英滋
（格闘結社田中塾）　（シューティングジム八景）

SHOOTO GIG EAST Vol.1
4月28日（土）東京・北沢タウンホール

◆開場/17:00　試合開始/18:00
◆入場料/S席6,000円　A席4,000円
◆チケット発売/発売中
◆チケット発売所/パレストラ東京、デジタラジア
◆会場アクセス/小田急線、京王井の頭線下北沢駅南口より徒歩5分
◆お問い合わせ/パレストラ東京☎03-5984-3209

SHOOTO TO THE TOP
5月1日（火）東京・後楽園ホール

◆開場/17:00　試合開始/18:00
◆入場料/SRS席12,000円　SS席10,000円　S席8,000円　A席6,000円　B席4,000円　C席3,000円
◆チケット発売/発売中
◆チケット発売所/チケットぴあ、ファイター、書泉ブックマート、後楽園ホール、フィットネスショップ、KEEL、GUTSMAN・修斗道場
◆会場アクセス/JR総武線、都営三田線水道橋駅より徒歩3分、地下鉄丸ノ内線・南北線後楽園駅より徒歩3分
◆お問い合わせ/GUTSMAN・修斗道場☎03-3325-1500

日本修斗協会制定月間賞発表！

日本修斗協会では、今年から日本で行われるプロ、アマチュアの公式戦を対象に月間賞の選考を行うことを発表した。栄えある第1回目の月間MVPには、TEAM GRABAKAの郷野聡寛が選ばれた。

《1月度月間賞》
◆月間MVP／郷野聡寛（TEAM GRABAKA）
◆ベスト・バウト／プロ部門
郷野聡寛　vs　アイバン・サラベリィ
（TEAM GRABAKA）　（アメリカ/AMCパンクレイション）
※1月19日、後楽園ホール
◆ベスト・バウト／アマチュア部門
山崎剛　vs　高関攻
（インプレス）　（和術慧舟會）
※1月28日、PUREBRED大宮

PRIDE

カード続々決定の『PRIDE.13』
佐竹vs安田の「空手vs相撲」戦も実現！

PRIDE.13
3月25日（日）さいたまスーパーアリーナ

◆開場/15:00　試合開始/17:00
◆入場料/VIP席100,000円（専用入場ゲート、グッズの特典付き）RRS席23,000円　スタンドS席13,000円　スタンドA席7,000円
◆チケット発売/発売中
◆チケット発売所/ドリームステージエンターテインメント他
◆会場アクセス/JR高崎線・宇都宮線・京浜東北線さいたま新都心駅より徒歩3分、JR埼京線北与野駅から徒歩7分
◆お問い合わせ/ドリームステージエンターテインメント☎03-5775-5700

決定対戦カード

桜庭和志vsヴァンダレイ・シウバ
（高田道場）　（ブラジル）
イゴール・ボブチャンチンvsケン・シャムロック
（ウクライナ）　（アメリカ）
ヘンゾ・グレイシーvsダン・ヘンダーソン
（ブラジル）　（アメリカ）
佐竹雅昭vs安田忠夫
（怪獣王国）　（フリー）

出場予定選手

アレクサンダー大塚（バトラーツ）
小路晃（A³ジム）
マーク・コールマン（アメリカ）
ヒース・ヒーリング（アメリカ）
ガイ・メッツアー（アメリカ）
リコ・ロドリゲス（高田道場）

キングダム・エルガイツ

2001年度興行スケジュール

千葉大会…4月8日（日）千葉県八日市場ドーム
九州大会…5月27日（日）福岡・小倉北体育館
第2回プロテスト…6月10日（日）東京・キングダム・エルガイツ聖蹟桜ヶ丘道場
東京大会…7月中旬東京・北沢タウンホール
東京大会…9月中旬東京・北沢タウンホール
東京大会…11月中旬東京・後楽園ホール

◆お問い合わせ/キングダム・エルガイツ☎042-331-2797

バトラーツ

～バトラーツ旗揚げ5周年記念～特別興行
3月25日（日）小田原・川東タウンセンター「マロニエ」ホール

T.F.M.dos
3月31日（土）TOKYO FMホール

グラップリング-B タッグバトル vol.1
4月8日（日）埼玉・［B-CLUB］

～バトラーツ旗揚げ5周年記念スペシャル～ uno
4月13日（金）東京・後楽園ホール

～バトラーツ旗揚げ5周年記念スペシャル～ dos
4月15日（日）宮城・Zepp Sendai

～バトラーツ旗揚げ5周年記念スペシャル～ tres
4月17日（火）北海道・Zepp Sapporo

～バトラーツ旗揚げ5周年記念スペシャルFINAL～ 格闘ロード
5月10日（木）東京・駒沢オリンピック公園屋内球技場

土方隆司 凱旋興行2 ～つばさ広げて新世紀 ところざわへ！～
6月3日（日）所沢・くすのきホール

未来を担う子どもたちのために ～愛してます♥こしがや～
6月23日（土）埼玉・越谷桂スタジオ

◆お問い合わせ/バトラーツ☎0489-63-0005

J-NETWORK

ムエタイ王者・プリンシンチャイに、J-NETフェザー級王者・増田が挑む！

THE CRUSADE -聖戦-

3月23日（金）東京・北沢タウンホール

◆開場/17:30 試合開始/18:00
◆入場料/S席8,000円 A席6,000円 B席4,000円 ※当日は1,000円増し 当日券4,500円
◆チケット発売/発売中
◆チケット発売所/チケットぴあ、J-NETWORK、アクティブJジム、サバーイ町田ジム、ソーチタラダ渋谷ジム
◆会場アクセス/小田急線、京王井の頭線下北沢駅南口より徒歩5分
◆お問い合わせ/J-NETWORK☎03-3419-0536

決定対戦カード

—5回戦—

増田博正 vs ニューセーンチャン・プリンシンチャイ
（ソーチタラダジム）（タイ）

蔵満誠 vs 泉ユーサク
（JMTC）（MA・山木ジム）

—3回戦—

浦林幹 vs 辻直樹
（アクティブJ）（MA・山木ジム）

吉本光志 vs 中村玄志
（アクティブJ）（MA・山木ジム）

黒田通鷹 vs 石井武広
（アクティブJ）（MA・山木ジム）

高橋知寛 vs X
（ソーチタラダ）

村松三之 vs X
（アクティブJ）

牧裕三 vs X
（ソーチタラダ）

シュートボクシング

迎撃覇者

4月15日（日）愛知・名古屋市公会堂4Fホール

◆開場/13:30 試合開始/14:00
◆入場料/S席10,000円 A席5,000円 B席4,000円 自由席3,000円
◆チケット発売/発売中
◆チケット発売所/チケットぴあ、IVY Books、風吹ジム☎0568-88-7333
◆会場アクセス/JR中央本線、名古屋市営鶴舞線鶴舞駅より徒歩4分
◆お問い合わせ/シュートボクシング協会☎03-3843-1212

Be A Champ 2nd Stage

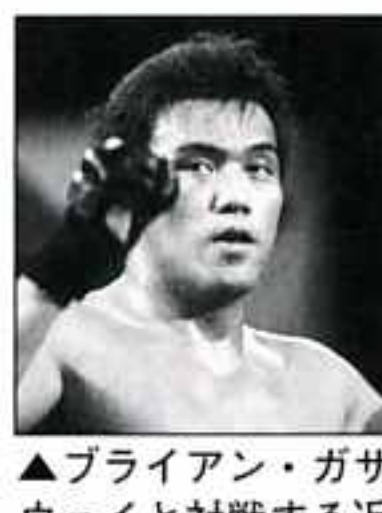
4月30日（月・休）東京・後楽園ホール

◆開場/17:30 試合開始/18:30
◆入場料/RS席6,000円 A席5,000円 B席4,000円
◆チケット発売/未定
◆会場アクセス/JR総武線、都営三田線水道橋駅より徒歩3分、地下鉄丸ノ内線・南北線後楽園駅より徒歩3分
◆お問い合わせ/シュートボクシング協会☎03-3843-1212

パンクラス

KEI山宮をKOしたパウロ・フィリョ、3・31なみはやドーム大会で美濃輪と対戦！

『DEEP2001』で一躍その評価を高めた美濃輪育久が、メインでブラジリアン柔術の強豪パウロ・フィリョを迎え撃つ。フィリョは前記の『DEEP2001』でKEI山宮を倒し、長期欠場に追いやった男だ。カーウソン・グレイシーの下で磨いた柔術のテクニックもさることながら、山宮をKOしたパンチの破壊力は凄さまじいの一言に尽きる。そしてセミでは、2・4後楽園ホール大会に続いて、エース近藤が参戦。桜庭戦を口にして物議を醸したが、ここはその実績作りの為にも躓いてはならない一戦だろう。また國奥麒樹真と和術慧舟會の高瀬大樹の試合も、見逃せない闘いになるだろう。

▲美濃輪育久vsパウロ・フィリョ

▲ブライアン・ガサウェイと対戦する近藤有己

PANCRASE 2001 PROOF TOUR

3月31日（土）大阪・なみはやドーム サブアリーナ

◆開場/17:30 試合開始/18:30
◆入場料/SS席15,000円 RS-A席7,500円 RS-B席5,500円 2F-A席7,000円 2F-B席4,000円 ※当日券は500円増し
◆チケット発売/発売中
◆チケット発売所/チケットぴあ、ローソンチケット、e+（イープラス）、チャンピオン大阪、バディ・スラム、エース、神戸ステーキ桜井ポートアイランド、神戸住吉・富方、パンクラス
◆会場アクセス/地下鉄長堀鶴見緑地線門真南駅より徒歩3分
◆お問い合わせ/パンクラス☎03-5792-0815

決定対戦カード

美濃輪育久 vs パウロ・フィリョ
（パンクラス横浜）（ブラジル/ブラジリアントップチーム）

近藤有己 vs ブライアン・ガサウェイ
（パンクラス東京）（アメリカ/AIKIトレーニング・ホール）

國奥麒樹真 vs 高瀬大樹
（パンクラス横浜）（和術慧舟會）

謙吾 vs ティム・レイシック
（パンクラス東京）（アメリカ/グラジエーターズ・トレーニング・アカデミー）

石井大輔 vs 佐々木有生
（パンクラス東京）（パンクラスGRABAKA）

ネイサン・マーコート vs 佐藤光留
（アメリカ/コロラド・スターズ）（パンクラス横浜）

伊藤崇文 vs 星野勇二
（パンクラス横浜）（RJW/CENTRAL）

窪田幸生 vs 北岡悟
（パンクラス横浜）（パンクラス東京）

PANCRASE 2001 PROOF TOUR ～山田学 引退記念興行～

5月13日（日）東京・後楽園ホール

◆開場/11:30 試合開始/12:00
◆入場料/SS席12,000円 A席9,000円 B席6,500円 C席4,500円 D席3,000円 立見3,000円 ※当日券は500円増し
◆チケット発売/3月11日（日）
◆チケット発売所/チケットぴあ、CNプレイガイド、ローソンチケット、e+（イープラス http://eee.eplus.co.jp）、書泉ブックマート、大山アメリカン、レッスル渋谷、レッスル池袋、後楽園ホール、ビデオショップチャンピオン、プロレスマニア館、アイドール新宿、ファイター、フィットネスショップ水道橋、チケット＆トラベルT-1、パンクラス
◆会場アクセス/JR総武線、都営三田線水道橋駅より徒歩3分、地下鉄丸ノ内線・南北線後楽園駅より徒歩3分
◆お問い合わせ/パンクラス☎03-5792-0815

PANCRASE 2001 PROOF TOUR

6月26日（火）東京・後楽園ホール

◆開場/17:30 試合開始/18:30
◆入場料/SS席12,000円 A席9,000円 B席6,500円 C席4,500円 D席3,000円 立見3,000円 ※当日券は500円増し
◆チケット先行発売/5月13日（日）後楽園大会会場内にて
◆チケット発売/5月20日（日）
◆チケット発売所/チケットぴあ、CNプレイガイド、ローソンチケット、e+（イープラス http://eee.eplus.co.jp）、書泉ブックマート、大山アメリカン、レッスル渋谷、レッスル池袋、後楽園ホール、ビデオショップチャンピオン、プロレスマニア館、アイドール新宿、ファイター、フィットネスショップ水道橋、チケット＆トラベルT-1、パンクラス
◆会場アクセス/JR総武線、都営三田線水道橋駅より徒歩3分、地下鉄丸ノ内線・南北線後楽園駅より徒歩3分
◆お問い合わせ/パンクラス☎03-5792-0815

PANCRASE 2001 PROOF TOUR NEO BLOOD TOURNAMENT DAY

7月29日（日）東京・後楽園ホール

◆開場/12:30 試合開始/13:30
◆入場料/SS席12,000円 A席9,000円 B席6,500円 C席4,500円 D席3,000円 立見3,000円 ※当日券は500円増し
◆チケット先行発売/5月13日（日）後楽園大会会場内にて
◆チケット発売/6月10日（日）
◆チケット発売所/チケットぴあ、CNプレイガイド、ローソンチケット、e+（イープラス http://eee.eplus.co.jp）、書泉ブックマート、大山アメリカン、レッスル渋谷、レッスル池袋、後楽園ホール、ビデオショップチャンピオン、プロレスマニア館、アイドール新宿、ファイター、フィットネスショップ水道橋、チケット＆トラベルT-1、パンクラス
◆会場アクセス/JR総武線、都営三田線水道橋駅より徒歩3分、地下鉄丸ノ内線・南北線後楽園駅より徒歩3分
◆お問い合わせ/パンクラス☎03-5792-0815

PANCRASE 2001 PROOF TOUR NEO BLOOD TOURNAMENT NIGHT

7月29日（日）東京・後楽園ホール

◆開場/17:30 試合開始/18:30
◆入場料/SS席12,000円 A席9,000円 B席6,500円 C席4,500円 D席3,000円 立見3,000円 ※当日券は500円増し
◆チケット先行発売/5月13日（日）後楽園大会会場内にて
◆チケット発売/6月10日（日）
◆チケット発売所/チケットぴあ、CNプレイガイド、ローソンチケット、e+（イープラス http://eee.eplus.co.jp）、書泉ブックマート、大山アメリカン、レッスル渋谷、レッスル池袋、後楽園ホール、ビデオショップチャンピオン、プロレスマニア館、アイドール新宿、ファイター、フィットネスショップ水道橋、チケット＆トラベルT-1、パンクラス
◆会場アクセス/JR総武線、都営三田線水道橋駅より徒歩3分、地下鉄丸ノ内線・南北線後楽園駅より徒歩3分
◆お問い合わせ/パンクラス☎03-5792-0815

Result 2・17「第2回パンクラス・オーストラリア大会」全試合結果

2月17日（土）、オーストラリア・シドニーにて「第2回パンクラス・オーストラリア大会」が開催された。今大会は全試合オープンフィンガーグローブを着用し、日本のパンクラスルールに近い形で、4人制のトーナメントなどが行われた。日本からは、菊田早苗がグラップリング・デモンストレーションとして出場し、鮮やかなグラウンドテクニックで観客を盛り上げた。大会を主催したクリストファー・デウィーバー氏は、5月にも大会を予定していて、ホームページ（http://pancraseaustralia.com/）も公開中だ。

《全試合結果》

○ミック・グリーン（KO勝ち）チャド・イーザー●
※右ストレート

○デビッド・フレンディン（ギブアップ）マット・トレヒー●
※腕ひしぎ十字固め

○チャド・イーザー（ギブアップ）ライアン・ハーベイ●
※腕ひしぎ十字固め

○ミック・グリーン（TKO勝ち）スチュアート・ネアン●
※マウントパンチ

○リチャード・バーマン（ギブアップ）スチュアート・ネアン●
※マウントパンチ

▶視察に訪れた尾崎社長も、日本でも通用する実力を備えた選手たちを高く評価していた

MA日本キックボクシング連盟

ODYSSEY-1
3月30日（金）東京・後楽園ホール

◆開場/16:45　試合開始/17:15
◆入場料/SRS席20,000円　RS席15,000円　S席10,000円　指定A席7,000円　指定B席5,000円　立見3,000円（当日のみ）
◆チケット発売/発売中
◆チケット発売所/チケットぴあ、ローソンチケット、チャンピオン、後楽園ホール
◆会場アクセス/JR総武線、都営三田線水道橋駅より徒歩3分、地下鉄丸ノ内線・南北線後楽園駅より徒歩3分
◆お問い合わせ/ニュージャパンケイプロモーション☎03-5971-2165

決定対戦カード
—5回戦—
〈MAフライ級タイトルマッチ〉
森岡卓司 vs 長瀬悟
（武勇会）（習志野ジム）
ヌンサヤーム・ヤマキ vs 五十嵐ヨシユキ
（タイ）（アクティブJ）
佐藤堅一 vs 小比類巻貴之
（土道館）（チームドラゴン）
井上哲 vs 東金タイソン
（山木ジム）（東金ジム）
木村允 vs グライガンワーン
（土浦ジム）（タイ）
東金ジャガー vs マグナム酒井
（東金ジム）（土道館）
きんぞ〜 vs 梅下湧暉
（新潟山木ジム）（谷山ジム）
山田健博 vs 高島義幸
（八街ジム）（習志野ジム）
田中信一 vs 高橋拓也
（山木ジム）（習志野ジム）

全日本キックボクシング連盟

CROSS FIRE-Ⅰ
3月16日（金）東京・後楽園ホール

◆開場/17:00　試合開始/17:15
◆入場料/RS席12,000円　S席8,000円　A席6,000円　B席4,000円　立見4,000円（当日のみ）　※当日は1,000円増し
◆チケット発売/発売中
◆チケット発売所/チケットぴあ、後楽園ホール、全日本キック電話予約
◆会場アクセス/JR総武線、都営三田線水道橋駅より徒歩3分、地下鉄丸ノ内線・南北線後楽園駅より徒歩3分
◆お問い合わせ/全日本キックボクシング連盟☎03-3365-1171

決定対戦カード
—5回戦—
小林聡 vs サッダム・ギャットヨンユット
（藤原ジム）（タイ）
安川賢 vs "ランバー"ソムデート・M16
（SVG）（タイ）
ソウル・タイガー・ハン vs 前田尚紀
（作真会館）（藤原ジム）
—3回戦—
石川直生 vs ガン・ヒョングン
（青春塾）（韓国）
金統光 vs ジェット・デイビー
（藤原ジム）（イラン／青春塾）
岩浅晶士 vs 栗原毅
（S.V.G.）（作真会館）
熊谷敦 vs 稗田健晴
（TEAM-1）（REX JAPAN）
田中孝征 vs ラスカル・タカ
（藤原ジム）（月心会）

新日本キックボクシング協会

3・31後楽園大会に ムエタイ強豪選手4人上陸！

3月31日（土）に開催される『Real Champion Appearance』では、小笠原仁、武田幸三、深津飛成、石井宏樹の4人がムエタイの強豪選手とそれぞれ対戦する。特に、タイ・ラジャダムナンのチャンピオンとなった小笠原、武田は絶対に負けられないところ。深津は前回の1・21の後楽園ホール大会で、ラジャの現役チャンピオンに勝利を逃しているので、今回は相手は違うとはいえ、同じタイ人相手に借りを返したいところだ。前回、初めて日本人に敗れた菊地は、飛見立久との対戦に日本バンタム級のタイトルを賭けることになる。

▲小笠原仁 vs メッケンナー・ソー・キンスター

▲武田幸三 vs ガオグライ・ゲーンノラシン

Real Champion Appearance
3月31日（土）東京・後楽園ホール

◆開場/17:00　試合開始/17:15
◆入場料/SRS席20,000円　RS席15,000円　S席10,000円　A席7,000円　B席5,000円　立見4,000円（当日のみ）
◆チケット発売/発売中
◆チケット発売所/チケットぴあ、後楽園ホール、伊原道場、協会各ジム、協会公式ホームページ
◆会場アクセス/JR総武線、都営三田線水道橋駅より徒歩3分、地下鉄丸ノ内線・南北線後楽園駅より徒歩3分
◆お問い合わせ/伊原道場☎03-3461-4258　伊原プロモーション☎03-3780-1338

決定対戦カード
—5回戦—
小笠原仁 vs メッケンナー・ソー・キンスター
（伊原ジム）（タイ）
武田幸三 vs ガオグライ・ゲーンノラシン
（治政館ジム）（タイ）
菊地剛介 vs 飛見立久
（伊原ジム）（誠真ジム）
深津飛成 vs サックニラン・サックテーワン
（伊原ジム）（タイ）
石井宏樹 vs ソンコム・ギアッヌクン
（藤本ジム）（タイ）
米田克盛 vs 庵谷鷹志
（トーエルジム）（伊原ジム）
中川タカシ vs 鈴木洋見
（トーエルジム）（伊原ジム）
—3回戦—
遠藤心平 vs 石井彰英
（治政館）（誠真ジム）
青木克真 vs 中西健太
（トーエルジム）（藤本ジム）
今野祐太 vs 関直人
（伊原ジム）（尾田ジム）
エンペラー達志 vs 土屋武志
（ホワイトタイガー）（横須賀太賀）

Result 2.25『TOELL YOKOHAMA GYM FIGHT Ⅲ』全試合結果

★第12試合（3分5R）
○マサル（判定3-0）清水政和●
〈トーエル〉〈治政館〉

★第11試合（3分5R）
○頼信（判定3-0）鈴木祐作●
〈トーエル〉〈伊原〉

★第10試合（3分5R）
○大野信一朗（3R2分36秒、TKO勝ち）江森禎紀●
〈藤本〉〈治政館〉

★第9試合（3分5R）
○鈴木敦（5R2分05秒、KO勝ち）今村歩●
〈尚武会〉〈トーエル〉

★第8試合（3分4R）
△倉島敏光（判定0-0、ドロー）福元祐一△
〈尾田〉〈治政館〉

★第7試合（3分3R）
○森田亮二郎（1R2分58秒、KO勝ち）北野正一●
〈藤本〉〈誠真〉

★第6試合（3分3R）
○新宅大介（判定2-0）良平●
〈伊原〉〈トーエル〉

★第5試合（3分3R）
○石川準（判定3-0）関直人●
〈宮川〉〈尾田〉

★第4試合（3分3R）
△孫創基（判定1-0、ドロー）今野裕太△
〈トーエル〉〈伊原〉

★第3試合（3分3R）
△小山晋吾（判定1-0、ドロー）新井因果勝珠△
〈大分〉〈野本〉

★第2試合（3分3R）
○岡本和美（判定2-0）大山吉隆●
〈大賀〉〈藤本〉

★第1試合（3分3R）
○タヤノウエマンジマル（1R2分52秒、KO勝ち）青木貴尚●
〈ホワイトタイガー〉〈大賀〉

▲ダブルメイン第2試合。ライト級2位の清水（右）と3位のマサルの対戦は、アグレッシブにパンチで前に出たマサルが判定勝ち

▲ウェルター級4位の頼信（右）は、出足に合わせたカウンターのヒザで鈴木祐作を圧倒。大差の判定勝利をモノにした

撮影◎菊地奈々子

Ticket Present!

3・31『Real Champion Appearance』後楽園大会のチケットを、『SRS・DX』読者5組10名様にプレゼント！　希望者はハガキに氏名、年齢、職業、住所、電話番号、今号の感想を明記して、下記のあて先までご応募を。締め切りは3月22日（木）の消印有効。なお、当選者の発表は発送をもって代えさせていただきます。
◆あて先/〒101-0054
東京都千代田区神田錦町3-14-12 神田NSビル8F
SRS・DX編集部「3・31新日本キックチケットプレゼント」係

はまっこムエタイジム

MUAY THAI WAVE FROM YOKOHAMA
3月18日（日）神奈川県立保土ヶ谷公園体育館

◆開場/11:00　試合開始/11:30
◆入場料/指定席5,000円　自由席3,500円
◆チケット発売/発売中
◆チケット発売所/はまっこムエタイジム
◆お問い合わせ/はまっこムエタイジム☎045-790-1709
e-mail:hodogaya0318@hmg.co.jp

※全日本キックボクシング協会P.50に続く

その他

ホークエンターテイメント

第3回TITAN FIGHT
3月25日（日）東京・アールンホール

◆試合開始/14:00
◆入場料/3,000円　※当日は500円増し
◆チケット発売/未定
◆チケット発売所/チケットぴあ
◆会場アクセス/東京モノレール東京流通センター駅より徒歩2分
◆お問い合わせ/ホークエンターテイメント☎03-5734-5354

空手

極真会館（松井派）

第7回全日本青少年空手道選手権大会
5月3日（木・祝）、4日（金・祝）埼玉・戸田市スポーツセンター

◆開場/未定　◆入場料/無料
◆会場アクセス/JR埼京線戸田駅より徒歩7分
◆お問い合わせ/大会事務局　極真会館埼玉支部盧山道場☎048-256-8255

日本グローブ空手道連盟

第10回グローブ空手オープン選手権大会
3月31日（土）　東京武道館

◆試合開始/未定　◆入場料/無料
◆会場アクセス/地下鉄千代田線綾瀬駅より徒歩5分
◆お問い合わせ/日本グローブ空手道連盟☎03-5625-2371

勇志会空手道

第12回東都空手道選手権大会
4月8日（日）神奈川・川崎市とどろきアリーナ・メインアリーナ

◆選手集合/9:00　◆入場料/無料
◆会場アクセス/JR南武線・東横線武蔵小杉駅より徒歩25分、またはバス7分
◆お問い合わせ/勇志会空手道　大会事務局☎03-3990-9270

全日本新空手道連盟

第61回新空手道交流試合（全日本大会予選）
3月20日（火・祝）東京武道館・第一武道場

◆試合開始/12:00
◆入場料/大会パンフレット購入者のみ入場可
◆会場アクセス/地下鉄千代田線綾瀬駅より徒歩5分
◆お問い合わせ/新空手・本部☎03-3239-4994

合気道SA

オープントーナメント 実戦・リアル合気道選手権大会3
4月15日（日）東京・八王子クリエイトホール

◆試合開始/13:00　◆入場料/3,000円
◆チケット購入方法/観戦希望者の氏名・住所・電話番号を明記し、入場料とともに現金書留で下記の住所まで送付する。書留到着後、チケットを送付。3月31日（土）必着
◆会場アクセス/JR中央線八王子駅、京王線京王八王子駅より徒歩4分
◆お問い合わせ/合気道SA　櫻井文夫　〒193-0821 東京都八王子市川町128-280☎0426-51-8418☎090-3807-2205

GCM COMMUNICATION

CCC.ver.1.1 (class-C Contenders Cross-link)
3月18日（日）神奈川・TIGER PLACE

◆開場/10:00　試合開始/11:00　◆入場料/無料
◆会場アクセス/JR南武線尻手駅より徒歩8分
◆お問い合わせ/GCM COMMUNICATION☎03-5200-3511

パレストラ

福島フリーファイト with FUKUSHIMA B.J.J. JAM 2
3月4日（日）福島・郡山総合体育館・柔道場

◆試合開始/10:00　◆入場料/無料
◆会場アクセス/JR東北本線・新幹線郡山駅よりバス15分（一本松前下車）
◆お問い合わせ/パレストラ福島☎090-2883-9458、パレストラ仙台☎023-645-1442、パレストラ東京☎03-5984-3209

四国フリーファイト with SHIKOKU B.J.J. JAM 2
3月18日（日）香川・牟礼総合体育館2F

◆試合開始/10:00　◆入場料/無料
◆会場アクセス/高松琴平電気鉄道志度線八栗駅より徒歩15分
◆お問い合わせ/グレイシー・バッハ・シコク☎0879-23-6707 ☎090-1005-9362、パレストラ東京☎03-5984-3209

博多フリーファイト3 with KYUSHU B.J.J. JAM 3
4月1日（日）福岡・ももちパレス・柔道場

◆試合開始/10:30　◆入場料/無料
◆会場アクセス/市営地下鉄藤崎駅より徒歩3分
◆お問い合わせ/パレストラ東京☎03-5984-3209、パレストラ北九州☎070-9405-7168

第4回西日本アマチュア修斗オープントーナメント
3月25日（日）京都・PUREBRED京都

◆試合開始/10:30　◆入場料/無料
◆会場アクセス/京都市営烏丸線烏丸御池駅、四条駅から徒歩5分
◆お問い合わせ/日本修斗協会　アマチュア普及委員会☎03-5984-3209、関西事務局☎06-6390-5010

第4回東日本アマチュア修斗オープントーナメント
4月15日（日）東京・台東リバーサイドスポーツセンター3F第1武道場

◆試合開始/10:30　◆入場料/無料
◆会場アクセス/地下鉄銀座線、都営浅草線、東武伊勢崎線浅草駅から徒歩10分
◆お問い合わせ/日本修斗協会アマチュア普及委員会☎03-5912-6455

T.A.M.A.（トータル・アスレチック・マーシャル・アーツ）

格闘技サミット交流戦
4月29日（日）東京・ニューシティーホール国立特設コート

◆開場/11:00　試合開始/11:30　◆入場料/2,000円（当日3,000円）
◆会場アクセス/JR中央線国立駅南口より徒歩2分
◆お問い合わせ/T.A.M.A.代表　長瀬正和☎0425-72-6795　☎090-4829-3773

G×G実行委員会

GRAPPLERS'GALA 4
3月25日（日）東京・夢の島総合体育館

◆試合開始/15:00　◆入場料/無料
◆会場アクセス/地下鉄有楽町線、JR京葉線、臨海副都心線新木場駅より徒歩10分
◆お問い合わせ/G×G実行委員会代表ひるまあつのり　☎090-8316-1168

キックボクシング

全日本キックボクシング連盟

CROSS FIRE-Ⅱ
4月6日（金）東京・後楽園ホール

◆開場/17:00　試合開始/17:15
◆入場料/RS席12,000円　S席8,000円　A席6,000円　B席4,000円　立見4,000円（当日のみ）　※当日は1,000円増し
◆チケット発売/発売中
◆チケット発売所/チケットぴあ、後楽園ホール、全日本キック電話予約
◆会場アクセス/JR総武線、都営三田線水道橋駅より徒歩3分、地下鉄丸ノ内線・南北線後楽園駅より徒歩3分
◆お問い合わせ/全日本キックボクシング連盟☎03-3365-1171

決定対戦カード

金沢久幸 vs 浜川憲一
（TEAM-1）（作真会館）

立嶋篤史 vs 大月晴明
（RIKIジム）（REX JAPAN）

ニュージャパンキックボクシング連盟

CHALLENGE TO MUAYTHAI 4 選手育成シリーズ第1弾
3月20日（火・祝）愛知・名古屋市公会堂4Fホール

◆開場/15:00　試合開始/16:00
◆入場料/SS席10,000円　S席7,000円　A席5,000円　自由席3,000円　※当日は1,000円増し
◆チケット発売/発売中
◆チケット発売所/チケットぴあ、名古屋JKF、大和ジム、ニュージャパンキックボクシング連盟
◆会場アクセス/JR中央本線、名古屋市営鶴舞線鶴舞駅より徒歩4分
◆お問い合わせ/ニュージャパンキックボクシング連盟☎03-5625-2371　名古屋JKF☎052-911-6800

決定対戦カード

—5回戦—

X vs 山本恭太
（大和ジム）

稲葉直樹 vs 竹村健二
（早川ジム）（名古屋JKF）

ラクレイ・ソー・ワッチャラ vs 中島稔倫
（タイ）（大和ジム）

ティレック・ポーサンランチャイ vs 佐藤孝也
（タイ）（名古屋JKF）

コンデージ・シッセン vs 佐藤嘉洋
（タイ）（名古屋JKF）

—3回戦—

X vs 中山貴仁
（大和ジム）

倉田明彦 vs 大川真人
（早川ジム）（大和ジム）

小原靖司 vs 溝端克敏
（KOファクトリー）（健心塾）

高野義章 vs 柳澤義弘
（健心塾）（闘真ジム）

菅崎英世 vs 後藤一喜
（KOファクトリー）（拳之会）

アマチュア

C.F.C.

第18回アマチュア・コンプリート・ファイティング ～ワンマッチ大会～
3月11日（日）神奈川・TIGER PLACE

◆開場/10:00　試合開始/12:00　◆入場料/無料
◆会場アクセス/JR南武線尻手駅より徒歩8分
◆お問い合わせ/C.F.C.事務局☎0564-55-9070（16:00まで）☎0120-00-4524（17:00以降）

BACK NUMBER INFORMATION
バックナンバー インフォメーション

2号・11号・12号・20号・22号・23号・25号・26号・30号・32号・33号・36号は完売しました。
売り切れ続出につき、お買い求めはお早めに!

《7・8 創刊号》
●大会情報/6・20『K-1 BRAVES'99福岡大会』
●インタビュー/髙田延彦、桜庭和志、エンセン井上

《8・12 創刊3号》
●インタビュー/フランク・シャムロック、マーク・ケアー、小川直也インタビュー
●SRS・DX特集★第3弾/佐山聡の掣圏道とは何か?

《8・26 4号》
●インタビュー/ホイス・グレイシー、佐竹雅昭、桜庭和志、田村潔司、ビル・ロビンソン
●極真カラテ（松井派）世界大会へのカウントダウン
●SRS・DX特集★第4弾/沖縄の夏 美女と達人に出会う旅

《9・9 5号》
●完全速報/8・22『K-1 SPIRITS有明コロシアム大会』
●インタビュー/石井和義、髙田延彦、アレクサンダー大塚、魔裟斗、郷田勇三、田中健太郎
●SRS・DX特集★第5弾/最強! 俺の格闘お宝アイテム

《9・23 6号》
●インタビュー/髙田延彦、前田日明、エンセン井上、佐山聡、髙阪剛、武蔵、ノブ・ハヤシ
●SRS・DX特集★第6弾/大山倍達を悩ませた最後の格闘技『中国拳法の謎』
●短期集中連載・極真世界大会カウントダウン/昭和編 盧山初男

《10・14&28 合併号 7号》
●本誌独走スクープ!/猪木&小川 闘魂師弟、モンゴル相撲に殴り込み!!
●完全詳報/9・12『PRIDE.7』
●SRS・DX特集★第7弾/桜庭和志の『バーリ・トゥードはプロレス技で勝て!』

《11・11 臨時増刊号 8号》
●完全速報/10・3『K-1 GRAND PRIX'99開幕戦』大阪ドーム大会
●現地徹底取材/9・24『UFC-22』
●大特集/格闘王国オランダの強さに迫る

《11・11 9号》
●第7回極真世界大会直前大特集/大山倍達のカラテ道人生、ブラジル怪物育成の秘密に迫る
●歴史的対談実現! 石井和義VS松井章圭
●SRS・DX特集★第8弾/微笑みの国タイの国技ムエタイとは何か?

《11・25 10号》
●完全速報/11・5〜7『第7回極真世界大会』
●詳報/10・28『リングスKOK』代々木大会
●11・21『プライド8』有明大会直前情報/髙田、ゴエス インタビュー

《1・13 13号》
●インタビュー/佐竹雅昭、桜庭和志、フランシスコ・フィリォ、アーネスト・ホースト、アレクサンダー大塚×ターザン山本対談
●『SRS・DX』が選んだ1999年格闘技界10大ニュース
●詳報/バーリ・トゥード・ジャパン'99

《1・27 14号》
●1・30東京ドーム『PRIDE GP 2000』大会情報 髙田、桜庭、エンセン井上、大刀光インタビュー、佐竹雅昭×ターザン山本対談
●本誌初登場! 船木誠勝インタビュー
●SRS・DX特集★第9弾/まだある大山倍達 世界ケンカ旅行の謎

《2・10&24 15号》
●PRIDE GP 2000直前大特集/佐竹&藤田のシアトル衝撃スパーをレポート◎佐竹のシアトル絵日記◎藤田インタビュー◎ホイス&ホリオンインタビュー
●熱烈応援! 2・26リングスKOK/田村潔司インタビュー、アイブル インタビュー

《3・9 臨時増刊号 16号》
●完全速報/1・30東京ドーム『PRIDE GP 2000開幕戦』
●熱烈応援! 2・26『リングスKOK』★編集長インタビュー/前田日明、ヘンゾ・グレイシーインタビュー
●緊急バナナ大食い鼎談! 「なんと! 『プライドGP』は、ターザンの遺産だった!?」

《3・9 17号》
●5・1東京ドームへ『PRIDE GP 2000』その波紋の行方/藤波辰爾、永田裕志、桜庭和志、佐竹雅昭、エンセン井上インタビュー、ボブチャンチン×ターザン対談、アレク×ターザン対談
●熱烈応援! 2・26『リングスKOK』★編集長インタビュー/前田日明 ほか

《3・23 18号》
●徹底検証&完全詳報「リングスKOK」/KOK緊急大総括、田村、ヘンゾ、ヘンダーソン、ハンインタビュー、試合レポート
●佐竹、掣圏道に弟子入り
●SRS・DXの注目!/ついに新日本のG1王者中西学初登場!

《4・13 19号》
●5・1『PRIDE GP 2000決勝戦』情報/藤田パラオでA.猪木と猛特訓!、ホイス・グレイシーインタビュー&緊急会見、桜庭和志大激怒の反論会見
●緊急勝利宣言! ターザンの長い闘いの成果か!? 「俺はこの言葉がほしかった!」

《5・11 21号》
●完全詳報/4・23大阪ドーム『K-1 THE MILLENNIUM』
●5・1『PRIDE GP 2000』直前情報/エリオインタビュー、佐山聡VSターザン山本対談
●大会速報/4・20リングス代々木第二体育館大会

《6・22 24号》
●完全速報! 6・4『プライド9』
●大会詳報 5・28『K-1 SURVIVAL 2000』札幌大会
●その後の『コロシアム2000』/近藤有己&吉村直明プロデューサーインタビュー

《8・10 27号》
●スペシャル対談/アントニオ猪木VSターザン山本、桜庭和志VS中井美穂（後編）
●8・27『プライド10』特集/桜庭和志、ヘンゾ&ハイアン・グレイシー、藤原喜明、ケン・シャムロック、エンセン井上インタビュー
●編集部注目!/アレクサンダー・カレリン、『新生パンクラスの男たち第1回』近藤有己

《8・24&9・14 合併号 28号》
●8・20『K-1 WORLD GP 2000 in 横浜』直前情報/緊急座談会、盧山初雄、シリル・アビディ、中迫剛インタビュー
●8・27『プライド10』直前情報/猪木が石澤&藤田を従えPRIDE出陣記者会見、新間寿VSターザン山本対談、ハイアン・グレイシーインタビュー

《9・28 臨時増刊号 29号》
●緊急追悼特集/8・24アンディ・フグ逝く
●大会速報/8・27『プライド10』
●大会詳報/8・20『K-1 WORLD GP 2000 in 横浜』、フランシスコ・フィリォ&シリル・アビディ インタビュー
●海外レポート/桜庭戦後のホイス・グレイシーをロスの自宅でキャッチ
●大会レポート/女子ボクシング世界戦in韓国、極真全関東大会
●噂の三面記事/パンクラス・近藤がUFCに挑戦! 10・22『サムライ』有明大会で柳澤龍志が掣圏道と激突! ほか

《10・12&26 合併号 31号》
●巻頭ストーク特集・第2弾! 検証・まだまだ続く石澤問題!!/山本小鉄、辻義就インタビュー
●海外レポート/9・22『UFC 29』パンクラス・近藤、UFC初見参!
●石井館長と語ろう! 10・9『K-1 WORLD GP 2000』福岡大会の見どころ!
●10・31『プライド11』特集/髙田延彦、藤田和之、桜庭和志（後編）インタビュー
●『SRS・DX』の注目!/10・22『サムライ』有明大会、どうなる極真・全日本!
●大会速報/9・24パンクラス横浜文化体育館大会、新星パンクラス・須藤元気
●大会レポート/9・10正道会館全日本大会、9・13全日本キック後楽園大会、9・15修斗後楽園大会、9・20SB後楽園大会、9・21女子ボクシング下北大会

《11・23 34号》
●完全詳報&特別企画/10・31『プライド11』大阪城ホール大会、緊急『プライド』座談会
●完全詳報/11・1『K-1 J・MAX』後楽園ホール大会/魔裟斗&小比類巻、メジャーリーガーの証明
●『SRS・DX』の注目!/大仁田厚が『プライド』森下社長に猪木戦直訴!、12・17修斗NKホール大会で宇野薫VS佐藤ルミナ戦 決定!、11・26『バトラーツ駒沢大会』直前情報
●大会レポート/10・31『パンクラス』後楽園ホール大会、10・29『アルティメット・ボクシング』有明大会、11・4〜5 極真全日本空手道選手権 大会速報、10・21ニュージャパンキック名古屋大会、10・28 新日本キック後楽園大会
●ついに発売!!サクラバマシンフィギュア&アントンTシャツ情報!

《12・14 35号》
●世紀末大特集・20世紀と格闘技/プロレス&格闘技年表、力道山、新日本プロレス、極真、UWF、K-1、UFC、『プライド』、平成のデルフィン、東スポ伝説、私の選んだ名勝負BEST.5
●インタビュー大特集/バンナ、武蔵、谷津嘉章、髙橋義生、アレク、魔裟斗、武田幸三、12・3ラジャ興行に出場する新日本キック王者たち
●ターザン座談会/2000年のMVPは誰だ!
●大会レポート/11・12『クラブファイト』、11・12修斗後楽園大会、11・11MAキック後楽園大会
●噂の三面記事/12・31、猪木イベントの正体はワンナイト・タッグトーナメント! 新イベント『DEEP 2001』に未知のグレイシー来襲か!? 打倒ムエタイのロマンとは何か? ほか

《1・11 37号》
●大会速報! 12・23『プライド12』さいたまスーパーアリーナ大会
●大会詳報/12・16『UFC-J』ディファ有明大会、12・17修斗NKホール大会
●噂の三面記事拡大版/12・12桜庭とヒクソンがフジテレビのトーク番組で夢の顔合わせ ほか
●SRS・DXの注目/12・31『猪木ボンバイエ』最新情報! ヘンゾ・グレイシーインタビュー、アンディ・フグ納骨式、髙田道場、未来のファイターにレスリングを指導、リングス12・22大阪大会 ターザン山本潜入観戦記、1・4全日本キック後楽園決戦へ!
●大会レポート/12・9パンクラス青森大会、12・17アルティメット・ボクシング有明大会、12・9日本キック後楽園大会、12・12女子ボクシング下北大会

《1・25 38号》
●徹底検証! 12・31『猪木ボンバイエ』大阪ドーム大会
●新春スペシャル対談 3連発!/髙田延彦vsターザン山本（前編）、アントニオ猪木VSシュガー・レイ・レナード、シリル・アビディVSはせキョー
●本誌スタッフより格闘家の皆様へ21世紀の大提言!
●『プライド12』徹底検証インタビュー/桜庭和志、藤田和之、12・26猪木成田会見
●新春フライング天国座談会「21世紀のエンターテインメント」
●祝ラジャダムナンスタジアム Jr.ミドル級タイトル奪取/伊原信一&小笠原仁インタビュー
●大会レポート/12・22全日本キック後楽園ホール大会

《2・8 39号》
●SRS・DX特集/No More Deadlock 膠着を打破せよ! 徹底検証座談会、特別対談☆桜庭和志vsターザン山本、ガイ・メッツアーインタビュー、エンセン井上インタビュー、ボクシングの膠着、やる側の理論家の膠着分析、ターザン山本膠着を総括
●噂の三面記事/格闘技界に激震走る! UFCが身売り!
●新春スペシャル開運対談（後編）/髙田延彦VSターザン山本
●大会詳報/1・8『DEEP2001』名古屋大会、1・12『ウルフレボリューション』Zepp Tokyo大会
●ターザン山本炎上コラム「21世紀のプロレスとは?」
●大会レポート/1・12SB後楽園大会、1・19修斗後楽園大会、1・21新日本キック後楽園大会、1・4全日本キック後楽園大会

《2・22 40号》
●SRS・DX特集/NO MORE バッタもん! 巻頭座談会（A面）、ブランドを賭けた名勝負10選、柔道・古賀稔彦インタビュー、新日本プロレス、グレイシー柔術、極真空手、リングス、古武道・『格闘Kマガジン』山田編集長インタビュー
●SRS・DXの注目/アレク、魔裟斗、小比類巻インタビュー
●飛び出せニューヒーロー/今村雄介、大山利幸インタビュー
●大会詳報/1・30『K-1 RISING 2001』松山大会、2・4パンクラス後楽園ホール大会
●レポート/1・26NJKF後楽園ホール大会、1・28MAキック後楽園ホール大会、1・27クラブファイト&1・21タイタンファイト、猪木成田劇場『アントンとゆかいな仲間たち』

《3・8 41号》
●噂の三面記事拡大版/ヒクソン大ショック! 最愛の息子ハクソンさんがバイク事故死!
●『プライド13』さいたまスーパーアリーナ大会情報/安田忠夫、北の富士、桜庭和志、シウバインタビュー
●パンクラス近藤"『プライド』出陣宣言"の行方/近藤有己、尾崎社長インタビュー
●『K-1GLADIATORS』横浜大会情報/バンナ、アビディ、グレート草津インタビュー、クロアチアで見たミルコ
●K-1オランダ大会詳報/サダハルンバ編集長、格闘技王国オランダを行く
●SRS・DX特選インタビュー/伊藤隆・引退、エンセン井上&加藤鉄史&KID、村浜武洋、港太郎
●大会レポート&トピックス/2・12猪木成田会見、2・12アルティメット・ボクシング有明大会、2・16全日本キック後楽園大会
●インフォメーション/格闘ショップ『グレートアントニオ』オープン

バックナンバー 通信販売方法

定価/各680円 送料/1冊=310円、2冊=340円、3冊以上=500円。希望冊数×680円と冊数分の送料を、現金書留にて下記までお送りください。
住所、氏名、希望号数の明記をお忘れなく。発送まで1〜2週間ほどかかりますのでご了承ください。

〒101-0054 東京都千代田区神田錦町3-14-12 神田NSビル8F 『SRS・DX バックナンバー係』まで お問い合わせは ☎03-3295-4445

浅草キッドの底抜けアントンハイセル

『プライド13』直前大予想
キッドの注目はやっぱり安田！

◎浅草キッドHP『キッドリターン』
http://www.kidchan.com

玉袋 エ～ンエ～ン！ 俺たちの教祖様である、アントニオ猪木様がホームレスになっちゃったー!!

博士 衝撃的だったな、2・18の両国国技館。まるで角川映画「復活の日」のようだった。

玉袋 「復活の日」の草刈正雄ですよ。そして、往年の「猪木VSアリ戦」の復活を宣言！

博士 そうだな、あの世紀の一戦の復活のために爆弾発表されたのがマイク・タイソンとの対戦だ！ 気になる対戦相手だけど…。

玉袋 絶対にIWGPのチャンピオン佐々木健介ですよ！

博士 健介は試合後にマイクアピールで、猪木様の爆弾発言の最高のネタ振りがあるにも関わらず、そのことにゃまったく触れなかっただろ！

玉袋 あれじゃ、話が落ちないですよ！

博士 べつに小噺じゃないから猪木様のネタ振りに対してオチを期待する必要もないんだけど、あの壮大なネタ振りに対してしっかりオチをつけられる選手が新日本本体にも現れてほしいよ。

玉袋 でも、早春の両国国技館は、2・18新日、2・24リングス、3・2ZERO―ONEの3段オチ体制ですから、最後の橋本がキレイに落とします！

博士 べつに橋本の気の利いた落ちなんか期待できるか！ それよりリングスKOKファイナルは『SRS・DX』で特集できないのが、悔しいほどに超素晴らしい大会だった!!

玉袋 なんてったって第1試合。いきなり金原がホームレス姿で登場して、猪木のネタフリを落としたからね。

博士 金原のポンチョはホームレスをイメージしてるわけじゃないよ！ その金原選手、リングスのガイ・メッツアーことデイブ・メネーに延長のKO勝ち！

玉袋 準決勝では今回優勝したアントニオ・ノゲイラ相手に善戦した。

博士 初戦でろっ骨骨折、痛み止めの注射を6本打って準決勝出陣だったと後で聞いて驚いたよ。元広島の鉄人・衣笠だってそこまで折れてりゃ試合休むよ！

玉袋 元広島の江夏だって試合前に注射6本なんて無茶はしないですよ！

博士 なんで江夏さんの過去の汚点に話がいくんだよ！ 改名して期待された山本憲尚はV・オーフレイムに45秒で敗れた。

玉袋 よって今後は山本武蔵に再度改名します。

博士 山本と武蔵と負けっぷり豪快な2人を合わせてどうすんだよ！ まーとにかくノゲイラは強かった。所属クラブのベベウ監督は「桜庭とやらせたい」と発言している。

玉袋 前田CEOも「実現に向けて上の者と前向きに対処します」と言ってます。

博士 言うか！ なんでリングスが『プライド』への選手供給機関なんだよ！ KOKの選手層は文句なし、膠着なしのルールデザインも抜群！ 今回の大会は大成功だったし、今年はリングスの巻き返しに期待大だ！ そして対する『プライド13』も近づいてきた。

玉袋 豪華なカードですよ！ 桜庭VSシウバ、ボブチャンチンVSシャムロック、ヘンゾVSヘンダーソン。

博士 注目は安田VS佐竹だ！

玉袋 佐竹選手は柔道に続いて相撲と、空手バカ一代の実写版というべき対戦相手ですね。

博士 夢のカードだよ！ 安田選手は『プライド』初挑戦だけど、背負ってるものが凄いから侮れないぞ。

玉袋 ファイトマネーは〝葉紙〟でお願いします！

博士 相撲業界の前借りの専門用語使うな！

玉袋 でも安田選手は『プライド』に出場する前にKOKトーナメントに勝ち上がっての出場ですから。

博士 出てないだろ！

玉袋 いや、岸部シロー、村西とおる、千昌夫、美川憲一、阿修羅・原、松本竜助、大場久美子、島田揚子、蒼々たるメンバーが出場！

博士 そのメンバーのKOKトーナメントってなんだ？

玉袋 ここでの「KOK」とは「借りた・お金・返さない」の略です。

博士 どんなひどいトーナメントなんだよ！

玉袋 今大会から安田はリングネームを「シーガイア安田」に改名するそうですよ！

博士 しないよ！ 借金そんなに莫大なのかよ！ しかし、今まで死に体同然だった安田選手が、ちょっと猪木様に触れただけで、これだけ輝くんだからやっぱり猪木様のパワーは凄い。

玉袋 あのまま新日本に残ってレスラー生活をしていても、これだけの注目を浴びることはなかっただろうに。

博士 恥ずかしい私生活は隠して、なんの脚光も浴びずにレスラー生活を終えていただろう。

玉袋 でも、その逆にその恥の部分を開き直り全面に出したら、業界からもファンからも、それだけじゃない世間まで巻き込むスターになるんですよ！

博士 教祖様の教典どおり、まさに「馬鹿になれ」を実践したらブレイクしたってことだ！

玉袋 安田は現代の駒形茂兵衛で、猪木様がその相撲取りを助けた酌婦お蔦なんですよ！

博士 長谷川伸原作の大衆演劇「一本刀土俵入り」ってことか！

玉袋 絶対に大衆から支持を受けるはずなんですよ！ 同じ逆境に立たされたプロレスラーでも、チャンコ屋の経営が傾いて「愛の貧乏大作戦」に出て、みのもんたにイジられて泣いている姿をテレビで晒さなきゃいけないよりも、アントニオ猪木様にけど人生をチョイといじられて抜けているんだ人生が変わる瞬間のほうが、カラッとして見ていて気持ちがイイですよ。

博士 まぁ、そっちもアリだけど。凄いはずのレスラーがやっぱりあそこでイジられるのは見ていて複雑だったよ。

玉袋 思いっきり生電話で、どうしようもない悩みを人生相談してるババァと一緒ですからね！

博士 「そんなこたぁ、どうってことねぇですよ！」って「いつでもホームレスになってやろうじゃねぇか！」って気概を常に持ってるほうがカッコイイよ。

玉袋 安田選手の表情がメチャクチャ豊かになったでしょ。

博士 猪木様にシャクティーパッドを受けたレスラーは本当に表情が豊かになるんだよな。

玉袋 藤田選手と2度3度お仕事したんですけど、会う度にドンドン表情が豊富になってましたよ！

博士 本人は気が付いていないかもしれないけど、明らかに新日本時代には考えられない表情なんだよな。

玉袋 ロングガウンで入場する安田。

博士 赤いパンツの安田。

玉袋 成田空港に遅れて来て汗をカキカキの安田。オーバーオール姿ではにかむ安田。

博士 ロブスターをむしゃむしゃ食べる安田。なんか、一挙手一投足をず～っと見ていたい存在になったよ。

玉袋 桜庭人形の次は安田人形を是非出してほしい。そん時は是非「ジャンボマシンダー」クラスの大きさで頼む！

博士 あと試合の時、安田選手プロフィールには身長・体重の他に借金の残額を出すべきだな！

玉袋 借金返済まであといくらだって思ってみると、みんな一緒に闘っている気分になり、ますます感情移入できるよ。

博士 借金返済を考えれば、ズバリ！ タイソンと闘うのは安田かもな！

玉袋 たしかに巨大なファイトマネーで借金完済できるよ！

博士 でも、勝っても負けても安田選手が試合を続けて、いつかその残高が0になったら、多分俺は本気で泣くだろうな～……。

玉袋 泣くでしょうねぇ……。……チーン。

博士 そこで殺すなって！ ■

噂の三面記事

マット界で今、『プライド』参戦表明、続々……

まだまだいるぞ！ まさに雪崩現象だ！

“ノーフィアー”高山善廣がノア退団 5・27『プライド14』参戦へ！

今、マット界では、プロレスラー、格闘家が相次いで『プライド』参戦を表明している。2月28日、今度は“ノーフィアー”の高山善廣がプロレス団体「NOAH」の三沢光晴社長と記者会見に出席し、ノアを退団して5・27『プライド14』さいたまスーパーアリーナ大会に参戦することを正式に表明した。まさに雪崩現象。今、『プライド』を狙っているのは他にもいるのか？

出陣

"プロレス最強"のUWFインターで育った遺伝子がまた手を挙げた!

桜庭・藤田の活躍が大きな刺激『プライド』ドリームの時代だ!

まさに時代は『プライド』参戦表明の雪崩現象。

最近、パンクラスの近藤有己が、試合後に『プライド』参戦・桜庭挑戦を発表して物議を醸したが、今度は"ノーフィアー"の高山善廣が記者会見を開いて『プライド』出陣を正式に発表した。

2月28日、東京・有明にあるノアの事務所で会見を開いた高山は、まずノア退団を発表。会見には三沢光晴社長も同席して行われた。

「25歳でこの世界に入ってガンガンいけるのはあと数年。自分の可能性をいろんなところで試したい」と抱負を語った高山。ノーフィアーは解散せずにこれまでどおりプロレスのリングに上がり、ノアのリングにもフリーとして参戦。今後はプロレスとバーリ・トゥード二刀流をめざしていく。

すでに『プライド』を主催するDSEの森下直人社長とも会っており、早くも5・27『プライド14』さいたまスーパーアリーナ大会出場が濃厚となってきた。

高山はもともと高田延彦が社長を務めたUWFインター所属選手。最近は桜庭和志を始め、リングスの金原弘光や田村潔司、クラブファイトを主戦場にするヤマケンこと山本喧一などUインター所属選手が総合格闘技のジャンルで活躍している。高山が彼らUインター同期生から刺激を受けたのは言うまでもない。

しかも、そのUインターのキャッチフレーズは"プロレス最強"。その遺伝子があるからこそ、高山にとっても『プライド』出場は避けて通れない話だったのだ。

しかし、一方で今回の高山のノア退団劇は、4月から予定されているノアの日本テレビでの中継開始に対して、いろんな制約を受けないで自由にやりたかったからという噂もある。これは言ってみれば、新日本プロレスを退団して『プライド』のリングで活躍している藤田和之と同じケース。そういうこともあって、三沢社長は高山を快く送り出したのだ。

「俺らのスタンスとしては、出たいというのがいれば」と、選手が希望すれば『プライド』などと、本格的な交流をしていく姿勢を改めて口にした三沢社長。しかし、テレビ中継が始まれば、今後そうした問題も起こるはずである。

それにしても、ここ最近は公の場だけじゃなく、取材先で選手から本当に『プライド』に出場したいという声をよく聞くようになった。

パンクラスの近藤有己に、ノーフィアーの高山善廣。さらに海の向こうでは、UFCの顔とも言うべきティト・オーティズが桜庭挑戦を表明。新生UFCになったこともあり、年内にも桜庭VSティト戦の実現は濃厚だ。

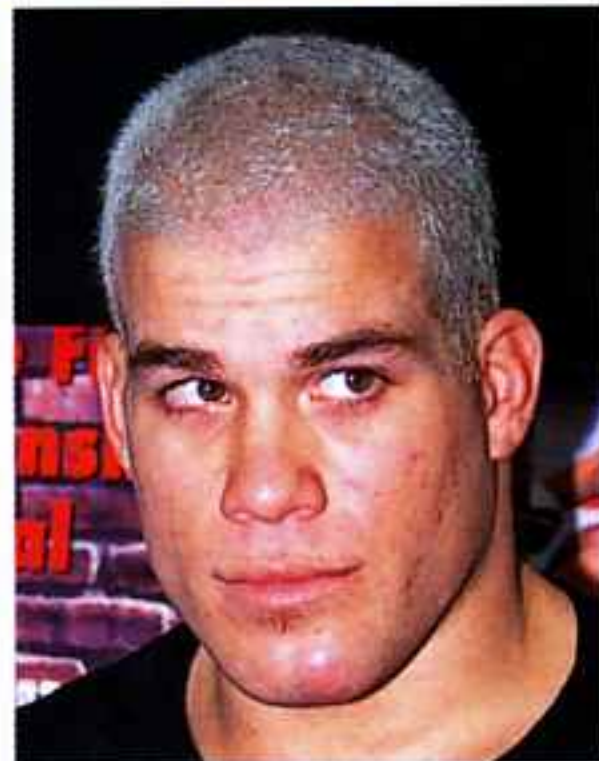
また、軽量級ではホイラー・グレイシーといい試合をやって名前を上げた村浜武洋が、本誌のインタビューで『プライド』参戦を口にしているし、修斗以外のリングで闘い始めた宇野薫の『プライド』出場の噂は絶えない。

さらに、名前は上げられないが、U系団体やプロレス団体にも『プライド』出場を狙う選手はまだまだたくさんいる。もちろん、新日本プロレスの石澤常光もその一人だ。

したがって、『プライド』出場を表明する大物選手の話題はまだまだ続きそう。そこが、今の『プライド』の魅力でもある。

これもそれも、やっぱり最大の理由は、桜庭の成功にあるだろう。グレイシーに4連勝した桜庭は、今や新しいタイプのプロレスラーとして社会現象とも呼ばれるほどの人気を獲得。グッズの売り上げはTシャツ業界全体の中でもナンバー1にもなっているし、CMにも引っぱりダコ。しかも、世界中の格闘技関係者から注目されるようになったのだから、これはタダ事ではない。元々は中堅レスラーのイメージが強かった桜庭が、一気に飛び級してプロレス大賞まで取ったのだから、『プライド』ドリームは選手の間で一気に高まったのだ。

藤田和之の例もそう。藤田も昨年フリーとなって『プライド』に参戦し、世界の強豪たちを破って、実力で一気に名を上げた。

ただでさえ、『プライド』のようなビッグイベントは、プロレスに比べてファイトマネーがいいと言われている。その上、名声が得られるのだから他の選手がこれに刺激を

『プライド』出陣を表明したり、参戦が噂される選手たち。高山は5・27『プライド14』出場が決定的。ティト・オーティズは桜庭に挑戦。問題となったパンクラスの近藤有己の『プライド』参戦発言。そして、村浜武洋や宇野薫も参戦が噂されている

◀「ノーフィアーはまだまだ継続。小川とも闘いたい」と語る高山

受けないはずがない。

従来のプロレスのシステムだと、スター選手を作り出すには最低10年はかかると言われてきた。しかし、『プライド』のような実力測定のリングとなると、それがたった一試合でも強烈なインパクトを残せば、一気にスター選手になれるチャンスが転がっている。その意味でも、『プライド』は選手の側にしてみれば、この上ない魅力のリングに映っているのだ。

高山は専門誌などでいきなり「マーク・コールマンやイゴール・ボブチャンチンとやってみたい」とか「『プライドGP』を制覇したい！」と口にしている。それだけ、対戦相手としても魅力のある選手がたくさんいる場でもある。そういったことが求心力につながり、『プライド』参戦表明の雪崩現象になっているのだ。

ところで、その『プライド』の今年一発目の大会となる3・25『プライド13』さいたまスーパーアリーナ大会の全カードの発表がかなり遅れている。

このページの締め切りまでの段階で、あらたに追加されたカードは、佐竹雅昭VS安田忠夫の一戦のみ。これで4カードが決定したわけだが、DSEによるとあと3〜4試合が数日後に決定されるという。今号の発売までには、おそらく全試合が発表されているだろう。

ちなみに現時点で掴んだ情報によると、残りの試合は『プライドGP』王者マーク・コールマンと期待の新星ヒース・ヒーリング、そしてガイ・メッツアー絡みのカードとなりそう。対戦相手としては、アラン・ゴエス、イーゲン井上、松井大二郎、ビクトー・ベウフォートらの名前が挙がっており最終調整に入っているところだという。■

3·25 『プライド13』決定カード

①	桜庭和志〈高田道場〉	VS	ヴァンダレイ・シウバ〈ブラジル/シュート・ボクセ・アカデミー〉
②	イゴール・ボブチャンチン〈ウクライナ/フリー〉	VS	ケン・シャムロック〈アメリカ/ライオンズ・デン〉
③	ヘンゾ・グレイシー〈ブラジル/ヘンゾ・グレイシー柔術アカデミー〉	VS	ダン・ヘンダーソン〈アメリカ/チーム・クエスト〉
④	佐竹雅昭〈怪獣王国〉	VS	安田忠夫〈フリー〉

※その他には、『プライドGP』王者マーク・コールマン、ヒース・ヒーリング、ガイ・メッツアー、ビクトー・ベウフォートらが出場予定

東海地方で高視聴率！『PRE−PRIDE』の3期生を募集中

東海地方で深夜ながら、毎週高視聴率を稼いでいる人気格闘技番組『プレ・プライド』（東海テレビ・毎週火曜24：40〜25：10）。同番組は、将来の『プライド』ファイターをめざす素人の若者を募集し、入門テストをして合格した者のみが髙田道場やA³ジム、怪獣王国、バトラーツといった道場に振り分けられて修行。3カ月間、みっちり鍛え上げて『プレ・プライド』トーナメントを行い、優勝したらプロデビューが保証されるという選手育成番組だ。第1回『プレ・プライド』で優勝した、慧舟會の江宗勲選手は、なんと3・20リングス、ディファ有明大会でデビューが決定。将来が非常に期待されている。

そんな『プレ・プライド』の第2回大会が3月18日（日）午後1時30分より、「渋谷CLUB　ATOM」で開催。小路晃、アレクサンダー大塚、松井大二郎といった『プライド』戦士に見守られる中、本大会トーナメントが行われる。この大会を一般のファンにも公開。観戦希望者は往復ハガキにて、〒107−0052　東京都港区赤坂8−5−4　ルーメリ赤坂103『PRE−PRIDE』観戦希望係まで。来場者全員に『プライド13』大会記念ポスターがプレゼントされる他、抽選で『プライド』レア・グッズもプレゼントされる。なお、当選は発送をもって代えさせていただくそうだ。

また、『プレ・プライド』では、4月から始まる第3期練習生も大々的に募集中。詳しい情報は、『プライド』オフィシャルサイトの『プレ・プライド』コーナーに掲載されているが、我こそはと思うプロになりたい若者は、（株）ドリームステージエンターテインメントまで履歴書を送ってくれ！

佐竹雅昭vs安田忠夫　実現！ 佐竹よ、安田にタックルを決めろ！

バクチ、借金、離婚とフェイクなしの人生を送って注目を集めはじめた安田忠夫の対戦相手が、同じく崖っぷちに立たされている佐竹雅昭に正式決定した。

しかし、この試合、どう考えても佐竹が不利だ。というのも、これだけ人生のどん底を味わった安田が、全てを賭けて『プライド』に出場してくるわけだから、どうしてもファンは新日本出身のプロレスラー安田に感情移入する。

しかも、相撲取り出身の安田に対して、すでに『プライド』で大物と闘ってきた佐竹のほうが有利だと思っているファンは多いはず。そんな佐竹が距離をとってローキックを蹴りまくり、安田のいいところをなんら引き出さずに勝っても、あまり評価されない可能性があるからだ。そう考えると、佐竹がこの一戦にどういうテーマを持たせるかは非常に難しい試合と言えるのである。しかも、安田は大刀光ほど簡単に勝てる相手ではないだろうし。

そこで本誌から佐竹に提案！たとえば、もし佐竹が安田に対してタックルを決めたらどうなるだろう。それこそ今までの佐竹のファイトスタイルからタックルするなんてまったく想像がつかないため、観客の度肝を抜くことは間違いない。

チャレンジするだけでも、観客の意識を佐竹に向けられる可能性はかなり高くなるが、さらにタックルで相撲取りの安田をひっくり返したりしたら、評価は一変するのは間違いないはずである。

佐竹のタックルは、たとえばひとつの例だが、もし観客のハートを掴むのならそれくらいの発想が必要だ。

小川が1Rは佐竹の得意な打撃で勝負したように、佐竹は安田の土俵に入って試合をしていくのか？　そんなところが焦点となる試合になりそうだ。

佐竹選手、ぜひタックルにチャレンジしてみてよ！　こうなったら、相撲で勝て！

マジ

夫人・向井亜紀さんの闘病生活に胸を打たれて決意！
髙田延彦、アテネ五輪めざし アマレス全日本大会に挑戦

昨年末、「忘れ物を取りに行くため、あと1試合限りにしたい」と『プライド』撤退宣言をしていたプロレスラー髙田延彦が、なんとアマレスでアテネ五輪をめざすことを表明した。

「大みそかに4年ぶりにプロレスの試合を経験したけど、何か感覚が違う……。今のプロレスは不自然な話題作りに走りすぎてて違和感を感じてしまう。よっぽどのことがない限り、すんなりプロレスに復帰することはできない」と髙田。そこで、新たな目標として浮上したのがアマレス挑戦話だ。

髙田道場は元々、60人以上のチビッ子レスラーが所属するアマレス界の一大勢力。少年少女のレスリング大会では、何人もの子供たちが優勝している。

そんな環境のせいもあって、髙田は自分も格闘技の原点であるレスリングを経験したいという気持ちになった。しかも、夫人の向井亜紀さんの闘病生活を見守る中で、自分ももう一度何かにチャレンジしたくなったのだろう。

そこで髙田は、元Uインターのレフェリーで、現日本体育大学レスリング部監督の安達巧氏に相談。「髙田さんなら十分いける」というアドバイスを受けて決意。髙田はグレコローマン・スタイル130キロ級で、3年後のアテネ五輪をめざすことになった。

これに対して、日本レスリング協会の反応も早かった。髙田の五輪挑戦を全面的に支援する姿勢を表明し、いきなり9月23～30日、米国ニューヨークで開催予定の世界選手権に出場できる可能性も出てきたのだ。

世界選手権に出場するためには、国内で行われる全日本選手権と、全日本選抜選手権を連覇しなければならない。もし、両大会の勝者が違う場合は、出場者決定戦を行うシステムになっている。

全日本選手権は昨年12月に終了しているが、全日本選抜は6月に行われる予定。実績のない髙田に出場権はないが、レスリング協会では「強化委員会特別推薦枠」で出場してもらうのも可能だという。ただし、髙田自身は「ありがたい話だが、まだまだ覚えなくてはならないことがあるし、『プライド』での忘れ物実現も残っているので」と慎重な構えだ。

これまで、谷津嘉章や石澤常光らプロレスラーがアマレスの大会に出場したことはあったが、髙田のようなレスリング出身でない選手が試合に出ようというのは極めて異例のこと。それだけに、髙田のこの挑戦には、心から拍手を送りたいと思う。

猪木が50億円のファイトマネーでマイク・タイソンを担ぎ出そうとしている中、髙田は自ら出場費を払ってアマレスの試合に出ようとしている。しかも、グレコローマン130キロ級と言えば、あの人類最強の男アレクサンダー・カレリンの階級である。なんて素敵な男なんだ。■

▶髙田のアテネ五輪挑戦には、日本レスリング協会も後押し。今年9月の世界選手権出場も夢ではなくなってきた

▲後輩の桜庭もレスリング経験者で頼もしいパートナー。髙田道場ではチビッ子レスリング教室も開いている

▲かつてプロレスラーになってからの谷津嘉章が「プロ・アマオープン化」をきっかけに全日本選手権で優勝しているが、なんといっても経験者。髙田の場合は、まったくの素人だ

ムエタイ

石井館長が本場ムエタイに乗り出し、統一K—1トーナメントを開催！

ラジャ、ルンピニーの王者が対戦 来年、K—1中量級世界大会開催

グローブをつけて、キック有りルールの立ち技格闘技のルーツといえば、ムエタイ。これまで、K—1はヘビー級中心にイベントを開いていたため、ムエタイとの接点はほとんどなかった。

しかし、K—1ジャパン開催、さらに昨年中量級を中心としたK—1J・MAXという大会を後楽園ホールでスタート。中量級に進出したからには、どうしてもK—1もまたムエタイ制覇は避けられないテーマとなってきた。

果たして、K—1は500年の歴史を持つムエタイとどう関わっていくのか？　そんなテーマが持ち上がった矢先、石井館長から仰天プランを聞かされた。それがK—1J・MAXの世界大会開催である。

石井館長の構想によれば、来年をメドにK—1J・MAXの世界大会実現に向けて、年内にも世界各地で予選トーナメントを開催。そのひとつとして、本場タイでもK—1の中量級トーナメントを開こうというのだ。

「2月の下旬にタイに行ってきて、ラジャダムナンとルンピニースタジアムのトップと会ってきたんですよ。有力プロモーターにもね。それでラジャとルンピニーのチャンピオンとランカー4人ずつを出して、計8名でトーナメントをやろうという話になったんです。ムエタイがトーナメントで倒し合いをするっていうのは、凄く画期的なことなんですよ」と嬉しそうに語る石井館長。

たしかにこれまでのムエタイは、ギャンブルのシステムがあるため、いわゆる倒し合いよりもポイントを奪い合う判定試合がほとんどだった。もし、K—1の中量級大会をやれば、KOを取り合うムエタイが誕生するということになるわけだ。しかも、タイでK—1という大会が開かれ、テレビ中継まですることになったというから信じられない。

石井館長はその階級を日本でも人材が揃っているウェルター級で、まずやろうとしている。ウェルター級には魔裟斗と小比類巻貴之という実力もあって華のあるホープが存在し、さらに現ラジャダムナン・ムエタイ王者の武田幸三がいる。今は武田が所属する新日本キック協会とK—1の交流はないが、もちろん出場を打診していく予定だ。

「でも、ムエタイといってもK—1J・MAXという世界大会に出場できるのは一人。日本代表も一人。そこが面白いんですよ。逆に中量級だったら、僕はムエタイよりさらに歴史のある中国武術から凄い選手が出てくると思うんですよ。韓国のテコンドーとか。そこに、ヨーロッパから2名、アメリカ大陸から2名といった8人のメンバーを集めたら、凄くレベルの高いトーナメントになるでしょう」と自信たっぷりの石井館長。

秋には日本国内でもトーナメントを開催する予定だが、いよいよ魔裟斗VS小比類巻は実現するのか？　そして武田は？　本場ムエタイも動き出したからには、これは目が離せない！■

ターゲットはウェルター級

▼石井館長が狙っている中量級は、日本でも層の厚いウェルター級。（左から）小比類巻貴之、魔裟斗、現ラジャダムナン王者・武田幸三のいる階級だ。年内にも日本グランプリを開く予定

◀2月19日から1週間、精力的にタイでムエタイ関係者と会ってきた石井館長。陸軍系のラジャダムナン、警察系のルンピニースタジアムのトップと会談した他、ソンチャイ氏といった有力プロモーターの合意をとりつけた。タイ側もK－1開催にやる気満々だ

変更

ああ、またも武蔵が負傷……。ニコラスとの日本人頂上決戦流れる……

K-1横浜は追加カードも超豪華！セフォーVSマクド、レコVSクルト決定

3・17K―1横浜アリーナ大会で注目されていたカードのひとつ、武蔵VSニコラス・ペタスの一戦が、武蔵の左第四中手骨・近位端剥離骨折のため、またキャンセルとなってしまった。この対決が流れたのは、昨年のK―1ザ・ミレニアム大阪ドーム大会に続いて2度目。その時も武蔵の負傷欠場によるものだった。

元々、このカードはどちらかと言えばニコラスのほうが強く望んでいたカードである。というのも、高校を中退してから来日し、10年以上日本で生活している日本語ペラペラのニコラスは、心はもはや日本人。そこで、現K―1日本人王者の武蔵を破って、自分がK―1の日本最強の男になりたかったからだ。そういう意味では、K―1戦士の中で誰よりも闘いたいのが、武蔵だった。

そこで武蔵戦が決まったニコラスは、今度は単身オランダに渡り、現K―1王者のアーネスト・ホーストのいるヨハン・ボスジムに入門。ホーストからは技術を学び、打倒・武蔵に燃えていたところだけにショックは隠しきれない。

しかし、この一戦は石井館長あずかりの試合とし、年内にも必ず実現させるとのこと。今のところ相性の悪い2人の対戦だが、これが運命のいたずらとなって実現した際は予想以上の名勝負になることを期待したい。それにしても武蔵は、まだ運に見放されているのだろうか……。

ニコラスの対戦相手は現在調整中だが、このページの締め切り時点では、スタン・ザ・マンやイギリスのマーク・ラッセルが有力だとか。

また、3・17K―1横浜アリーナ大会では、さらに追加カードとして2試合、注目の試合が決定した。それが、レイ・セフォーVSマイケル・マクドナルドとステファン・レコVSユルゲン・クルトの対戦である。

まず、セフォーに関しては昨年のGP決勝大会で準優勝という実績をつけての登場。これまで万年ベスト8止まりのイメージを見事払拭して、今年は優勝を狙う。対戦相手のマクドナルドはご存知アンディ・フグのスパーリング・パートナーで、ボクシング技術抜群の選手。セフォーもマイク・タイソンの興行権を持つアメリカン・プレゼンツジムに所属するボクサー型の選手。つまり、この試合はK―1の中でも屈指のボクシング技術対決となりそうだ。

しかも、同じボクシング対決といっても、バンナVSベルナルドがハードパンチャー対決だとしたら、セフォーVSマクドナルドはテクニック対決だと言える。ぜひ、そういう目で両対決を比べて見てほしい。

また、ステファン・レコも、昨年のGPで補欠ながらベスト8入りを果たし、極真のフランシスコ・フィリォと判定にもつれ込んでステップアップした選手。

その意味で、ちょうどベスト8ギリギリのところにいるのがレコの存在だ。だから、期待されている強豪は、今後このレコを打ち破れるかどうかがひとつの目標となる。

2・4K―1オランダ大会で実現したレコVSアレクセイ・イグナショフはまさにその典型。この試合でイグナショフはレコの技術を完封し、あらためて潜在能力の高さをアピールした。

しかし、結果はイグナショフの反則負けという不透明決着だったため、このK―1横浜大会で再戦させようというプランも浮上したが、イグナショフが予定している次の試合との間隔が短すぎて断念。

そこでイグナショフと同様、期待の新星であるクルトに白羽の矢が立てられたわけである。果たして、クルトはレコ越えを果たせるか!?

武蔵VSニコラスが流れたのは残念だが、この2試合の追加カードで全7試合、非常に内容の濃い興行となった。■

◀またも負傷でドタキャンとなった武蔵。復帰は4月のジャパン熊本大会か？

3・17 K-1 GLADIATORS 2001
横浜アリーナ

マイケル・マクドナルド〈カナダ/チームドラゴン〉	VS	レイ・セフォー〈ニュージーランド/アメリカン・プレゼンツ・ボクシングジム〉
ステファン・レコ〈ドイツ/マスターズ・ジム〉	VS	ユルゲン・クルト〈スウェーデン/ヴァレンテュナ・ボクシング・キャンプ〉
ジェロム・レ・バンナ〈フランス/ボーアボエル＆トサジム〉	VS	マイク・ベルナルド〈南アフリカ/スティーブズジム〉
ピーター・アーツ〈オランダ/メジロジム〉	VS	ミルコ・クロコップ〈クロアチア/クロコップ・スクワットジム〉
シリル・アビディ〈フランス/チーム・ロメアス・ボクシング・プラネット〉	VS	グレート草津〈チーム・アンディ〉
グラウベ・フェイトーザ〈ブラジル/極真会館〉	VS	中迫剛〈正道会館〉

サンボ

掣圏道の佐山聡が、ビクトル古賀氏の「ビクトルコマンドS」と全面協力

久々、ジャイ落がUBに参戦！初代タイガーが引退カウントダウン

日本のサンボの草分け的存在であり、〝サンボの神様〟とまで呼ばれロシアのサンビストからも尊敬されているビクトル古賀氏が、東京・日本橋に新格闘技道場「ビクトルコマンドS」を開設し、佐山聡の掣圏道が全面協力することが、3月4日（日）の記者会見で明らかになった。

「ビクトルコマンドS」は、ロシアでも広く名声を持ったビクトル古賀氏が、ロシア側との協議の末に作られた道場でもあり、団体としての活動も行っていく。つまり、ロシアの格闘技界から強豪選手をこの道場に集め、プロのファイターとして育成して掣圏道のアンリミテッドの試合や『プライド』などの総合格闘技の大会に選手を派遣するのが佐山とビクトル古賀氏の狙いだ。

これまで、掣圏道は北海道の旭川にある本間興業を窓口としてロシアの強豪格闘家を大量に招聘して試合を組んでいたが、ベースとなる格闘技はキックボクシングだった。それがビクトル古賀氏のルートで、一流のサンビストが増えることで、さらにロシアとのパイプが強くなったと言える。

こうした流れの中から、佐山はボディガードをコンセプトにしたアルティメットボクシングだけでなく、今後は素手による本当に無制限のなんでも有りの〝アンリミテッド〟にも力を入れていくという。

その掣圏道のプロ興行は、現在月1回のペースでディファ有明で開催しているが、前回のパンクラスのジェイソン・デルーシア出場に続き、3・11大会には佐竹雅昭の弟子で怪獣王国所属のジャイアント落合が出場することになった。

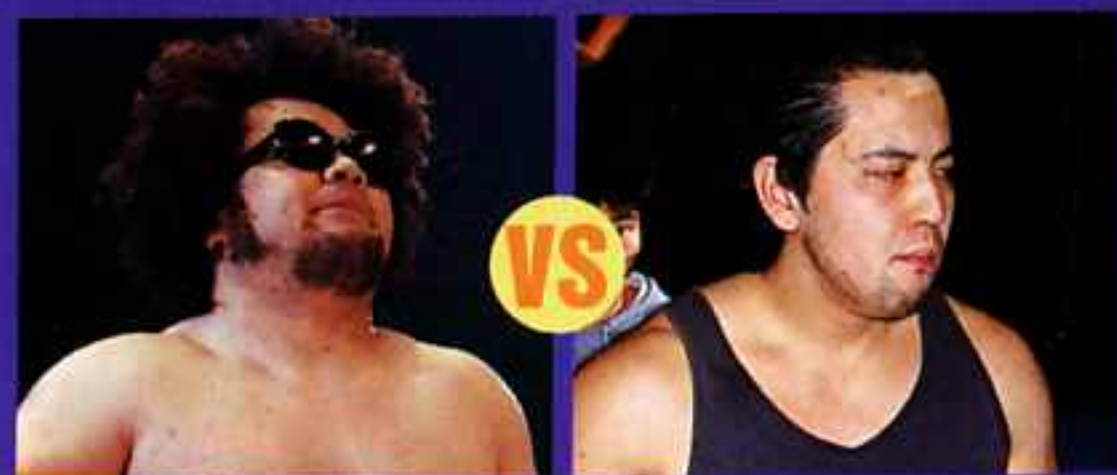
ジャイ落にとって、21世紀はこれが初ファイト。しかも柔道出身の落合にとって、初のアルティメットボクシング・ルールでの試合となる。

対戦相手は掣圏会館の指導員を務める佐山の直弟子・桜木裕司。この試合は桜木にとっても注目を集められる大事な試合となりそうだ。佐山直伝の掣圏道理論で、ジャイ落をブッ倒すことができるか？

また、その3・11ディファ有明大会から、「初代タイガーマスク引退試合カウントダウン3」と題して、佐山聡の現役引退試合が行われることになった。プロレスラー佐山の試合が見られるのは、これを含めてあと年内3回。その第一弾の対戦相手として、アレクサンダー大塚が出場。3・11大会ではメインイベントで、初代タイガーマスクVSアレクサンダー大塚の一戦が実現する。■

▲ビクトル古賀氏と協力体制をとり、さらにロシアンルートを強化する佐山聡代表

3・11『アルティメットボクシング』
ディファ有明大会

VS

●第6試合・ヘビー級
ジャイアント落合〈怪獣王国〉 VS 桜木裕司〈掣圏会館〉

●第9試合・初代タイガーマスク引退カウントダウン3・第一弾
初代タイガーマスク〈掣圏会館〉 VS アレクサンダー大塚〈格闘探偵団バトラーツ〉

●第8試合・ヘビー級
ボドリャチン・デニス〈ロシア・王者〉 VS グリラウスカス・ダリウス〈リトアニア〉

●第7試合・ミドル級
グスニエフ・アブドゥラフ〈ダゲスタン・王者〉 VS グルチキン・マキシム〈ロシア〉

●第5試合・スーパーヘビー級
アフメドフ・ズラフ〈ダゲスタン・1位〉 VS ユルコ・ドミトロ〈ウクライナ〉

●第4試合・ライトヘビー級
ヴィノクロフ・アルテム〈ロシア〉 VS 瓜田幸造〈掣圏会館〉

●第3試合・ミドル級
ワルダニャン・アルタク〈ロシア〉 VS チャナペック・ガイティディン〈タイ・習志野ジム〉

●第2試合・ヘビー級
ケベドフ・ミカイル〈ロシア〉 VS キヨシ〈習志野ジム〉

●第1試合・ミドル級
リッキー・バウンサー〈ブラジル/截空道〉 VS ゾドフ・ミカイル〈ロシア〉

※試合は全て3分3R

“PRIDEエグゼクティブ・プロデューサー”

「アントニオ猪木写真展」

フジテレビ1Fシアターモールにて、3月21日(水)まで開催中!

3月20日(火・祝)には、猪木プロデューサーが来場してのイベントも開催!

© TAZUKO HASHIMOTO

PRIDEエグゼクティブ・プロデューサーとして、いくつもの夢のマッチメイクを実現させているアントニオ猪木氏の写真展が、3月21日(水)までフジテレビ1Fシアターモールにて開催されている。

この写真展では、「1、2、3、ダァー!」をする猪木、PRIDE観戦中の猪木、破壊王をビンタする猪木、猪木アイランド(パラオ)での猪木、誕生日ケーキの前の猪木などなど……、あまりにもアントニオ猪木らしすぎる写真の数々を、合計46枚以上も展示している。普段は見られないようなプライベートの猪木氏の写真も多数あり、ファンにはたまらない内容なのだ。

3月20日(火・祝)には、猪木プロデューサーを迎えてのイベントも予定されている(時間は未定)。今回はフジテレビの『PRIDE13』番組宣伝としての開催なので、もしかしたら大会直前の裏話が開けるかも……?

3・25が待ちきれないキミも、猪木ファンのキミも、この写真展を見にお台場へ行こう!

【アントニオ猪木写真展】

日　程◎3月6日(火)~3月21日(水)
時　間◎10:00~20:00
場　所◎フジテレビ1Fシアターモール
　　　(新交通ゆりかもめ台場駅より徒歩5分)
入場料◎無料
撮　影◎橋本田鶴子・堀口守

© MAMORU HORIGUCHI

K-1 Oceania Championship

2・24★オーストラリア・メルボルン・クラウン・カジノ・ショールーム

開催地のメルボルンでは、今年6月16日にK－1の本戦トーナメントが行われる

会場となったクラウン・カジノ・ショールームには、約2000人超満員のファンが駆けつけた

怪人マーク・ハント、バンナに負けて生まれたハングリー魂で堂々の優勝！

オールKOでオセアニアを制したのは、K－1の原点を思い出させる男！

パワーがあり、ボクシングテクニック抜群のハント。今年はマジでベスト8入りをめざしている

昨年、K－1日本デビュー戦でバンナと闘って判定負けしたハントは、その悔しさをバネにさらにパワーアップして優勝！このハングリー魂は素晴らしい！

準優勝したピーター・グラハムも思わぬ未知の強豪だった。しかも、なんと極真の選手だ♡

去年、唯一バンナにKOされなかったハント準優勝にも新星登場！ なんと極真戦士だ！

6月16日にオーストラリアで開かれるK—1本戦トーナメントへの参戦キップを賭け、2月24日（土）メルボルンのクラウン・タワーズホテルで、オセアニア地区予選大会が開催された。

注目すべき選手は実績から見てもアンドリュー・ペック。昨年のオーストラリア予選ではトーナメントを全試合KOで勝ち進み、決勝戦では、あのロニー・セフォーをハイキックでマットに沈めた実力者である。

まさに「第二のサム・グレコ」を思わせるような筋肉弾道弾的なビジュアル。日本に7年間住んでいたこともあり、名古屋の正道会館で茶帯を取得。日本語を流暢に操る一面もあり、試合前のインタビューでは「マイク・ベルナルドだったら1RでKO勝ちできる」と言い切る気の強さは表彰モノだ。

しかし「K」のリングでは、一瞬の油断が全てを変える。1回戦を順調に勝ち進んだペックは、2回戦で昨年のGP本戦にも出場したマーク・ハントと対戦。周囲の大きな予想に反して、なんと1R48秒でKO負けしてしまった。

このように、オセアニア大会のレベルの高さは、昨年の比ではない。

そのマーク・ハントは昨年、日本デビュー。ジェロム・レ・バンナと対戦し判定で敗れたものの、K—1ファイターの中で、バンナを相手に昨年、唯一判定まで持ち込んだ潜在能力の高さには、玄人の評価も高い。

バンナに負けた悔しさからか、そんな気迫たっぷりのハントは、トーナメント1回戦でネイサン・グリッグスとパンチのラッシュで

K-1 Oceania Championship

2・24★オーストラリア・メルボルン・クラウン・カジノ・ショールーム

6・16K－1の本戦トーナメントが、ここオーストラリアで行われる！

◀優勝したハントは、6・16K－1本戦トーナメントに地元代表として出場する

1、2回戦は1RKO！ パンチの破壊力はハンパじゃない！

▲かつて金泰泳のライバルだったポール・ブリッグスの兄ネイサン・ブリッグス（左）をボコボコにするハント。強い！　強すぎる！

RESULTS

優勝 マーク・ハント

決勝	準決勝	1回戦	選手
3RKO	1R KO	1RKO	マーク・ハント〈ニュージーランド〉
			ネイサン・ブリッグス〈オーストラリア〉
		3R判定3-0	ポール・ロビンソン〈オーストラリア〉
			アンドリュー・ペック〈オーストラリア〉
	3R判定 3-0	2RTKO	ロニー・セフォー〈ニュージーランド〉
			モハメッド・アリ・アズーイ〈オーストラリア〉
		2RKO	フィル・ファーガン〈オーストラリア〉
			ピーター・グラハム〈オーストラリア〉

試合写真©K-1

プロレスラー、サム・グレコを発見！

現在WCWで乱入要員として活躍しているサム・グレコを発見。「K－1には出たいけど、スネがボロボロで、もう治らないんだよ」

え!? 本名？ モハメッド・アリ？

▲なんと、本名モハメッド・アリ（左）というボクサーが出場していた。「何か関係があるの？」と聞くと「偶然だよ！」だって

スタン・ザ・マン オーストラリア大会出場決定！

6・16K－1本戦トーナメントには、オーストラリアの往年の王者スタン・ザ・マンも出場することが決定した！

▲オーストラリア大会で優勝し、『SRS』でも注目の選手として紹介したアンドリュー・ペックもハントには1RKO負け

▲レイ・セフォーの弟で強豪のロニー・セフォーさえも下段回し蹴りで破った極真グラハム（右）。個人的には一押しの選手だ

★K-1オセアニア地区予選決勝戦
○マーク・ハント（3R2分10秒KO）ピーター・グラハム●
<トニー・ムンダインボクシングジム>　<極真会館>
※右アッパー

ブリッグスにパンチのラッシュで開始57秒でKO勝ち。2回戦でもペックに48秒でKO勝ちした。2試合とも秒殺である。実際にハントのパンチの技術は以前と比べると回転数が上がって、体は重くなってもパンチの速さは増しているという印象を受けた。

一方のヤマ型からはモハメッド・アリと同じ名前というだけで誤解されがちな「もう一人のアリ」が登場！　強いのかなと思ったが、初戦でロニー・セフォーにあっさり敗退。頑張った本人に罪はないが名前負け？

結局、決勝までコマを進めたのはロニー・セフォーを判定で下した、ピーター・グラハムという「極真」の選手だった。

決勝戦は、ピーター・グラハムVSマーク・ハント、1Rハントが得意のパンチ攻勢で優勢になるも「極真魂」で倒れまいとするグラハム。しかし、2Rではグラハムが意地を見せローで巻き返す。そして最終3Rでは逆にハントの右アッパーが炸裂。トーナメントを美しすぎるくらいに秒殺KOで勝ち進んだマーク・ハントが今大会の頂点を制し、6月のメルボルン大会へのキップを手に入れた。

今年のK―1に「秒殺KO」の嵐を巻き起こしてくれそうなマーク・ハントは、今大会優勝後に「GP優勝が夢だ」と言い切った。全試合KO勝ち、しかも、試合に勝つことに慣れてしまった選手が、忘れかけた「ハングリー精神」を持ったハント。

K―1の「K」の意味を教えてくれる選手がまた一人増えた気がした。

（金井）

K-1 Oceania Championship

2・24★オーストラリア・メルボルン・クラウン・カジノ・ショールーム

フジテレビ一極真を愛する女が選んだ今大会注目ナンバーワンはこの人!!

極真のパイナップル男出現！この人、K—1だけじゃなく、極真世界大会でも要注意です

石井館長、ぜひこの人も日本に呼んでください！

文◎金井由紀子（『SRS』アシスタント・プロデューサー）

どう見てもパイナップルのようなヘアースタイルのグラハム。でも、正真正銘の極真ファイターだ

「あぁ！残念！」

ピーター・グラハムが決勝で負けた瞬間に、なぜか彼を応援していたことに気が付いた。

一瞬にしてファンになってしまった「第2のピーター」について、一言物申したい！

このオセアニア大会で大きな宝物を見つけました。その名は「ピーター・グラハム」。

一度見たら忘れられない強烈な風貌。素敵過ぎる〝チキチキマシーンのビリ犬〟的な愛想笑い。その愛想笑いから繰り出される口元は見事な「すきっ歯」。しかも頭が「パイナップル」だったんです。その上入場コスチュームが……羽根満載のインディアンスタイル。

言うことナシです。脱帽です。

何とも言えない「愛嬌」いわば「かわいらしさ」のある選手はそうそういません。何が素敵かって、見てくれだけじゃなく、彼はめっぽう強いんです。肉厚的な身体から美しく繰り出されるキレのある蹴り、高い位置から振り落とされるブラジリアンキック、その上カカト落としまで、多彩な蹴りを放ち、特にローキックの美しさには目を見張るモノがありました。さすが「キョクシン」の選手だとホレボレするほど美しい技の数々。さらにパンチの技術も兼ね備えているバランスのイイ選手。

しかも、今大会優勝したマーク・ハントは、秒殺2回で無傷で勝ち上がったのに対し、グラハムは2R、3R判定と闘ってローキックで相手をなぎ倒して決勝に進むというスタミナ。決勝戦では劣勢だったにも関わらず、最後まで立ち向かい、KOされるまで諦めなかった根性。パンチを食らった時の、歯の食いしばり具合。本当に「極真魂」を感じる選手でした。

試合後のインタビューで、「今回どうだった？」と聞くと、「結果はとても残念だったけど、マーク・ハントは凄いアスリートだよ。彼は優勝するべくして勝ったんだ。おめでとうって言いたい。でも自分も『負けた』とは思っていないから」。

と、相手を賞賛し、謙譲の美徳を決して忘れない心意気。そして負けん気の強さをアピールする姿勢に、見事にこっちがノックアウト。

「K—1にはこれからも出る？」という問いに対し、「もちろんだよ。今の自分には、K—1はとても大事だし闘うことは止められない」とキッパリ。

チキンハートな「トーナメント嫌い」系選手にVTRを見せてあげたい衝動に駆られた。

彼のような見上げた根性の持ち主は、これから絶対に日本に呼ぶべき！　もちろん再来年の極真世界大会にもきっと出場してくるでしょう。

「自分の心の師匠はフランシスコ・フィリォだ」と言い切るあたり、絶対に世界の頂点を目指してくるはず。

私は誰に何を言われても、極真が好きだし「極真魂」という言葉は刺青を入れたいくらいに大好きです。なんだか、久々に清々しい気持ちにさせてくれたピーター・グラハム。

決して恋には落ちないけれど、貴方様の動向には絶対に注目していきたいのです！　■

当社販売台数
NO.1

残りわずか
8,500円

スタンド型ラッシングバックヘビー

30,000円→~~12,500~~円

打撃部にサンドバックを使用しているので、道場やジムのサンドバック練習と同じ感覚で練習できます。また、ウレタン使用には無かった、リアルな打撃を確実に受け止める質量感で、安心してトレーニングをしていただけます。
(高さ180㎝、重さ約120kg
※土台に土または砂を入れて下さい)

スタンド型ラッシングバックハード

35,000円→~~17,000~~円

より人体に近い感覚を徹底追求しました。ウレタン+レザーの組合せにより、初心者の方でも安心してトレーニングが出来ます。また、打撃部分中部には鉄芯を使用し、強度もアップしています。
(高さ177㎝、重さ約80kg
※土台に土または砂を入れて下さい)

サンドバック・キング

●100cm×40φ ~~12,000~~円→
●130cm×40φ ~~15,000~~円→
●150cm×40φ ~~17,000~~円→
ALL 8,000円

ジムや道場でもお使いいただけます

早い者勝ち
クリアランス大バーゲン
残りわずか在庫終了時まで

①スパーリンググローブ
サイズ 14oz、16oz ~~8,000円~~
②試合用グローブ(ひも式)
サイズ 6oz、8oz、10oz、12oz ~~9,800円~~
※6ozはマジックテープ式になります。
③フリーグローブ
~~9,800円~~
ALL 4,800円

パーフェクトガード ~~12,000円~~ 6,800円

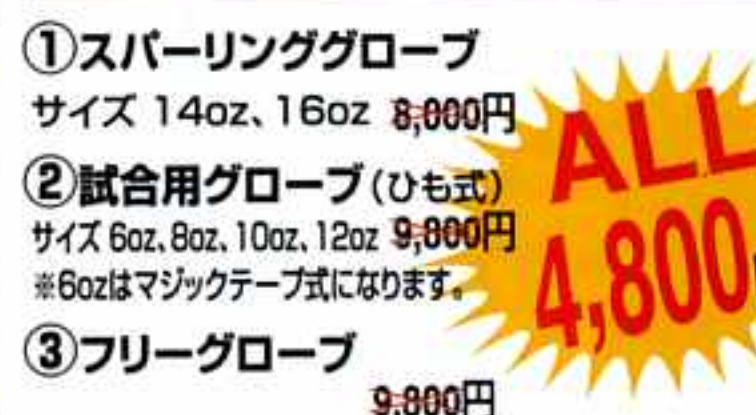
ヘッドガード ~~8,000円~~ 5,500円

パンチングミット ~~12,000円~~ 6,800円

キックミット 1個 5,800円

ビッグミートハード ~~10,000円~~ 8,000円

レッグプロ ~~8,000円~~ 3,500円

品質自信アリ

空手着(アイボリー)
0号~7号 3,900~4,600円

空手着(純白)
0号~7号 4,100~4,800円

●ハガキまたは現金書留でも受け付けます●
TEL.0721-53-4591 FAX.0721-53-4594
(日・祝日は、商品受付のみ)
■代金は商品到着後、配達員にお支払い下さい。
■受付時間AM9:00~時間延長PM9:00(年中無休)
■表示価格には消費税・梱包送料は含まれておりません。■改良の為、予告なく色・形状が変わる事があります。■返品、交換は未開封に限り、到着後7日以内にて(送料はお客様負担になります)
ヒットスポーツ 〒586-0026 大阪府河内長野市寿町5-59

"膠着"という名の"激戦"もある

執念の人、リック吉村となんとか引き分け　それでも、畑山隆則は爆発的にウケる。

それはなぜ？　どうして？

文◎宮崎正博

これだけは断言できる。かつて、畑山隆則のような形で、人気を噴出させたボクサーはいない。強いボクサーはいた。うまいボクサーもいた。カリスマのあるボクサーもいた。しかし、畑山に対するような熱狂はない。

あの日、国技館に行っていれば理解できるはず。それはまるでアイドルを出迎える少女たちのありさまだ。彼が入場したとたん、黄色い絶叫が1万2千の観客席に吹き荒れた。ボクシング会場は、おじさんたちばかりが占拠する。チケットの発売と同時に売り切れ。当日売りが一枚も残っていないという今回のような人気興行では、なおさら一般ファンは入りにくい。それでも、まったくの少数派である女の子の声が、オヤジのだみ声を圧倒する。あまりにも凄すぎる現象だ。

ただし、この日に限っては、主役はあくまでリック吉村だった。この36歳の米軍兵には、ドラマがありすぎる。ニューヨークのスラムに生まれた。12歳でボクシングを始め、ずっと世界チャンピオンをめざしてきた。だが、思うようにはいかない。米軍に入隊、日本に配属されて、やっと芽が出た。日本王者として22度も防衛した。それでも「外国人だから」という理由で世界タイトルのチャンスは作ってもらえなかった。この日のリングは、そんな彼が都合四半世紀にもわたって待ちこがれた、夢心地の場所だった。

リックはその夢心地の場所に、古びたガウンでやってくる。背中には『石川圭一』とあった。彼が所属するジムの会長の名前である。石川会長が現役だった43年前、日本ライト級王者になったときに作ったものだ。石川会長は業界一、ケンカが強いと言われた人だ。「30人とケンカしたら、どうしたらいい？　壁を背に闘うんだ。後ろから来ないだろ。後はひとり一人やっつければいい」。そんな会長も体調を崩し、この日も車椅子だった。リックはこの師匠が届かなかった世界の夢まで背負って闘おうとしている。

なおかつ、その当人が、ここまで健気に闘ったのなら、畑山としても主役の座を譲り渡すしかないのだ。

むろん、私には畑山にも、十分すぎる思い入れがある。彼が勝ち得たこの人気そのものに、思いは揺り起こされる。

この人気は、全て畑山の自作自演の産物である。スーパーフェザー級チャンピオンだったころ、畑山のタイトルマッチは閑古鳥が鳴いていた。世界王者というボクシング界最大の権威をもってしても、ファンを呼ぶことができない現実を、彼は思い知った。だから、彼は世界王座を失うと、すぐに引退した。ファンには潔すぎる決断と映ったろうが、「ボクシングはビジネス」と言い切る男には、当然の成り行きだったのかもしれない。

だが、まだ23歳の肉体は、ひどくボクシングを欲していたのだ。1年後、畑山は帰ってくる。そしてカムバック戦で、日本人として26年ぶりの世界ライト級王座獲得という実にドラマチックな演出により、スターダムに返り咲いた。

その後、テレビにふんだんに出演した。謹厳実直をもって最善とするボクサーとして、ふさわしからぬ大言壮語もした。それまでボクシングには縁遠かった層にも、彼自身の手でアプローチしてみせた。畑山はリングの中の実績で、これらのことどもをさらにグレードを上げて、畑山ムーブメントに結びつける。昨年10月、坂本博之との熱闘は、もはや多くを語るべくもない。路上生活の少年が純真に追い求めた強打のロマン。そんな坂本を、あまりにも劇的に葬ったのだ。

そして、畑山はもう一つの日本リングの純情、リックの物語と対峙することになる。つまり、こういうあれこれが背景にあるから、ちょっとやそっとでは凡戦になろうはずがない。それにある意味ではこの一戦、"膠着"という名のとんでもない"激戦"とも見て取れた。だったら、全36分間の長い闘いも、まんじりともせず見つめられようというものだ。

なぜ膠着と決めつけるのか。最初から結論を出しておく。畑山隆則とリック吉村のボクシングは、最初から最後までまったくかみ合うことがなかったからだ。ペース争いだけに終始した。

二人は対照的なスタイルを持つ。畑山は前へ前へと突進していく、言うなればファイタータイプである。しかし、接近戦が得意なわけではない。細かい左右へのステップでアクションをつけながら追い込み、対戦相手が反撃の一手を忍ばせたところに、一撃のカウンターから切り崩しにかかる。一方のリックは距離を取り、左ジャブで間合いを計りながら、機を見てワンツーを打ち込む。こういう戦法をアウトボクシングという。

この異質なファイトスタイルの対決を、どちらかの優劣に振り分けるのは、距離と言うことになる。いかに自分の攻撃に有利な位置取りをしたかが全てだ。その距離の闘いで、両雄の思惑がなかなか交錯しないのだ。そうなれば、少なくとも畑山には持ち味を発揮する手だてがない。ただ、リックにとっては好都合な展開ではある。かわしながらパンチを当てて、ポイントを重ねていけばいいのだ。

検証！ 2・17 畑山隆則 VSリック吉村

自作自演でヒーローの座をつかみ取る。畑山はまさしく『時代を作った男』!?

	畑山隆則	リック吉村
モチベーション（闘志・気迫）	5	8
技術・戦略	4	7
KOスピリット	6	3
勝ちっぷり負けっぷり	4	8
全体的な印象・インパクト	5	8
合　計	24	34

★WBA世界ライト級タイトルマッチ（12回戦）

△畑山隆則（判定1-1、ドロー）リック吉村△

＜王者/横浜光ジム＞　＜挑戦者/石川ジム＞

※採点…116-111、114-114、112-115。9R、リックにホールディングで原点1あり

©日刊スポーツ

前半戦、畑山は2度チャンスを作りかけた。2R、右のショートパンチでリックをのけぞらせた。4Rには左をヒットして、今度は挑戦者の足が一瞬硬直した。だが、この日の畑山は追い足が重い。普段だったら、すかさずフォローアップを仕掛けるのに、いともたやすく逃してしまったのだ。それにリックの動きを止めるためのボディ攻撃が出ない。それでなくてもボディに弱点のあるリックだけに、ボディブローは効果的なはずだった。それも畑山が自分の距離を作れない証拠と言えるかもしれない。

その後も中盤戦はリックがペースを握っていたようにも見えた。プレッシャーをうまくかけきれない畑山は、リックのジャブに邪魔をされ、相手の右ストレート、アッパーに苦しんだ。もっとも、リックにも全盛期のパンチはない。畑山も堅い守りで必要以上のパンチからはエスケープした。だから、観戦する側からは、平坦な内容と映ったかもしれない。

こういう展開は、畑山自身が予測していたことだった。試合前、「どう考えてもかみ合わないんだ」と何度かこぼしていたという。予想では圧勝と言われながら、表情は冴えなかった。

世界戦なら普通、試合前1週間はクールダウンに入る。徹底して鍛え上げられ、かわりに貯まりきった疲れを抜くためだ。ところが、畑山は12日の公開練習のとき、記者陣に公開する2Rのほかに追加のスパーリングをオーダーした。そして、この後もスパーを続けると明かしている。一連の追加練習には、懸念された減量苦への対策もあったかもしれないが、彼が対リック戦略に明確な答えを出せていなかったとも考えられる。もっと言えば、畑山にとっては今回、勝つことだけが目的ではない。いい勝ち方が必要だった。それだけ実力差がある、と見られたカードでもあった。余分の深読みと、倒さなければいけないと言う気負いもあった。だから、本番の国技館、畑山は苦しい闘いを強いられることにもなった。

9R、ややスタミナを失ったリックは、それでも懸命に勝利にしがみつこうとした。ついでに突進してくる畑山の腕もホールドした。すかさず、レフェリーから減点を取られる。しかし、まだ畑山の爆発的な攻撃は弾けない。強引に攻めて出るようになったのは11Rになってからだ。「てっきり勝っていると思ったのに、セコンドから負けていると言われて」と、畑山は後で話している。もしセコンドの冷静な計算がなければ、畑山はそのままずるずるとタイトルを失うはめになっていたかもしれない。

判定は引き分け。規定により畑山はタイトルを守った。ただし、リング上のインタビューは、「すいません。以上」とだけ言って打ち切った。その顔は自身への不甲斐なさと憔悴で歪んで見えた。

リックはことさら判定には不満を見せた。世界タイトルのチャンスなど、再び来るとはだれも約束できない。彼なりに今できることの全てを出し切ったのだから、悔しいに決まっている。しかし、この優しく、また悲しい目が魅力的な黒人は、口汚く罵ることはしない。

「ボクシングには不運（な判定）はあることだ。仕方ない。だけど、自分の時にそうならないでほしかった」

リックは2月23日、日本からの転属先フロリダに帰った。この試合のために取った有給休暇ももうすぐ切れる…。■

番組インフォメーション

3/9、3/16、3/23の見どころ

情報提供◎『SRS』アシスタントプロデューサー・金井由紀子

地域によっては放送日時が異なります。また、この番組インフォメーションは2月28日現在のものです。
都合により内容が変更になることもございますのでご了承ください。

注目！

SRSの放送時間が30分遅い、26時15分になりました！

皆さん、放送時間が30分遅くなったことはもう覚えてくれましたか？　SRSの放送は金曜日の26時15分からになりました。暖かくなってきたので、夜更かしもOKですよね？　花粉症のあなたも、目をこすりながら見てくださいね！

『SRS』は金曜日深夜26時15分〜26時45分（時間は変更することがあります）フジテレビ系で絶賛放映中。お見逃しなく！

3/9

アメリカの最前線で闘う男たち！

アメリカ格闘技事情！

3月9日（金）26:15〜26:45

前回の放送に引き続き、今回もSRSはアメリカ特集をしちゃいます。『キング・オブ・ザ・ケイジ』のリング上で繰り広げられた、アレクサンダー大塚、今村雄介、大山峻護という日本人格闘家たちの闘いっぷりを、たっぷりお見せします。特に、マイク・ボークを秒殺してみせた大山峻護の試合は、絶対見逃せませんよ！　また、本場アメリカのUFCに登場した宇野薫の闘いも、ばっちりお届け！アメリカのマット界の雰囲気を充分満喫してください。

▲アメリカでニューヒーローが誕生した瞬間です！

3/16

バンナとベルナルド、野獣の拳が交じり合う！

3・17『K-1 GLADIATORS 2001』直前特集！

3月16日（金）26:15〜26:45

いよいよ、2001年もK-1ワールドGPシリーズが開幕します。今回のSRSは3月17日（土）に開催される『K-1 GLADIATORS』の直前特集！　皆さんが気になる情報を盛りだくさんでお送りしちゃいます。ジェロム・レ・バンナ、シリル・アビディの海外映像はもちろん、試合前に続々と来日してくるK-1ファイター達に突撃インタビューなど、取れたての最新情報をお茶の間にお届けします。とにかく必見なのだ！

▲昨年の決勝トーナメントを欠場してしまった二人が激突！

3/23

決戦前の戦士たちに突撃！

3・25『プライド13』直前情報！

3月23日（金）26:15〜26:45

去年の今頃とはうってかわって、すっかり挑戦する側から挑戦される側になってしまった桜庭和志。その賞金首となった桜庭を今回狙うのは、これまで執拗に桜庭への挑戦をアピールし続けてきたヴァンダレイ・シウバです。今回の放送はそんなシウバや、『プライド13』に参戦する選手達の直前の様子を徹底的にレポートしちゃいます。記者会見の模様やプレスインタビューも初公開で、お楽しみいっぱいの30分です。

※『プライド13』の放送は4月2日（月）です

▲記者会見でアイーンを披露するサク。凶暴なシウバ相手に大丈夫なのか？

フジテレビ系列の番組から

K-1 GLADIATORS 2001

CS放送フジテレビ721
◎3月17日（土）
16:00〜20:00

当日、16時から生中継します。メインのジェロム・レ・バンナVSマイク・ベルナルドなど好カードがずらりと並んだ、K-1ワールドGPシリーズの2001年開幕戦をじっくりお楽しみください。生中継なので、会場と同じ雰囲気が味わえますよ！

フジテレビ
◎3月17日（土）
19:00〜21:00

もちろん、地上波でもその日のうちにオンエアーします。ゴールデンタイムの一番いい時間です。家族みんなでテーブルを囲みながら、楽しんでください！　本誌・サダハルンバ編集長の解説も要チェックですよ！

SRSホームページのアドレスはこちら
http://www.fujitv.co.jp/

SRSホームページでは、詳しい放送日程や最新・格闘技情報、『ロケ現場潜入日記』など内容満載です。また、人気コーナー『SRS FIGHT CLUB』では皆さんからの原稿を募集中です。あなたが書いたエッセイや観戦記、その他マニア情報、プチ情報などで作るコーナーです。あなたの熱い魂の叫びを書いて、どしどしお寄せくださ〜い。それから、はせキョーのページもあるのでこちらも必見！

TV

日付	チャンネル	番組名	時間	内容・見所
3/8（木）	GAORA	角田信朗の格闘魂（再）	17：30～18：00	正道会館の角田信朗がパーソナリティーを務める、毎日放送ラジオとのメディアミックス企画番組。自ら格闘魂を語り、毎回格闘家のゲストも迎える
	FIGHTING TV SAMURAI!!	バトルステーション	19：00～21：00 23：00～25：00	2.17に後楽園ホールで開催された、ニュージャパンキック連盟・日本キック連盟合同興行を放送
	FIGHTING TV SAMURAI!!	世界の格闘技 ワールドコンバットファイト	21：00～22：00 26：00～27：00	98.11.14オランダ・アムステルダムで開催された『WPKLムエタイチャンピオンリーグ』からJrミドル級トーナメントセミファイナルほか3試合
	FIGHTING TV SAMURAI!!	格闘ジャングル	22：00～23：00 25：00～26：00	さまざまな格闘技の最新情報を紹介する番組。毎回格闘家のゲストも登場し、ファイターの等身大の魅力に迫る
	Ｊスカイスポーツ3	ワールドファイティング	25：00～26：00	99.8.21アイオワ州で開催の『エクストリーム・チャレンジ27パート２』。ゲスト解説は桜井マッハ速人
	日本テレビ	コロッセオ	26：25～26：55	内容未定
	FIGHTING TV SAMURAI!!	ワールドコンバットファイト(再)	27：00～28：00	これまで放送分の『ワールドコンバットファイト』からの再放送シリーズ。『欧州MMAシリーズ2』（99.1.31/オランダ・ランズメール）から7試合　同内容放送3/9・16：00～　3/18・27：00～　3/21・16：00～　3/27・27：00～
3/9（金）	FIGHTING TV SAMURAI!!	格闘ジャングル	7：00～8：00 12：00～13：00 17：00～18：00	3/8を参照
	FIGHTING TV SAMURAI!!	世界の格闘技 ワールドコンバットファイト	13：00～14：00	3/8と同内容
	FIGHTING TV SAMURAI!!	バトルステーション	14：00～16：00	3/8と同内容
	GAORA	全日本キックボクシング	20：00～22：00	2.16後楽園ホール大会から、内田康弘vsメルヴィン・マーリー戦ほか
	フジテレビ	SRS	26：15～26：45	⬅P69
3/10（土）	Ｊスカイスポーツ2	ワールドファイティング	25：30～26：30	3/8のＪスカイスポーツ3と同内容
	テレビ朝日	ワールドプロレスリング	26：05～27：05	3.3、新潟市体育館大会を放送
3/11（日）	FIGHTING TV SAMURAI!!	世界の格闘技 ワールドコンバットファイト	8：00～9：00	3/8と同内容
	FIGHTING TV SAMURAI!!	バトルステーション	9：00～11：00	3/8と同内容
	FIGHTING TV SAMURAI!!	格闘ジャングル	11：00～12：00	3/8を参照
	BS朝日	ワールドプロレスリング完全版	15：00～17：25	2.11、大阪・舞洲アリーナ大会
	BS朝日	パンクラスハイブリッドアワー	18：00～20：00	船木誠勝が語るパンクラス・ヒストリー5～～94.7.6尼崎記念公園総合体育館大会＆94.7.26駒沢オリンピック公園総合体育館大会
	GAORA	ウルフレボリューション	20：00～22：00	1.12にZepp Tokyoで開催された『ウルフレボリューション』の模様を放送。魔裟斗プロデュースによる同大会。その魔裟斗はモハメッド・オワリと対戦
	Ｊスカイスポーツ3	ワールドファイティング	23：30～24：30	3/8と同内容
	FIGHTING TV SAMURAI!!	ワールドコンバットファイト(再)	27：00～28：00	3/8を参照　ギルバート・アイブル特集　同内容放送3/12・16：00～　3/20・27：00～　3/23・16：00～　3/28・27：00～
3/12（月）	GAORA	角田信朗の格闘魂	22：30～23：00	3/8を参照　3/15・17：30～再放送
	GAORA	週刊格闘JAM！	23：05～23：10	毎回、K-1、PRIDEなどから活躍が期待される選手など、格闘技界の旬な話題をピックアップして放送。選手個人の特集など格闘技界の様々な話題を取り上げる　3/15・17：30～再放送
	TBSテレビ	ワンダフル	23：50～24：50	深夜人気バラエティ番組に『格闘新世紀』なる格闘技コーナーが誕生。K-1や『プライド』から世界のプロレスまで幅広く取りあげられている
	日本テレビ	超K-1宣言	26：47～27：17	内容未定
	Ｊスカイスポーツ2	ワールドファイティング	27：00～28：00	3/8のＪスカイスポーツ3と同内容
3/13（火）	GAORA	全日本キックボクシング	24：00～26：00	3/9と同内容
	FIGHTING TV SAMURAI!!	ワールドコンバットファイト(再)	27：00～28：00	3/8を参照　イゴール・ボブチャンチン特集　同内容放送3/14・16：00～　3/21・27：00～　3/26・16：00～　3/29・：27：00～
3/14（水）	テレビ東京	Ｇパラ　コロシアム	23：55～24：35	橋本真也、アレクサンダー大塚が出演。北海道ロケを2週にわたって放送する予定
	FIGHTING TV SAMURAI!!	ワールドコンバットファイト(再)	27：00～28：00	3/8を参照　『ミックスファイトランズメール』（99.1.30/オランダ）から7試合　同内容放送3/15・16：00～　3/28・27：00～
3/15（木）	FIGHTING TV SAMURAI!!	バトルステーション（再）	10：00～11：30	99.11.28、新日本キック協会主催のタイ・ラジャダムナンスタジアム大会を放送
	FIGHTING TV SAMURAI!!	バトルステーション	19：00～21：00 23：00～25：00	3.2後楽園ホールで開催の修斗『R.E.A.D.-2001 shooto』を放送。加藤鉄史、KIDなど本誌でも注目の選手が登場！
	FIGHTING TV SAMURAI!!	世界の格闘技 ワールドコンバットファイト	21：00～22：00 26：00～27：00	『HOOKnSHOOT "HORIZON" パート１』（99.3.20）からサブミッションファイティング戦３試合ほか
	FIGHTING TV SAMURAI!!	格闘ジャングル	22：00～23：00 25：00～26：00	3/8を参照
	Ｊスカイスポーツ3	ワールドファイティング	25：00～26：00	3/8と同内容
	日本テレビ	コロッセオ	26：25～26：55	内容未定
	FIGHTING TV SAMURAI!!	ワールドコンバットファイト(再)	27：00～28：00	3/8を参照　『欧州MMAシリーズ１』（98.10.25/オランダ）から4試合　同内容放送3/19・16：00～　3/25・27：00～　3/29・16：00～
3/16（金）	FIGHTING TV SAMURAI!!	格闘ジャングル	7：00～8：00 12：00～13：00 17：00～18：00	3/8を参照
	FIGHTING TV SAMURAI!!	世界の格闘技 ワールドコンバットファイト	13：00～14：00	3/15と同内容
	フジテレビ	SRS	26：15～26：45	⬅P69
3/17（土）	Ｊスカイスポーツ2	ワールドファイティング	25：30～26：30	3/8のＪスカイスポーツ3と同内容
	テレビ朝日	ワールドプロレスリング	26：35～27：35	3.6大田区体育館大会を放送。IWGPジュニアタッグ選手権他
3/18（日）	FIGHTING TV SAMURAI!!	世界の格闘技 ワールドコンバットファイト	8：00～9：00	3/15と同内容
	FIGHTING TV SAMURAI!!	バトルステーション	9：00～11：00	3/15と同内容
	FIGHTING TV SAMURAI!!	格闘ジャングル	11：00～12：00	3/8を参照
	BS朝日	ワールドプロレスリング完全版	15：00～17：25	2000年名勝負州PART3～～2000.9.16愛知大会から12.14大阪大会
	BS朝日	パンクラスハイブリッドアワー	18：00～20：00	船木が語るパンクラスストーリー6～～94.9.1大阪府立体育会館大会＆94.10.15両国国技館大会

ON THE AIR 3/8～3/29
格闘技番組ガイド TV&RADIO

『プライド』PPV情報

『PRIDE.13』
当日に生放送。再放送も有り。
◆放送時間/初回 3月25日（日）17:00～試合終了まで
再放送25日～4月1日まで連日放送 開始時間は日付順に
23:00、20:00、20:00、23:00、23:00、20:00、23:00、12:00
◆チャンネル/当日 Ch.111 再放送 日付順に113、111、111、121、121、111、119、122（全てパーフェクトチョイス）
◆視聴料/2,000円/番組

『PRIDE.13カウントダウン』
当日、試合中継前に
カウントダウン番組を放送。
◆放送時間/3月25日（日）16:30～17:00
◆チャンネル/Ch.120、111（全てパーフェクトチョイス）
◆視聴料/無料

『PRIDEシリーズアンコール』
2000年に行われた『プライドGP2000』
の開幕戦と決勝戦を放送。
◆放送時間/【開幕戦】3月23日（金）21:00～25:45
【決勝戦】3月24日（土）21:00～27:10
◆チャンネル/開幕戦、決勝戦共にCh.121（パーフェクトチョイス）
◆視聴料/2,000円/番組

※お問い合わせはスカイパーフェクTV！のカスタマーセンターまで ☎0570-039-888（10:00～20:00）

TV（右ページから続く）

日付	チャンネル	番組名	時間	内容・見所
3/18（日）	Ｊスカイスポーツ3	ワールドファイティング	24：30～27：30	『UFC28』スペシャル
3/19（月）	GAORA	週刊格闘JAM！	22：05～22：10	3/12を参照 3/22・17：30～再放送
	GAORA	角田信朗の格闘魂	22：30～23：00	3/12を参照 3/22・17：30～再放送
	TBSテレビ	ワンダフル	23：50～24：50	3/12を参照
	日本テレビ	超K-1宣言	25：45～26：15	内容未定
	Ｊスカイスポーツ2	ワールドファイティング	25：30～28：30	3/18のＪスカイスポーツ3と同内容
	WOWOW	リングス2000	26：00～28：00	2.24両国国技館で開催の『KING of KINGS グランドファイナル』をマルチアングル（通常映像191ch、コーナーポスト据え付け映像192ch、リング上映像193ch）で放送
3/20（火）	GAORA	Millennium Fighting Arts INOKI BOM-BA-YE	19：00～26：00	2000.12.31に大阪ドームで開催されて話題となった、アントニオ猪木総合プロデュース『Millennium Fighting Arts INOKI BOM-BA-YE』を放送
3/21（水）	GAORA	全日本キックボクシング	15：00～17：00	3/9と同内容
	テレビ東京	Ｇパラ コロシアム	23：55～24：35	3/14を参照
3/22（木）	FIGHTING TV SAMURAI!	バトルステーション（再）	10：00～11：30	2000.1.23開催の新日本キック協会、後楽園ホール大会を放送
	FIGHTING TV SAMURAI!	修斗スペシャル	19：00～21：00	「1997-2000ウェルターの記憶」佐藤ルミナと宇野薫の足跡をたどる
	FIGHTING TV SAMURAI!	世界の格闘技 ワールドコンバットファイト	21：00～22：00 23：00～24：00	99.1.29イリノイ州で開催の『サブミッションファイティングチャンピオンシップパート2』から8試合
	FIGHTING TV SAMURAI!	格闘ジャングル	22：00～23：00	3/8を参照
	日本テレビ	コロッセオ	26：25～26：55	内容未定
3/23（金）	FIGHTING TV SAMURAI!	格闘ジャングル	12：00～13：00 17：00～18：00	3/8を参照
	FIGHTING TV SAMURAI!	世界の格闘技 ワールドコンバットファイト	13：00～14：00	3/22と同内容
	FIGHTING TV SAMURAI!	バトルステーション（再）	14：00～15：30	2000.5.5に開催された新日本キック協会の後楽園ホール大会を放送
	フジテレビ	SRS	26：15～26：45	⬅P69
3/24（土）	FIGHTING TV SAMURAI!	修斗スペシャル	8：00～10：00	3/22と同内容
	Ｊスカイスポーツ2	ワールドファイティング	24：30～27：30	3/18のＪスカイスポーツ3と同内容
	テレビ朝日	ワールドプロレスリング	26：35～27：35	3.17愛知県体育館大会を放送。IWGPヘビー級選手権、佐々木健介ＶＳノートン他
3/25（日）	FIGHTING TV SAMURAI!	世界の格闘技 ワールドコンバットファイト	8：00～9：00	3/22と同内容
	FIGHTING TV SAMURAI!	バトルステーション（再）	9：00～11：00	99.5.30に開催された新日本キック協会後楽園ホール大会を放送
	FIGHTING TV SAMURAI!	格闘ジャングル	11：00～12：00	3/8を参照
	BS朝日	ワールドプロレスリング完全版	15：00～17：25	3.3、新潟市体育館大会
	スカイパーフェクＴＶ！	PRIDE.13	17：00～	パーフェクトチョイス（Ch.111）で、『プライド13』さいたまスーパーアリーナ大会を試合終了まで、当日生中継。視聴料2000円。※『プライド』PPV情報参照
	BS朝日	パンクラスハイブリッドアワー	18：00～20：00	船木が語るパンクラスストーリー7～～94.12.16両国国技館大会
	Ｊスカイスポーツ3	ワールドファイティング	23：30～26：30	3/18と同内容
3/26（月）	GAORA	角田信朗の格闘魂	22：30～23：00	3/12を参照 3/29・18：30～再放送
	GAORA	週刊格闘JAM！	23：05～23：10	3/12を参照
	TBSテレビ	ワンダフル	23：50～24：50	3/12を参照
	日本テレビ	超K-1宣言	25：45～26：15	内容未定
	Ｊスカイスポーツ2	ワールドファイティング	26：00～28：00	2000.12.16『UFC-J』有明大会スペシャル
3/28（水）	テレビ東京	Ｇパラ コロシアム	23：55～24：35	内容未定
3/29（木）	FIGHTING TV SAMURAI!	バトルステーション（再）	10：00～11：30	2000.3.25に開催された新日本キック協会の後楽園大会を放送
	FIGHTING TV SAMURAI!	バトルステーション（再）	14：00～16：00	2000.12.3にタイ・ラジャダムナンスタジアムで新日本キック協会主催で開催の大会を再放送
	FIGHTING TV SAMURAI!	バトルステーション（再）	19：00～21：00 23：00～25：00	2000.12.17に東京ベイNKホールで開催された修斗『R.E.A.D.2000 SHOOTO』での佐藤ルミナvs宇野薫戦ほかを再放送
	FIGHTING TV SAMURAI!	世界の格闘技 ワールドコンバットファイト	21：00～22：00 26：00～27：00	3/22と同内容
	FIGHTING TV SAMURAI!	格闘ジャングル	22：00～23：00 25：00～26：00	3/8を参照
	Ｊスカイスポーツ3	ワールドファイティング	24：30～27：30	3/26のＪスカイスポーツ2と同内容
	日本テレビ	コロッセオ	26：25～26：55	内容未定

VIDEO&DVD
注目作品＆NEWリリース情報

〈新作紹介①〉 It's HOT!

『PRIDE.12 in SAITAMA SUPERARENA』

メディアファクトリー/120分
9,500円/発売中

20世紀最後の『プライド』を桜庭が締めた！

桜庭和志が4度目のグレイシー狩りに成功した『プライド12』のビデオが登場だ。サクカラスに続いて、ケンドー・カシンとサンタクロースをあわせたマスクを被って入場してきた桜庭は、手負いのハイアン・グレイシーを一蹴。格の違いを見せつけた試合だった。その他にもエンセン井上がリング上で引退発言をしてしまった、ヒース・ヒーリングとの試合などがあるが、中でも注目なのは『プライド13』で念願の桜庭戦が決まったヴァンダレイ・シウバの試合だ。『プライド13』を観戦に行く君は、必ずこのビデオをでチェックしてから、さいたまスーパーアリーナに乗り込もう！

〈おすすめビデオ〉 It's HOT!

『黒澤浩樹　THE INFIGHT』

クエスト/61分
5,600円/発売中

男・黒澤の全てが分かる！

かつて、極真空手でその名を轟かせ、初期の『プライド』シリーズにも参戦、現在はK-1のリングを主戦場にしている黒澤浩樹のビデオが発売された。このビデオには、黒澤の代名詞とも言うべき下段回し蹴りと、タイトルにもある相手の懐に臆せず飛び込んで闘うインファイトの技術を中心に収録してある。そればかりではなく、あの黒澤の凄さまじい破壊力を生み出すためのトレーニング方法、そして実戦や練習に取り組むための心構えを語ったインタビューもばっちり収録されている、黒澤ビデオの極めつけと言っても過言ではないだろう。黒澤のように強くなりたい人にはオススメのビデオだ！

〈新作紹介②〉 It's HOT!

『K-1 WORLD GP 2000決勝戦』

ポリスター/139分
5,800円/発売中

安くなっても内容は更に充実！　K-1の頂点を目指した男達の激闘を堪能せよ！

2000年のK-1シリーズの最後を締めくくった、『K-1 WORLD GP 2000決勝戦』がビデオになって、早くも発売された。ホーストが2度目の優勝を飾ったこの大会では、アーツに敗れはしたものの、一躍ブレイクしたシリル・アビディが登場したりと見どころはたくさんある。この決勝トーナメントの試合が完全収録されているのはもちろんのこと、未公開映像や、バックステージの映像まで収めてあり、内容はぎっちり詰まっている。そのうえ、このビデオは今までのK-1シリーズのビデオの値段より、大幅に値下げ！　この機会を逃さずに、きっちりゲットしておこう。

RENTAL RANKING (2/12～2/26調べ)

1. 『PRIDE.11 2000.10.31 in OSAKA』
メディアファクトリー/100分

2. 『KING of KINGS』
ポリスター/375分

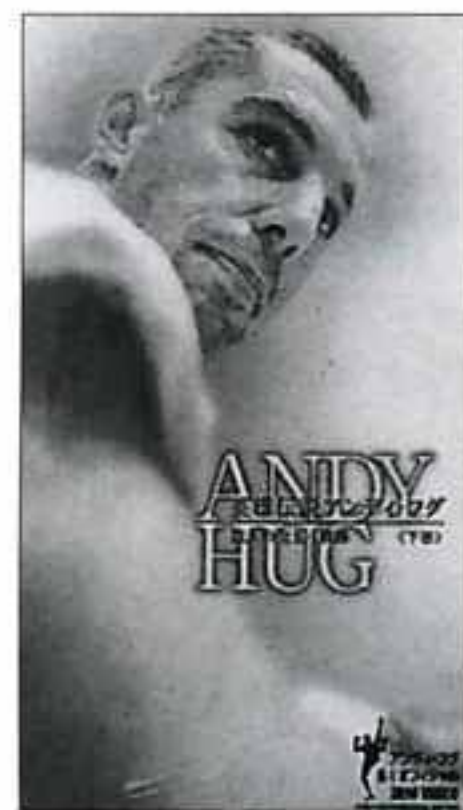
3. 『組手の達人　松井章圭』
メディア8/60分

4. 『THE ULTIMATE FIGHTING CHAMPIONSHIP JAPAN 2000.4.14』
スパイク/123分

5. 『英雄伝説アンディ・フグ ～鉄人の全K-1戦跡～〈下巻〉』
メディアファクトリー/120分

5位

『英雄伝説アンディ・フグ ～鉄人の全K-1戦跡～〈下巻〉』
永久保存の1本！

K-1がオフィシャルで出した鉄人アンディ・フグの追悼ビデオの下巻。上巻に続いてこの下巻では、アンディがK-1という戦場に刻み込んできたその歴史を振り返るというもの。1993年の初参戦から、ラストファイトとなった2000年7月のノブ・ハヤシ戦まで、その数々の激闘を完全収録している。上・下巻揃えて永久保存だ！

プロレス&格闘技専門ビデオショップ『チャンピオン』

東京都千代田区三崎町3-8-1 西田ビル6F
☎03-3221-6237

▲毎回、ランキングにご協力いただいてる『チャンピオン』。プロレス・格闘技のグッズも多数販売されている。

チャンピオン
丸野大樹マネージャー

「いつもご利用ありがとうございます。チャンピオンではビデオだけではなく、売り上げが急上昇中のDVDも豊富に取り扱っております。プロ格DVDもチャンピオンにおまかせください」

SELL RANKING (2/12～2/26調べ)

1. 『桜庭和志のギミック ～これが桜庭流PRIDE必勝法だ～』
学研/60分　3,300円

2. 『K-1 WORLD GP 2000 決勝戦』
ポリスター/139分　5,800円

3. 『佐藤ルミナ HYPER ATHLETE BODY 究極のXトレーニング　BASIC』
スパイク/40分　6,600円

4. 『PROSPECTIVE THE CONTENDERS 4 2000.11.25 DIFFER ARIAKE』
クエスト/90分　6,600円

5. 『PRIDE.11 2000.10.31 in OSAKA』
メディアファクトリー/100分9,500円

4位

『PROSPECTIVE THE CONTENDERS 4 2000.11.25 DIFFER ARIAKE』
まだ、見たことのない皆様、これが噂の『コンテンダーズ』です！

昨年の11月25日に行われた、宇野薫がプロデュースした『コンテンダーズ4』のビデオ化。この大会は、いきなり第0試合で小路晃と西良典が試合をしたかと思えば、プロレスばりのタッグマッチありと、アッと驚くようなマッチメイクがずらりと並んでいる。当日、生観戦した人も、しなかった人も楽しめることは折り紙付きの1本だ。

※表示価格は全て税別価格

GOODS
最新＆売れスジグッズをご紹介！

〈新作紹介〉 It's HOT!

『ヒクソン・グレイシー“無敗”トレーナー』 2,900円（税別）

“無敗”の文字が輝くヒクソントレーナー！

最近、イサミ尚武堂が一押ししているのがヒクソンブランドの商品。これもその中の一つで、ヒクソンの400戦以上“無敗”という戦績を誇らしげに刺繍してある。これを着て町を歩けば、絶対にからまれることはないぞ！

〈おすすめグッズ①〉 Recommend

『バッドボーイニーパット』
3,000円（税別）

イサミとバッドボーイのダブルネームのおしゃれなニーパット！

格闘家でヒザを悪くしている人は多いが、これを付ければもう安心！　イサミ製のニーパット！　表のヒザ上の部分にはバッドボーイのマークがあって、とってもおしゃれな代物だ。これから、道場で稽古する時は、これを付けてから始めよう！

〈おすすめグッズ②〉 Recommend

『RICKSONパーカー』
3,900円（税別）

グレイシーマーク入りのフードを被れば、気分はもうグレイシー一族！？

人気のヒクソン商品の中でも、一番スタンダードなのがこれ、『RICKSONパーカー』だ。白とオレンジの2種類の色は春先にもピッタリ！　フードの側頭部の部分には、あのグレイシーのマークが入っていて、被ってみればヒクソン気分を満喫できるぞ！

PRESENT!

今回、このコーナーで紹介した『ヒクソン・グレイシー“無敗”トレーナー』（Lサイズ/ホワイト・ブラック）と『RICKSONパーカー』（Lサイズ/ホワイト・オレンジ）を各2名、『バッドボーイニーパット』を1名の『SRS・DX』読者にプレゼントするぞ。希望者はハガキに住所、氏名、年齢、職業、電話番号、希望するグッズ名と今号の感想を明記した上、下記の宛先までご応募を。締め切りは、3月29日（木）の消印有効。

◆あて先/〒101-0054
東京都千代田区神田錦町3-14-12神田NSビル8F
SRS・DX編集部『グッズプレゼント』係

イサミ尚武堂（株）
大貫勲店長

「すっかり陽気も春らしくなってきましたが、それに合わせて、イサミも店内を改装しました。最近の一押しの商品、ヒクソン・グレイシーのグッズを揃えてお待ちしております」

イサミ尚武堂（株）
東京都千代田区三崎町2-18-5京三会館2F
☎03-5214-6487
営業時間/11:00～19:00（毎週火曜、祝日休業）

3・25「PRIDE.13 さいたまスーパーアリーナ」観戦バスツアー開催決定！

全国主要都市から、さいたまスーパーアリーナまで直行！

近畿日本ツーリストでは、3月25日（日）にさいたまスーパーアリーナで行われる『PRIDE.13』の観戦バスツアーを開催する。桜庭vsシウバ戦、ボブチャンチンvsケン・シャムロック戦、佐竹vs安田戦などなど、注目の対戦が目白押しの今大会。その会場となるさいたまスーパーアリーナまで、全国主要都市からバスで直行でき、バス車中では過去の『PRIDE』ビデオ上映あり、選手のサイン入りグッズなどが当たる抽選会あり、バスツアー参加者のみのオリジナル記念品プレゼントあり、その上大会オフィシャルパンフレット付きという、至れり尽くせりのプラン。「どこからでも見やすい」と評判のさいたまアリーナで、『PRIDE.13』を生観戦しよう！

▲アリーナ席が少なくすり鉢状になっていて、どこからでも見やすいさいたまスーパーアリーナ。まさに格闘技イベントのための会場だ！

●プラン　各コース募集人員：120名（最少催行人員：30名）

コース	2001年3月25日（日）	さいたまスーパーアリーナ（開場15:00　試合開始17:00）	2001年3月26日（月）
❶大阪 ❷名古屋	06:00 大阪駅 ➡ 08:00 名古屋駅 ➡	15:00着 22:00頃出発	06:00頃 名古屋駅 ➡ 08:00頃 大阪駅
❸盛岡 ❹仙台	07:00 盛岡駅 ➡ 10:00 仙台 ➡	15:00着 24:00頃出発	05:00頃 仙台駅 ➡ 08:00頃 盛岡駅
❺福岡 ❻広島	2001年3月24日（土） 21:00 福岡駅 ➡ 24:00（車中泊） 広島駅 ➡	12:00着 22:00頃出発	09:00頃 広島駅 ➡ 12:00頃 福岡駅

※全コースに添乗員は同行しませんが、その場合でも出発地とさいたまスーパーアリーナにて係員がご案内いたします。最少催行人員に満たない場合、中止とさせていただく場合があります。
※❶コースは❷コース名古屋経由、❸コースは❹コース仙台経由、❺コースは❻コース広島経由となる場合があります。

●料金
Aプラン：会場直行バス（観戦チケットなし）
Bプラン：会場直行バス＋スタンドA席チケット

コース	Aプラン	Bプラン
❶大阪	17,000円	24,000円
❷名古屋	13,000円	20,000円
❸盛岡	17,000円	24,000円
❹仙台	15,000円	22,000円
❺福岡	29,000円	36,000円
❻広島	26,000円	33,000円

<含まれるもの>有料道路代、諸税金、スタンドA席（Bプランのみ）
※試合観戦席のカテゴリー変更のご希望もお受けいたしますので、ご相談ください。

◆お申し込み・お問い合わせ/近畿日本ツーリスト 東京企画旅行支店
「PRIDE.13 さいたまスーパーアリーナ」係☎03-5467-8306（月～金、9:00～17:45）
◆受付締切/3月15日（木）必着

Et cetra

正道会館、無料体験コース実施 角田師範も直接指導！

K-1、石井館長でお馴染みの正道会館が、3月20日（火・祝）と3月22日（木）の両日、千葉・セントラルウェルネスクラブ長沼で無料体験コースを行うぞ。参加は誰でもOKなので（5歳〜）、チビッコから学生、社会人、女性もみんなふるって参加しよう！ ちなみに会場となるセントラルウェルネスクラブ長沼では、4月から正道空手教室も開校されるとのことだ。

◆日程/【第1回】3月20日（火・祝）【第2回】3月22日（木）

◀3月22日には、あの角田師範が直接指導にあたってくれるぞ！

◆時間（両日とも）/
①少年コース（5歳〜12歳）16:30〜17:30
②一般コース（13歳〜）19:30〜20:30
◆場所/セントラルウェルネスクラブ長沼（千葉市稲毛区長沼町330-50ワンズモール3F）※JR稲毛駅よりワンズモール行きバス下車すぐ
◆お問い合わせ/正道会館東京本部 ☎03-5285-1966

「龍生塾和泉道場」オープン記念 3月中は龍生塾全道場の入会金が無料！

シュートボクシング、グローブ空手の龍生塾が、大阪府和泉市に新道場をオープンする。事務局によると、150㎡というゆとりのスペースに、本格リングやウェイト器具、シャワー室なども完備した明るい道場とのことだ。3月18日（日）には、ゲストを招いたエキシビジョンマッチなどのオープニングセレモニーも開催される。オープンを記念して、3月中は龍生塾全道場の入会金が無料！ このチャンスにぜひ入会だ！

◆セレモニー日時/3月18日（日）11:00〜
◆場所/大阪府和泉市池田下町2866-1
◆お問い合わせ/龍生塾和泉道場 ☎0725-56-0667

吉祥寺駅から徒歩30秒！総合格闘技スクール『CROSS☆POINT KICHIJOJI』オープン！

柔術とキックボクシングが両方学べる格闘技ジム『クロスポイント吉祥寺』がJR中央線、京王井の頭線吉祥寺駅から徒歩30秒の好立地にオープンする。柔術は『パレストラ吉祥寺』として開講、また、キックボクシングのインストラクターは山口元気が務め、ストレス発散、ダイエット目的の方から本格的にやってみたい人まで対応できるように、様々なコースを用意しているとのこと。なお、3月中の入会者は入会金なし、さらに月謝もなしという超太っ腹！ この機会を逃すな〜！

◆場所/東京都武蔵野市吉祥寺南町2-2-4サンケイビル4F（JR、京王井の頭線吉祥寺駅より徒歩30秒）
◆日時/3月15日（木）よりプレオープン
◆月謝/10,000円
◆お問い合わせ/CROSS☆POINT KICHIJOJI ☎0422-47-6660

バトラーツ『グラップリング-B タッグバトル vol.1』出場選手募集！

アマチュア大会『グラップリング-B』を開催しているバトラーツが、4月8日（日）にタッグバトル大会を開くことが決定した。階級は、チームのトータル体重が、-140kg、-150kg、-160kgの3つという、ユニークなもの。ルールは、バトラーツ「グラップリング-B」ルールに準じて行われる。キミも相棒を見付けて、ぜひ参加しよう！

◆日時/4月8日（日） 受付開始10:30 試合開始/12:00
◆場所/埼玉・バトラーツジム［B-CLUB］（東武伊勢崎線越谷駅より徒歩30秒）
◆参加資格/18歳以上の健康なアマチュアの男女
◆階級/【男子】-140kg -150kg -160kg（チームトータル体重） ※女子は階級を設けず、応募者の中から体重の近い選手同士で試合をする
◆参加費（1チーム）/［B-CLUB］会員2,000円 一般5,000円
◆申込方法/代表者が電話にて連絡した後、下記の住所まで100円切手を1枚送付する。折り返し参加申込書を発送
◆あて先/〒343-0807 埼玉県越谷市赤山町6-13-43［B-CLUB］内 「グラップリング-B」運営事務局
◆電話申込締切/3月22日（木）
◆お問い合わせ/バトラーツジム［B-CLUB］☎0489-63-7515

「第17期禅道会中部地区グラウンド戦」大会結果

2月4日（日）に長野県・飯田市武道館で、総合格闘技禅道会主催の「第17期禅道会中部地区グラウンド戦」が開催された。結果は以下のとおりとなった。

◆4級以上の部／優勝：熊谷真尚（総本部）
◆5級以下の部／優勝：奥山健太（松本支部）
◆マスターズの部／優勝：村山精一（総本部直轄根羽道場）
◆女子の部／優勝：片桐美紀（飯田レディース）
◆特別賞／長谷川力資（高崎道場）／西沢康明（高崎道場）

魔裟斗がビジュアル系・殺し屋に！ビデオ『DEAD OR ALIVE2 逃亡者』レンタル開始！

昨年の12月に劇場公開された『DEAD OR ALIVE2 逃亡者』。キックボクサーの魔裟斗が出演していることでも話題を呼んだこの作品が、ビデオ化されることとなった。魔裟斗の役どころはビジュアル系の殺し屋3人組の1人で、バイオレンスが飛び交うスクリーンの中で、リング上同様暴れ回っている。3月9日はレンタルビデオ屋さんに寄り道しよう！

◀シルバーウルフ・魔裟斗の映画初出演作！

◆レンタル開始/3月9日（金）、DVDも同時にレンタル開始
◆収録時間/97分
◆お問い合わせ/東映ビデオ株式会社 ☎03-3545-9302

桜庭和志トークショー開催！

4月15日（日）に千葉・幕張プリンスホテルにて、桜庭和志のトークショーが開催される。豪華なお食事の後に、桜庭のしっとりとした（？）ステキなトークが聞ける、客席シアター形式という今回のトークショー。サクのほかに、PALETTE浮田久恵チャンも出演予定。チケットはもう発売中なので、希望者は下記のお問い合わせ先までお早めに。

◆日時/4月15日（日）受付/18:00 食事/18:30 トーク19:45
◆場所/幕張プリンスホテル（JR海浜幕張駅より徒歩6分）
◆料金/12,000円（食事代込み）
◆チケット発売＆お問い合わせ/幕張プリンスホテル宴会予約係 ☎043-296-1111

▲『プライド13』を終えた桜庭のしっとりトークを聞きに、夜の幕張に行こう！

Vシネマ『デコトラ外伝〜男人生夢一路〜』パンクラスの謙吾＆須藤元気が出演！

ミュージアムから発売されたビデオ『デコトラ外伝〜男人生夢一路〜』に、パンクラスのホープ・謙吾と、須藤元気が揃って出演している。かつての東映の『トラック野郎』シリーズを彷彿とさせるこの作品に、2人は主人公の敵役の"飛車"（須藤）と"角"（謙吾）として登場。ビデオ初出演とはいえ、リング上のファイトを生かした体当たりの演技で、アクションシーンをこなしている。いつもとは違う2人を見たければ、このビデオは必ず見るべし！

◆定価/16,000円（税別）、3月にDVDも発売予定
◆収録時間/72分

アンディ・フグのお墓参りの受付日程が変更

アンディ・フグのお墓への一般ファンのお参りは、2001年から偶数月の24日（月命日）に開放する予定だったのが、諸事情により全てを開放することができなくなったとのこと。今後については改めて発表される。なお、お墓の所在地は下記のとおり。

◆場所/京都府北区紫野大徳寺町 龍宝山 大徳寺内 芳春院
◆最寄り駅/地下鉄北王子駅よりタクシーで5分、JR京都駅よりタクシーで10〜15分
◆お問い合わせ/（株）K-1 ☎03-3796-2977

格闘技オフィシャルホームページ

K-1 http://www.k-1.co.jp/
UFO http://www.ufojp.co.jp/
極真会館（松井派） http://www.kyokushin.co.jp/
リングス http://www.rings.co.jp/
アントニオ猪木 http://www.antonio-inoki.com/
大道塾 http://www.daidojuku.com/
パンクラス http://www.so-net.ne.jp/pancrase/
UFC http://www.seg.com/ufc/
格闘探偵団バトラーツ http://www.ops.dti.ne.jp/~batbat/
シュートボクシング http://www.shootboxing.org/
日本武道伝骨法會 http://www9.big.or.jp/~koppo/
修斗 http://www.alles.or.jp/~shooto/index.html
新日本キックボクシング協会 http://www1.neweb.ne.jp/wa/kick/
全日本キックボクシング連盟 http://www.aj-kick.co.jp/
J-NETWORK http://WWW.kickboxing.co.jp/
PRIDE http://www.pride.nowjpn.com/
高田道場 http://www.takada-dojo.com/
http://www.takada-dojo.com/i/（iモード用）
聖圏道 http://www.seiken-do.com/
全日本新空手道連盟 http://www.shinkarate.net/

GOODS & TICKET
ショップガイド

チャンピオン　水道橋駅西口徒歩1分

〒101-0061　東京都千代田区三崎町3-8-1西田ビル6F
☎03-3221-6237
年中無休　営業時間11:00～22:20

レッスル渋谷　渋谷駅南口徒歩4分

〒150-0043　東京都渋谷区道玄坂1-17-2第2野々ビル3F（1F茜屋）☎03-3464-0078
営業時間（平日）10:00～19:00（日祝）10:00～18:00

ワールドスポーツプラザKINGS

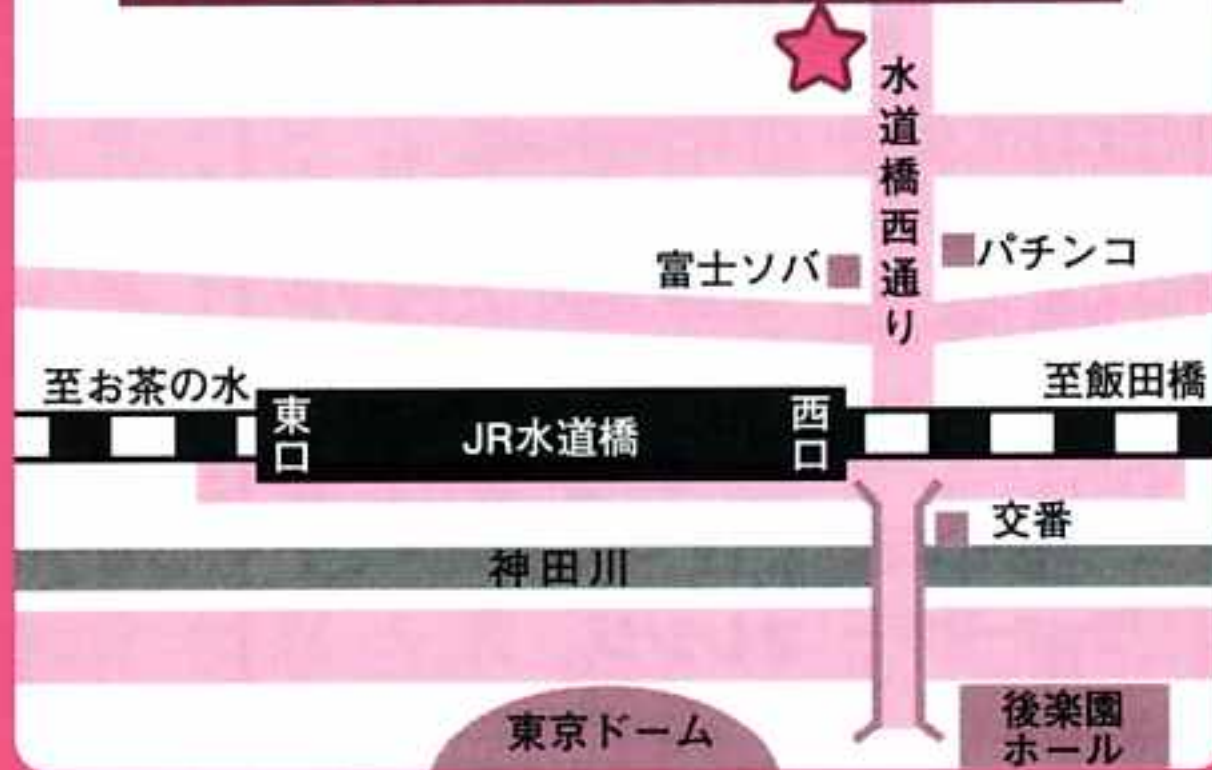
〒東京都渋谷区神南1-9-5ワールドスポーツプラザWEST 1F
☎03-3462-1001
営業時間　11:00～20:00

AX BOMBER　原宿駅竹下口徒歩3分

〒150-0001　東京都渋谷区神宮前1-8-24-1E
☎03-5771-2424
営業時間（平日）12:00～20:00

東京イサミ　新宿駅南口徒歩3分

〒101-0061　東京都新宿区新宿4-2-21相模ビル3F
☎03-3352-4083
毎週火曜日、祝日定休　営業時間　11:00～19:00

イサミ尚武堂（株）　水道橋駅西口徒歩1分

〒101-0061　東京都千代田区三崎町2-18-5京三会館2F
☎03-5214-6487
毎週火曜日定休　営業時間　11:00～19:00

書泉グランデ　書泉ブックマート　地下鉄神保町駅

〒101-0051　東京都千代田区神保町1-21-6（書泉ブックマート）
☎03-3294-0011
営業時間（平日）10:30～19:00（日祝）10:30～18:30

アイドール　西武新宿駅徒歩5分

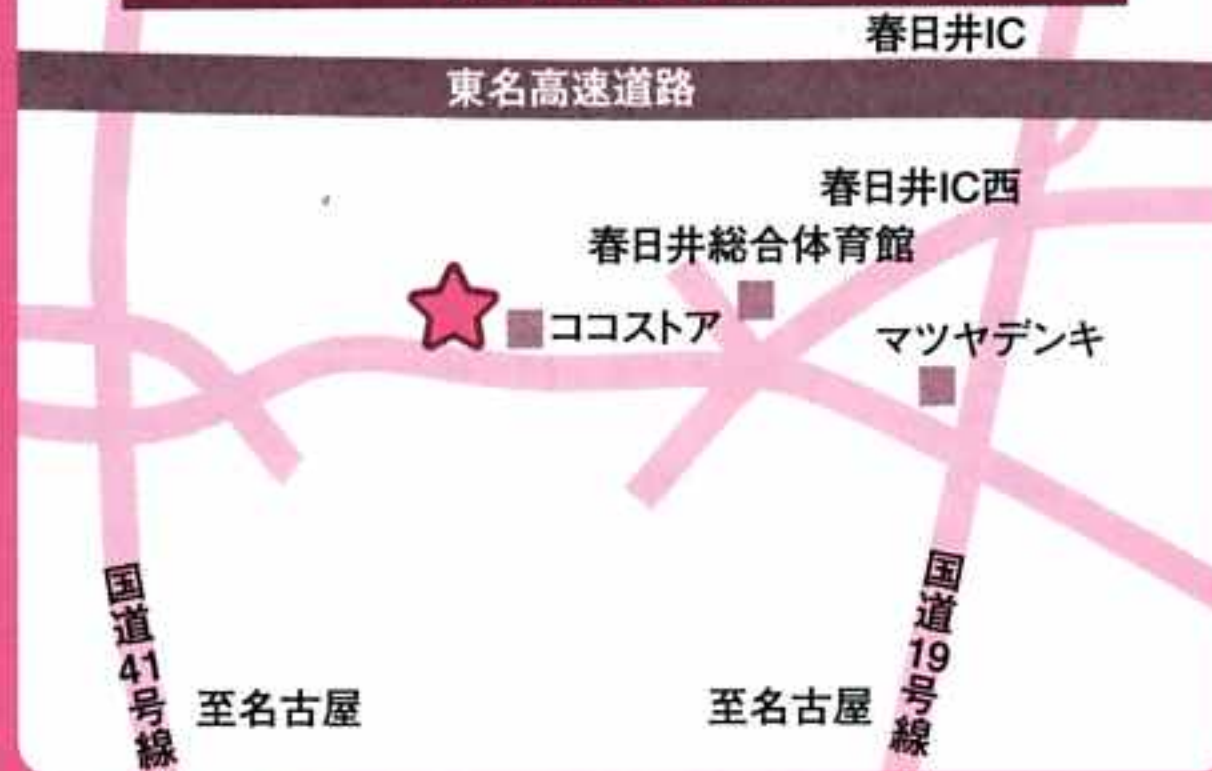
〒160-0023　東京都新宿区西新宿7-1-3　加藤ビル4F
☎03-3371-5211
毎週月曜日定休　営業時間　11:00～19:00

ファイター　地下鉄新宿3丁目駅　C4出口徒歩1分

〒160-0022　東京都新宿区新宿3-3-9-B1
☎03-3354-1903
毎月第3水曜日定休　営業時間11:00～19:00

横浜AOコーナー　横浜駅東口徒歩7分

〒220-0011　神奈川県横浜市西区高島2-8-5　篠崎ビル
☎045-440-3355　毎週月曜日定休　営業時間（火～土）14:00～19:00（日祝）12:00～18:00

IVY Books

〒486-0808　愛知県春日井市田楽町南植田993-3
☎0568-31-0727
年中無休　営業時間10:00～23:00

主要チケット発売所一覧

チケットぴあ	☎03-5237-9999
チケットセゾン	☎03-3250-9999
ローソンチケット	☎03-3569-9900
CNプレイガイド	☎03-5802-9999
オデッセー	☎03-3408-0331
渋谷東急文化チケットセンター	☎03-3406-1513
レッスル渋谷店	☎03-3464-0078
レッスル池袋店	☎03-3989-0056
板橋大山アメリカン	☎03-3962-6443
チャンピオン	☎03-3221-6237
書泉ブックマート	☎03-3294-0011
後楽園ホール	☎03-5800-9999
フィットネスショップ格闘技	☎03-3265-4646

星座別 タロット占い

3/8 Thu. ～ 3/29 Thu.

宇月田麻裕
mahiro utsukita

プロフィール　ヒューマンディレクターとして、ハッピネスファクトリーを主宰。独自の占術「ダ・マーヤー占星術」を中心にタロットカード、西洋占星術、四柱推命などオールマイティな占いを使う。現在、雑誌・映像などで活躍中。
URL http://www.happiness-f.com/

牡羊座　3/21～4/20

全体運　ようやく安定した運気になり、あなた自身の態度が鍵を握るとき。トレーニング、勉強、仕事などに真剣な態度をアピールすると、動きやすい環境に変わり、人間関係が活性化される暗示。有意義な人との出会いがあるので、「この人」と感じたら、アプローチしていこう。恋愛運は、旅先、スノボーの滑り納めなどで出会いのチャンスあり。

勝負運　ピンチのときほど、パワーが発揮できそう。

健康運　ストレスで胃が痛みそう。適度に発散して。

金運　カードの使用は要注意。無駄遣いの元。

ラッキーアイテム：**輸入雑貨**
ラッキーカラー：**ライトピンク**

牡牛座　4/21～5/21

全体運　実力、発想力が発揮できず、歯がゆく感じるとき。煮詰まったら、図書館に行って関連の本を読みあさったり、インターネットを駆使して、他からの情報を自分の中に取り込むとグッド。双子座の友達が良いアドバイスをくれる暗示。恋愛は、別離か続行か、選択を迫られそう。フリーの人、焦りは禁物。物欲しそうに見える行動はNG。

勝負運　相手の弱点を知ることが勝利へつながります。

健康運　病気を移されやすいとき。人混みは避けて。

金運　メモでもいいから収支を把握しているとグッド。

ラッキーアイテム：**WEB**
ラッキーカラー：**ネイビーブルー**

双子座　5/22～6/21

全体運　ようやく晴れ間が顔を出しそう。あなたの能力が買われて、責任ある仕事を任されたり、ハードな組み合わせの試合が決まったりしそう。得意な情報収集能力を活かし、研究を重ねてチャレンジすれば実力を発揮できるハズ！　残念ながら恋愛運はNG。キケンな人との接近。不倫の恋にハマったり、援交を迫られたり。モラルが問われるとき。

勝負運　他人のことより、自分に厳しくなることが大切。

健康運　風邪をこじらせ、そのまま花粉症に突入。

金運　一攫千金のチャンス！　馬券を買ってみては？

ラッキーアイテム：**カード**
ラッキーカラー：**ベージュ**

蟹座　6/22～7/23

全体運　新学期はもう間近。心機一転、部屋の模様替え、引越など環境に変化をつけるとラッキーが舞い込みそう。スクールに通うのもグッド。「手に職」「趣味の充実」をテーマに生活を変えてみて。あなたのキャパがぐ～んと広がるハズ！　恋愛は、カップルは結婚話や同棲話の浮上など急進展がある予感。フリーは見合い話があれば積極的に受けて。

勝負運　苦手なカテゴリを制覇すると、勝利はすぐそこ。

健康運　美容運があるので美しいボディ作りを目指しては？

金運　お金をはたいて地震保険に加入しておくと後々安心。

ラッキーアイテム：**パンフレット**
ラッキーカラー：**ネイビーブルー**

魚座　2/20～3/20

全体運　エネルギーが効率良く循環するとき。持ち前のインスピレーションを活かすと、試合での成績がアップしたり、仕事では顧客が増えたりしそう。でも、口が災いの元になることも。人の悪口は絶対に言わないこと。結果的にあなたの人気がダウンするハメに。恋愛は、カップルは「性」をテーマに話すことで、関係がより深いモノに進展。

勝負運　自分に惚れ直すくらいの全力投球でいこう。

健康運　肌荒れが悪化してアカギレに。予防をして。

金運　ネットオークションでトラブル発生の暗示。

ラッキーアイテム：**CD**
ラッキーカラー：**オレンジ**

獅子座　7/24～8/23

全体運　ようやく好調の波に乗れそう。仕事とプライベートをキッチリ区別することが大事。仕事運がアップしているので、職場でエネルギーを一気に爆発させて！　大きなプロジェクトに参加できたり、試合の話が来たりしそう。恋愛は、つい浮気に走りそう。もし、プラスになる相手なら乗り換えもOK。フリーは遊びの恋に要注意。

勝負運　エネルギーの無駄遣いはNG。バランスを考えて。

健康運　寝不足は事故の元。遠出するときは十分な睡眠を。

金運　居酒屋などにお財布や大事なモノを忘れそう。

ラッキーアイテム：**シューズ**
ラッキーカラー：**ボルドー**

水瓶座　1/21～2/19

全体運　夢の実現にストップがかかりそう。気持ちが先走りして、現実がついてこないみたい。軍資金が集まらなかったり、協賛者がいなかったり…。初心に返って悪い部分を改訂して、地固めをしていくとグッド。ついでに、あなたの実力も見直してみては？　恋愛運は、カップルは恋人の友達やグループ交際で、キケンな関係に進展しそう。

勝負運　ワンパータンになりがち。試合運びを見直して。

健康運　時間がなくても慌ててはダメ。ケガの元に。

金運　金欠中のギャンブルはNG。身分相応の生活を。

ラッキーアイテム：**アクセサリー**
ラッキーカラー：**イエロー**

乙女座　8/24～9/23

全体運　努力が実るとき。日頃のガンバリが評価されて、自分でもスキルアップしたことを実感でき、大きな自信につながりそう。また、学校や仕事帰りのフィットネスクラブにラッキーがありそう。インストラクターと気が合って、筋肉作りのサポートをしてくれたりと収穫が。恋愛は、相手に厳しすぎるのはNG。優しい言葉がキメ手。

勝負運　普段、付き合いがない人から強烈なアドバイスが。

健康運　日頃からウォーキングを心掛けるとグッド。

金運　積立貯金を始めるのにグッドタイミング。

ラッキーアイテム：**手帳**
ラッキーカラー：**コバルトブルー**

山羊座　12/23～1/20

全体運　別れのシーズン。可愛がってくれた人が転勤になったり、あなた自身も人事異動の憂き目にあう予感。でも、また新しい出会いがあると思えば、一時は落ち込んでもすぐに立ち直れるハズ。また、帰宅途中に、面白い情報がゲットできる暗示。恋愛運は、カップルは悩みを相談し合うことで親密度アップ。ただし、グチのこぼし合いは逆効果に。

勝負運　トレーニング中にヒントが見つかるとき。

健康運　暴飲暴食で胃炎を起こしそう。気を付けて。

金運　コートを脱いだときの落とし物に要注意。

ラッキーアイテム：**デジカメ**
ラッキーカラー：**モスグリーン**

射手座　11/23～12/22

全体運　壁が立ちはだかっても、逃げの姿勢は状況を悪化させることになるので、ひとつ一つ丁寧にクリアしていこう。考え方や観念を変えてみたり、違った角度から物事を見ることで、解決の糸口が見つかるハズ。恋愛は、あなたに優しく声かけてくれた人が恋人候補に。カップルは、アブノーマルなデートで、マンネリを打破して。

勝負運　日頃の心遣いや誠意で勝運がアップする予感。

健康運　捻挫などを放っておくと癖になりそう。すぐに処置を。

金運　借金はクリアにしておかないと大変なことに。

ラッキーアイテム：**歯ブラシ**
ラッキーカラー：**オフホワイト**

蠍座　10/24～11/22

全体運　エネルギーが分散しやすいとき。1つのことに集中しないと、ケガをしたり、事故につながったり。仕事で、活躍のステージが与えられるときなので、つまらない事故に巻き込まれないように気を付けて。恋愛は、合コンもいいけど、小、中学生時代の仲間に、久しぶりに連絡を取るとグッド。カップルは、エッチの深みが増すとき。

勝負運　不調。関節技で痛めたり、ケガでリタイヤしそう。

健康運　耳鼻咽喉系が弱っているとき。マスクで予防して。

金運　詐欺やスリに要注意。貴重品の管理をしっかりして。

ラッキーアイテム：**携帯ストラップ**
ラッキーカラー：**オレンジ**

天秤座　9/24～10/23

全体運　リニューアル運あり。今までのことを見直して、部屋の模様替えや仕事の仕方などをリニューアルしてみよう。生活グレードがアップして、仕事での業績が見違えるようになりそう。血液型B型の友人を参考にしてみるといいかも。恋愛は、フリーは、友達の兄弟なんかが狙い目。カップルは、心温まるアットホームな交際になりそう。

勝負運　勝負のタイミングを変えてみるとグッド。

健康運　花粉症や食べ物などアレルギー全般に要注意。

金運　役立つモノなら高値のショッピングもOK。

ラッキーアイテム：**ペンダント**
ラッキーカラー：**シルバー**

一撃コラム 連載第42回

今度のK―1と『プライド』のテーマは、まったく同じ！ それは膠着打破である！

もうすっかり待ちくたびれたような冬休みを過ごしている格闘技界。これほど1～2月に国内でビッグイベントが開かれなかった年も珍しいが、ようやくK―1と『プライド』が、3月になって動き始める。

国内の格闘技団体が静かに冬眠中なので、我々はもう〝いいかげんに早くやってくれ！〟という気分なのだが、その溜めに溜めた気持ちを爆発させてくれるイベントになるかどうかが問われているのが、3・17K―1横浜大会と、3・25『プライド13』埼玉大会だ。

溜めに溜めたフラストレーションを発散させ、ファンを満足させられるかどうかのポイントはひとつ。冬眠中だったファンが唯一身に付けたテーマである〝膠着〟にどういう答えを出すかということである。

〝膠着〟とは、やる側にとっては安全な状態だが、第三者から見ると非常に展開の少ない退屈な状態であることは、今や見る側に完全にインプットされた。

〝膠着〟のことを、英語では〝デッドロック〟というが、その直接的な意味は〈行き詰まり〉ということ。膠着とは、行き詰まっているからこそ、プロの格闘技興行にとっては、エンターテインメントとして面白いものになるかどうかの大きな問題なのだ。極論すれば、その部分が解決できなければ、いつまでもプロレスを超えられないとさえ、個人的には思うのである。

今回行われる3・17K―1横浜大会と3・25『プライド13』は、くしくも共通して、この膠着が最大のテーマとなっている。それは、昨年末のK―1グランプリ決勝大会と『プライド12』が共にほとんどの試合で膠着が起き、興行が7時間も続いたからだ。不思議なことに両大会で膠着が連鎖してしまったのである。

スポーツとしての格闘技はこれまで、ルールで膠着を打破しようとしてきた。たしかに柔道や空手などの試合を見ると、ブレイクや消極的な姿勢に注意をとることで試合を面白くさせている。最近ではWOWOWでリングスのKOKの決勝トーナメントを見たが、ルールでまったく膠着のない試合を作り出し、随分見ていて面白かった。それらを見ていて、ますます今度のK―1や『プライド』で同じような膠着が起こったら、本当にヤバイとさえ思ったものだ。

では、膠着はどうして起こるかというと、それはファイターのモチベーションと、一本を取る技術力があるかどうかにかかっているということも分かってきた。やる側にも、もちろん膠着しているように見える状態でも、やる側なりの理屈や事情があるということはよく分かる。

しかし、本誌は今はその理屈はまったく通用しないと考えるべきだという立場を取っている。ひとつの例を言えば、トーナメントの中で最も効率よく勝とうとするアーネスト・ホーストの試合や、キックボクサーが尊敬してやまないムエタイの試合だって、見る側にとっては膠着だと思われるよ、と言いたいのだ。当然、やる側からすれば、ホーストが〝非〟なんて、冗談じゃないと思うだろう。

しかし、ファイターの側から「一本取ってやる」、「極めてやる」という強烈なモチベーションが伝わってきたり、実際に一本を取る技術があったとしたら、それは膠着していても膠着には見えない。

見る側にとっては、グレイシーの膠着や、デビュー当時の極真空手のフィリォの待ちの姿勢は、まったく膠着に見えないで、〝間合い地獄〟に感じるのだ。

K―1がなぜ社会現象的なブレイクをしたかというと、初期の頃はトーナメント7試合中、ほとんどがKO決着となり、素人のファンから見ても分かりやすかったからだ。ヘビー級同士が、顔面という最も急所をイメージさせる部分を攻撃し合い、それでブッ倒れるんだから、ある意味プロレスを超えられた。

しかし、昨年のK―1グランプリの決勝大会は、7試合中2試合しかKO試合がなかった。欠場したジェロム・レ・バンナが「バイオレンス性とリズム感がない最低の内容だった」と言っていたが、それは見る側にとってのK―1に対する危機感を一番ついた言葉だったと言えるだろう。

K―1の〝K〟は、一般的にKOのKだと思われている。それを取り戻すことが、3・17K―1横浜大会の最大の焦点なのだ。

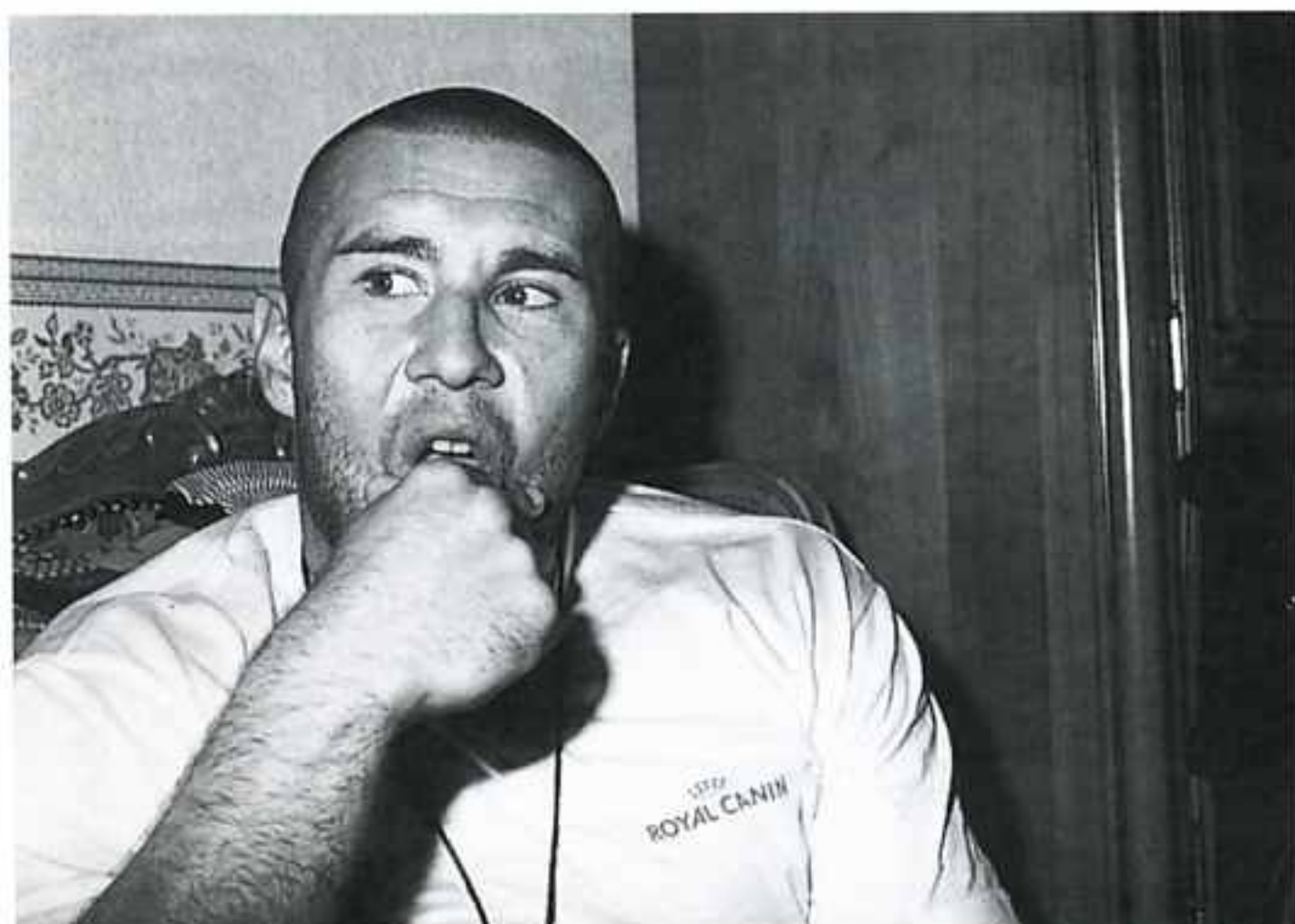
一方、『プライド』のほうは、膠着打破のために、より制限をなくす過激なルールに向かっている。これは、グレイシーの思想が『プライド』の根本にあるからだが、ルールを制限して膠着を打破しようとしたら闘い自体のゲーム性がより強くなるからである。

できるだけ制限をなくした上で、さらに膠着のない試合を作ることが『プライド』の最大のテーマ。その意味で、リングスのKOKとは明確な違いがある。パンクラスやUFC、佐山聡の掣圏道もどちらかと言えば、『プライド』のような考え方に近くなっている。

では、人工的に、第三者の介入によって膠着を打破しないで、ファイターの意識や技術力でこれを解決できるかどうか。そんなことが今後の『プライド』などのイベントで問われてくるだろう。

K―1を見ても分かるように、ルールで制限されたスポーツでも、膠着する時はするということが明らかになってきた。『プライド』が、なんでも有りのリアルファイトで実力を測定する場となり、膠着のないエンターテインメントとしても面白いリングになったら、それこそ21世紀型の新しいプロレスになれる！

今度のK―1や『プライド』の会場で、外人選手の控室に「ノー・モア・デッドロック」という貼り紙をマジでしようかなぁと考えている、今日この頃である。

（谷川）

▶インタビューで今のK―1の問題点をズバリ指摘するバンナ。実に逞しい！

キミは忌野清志郎とサクラバマシン人形のツーショットをみたか!?

クンフー・マクダニエル

編酋長◎井上きびだんご

VOL.27

vol.28

スギータ

『八郎二百字インタビュー』

東京都北区・杉田八郎・49歳

あのね、杉田家は名詞じゃないんですよ。形容詞とか動詞でね、常にね、変化していく存在なんですよ。だからね、リングサイドで新日見られなくても、それが貧乏人の存在証明だって軽く言ったりできないんですよ。タイソン？　あぁ、あのヘビー級ボクサー？　大したことないよね。なんでかって？　だってさぁ、アイツに経理の仕事ができるのかって。娘が一週間帰らなかった時の親の気持ちを想像できんの？　できないよなぁ。

だいたい、オタクらマスコミもさぁ、バブル崩壊バブル崩壊って持ち上げ過ぎだよ。妹がやってるパブ『バブル』は負けないよ。今年で開店14周年だよ。ノアとか新日本キックよりも歴史あんだよ。あのね、妹はね団体をやってるんじゃないんだよ。近所の無職が集う「場」を提供したいんだよ。ウチの会社の経理は世界一だよ。どこにも負けないよ。給料明細はゴミ箱に捨てたらいいんだよ。豊田商事はウチのマネしてあそこまで大きくなったのさ。

相模原チグモン3歳

カウント

ワーン…ツー…

ガバッ

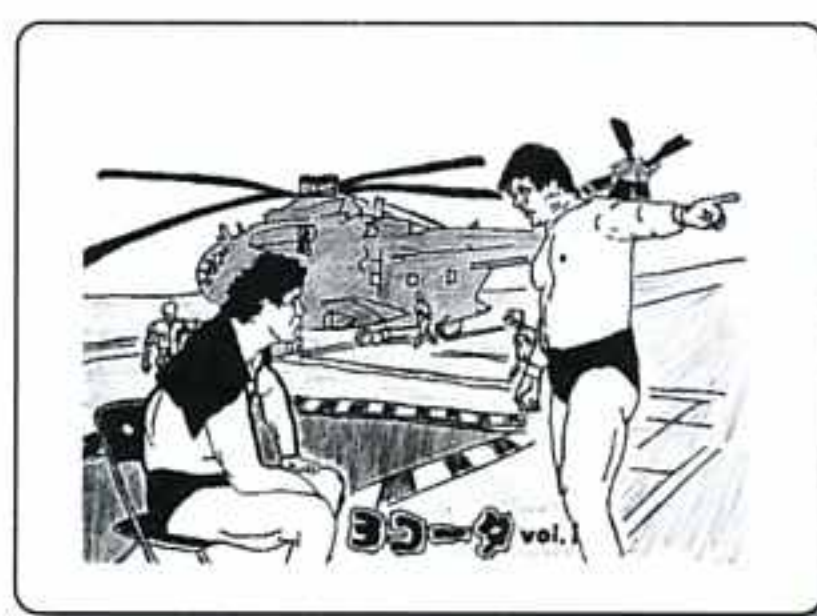
ス…

ハァ

タタトゥーが消えた!?

▲東京都品川区・十和吉・？歳

「神や猪木が誰の心の中にもいるように、ヤマケン的な自分、武蔵的な自分（通称ガラクタ軍団）もいるんです！　せやから牧場で毎日、自分自身を磨くことで逆にヤツらを応援するというか。俺ほんまにええ事言うなあ。」（静岡県藤枝市・未来世紀横田・33歳）

◇さあ、残りスペースが少なくなってまいりましたっ。最後までお伝えすることができないかもしれませんっ。ご了承ください！　んあー、興奮醒めやらぬ『ワンフー・マクダニエル』よりごきげんよう、さようならっ！　内装工事へ行ってまいります！

▲静岡県藤枝市・横田ザンブロンゾ・33歳

埼玉県坂戸市・中川雅博・23歳▶

◇中川くーん、元気ですか〜？　遅ればせながらご報告します。『闘魂五木田塾』は廃塾になりましたぁ！　それでもめげずに、これからもいっぱいイラスト描いて送ってくり。でも、Showごときにあんまりエネルギーを使わないようにね。本人がTシャツにしたいとか言ってきたら、ヤでしょ？　んで、イラストも描ける横田賢（サイコー）とニューカマーの十和吉。いやみなさん、こんなくだらないページにいつも本気汁出してもらって恐縮です。アリ・ボンバイエ！

■作品募集

『ワンフー・マクダニエル』では、読者の皆様からのお便りをお待ちしております。
あて先は、〒101-0054 東京都千代田区神田錦町3-14-12 神田NSビル8F
SRS・DX編集部『ワンフー・マクダニエル』係
※なお、作品は一切返却しません

修斗
SHOOTO GIG WEST
2.18★NGKスタジオ

ナニワ発・修斗新時代の浪煙
クラスBにして、プロ意識の塊。池本誠知がまたやった！

池本のコメント

「地元というのは意識しました。来たお客さんを満足させて、関西でももっと大会が開かれるようにしたかった。お客さんも沸いてたんで気持ち良かったです。固くなったりはしませんでした。自分の見せ場って感じで気持ちいいっすね。余計、冷静になれる。クラスA、ランキングにはぜひ入りたいです。そうしないと先が見えない」

◀「蹴りが走ってたんで、打撃でも十分イケるかなと思いました」と池本。ローでのさぐり合いから、一気に飛びヒザをヒットさせた

▲大阪で行われたクラスB大会。そのメインを地元の池本誠知が見事に飾った。この結果は池本自身に限らず、修斗の未来にとっても大きな意味があるのではないか

★第7試合/ミドル級クラスB（5分2R）
○池本誠知（1R4分01秒、KO勝ち）大河内貴之●
〈ライルーツコナン〉 〈パレストラTOKYO〉
※右ヒザ蹴り

▶第5試合に出場した中山巧（パレストラTOKYO）も、次代を担うスター候補生。この日は直心会の三宅力に3－0の判定勝ちを収めた

▶ダウンから立ち上がったものの、大河内は足元がフラついていた。レフェリーはカウントを続行、そして10カウントが数えられた。打撃の練習も存分に積んできたという大河内だが、池本のヒザの威力は予想以上だったか

▶飛びヒザでガクッときた大河内に、池本は首相撲からのヒザを連打し、ダウンを奪う。これがフィニッシュとなった

これぞ、ゼニの取れるファイターだっ！

▲楠勇次（下・クラブJ）とザ・ばばんば（パレストラTOKYO）が対戦した第6試合。スタンドの打撃が得意な楠だが、ばばんばは徹底してグラウンド勝負。上のポジションからパンチを落としまくったばばんばが判定勝利（3－0）をもぎ取った

▶大河内貴之にテイクダウンされ、苦しい展開となった池本だが、攻防が続くうち身体が半分以上、場外へ。ドントムーブではなくブレイクとなり、池本は窮地を脱出した

	池本誠知	大河内貴之
モチベーション（闘志・気迫）	8	5
技術・戦略	7	5
KOスピリット	8	5
勝ちっぷり負けっぷり	8	8
全体的な印象・インパクト	8	1
合計	39	24

2月18日に大阪・NGKホールで開催された『SHOOTO GIG WEST』は、二つの意味で重要な大会だった。一つは、若手の登竜門たるクラスBの大会が東京以外の会場で開かれたこと。修斗は選手層の拡大と競技としての定着をめざしているだけに、地方の活性化は欠かせない要素なのだ。

そしてもう一つ。地元・大阪の池本誠知がメインで見事な勝利を飾ったのも大きい。99年にクラスBベストバウト、昨年はルーキー・オブ・ザ・イヤーを受賞するなど、以前から注目度の高かった池本だが、ここにきてその輝きはいよいよ本格化しつつある。

普段はポジショニングより〝極め〟を重視した派手なグラウンドの動きで観客を沸かせる池本だが、この日は大河内貴之の粘っこい寝技の前に防戦が続いた。このままのペースでは、このラウンドは失ったも同然……。そこで池本が逆転を期して放った技は、なんと飛びヒザ蹴りだった！

総合の試合で飛び技と言ったら、かなり〝奇策〟の部類に入ると思うのだが……。池本はまったくお構いなしである。この、心臓に剛毛が生えてるとしか思えない勇猛果敢な攻めをきっかけに、池本はKO勝利をゲットしてしまった。まずは結果を残すことが最優先のはずのクラスBでありながら、この男の身体にはプロ意識が染み着いているのだろうか？

池本が持つスター選手としての器は、はっきり言って並外れている。強豪揃いのミドル級ランキング戦線に割って入るのも、そう遠いことではないだろう。（橋本）

しかし、凄いなキック界は！

J-NETWORK
MAKING THE ROAD
2.26★北沢タウンホール

勝った井上はここまで素敵な笑顔で喜ぶ。学歴に勝ち、対抗戦でも勝ってイイ仕事をしたぞ、消防士！

この抜群の笑顔！
無敗の東大大学院生チャンプを倒した34歳の鉄火魂！！

撮影◎吉澤晃

井上のコメント

「（団体対抗戦だったので）自分だけの問題じゃないので勝って良かったです。（相手は）１Ｒから強いと思いました。インターバルの時に考えてたのはどうやってヒジを入れるか。ヒジ一本に絞ってました。練習も半分ぐらいヒジでしたし。自分は偏った選手なんですよ（笑）」

西山のコメント

「作戦ではヒジの距離を避けるつもりだったんですけど、結果がこれですからカッコ悪いですよね。敗因は相手の意地ですかね、向こうが狙ってたとおりの技でやられて。このままじゃ終われないですよ。負けて得られるものがあると思いますんで」

▶西山の右ストレートはよく当たっていたが、狙いすましたヒジで額をパックリ割られて敗北

◀結局、傷が深くてドクターストップ。井上の予告どおりの技で負けたのは悔しいところ

	井上哲	西山誠人
モチベーション（闘志・気迫）	10	5
技術・戦略	5	5
KOスピリット	5	5
勝ちっぷり負けっぷり	5	5
全体的な印象・インパクト	5	10
合計	30	30

▲現役東大大学院生でＪ－NETライト級王者の西山の戦績はそれまで７戦全勝。試合前も「なぜ僕が負けないのか、その答えをお見せしましょう」と豪語するほどの完璧さであった

★第6試合/メインイベント（3分5R）
○井上哲（2R1分28秒、TKO勝ち）西山誠人●
〈MAキック/山木ジム〉 〈J-NET/ソーチタラダジム〉
※ドクターストップ。右ヒジ打ちで西山が出血したため

しかし、凄いなキック界は！　エスパー伊東こと梅下〝アカアシクワガタ〟湧暉がいるかと思えば、今度は現役東大大学院生チャンプの西山誠人が出てきて、あらビックリ！　しかも、西山の卒論のテーマはオカダンゴムシだから、どいつもこいつもムシばっかり。どうなってるんだ、キック界！　もぉ、スゴ過ぎ！

で、この日本が誇るクレバーなキック王者は言うこともいちいち素晴らしい。この日まで7戦全勝の彼。試合前には「なぜ僕が負けないのか、その答えをお見せしましょう」と全てのキック選手を見下すがごとく豪語！

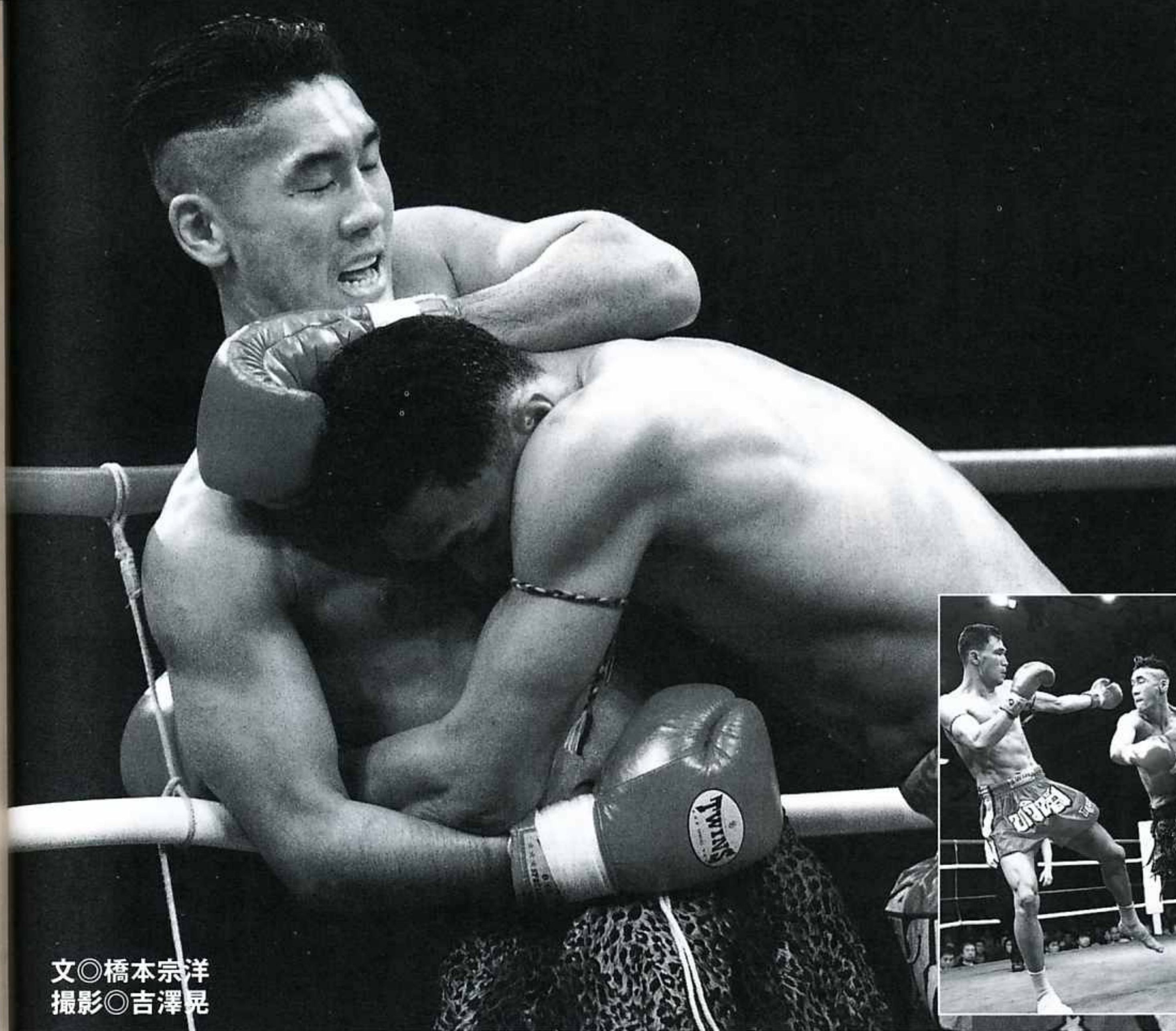
〝負けた時にカッコ悪いんでデカいことは言いません〟とかヌルいことを言い出す選手が多い昨今の格闘技界にあって、このセリフはシビれるばかり！　データに裏打ちされた緻密な自信が男らしいやら、憎たらしい！

一方、対する井上は東京消防庁勤務の消防士さん。西山と違って年齢34歳のコクのあるベテランだ。

そんな二人が団体同士の威信をかけて激突したのがこの日の試合。そしてテーマはズバリ言ってヒジだ。試合前からヒジで決めると言ってた井上は2ラウンド初っぱなに見事に西山の額をカット。これでドクターストップになって意地を貫き切ったわけである。

試合後、無邪気に大喜びする井上に対して、怒りを内に抑えて、傷口の写真も撮らせない西山。この喜怒の深さの差こそが男の勝負の非情な結果であり、見る者の楽しみとなる。闘う両者の背中に人生が見える闘いに乾杯だ！（ブチ）

生き急ぐ男

キックボクサー・小野瀬邦英の格闘哲学

文◎橋本宗洋
撮影◎吉澤晃

▲あくまで倒し合いを望んで前進する小野瀬と、それに一切付き合わず、密着してのヒザ蹴りに終始したチョッチョーイ。小野瀬にとっても、観客にとってもフラストレーションのたまる試合は、ドローという結果に

2月17日、後楽園ホールで行われたNJKF（ニュージャパンキック）と日本キック連盟の合同興行。メインに登場した小野瀬邦英はルンピニースタジアムのランカー、チョッチョーイと対戦。噛み合わぬ展開のままドローに終わった。キックボクサーなら誰もが「打倒ムエタイ」をめざす中、「ムエタイとはもうやりたくない」と語る小野瀬は、なんのために闘うのか。

「いったい何を考えてるんだ!? タイでこんなことやったら追放だよ、追放！ あんなヤツとは、もう2度とやりたくないね」

とても〝微笑みの国〟からやってきたとは思えない怒りの声が、控室に響いた。声の主はチョッチョーイ・チューチョークチャイ。ルンピニースタジアムのJrミドル級7位にランクされるムエタイの強豪である。

彼の怒りの対象となったのは、この夜の対戦相手だった小野瀬邦英だ。なぜ怒っているかといえば、小野瀬が**試合中、噛みついてきた**から。小野瀬は昨年9月、オーローノーと対戦した際にも相手に噛みついた〝前科〟がある。

「たしかにオーローノーの時はやりました。でも今回は噛んだ記憶はないんですけどねぇ。接近戦の時、偶然マウスピースが当たっただけですよ。そんなこと言うんだったら、クリンチばっかりしてないで離れて闘えばいいじゃないですか。それに、レフェリーに抗議したのだって、あれ、スタミナ切れで時間稼ぎしてたんでしょう?」

本人はそう言うのだが、むしろ〝噛みつき〟が故意であると考えたほうが、小野瀬に対するファンタジーが膨らむというものだ。時としてルールすら破ってしまうほどに**過剰な殺傷本能**（キラー・インスティンクト）こそ、この男のファイトが観客を魅了してやまない最大の要因なのだから。

今回の試合でも噛みつきこそ否定したが、もう一つの〝反則疑惑〟はあっさり認めた。

「**頭突きはしました**。ええ、やりましたとも（笑）。でも1回だけですよ。向こうがあんまり抱きついて（クリンチ）くるから、威嚇しただけのことです」

小野瀬がキックを始めたのは、高校生の時だった。

「本当はボクシングをやりたかったんですけどね。近くにあったのがたまたまキックのジムで」

ボクシングをやろうと思った**きっかけは、マイク・タイソンの試合を見たこと**だった。徹底したKO狙いの闘いぶりに惹かれ、当然、自分もそうすることしか考えなかった（まさか相手に噛みつくことまで、タイソンの真似ではないだろうが）。当時通っていた平戸ジム、現在所属している渡辺ジムでも、敵を倒すことだけを教わってきた。

殴り、殴り、そしてまた殴る。それが小野瀬のスタイルだ。平たく言えば**ケンカの延長**のような闘い。特に強烈なのはレバーをえぐる左フックで、これを喰らった対戦相手は地獄のような苦しみを味わい、コーナーを背にへたりこむことになる。

数年前、小野瀬はタイ人をヒジで流血させて勝ったことがある。はた目には快勝以外の何ものでもないのだが、本人は

NJKF＆日本キック連盟
合同興行
2.17★後楽園ホール

不満げにこう言った。

「つまんないッスね、これじゃあ。ボディブローで沈めてやりたかったのに」

倒すか、倒されるか。どちらの拳により威力があり、どちらがより痛みに耐えうる身体を持っているか。小野瀬の興味は、そこにしかない。だから、チョッチョーイ戦は〝ふがいない試合〟だった。ジャッジの採点が発表される前にリングを去ろうとして、セコンドにあわてて制止された。彼にとって判定にもつれ込むような試合に価値はなく、ましてドローという結果は、「やらなかったのと同じ」という意味でしかない。

「（パンチを）一発空振りしたらつかまって、背中にヒザをもらって。打ち合いにこないのはある程度予測してたけど、ここまであからさまだとね……。どうせだったらハイキックで倒されたほうがまだ良かった」

前に出てパンチで倒すことしか頭にない小野瀬と、パンチをかわして組み付き、ヒザ蹴りを出す戦法のチョッチョーイ。2人の攻防は3分5Rの間、一度たりとも噛み合うことはなかった。闘いの中でめざしているものの差。そのギャップは、1976年の猪木とアリ以上だったのではないか。

「異種格闘技……というより、彼（チョッチョーイ）がやってるのは格闘技なんですかね？ 格闘技って強さを競うもんでしょう？ どっちの蹴りがキレイだとか、ポイントがどうだとか、僕はそういうのを強さだとは思わない。**相手を大の字にしたり、腕を折っちゃったり**、そういうのを強さって言うんじゃないですかね」

ムエタイとはもうやりたくない、と小野瀬は試合後に言った。

「選手層から言っても、キックのルーツという意味でも、ムエタイは大きい敵でしょうね。でも、ああいうの（チョッチョーイ）がトップクラスの選手なんじゃ、やりがいがなさすぎる。僕には〝打倒ムエタイ〟をやってる時間はないですね。たぶん、現役でいられるのもあと1、2年でしょう。だったら自分のやりたいことだけをやりたい」

▲小野瀬の頭突き、噛みつきに激しく抗議するチョッチョーイ。小野瀬は昨年、オーローノーと対戦した時も肩に噛みついていた

◀噛まれた場所を指し示すチョッチョーイ。「噛みついたりしたら、タイでは追放だ！」

「キックはスポーツじゃない」と言い切る男。その殺傷本能の原点はマイク・タイソンだった

小野瀬が好む激しい試合とは、自分の身を危険にさらし、身を削りながらの闘いということでもある。決して細く長く続けられる類のものではない。様子見などもってのほか、1Rから相手を潰しにかかるファイトスタイル同様、選手生活そのものも、小野瀬は他の選手とは比べものにならないくらい、性急に考えているのだ。

己のゴール地点を見定めている小野瀬には「引退試合にでもなったらやってみたい。そいつととことんの殴り合いをやってから（選手を）辞めたい」という日本人選手がいる。これまでライバル不在だった小野瀬が初めて口にした〝恋人〟の存在。どうやら、話しぶりからすると新日本キックの**武田幸三**のようだ。

「試合が引き分けだったから、自分から名前は出せないけど」と前置きして、小野瀬はこう言った。

「彼しかいないでしょう、男として認められる存在なのは。あのパンチやローキックがどんなもんなのか、実際に味わってみたい。もしかしたらブッ倒されちゃうかもしれないけど、そういう相手だからこそ、やってみたいんですよね。僕は5R終了のゴングを無事に聞きたくて闘ってるんじゃないですから。それにファンとしても、見てみたい試合じゃないかと思いますよ」

小野瀬は、**キックボクシングをスポーツだとは思っていない。**

「それは絶対に違うでしょ。明らかにスポーツではない。だって、キックで気持ちいい汗なんてかいたことないから。いい汗かきたいんなら、女の子とできるスポーツをやってますよ（笑）」

それでも小野瀬はキックを続けてきたし、最後は自分を倒すかもしれない男と闘いたいとまで言う。それは小野瀬が、4本のロープで区切られたリングの中に、世間一般の基準では計り知れないような充実感、燃焼感を味わってしまったからに違いない。■

◀第10試合では、NJKFウエルター級王者の松浦信次とタイのコンパタピー・ソー・スマリーが対戦。ボディへのヒザで計5度のダウンを奪い、コンパタピーが圧勝した（3R2分47秒、KO）

▲第9試合は日本キック連盟とK−U（キック・ユニオン）の交流戦。キャリアわずか8戦の唐沢たくみ（K−Uフライ級1位）が、ベテラン・尾崎英樹（日本キック・バンタム級1位）を2R1分36秒、右ハイキック一発でKO。しぶとい試合運びには定評のある尾崎だが、唐沢の勢いが上回った

PROFILE

◎小野瀬邦英（おのせ・くにひで）……1973年6月27日、茨城県出身。高校時代より地元の平戸ジムでキックを始め、現在は渡辺ジム所属。26戦21勝（17KO）4敗1分。日本キック連盟ウェルター級王者。昨年行われた、日本キック連盟とNJKFの主力選手を集めたリーグ戦『トップ・オブ・ウェルター・リーグ』では全勝優勝を果たしている。

SRS·DX Editor's Talk
編集部トーク 裏事情

桜庭人気で、年内にも『プライド』全米進出か？

A 今回、猪木さんがブチ上げた「タイソンVS小川戦」で感じたことは、あらためてタイソンというファイターの商品価値だね。結局、タイソン側の代理人であるシェリー・フィンケル氏の「そんな試合をするつもりはまったくない」という発言で沈静化するかもしれないけど、そういう流れは猪木VSアリ戦の時にも随分あった。それよりもボクシングの世界ヘビー級タイトルマッチがいかにグローバルなビッグビジネスになるかということを思い知らされたし、タイソンというファイターがいかに類希な存在だったかということを再認識させられたよ。

B 本当に面白い世界だよなぁ、ボクシングって。それにタイソンのキャラクターは凄いよぉ。

C もう、どちらも本当に雲をつかむような話ですよねぇ。でも、そのタイソンのキャラクターや金銭感覚を考えると、今回は無理でも確実にボクシング以外のリングに上がる日はありますねぇ。石井館長は「ボクシングのほうは引退を考えている人たちも周りにいるかもしれない」と言ってましたけど、これだけトラブルがたび重なると、そんなに長くないかもしれない。その受け皿はやっぱりプロレスかも……。

A それと、やっぱりK—1にしろ、『プライド』にしろ、今後は盛んに海外に進出していくようになっていくんじゃない。その中でボクシングのPPVのやり方っていうのは、本当に研究する必要がある。これは日本で馴染みがないだけに、これは重要だよ。

B PPVに関しては特にアメリカだよね。桜庭が「キング・オブ・ザ・ケイジ」に行って凄い人気だったんだけど、これもPPVのおかげ。『プライド』のPPVは、アメリカでもかなり人気があるらしいんで、早くも年内に『プライド』の全米進出があるかもしれない。

A アメリカで格闘技の興行を開催するには、本誌でも何度も触れているんだけど、州のアスレチック・コミッションの許可が必要になる。中でも、ボクシング・コミッションが興行収益の何%かを収めているから力があるんだけど、そこで認められないとアンダーグラウンドでやるか、ボクシング・コミッションのない州で細々とやるしかないんだよね。で、『プライド』に関しては、現在コミッションが調査中ということ。それこそ、社長が過去に犯罪を犯していないかといった身辺調査までやるらしい。そういったことがクリアされれば、すぐに開催となるんじゃないかな。

C でも、新生UFCといい、『プライド』といい、イベントとして非常にしっかりしているし、アスレチック・コミッションとのパイプもあるから、これから総合はアメリカで伸びてくるんじゃないですか？ 人材も豊富ですし。それに新生UFCを見ていると、『プライド』と協力し合う可能性は非常に高いかも。社長が桜庭のファンですし。

B ウン。それと、K—1についても今年はラスベガスで本戦トーナメントをやるじゃない？ 正直言って、今までのK—1ラスベガス大会というのはUSA予選で、アメリカのファンは本当のK—1をまだ見てないんだよね。特にキック界の現状を考えると、アメリカはむしろ発展途上だから。そこにベルナルドといったベスト8ファイターが出場するトーナメントをやるってことは重要だよ。やっとK—1の本格的なラスベガス進出っていう感じがするもんなぁ。

A そうだね。それにしても、3月中に記者発表をやり、タイソンを呼んで6・17東京ドーム大会を開催しようとした猪木さんはどうするんだろう？

B いや、噂によると、6・17東京ドーム大会は、タイソン獲得に失敗しても強行するという話もあるそうだよ。そうなると、新日本プロ、ZERO—ONE、UFOが大集結したイベントになるのは間違いないけど。

C 今、東京ドームを仮押さえしているのが『新日本プロモーション』。次に帰国した猪木さんが、どういう発表をするか楽しみですね。■

▶アメリカでも大人気だった桜庭。挑戦の名乗りをあげるファイターも多い

◎おかげ様で本誌が好調なためか、21世紀を迎えて新たなメディア・ミックスがいろいろ展開されそうな見通しがついてきた。まず、本誌の企画のいくつかが単行本として出版される予定。また、この春から「SRS・DX」のホームページも立ち上げる予定だ。本誌では格闘技の様々な情報に対して、いろんな見方を提示しているが、ホームページではファンの意見で業界を動かしていくものにしたいと考えている。ファンの声はもちろん、この世界でも一番重要だが、今やその手のメディアは双方性のインターネットが一番。また、それが始まったら個人的にぜひやりたいのが『SRS・DX』を英訳して、世界中の格闘技ファンに我々の意見を見てもらうことだ。というのも、海外の格闘技関係者から「このマガジンを英訳してインターネットで流したら、ファイターの意識はかなり変わると思うよ」という話をよく聞くんだ。実際、てっきり読んでないと思っていたら、外人選手に「こんなこと書いてたんだって」と言われることがよくある。さらにもうひとつ、4月から格闘技ショップ『グレート・アントニオ』をオープンさせることになった。爆発的にヒットした、あのオーチャンTシャツや桜庭フィギュアをプロデュースした井上きびだんごがやるから、楽しみにしていてほしい。そこでは『グレート・アントニオ』でしか買えない格闘技グッズを中心に販売していこうと考えているが、格闘家を呼んでのイベント・スペースとしても有効活用していくつもりだ。そして、体もなぜか気持ち良くなるプランも？ 詳細は次号にて大々的に発表する予定だ！（谷川）

SRS·DX

次号の発売日は**3月29日（木）**です。

発行元：株式会社フジテレビ出版／株式会社ローデス
〒101-0054 東京都千代田区神田錦町3-14-12
神田NSビル8F ☎03-3295-4445
販売元：株式会社扶桑社
〒105-8070 東京都港区海岸1-15-1
☎03-5403-8888
発行人：柳沢忠之 編集長：谷川貞治

DESIGNER：梅村あゆみ、小幡浩史、水町由美子、su·plex、岩村唯是、永吉速水、溝口真穂、鳥当祐子

UFC XXX

2.23★アメリカ・ニュージャージー州
アトランティック・シティ
"トランプ・タージ・マハール"

僅差の判定でUFC王座奪取ならず

衝撃の修斗タイトル返上から2カ月、UFCのタイトル戦に挑んだ宇野薫。ジェンス・パルヴァー相手に大健闘を見せたが……

▼会場となったトランプ・タージ・マハール。アトランティック・シティの高級ホテル＆カジノだ

宇野薫、ブーイングまみれの全米メジャー・デビュー

取材・撮影◎川崎浩市
構成◎編集部
写真提供◎（株）ダブルクロス

新設バンタム級のタイトルマッチ、対戦相手も申し分なし。されど……

もっと殴り合えぇ〜っ!!(by観客)

試合は高度な技術戦ながら、互いに距離を測って見合う場面が多かった。観客からはブーイングも

まったく、この数カ月の宇野薫ときたら〝おとなしい顔してるクセにやることは大胆〟という典型のような行動で、我々を驚かせ続けてくれている。

佐藤ルミナをKOした直後、突如として修斗ウェルター級のタイトルを返上したのが昨年12月17日。その衝撃も醒めやらぬ大みそかには、なんと『猪木祭り』に出場してド肝を抜いてくれた。

で、今度はUFCに出場、それも初参戦でタイトルマッチに挑んだのだ。どれもこれもが〝電撃的!〟と形容したいほどの事件なのだが、といって本人は悪意0%、純粋な気持ちのままに動いていたらこうなってしまったのだからステキである。

さて今回、宇野が新設されたUFCバンタム級の王座を賭けて闘った相手は、ジェンス・パルヴァー。ジョン・ルイスにKO勝ち、ジョン・ホーキには判定で勝利という実績があり、その名前に引っかけた〝パルヴァライザー(粉砕器)〟という異名も持つ強豪だ。修斗のベルトを手放した後、宇野が真っ先に闘いたい相手として挙げた選手が、実はこのパルヴァーなのである。

セコンドにはWKネットワークの阿部裕幸と廣野剛康がつき、家族も応援に来ている。心強い声援を受けてオクタゴンに足を踏み入れた宇野に、1R、いきなりチャンスが訪れた。しつこいテイクダウンからバックを取ることに成功したのだ。そのまま一気にチョークを狙う。が、パルヴァーはなんとかディフェンスし、再び立ち技の攻防へ持ち込んでみせた。

最終ラウンドには、〝ウノ〟コールも起こったが……

▶勝負は判定となり、2−0でパルヴァーがバンタム級の初代王者となった。パルヴァーは勝利が決まると思わず涙。大会後の記者会見でも泣いていたという

▲記者会見での両者。宇野は「チャンスをいただいて感謝してます。勝敗にこだわらず、いい試合をしたいと思います」とコメントした

▲宇野のセコンドには、ＲＪＷの阿部裕幸と慧舟會の廣野剛康がついた

▲18日にアメリカ入りした宇野。ＮＹ滞在中の19日には、ヘンゾの道場で練習を行った

★第7試合/UFCバンタム級王座決定戦（5分5R）
○ジェンス・パルヴァー（5R判定2-0）宇野薫●
〈ミレティッチ・ファイティング・システム〉　〈和術慧舟會〉

▲タックルを防御し、パンチを当てる。ＶＴ版アウトボックスとも言うべき戦法で、パルヴァーは着実にポイントを稼いだ

◀１Ｒ、バックを奪ってチョークを狙う宇野。千載一遇のチャンスだったが、パルヴァーは脱出

2R以降の展開は、緊張感があるとも言えるし、同時に単調だとも言えるものになった。打撃を警戒して遠い間合いで牽制し、宇野がタックル。これをパルヴァーが防御しつつパンチを当てて立ち上がり、そしてまたスタンドでの間合い地獄へ——。

パルヴァーは入場の際に〝ノックアウト・パンチャー〟〝グッド・テイクダウン・ディフェンス〟と紹介されていた。つまり、寝技で勝負したい宇野の長所を消すためのテクニックに、最も長けた男だったのである。もちろん宇野だって、パルヴァーが得意とするパンチを徹底的に警戒していた。

互いの持ち味の潰し合い。高度な技術戦よりもブン殴り合いが見たい観客には、フラストレーションがたまる内容だ。試合が進むうち、ブーイングも起こるようになっていった。アメリカのファンの感情表現は、本当にストレートだ。

結局、ベルトは僅差の判定でパルヴァーの手に渡った。試合終盤に宇野が仕掛けた玉砕覚悟のインファイトも、勝利には結びつかなかった。宇野は試合後、何度も「まだまだダメですね……」とつぶやいていたという。

形だけ見れば、宇野の全米メジャー・デビューは失敗だったかもしれない。ただ、最終ラウンド、彼の健闘に〝ウノ〟コールが送られたこと、試合後のブーイングは、ファイトそのものではなく宇野敗北というジャッジメントに対してのものだったのもまた事実だ。

それはもしかしたら、タイトル獲得よりも素晴らしい収穫だったのではないだろうか。■

気を付けろ、サク！ お前を狙ってるのは世界一タチの悪い格闘家(ティト・オーティズ)だ

今大会のメインで、ミドル級タイトルの防衛に成功したティト・オーティズ。桜庭への対戦表明でも話題を呼んでいる

桜庭和志に対戦表明して話題となっているUFCミドル級チャンピオンのティト・オーティズだが、実はこの男、〝UFCの桜庭〟とでも言うべき選手だという事実をご存知だろうか？

例えば、桜庭は今や一般的知名度において『プライド』とほとんどイコールに近い、つまり代名詞のようになっているわけだが、UFCにおけるティトも同じような存在なのである。大会ポスターはティト（のみ）をフィーチャーし、様々なメディアに露出して大会をアピールするのもティトの役目。試合は当然メインイベントだし、入場時の演出も一人だけ豪華と、主役とか看板選手とかいう言葉以上の扱い（もちろん人気も凄いが）になっている。

もう一つ。桜庭は本誌の前号で、グラウンドにおける裏技など、ニコニコ顔に隠された残酷性、タチの悪さをカミングアウトしている。このタチの悪さこそ、桜庭とティトの最大の類似点なのだ。もっとも、ティトの場合はアメリカ人らしく、桜庭より開けっぴろげなワルなので〝悪の桜庭〟といった感じではあるが。

ガイ・メッツアー戦の時、わざわざ〝ゲイ・メッツアー〟Tシャツを作って挑発、ついでにセコンドのケン・シャムロックをジジイ呼ばわりしたり、近藤有己を秒殺した後で「（近藤は）あんまり強くなかったな。もう1回やりたいんなら、（対戦待ちの）列の最後に並びやがれ」と言い放ったりするのはまだ序の口だ。

ミドル級王座決定戦として行われたヴァンダレイ・シウバ戦では、

人気、実力、残酷性――まるで"悪の桜庭"だ！

▲第5試合では、ペドロ・ヒーゾとジョッシュ・バーネットが対戦。ストライカーのヒーゾに対し、バーネットが果敢に打撃勝負を挑んだこの一戦は今大会のベストバウトとなった。2RにパンチでKO勝ちしたヒーゾは、次回、5・4『UFC31』で、ランディ・クートゥアーの持つヘビー級タイトルに挑戦が決定

▲番狂わせが起こったのは第4試合。UFC初参戦のエルビス・シノシック（昨年のK－1東京ドーム大会でF・シャムロックと対戦した選手）が、ジェレミー・ホーンに三角絞めからの腕十字で一本勝ちを収めた

《その他の試合結果》

★第6試合/ライト級（5分3R）
○ファビアノ・イハ（1R1分47秒、腕ひしぎ十字固め）フィル・ジョンズ●
〈ブラジル〉 〈アメリカ〉

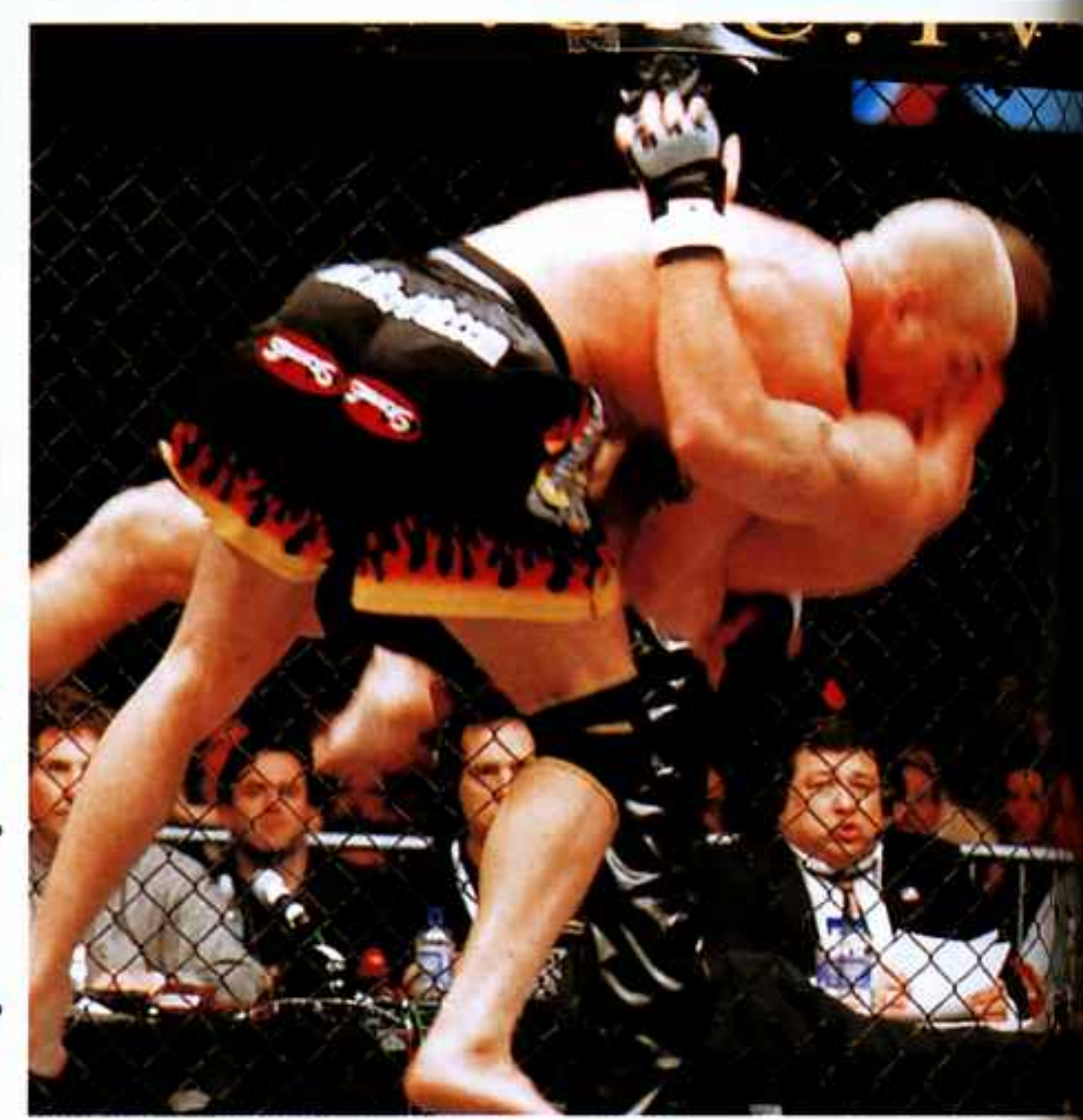
★第3試合/ヘビー級（5分3R）
○ボビー・ホフマン（1R3分27秒、KO勝ち）マーク・ロビンソン●
〈アメリカ〉 〈南アフリカ〉

★第2試合/予備戦（5分2R）
○ショーン・シャーク（2R4分47秒、タップアウト）ティキ・ゴーセン●
〈アメリカ〉 〈アメリカ〉
※グラウンドでのパンチ

★第1試合/予備戦（5分2R）
○フィル・ブラウン（2R判定3-0）カーティス・スタウト●
〈アメリカ〉 〈アメリカ〉

▲▶エヴァン・タナーを下し、満員の観客にアピール。今やティト人気は、UFCの代名詞的存在になるほど大きい

▲ティトのタックル（と頭突き）で、ピクリとも動かなくなってしまったタナー。呼吸器を着けられ、担架で退場

◀今大会のポスター。複数のバージョンがあったようだが、全てティトを大きくフィーチャーしたものだった

▲胴タックルで倒しつつ、ついでに頭突きまでカマしてタナーをKO！ バッドボーイの異名はダテではない

★第8試合/UFCミドル級タイトルマッチ（5分5R）
○ティト・オーティズ（1RKO勝ち）エヴァン・タナー●
〈王者/チーム・パニッシュメント〉 〈挑戦者/USWF〉
※投げによるKO

シウバの打撃を封じて徹底した膠着戦に持ち込み、まんまと判定でタイトルをゲット。ベルトのためなら観客さえも無視するという、スター選手にあるまじきタチの悪ささえ披露している。

今大会でティトは、エヴァン・タナーをチャレンジャーに迎えての防衛戦に臨んだのだが、これがまたタチの悪い試合だった。

聞けば、タナーは主催者サイドの要求するタイトなスケジュールに文句の一つも言わないような、おとなしい性格らしい。そんなタナーを、ティトが初っ端から呑んでかかったとしても、それは当然というものだろう。

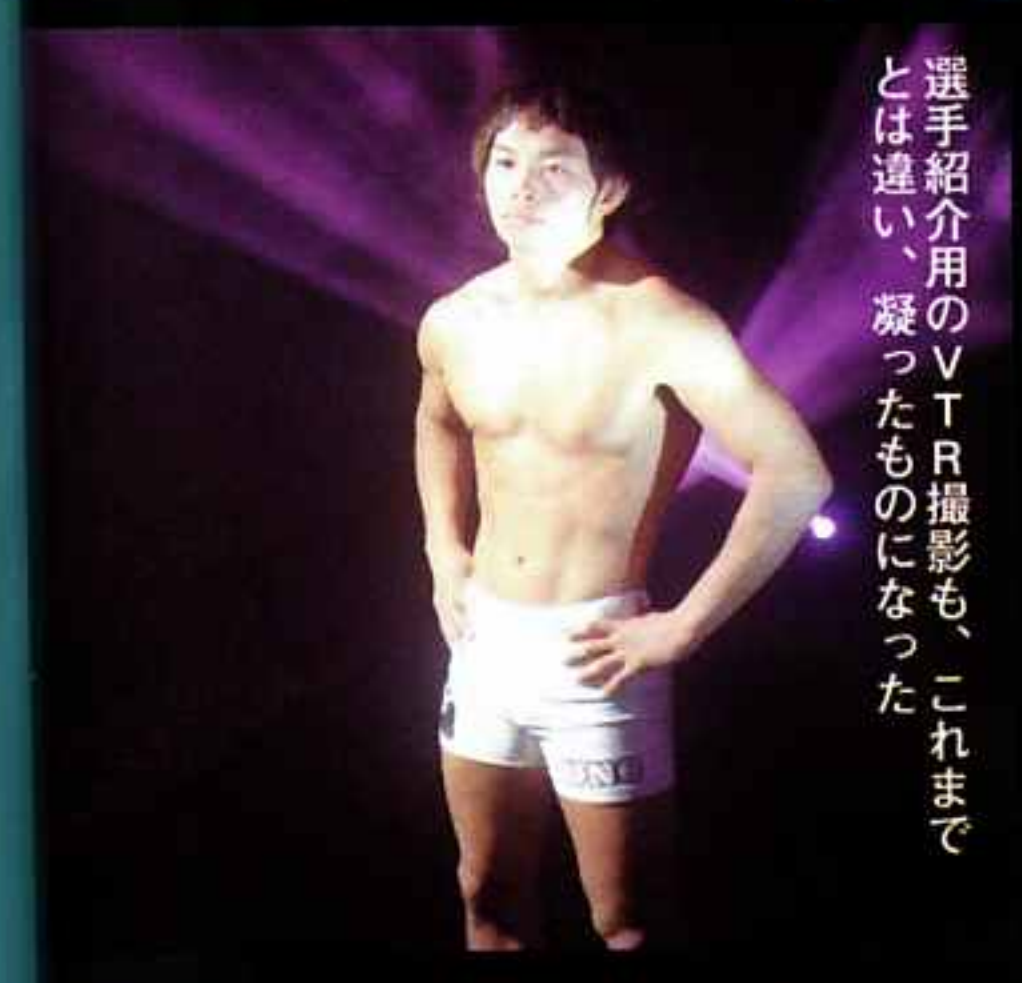
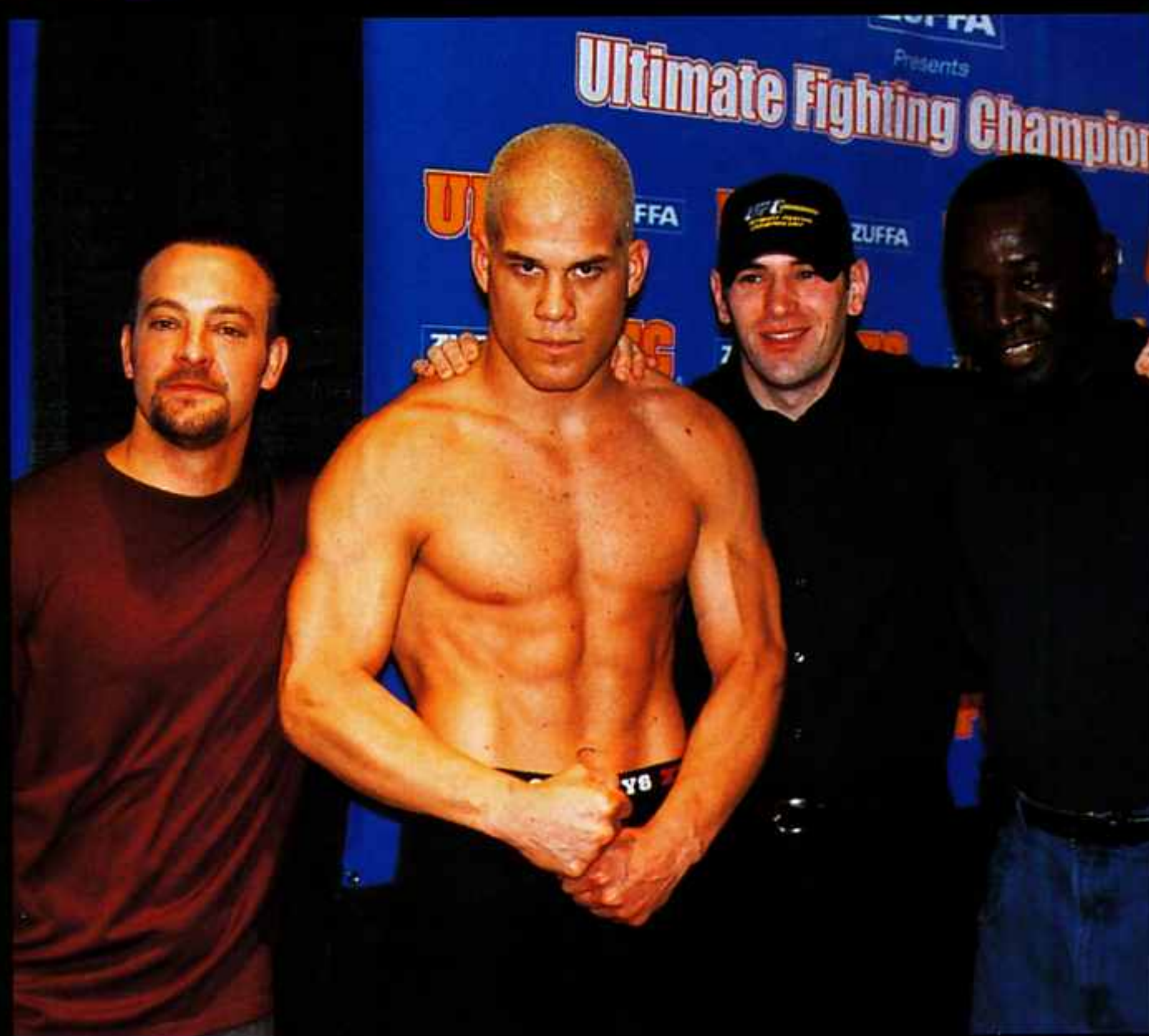
速攻で胴タックルを仕掛けたティトは、タナーをリフトするとマットに叩きつけ、さらにパンチも2発ほどブチ込んで挑戦者をノックアウトしてしまった。もちろん観客は大熱狂である。

が……。スロー再生されたフィニッシュシーンを見てみると、ティトは相手を投げつつ、マットとサンドイッチにするようにパチキ（頭突き）もカマしているではないか！ 偶然にせよ故意にせよ、まさに「ティトだったら何をやっても許されるのか!?」状態。気持ちいいくらいにタチの悪い乱暴狼藉ぶりだ。

一旦調子に乗らせたら、反則も含めて何をやってくるか分からないところに強さの神髄を持つ男。そんなティトとの対戦が決定したら、桜庭は普段の試合とはまったく違った神経の使い方を強いられるだろう。桜庭のＩＱレスリングを狂わせることができるのは、案外ティトかもしれない。■

UFCと言えば、田舎町の小さな会場で行われるというイメージがあったが、今大会は5000人ほどを収容するアリーナを使用。しかも超満員となった

SEGからズッファ社へ身売り。UFCリニューアル大会は大成功！

ラスベガス資本の新体制で、“地下プロレス”のイメージはもうない……

選手紹介用のVTR撮影も、これまでとは違い、凝ったものになった

◀タイトルマッチに出場する選手とそのセコンドには、チーム名入りのブルゾンが主催者側から用意されていた

▲大会の主役として大忙しだったティト。右から2番目が、UFCを運営する新会社、ズッファ・エンターテイメントのダナ・ホワイト社長だ

▲大会前に2回、それに大会終了後と、計3回も記者会見が行われた。大会を盛り上げようとする主催者サイドの熱意が感じられる

▲ドン・フライ、マーク・コールマンも会場に姿を現した。フライはUFCゲームの次回作にキャラクターとして登場するとか

『UFC30』は、21世紀最初のオクタゴン・ファイトであると同時に、これまでのSEGからズッファ・エンターテイメント社に経営の母体を移しての初めての大会でもあった。

一説には300万ドルとも言われる身売り金額を、なんとキャッシュで（!）払ったと噂される新オーナーのロレンゾ・フェティータ氏は、ラスベガスでホテルやビール会社を経営し、以前はネバダ州のアスレチック・コミッションの役員でもあった人物。UFCにラスベガスの資本が参入してきたわけで、大会にまつわる風景も以前とは大きく様変わりしていた。

これは前回もそうだったのだが、ニューヨークからも近いアトランティック・シティのホテルで大会を開催できたことで、まず観客動員が激増。さらに今回からは、大会をアオる記者会見が2回も行われ、マッチメイクに関しても、毎回、タイトルマッチを組む意向だという。また、レーザー光線やスモーク、花火を使った演出など、PPV視聴者だけでなく、会場のファンを楽しませる努力も惜しまれていなかった。

UFCと言えば、田舎の小さな体育館で開催され、その“地下プロレス”的で妖しげな雰囲気を楽しむ、というイメージもあったのだが、それは昨世紀までのこと。今後はK―1や『プライド』のように、豪華でスケールの大きな格闘技イベントをめざすようだ。

もちろん、その視線の先にあるのは、ボクシングとショービジネスのメッカ、ラスベガスでの大会開催に違いない。■

三代目格闘ビジュアルクイーン

長谷川京子（はせキョー）の超SRS宣言！

第12回

『KYOKO-WIND』発売記念 特別編！

待ちに待った我らが“はせキョー”の写真集が、3月10日、ついにワニブックスから発売される。前号ではサダハルンバ編集長が鼻の下を伸ばしてインタビューしたけど、今回は、はせキョー本人に見所をＰＲしてもらったゾ！

3・11は福家書店銀座店に集合～っ 行かなきゃ、一生後悔するゾ！

私のファースト写真集『長谷川京子写真集・ＫＹＯＫＯ—ＷＩＮＤ』の発売日（3月10日）が、いよいよ目前に迫ってきました!!

今、私としてはこの写真集が書店に並ぶのが待ち遠しくて待ち遠しくて仕方がないって感じなんです。だって、この写真集、半年がかりで制作したもので、私の愛着はハンパじゃないんです。自分の分身って言ってもいいくらい。

でも、実はこの写真集の話を最初にいただいた時、複雑な気持ちだったんです。「私にはまだ早いんじゃないか」とか「ホントにできるのかなぁ」っていう不安な気持ちもあって。それに、今までモデルという仕事柄、写真は数えきれない程撮ってきたけど、それはあくまでモデルとしてであって、「長谷川京子」を撮るということがどういうことなのか、自分でもよく分からなくて……。

でも、この半年間、じっくり時間をかけて作ってきたことで、そういった気持ちの面でもとてもやりやすかったし、この写真集を作りながら、自分自身が成長していることも実感できて、ホントによい経験ができたと嬉しく思ってます。

この写真集は、3人のカメラマンさんにお願いして撮ってもらっていて、3部構成になっています。そして、それぞれに違う「長谷川京子の世界」があります。だから、私のことを知っている方にもあまり知らない方にも、また男の人にも女の人にもきっと楽しんでいただけると思います。私が写真集を作っていく上で、一番強く思っていたことが、ターゲットを絞りたくないということで、昔から応援してくれている女の子にも、『ＳＲＳ』をやり始めてから私のことを知ってくれた男の人にも楽しんでほしい!! と思って作りました。

今回のロケ地はサイパンと東京と伊豆だったんですけど、サイパンって、ピョンピョン虫（半透明で小さくてエビみたいな虫）がいっぱい浜辺にいるんですよ～!! 虫嫌いの私としては、結構、辛いものがあったんですけど、でも、海がとってもキレイで、海の中で撮った写真なんて最高にビューティフル!! サイパンでの写真は、水着のカットがあるんですけど、今までにはない、新鮮な長谷川京子があって、がんばった甲斐があった!!って感じです。

東京での写真は、もうホントに〝素〟の自分って感じです。テーマは〝プライベートフォト〟で、一番気を付けたことは、カメラマンさんとの距離をいかに近くするかということです。だから、一緒にお仕事をする機会の多い、仲の良いカメラマンさんにお願いして、2人で撮影したんです。だから、写真集を見た人は、まるで自分のそばに、私がいるような気分になれるんじゃないかと思います。

そして、伊豆でのテーマは、〝ちょっとしっとりした大人の女〟。旅館の部屋や温泉の湯煙がモクモクとした所で撮ったり、和風な感じなんだけど、カッコ良くておしゃれで、なんとも言えない絶妙な写真になっているんです。

こんな感じで、それぞれに全然違う私がいて、これができあがった時には、いろいろな思いが甦ってきて思わず涙が出ちゃいました。

そうそう、写真集のタイトル『ＫＹＯＫＯ—ＷＩＮＤ（京風）』には、〝これから、長谷川京子の風を世の中に吹かせよう〟という大きな希望と、〝京子は京子らしくいこう〟というメッセージが含まれているんです。

そして、3月11日には、初めての握手会があります。私としては、ファンの皆さんと直接会うことってめったにないので、こういう機会ができてすっごく嬉しいんです。皆さん、お時間がありましたらぜひ来てください。皆さんに会えるのをとっても楽しみにしてます♥ ■

写真集発売を記念して3月11日（日）午後1時から、福家書店銀座店にてサイン会が開かれる。サイン会に参加するには整理券が必要なので、詳しいことは下記まで問い合わせを。超カワイイ生“はせキョー”に会えて、しかも手まで握れる絶好のチャンス。これは絶対に行くっきゃないゾ！お問い合わせは☎03-3574-7181（受付11時～18時）

はみだしはせキョー

長谷川京子（はせがわ・きょうこ）1978年7月22日生まれ。22歳。千葉県出身。B型。身長166センチ。特技/水泳。趣味/ピアノ。雑誌/Cancam（小学館）専属モデル。CM/エルセーヌ、アテニア化粧品

取材拒否、いまだ継続中の……

リングス 2・24 両国国技館大会
『KOK 2000 グランドファイナル』

中村カタブツ君の リングス観戦記 頼まれ

もちろん写真は一切なし！

リングスからはいまだ取材拒否続行中の『SRS・DX』。だから、昨年末のKOK予選は、チケット買って入ったターザンがゲリラレポートを展開し、今回のグランドファイナルだって当然ターザンが書くのが妥当なところ。しかし、なぜだかボクだ。で、よく分からないのは、ボクはフリーのライターとして取材申請して会場に入ったのに、それでも原稿依頼する谷川編集長の心の内なのである。どう考えたってモメると思うんだけど……。

だが、さすがというか、サダハルンバ。「だって、いい大会だったんでしょ？ だったら、それをそのまま書けば平気だよぉ、きっと。前田さんも嬉しいと思うよ」と至って呑気な返事で屈託なしだ。で、こっちもついつい引き受けてしまったわけだが、いざ書く段階になってやっぱり不安は増すばかり！

なにしろ、高田VSホイス戦（高田がホイスに対して正座状態でガードし続けたのが印象的な『プライドGP』開幕戦）では、ケガした足を引きずる高田選手に「足がシビレちゃったのかなぁ～」と本気で発言して、ファンや格闘技マスコミをバカ負けさせた凄玉解説者でもある本誌編集長。うかつなことに関してはもはや敵なしな感じのキュートな彼の「大丈夫」発言の裏には、〝ひょっとして何も考えてないんじゃないか？〟という気さえしてきてとっても怖い！

どうしよう……。

だが、ボクが書かなくても誰かが書くわけである。で、ターザンのあまりにあまりな観戦記（ジャパン勢に牙ムキまくりで、あれほどの名勝負を展開した金原までバッシングするレポートがインターネットにUP中）を載せるよりは、素直

KOKとは「王者の中の王者」であり「キング・オブ・キャラクター」である

に面白かったと思ってるボクに書かせることを選んだんだと腹をくくって喜んで書こう！

そして断言します。ボクの取材を受理してくれたリングス広報の方々には何の落ち度もありません（当然です）。間違いなく悪いのはうかつなボクです（当然です）。前置きが長くなりましたね。それではKOKレポート開始します！

さて、今回のKOKでは、なんと言ってもハンに注目したいところ。「オレは前田の兵隊だ。将軍がやれというなら、やる！」と40歳にしてKOKルールに飛び込んできた男気あふれる、このイカすロシア人。その一方で手品をこよなく愛するサービス精神旺盛な彼は、試合前のKOK特番（WOWOWで放送）で自らの練習風景を公開するだけにとどまらず、よせばいいのにロシアの雪原でグラウンド特訓までして雪まみれ。

結局、これがたたってインフルエンザをゲットし、試合当日は高熱を発していたのだからサービスしすぎ！（紙プロ・リングス番ガンツ情報）。そんな体調最悪の40歳が今回の優勝者ノゲイラとフルラウンド闘い抜いたのだ。望まれればどんな時でも引かない、この一貫した姿勢こそ男ってもんだろう。

そしてもう一人。デイブ・メネーは闘いのモチベーションがジュンとくる。アメリカで自前の道場を持つ彼は、生徒数の少なさに四苦八苦。道場が終われば飲み屋でレジのパートをし、疲れた身体を休めるアパートはアメリカなのに8畳ほどとすこぶる狭い。女っ気もなしだ。そんな彼の望みはKOKで優勝し、母と病気の兄と一緒に住める家を建てること。さらに、そんな貧乏なメネーがKOK出場者の中で絶対負けないモノだと言うのが〝笑顔〟だというから、チクショウ、泣かせるぞ！

そんな中で第1試合にメネーは登場し、金原と対戦したのである。アグレッシブに攻めるのは当然だ。だが、金原だって実力はあるのになかなか花が咲かないと言われて長い。ここで優勝してボヤキングとか言う、汚名は返上したいはず。

ともにモチベーションが高い両者はバカンバカン、パンチを打ち合う。だが、徐々に劣勢となり、コーナーに詰められることが多くなる金原。1ラウンドは僅差でメネーがとった感じであった。

続く2ラウンド、金原はグラウンドに持ち込み、何度か腕を取りそうになるものの、メネーのクラッチがどうしても切れない。切れたとしてもクルッと身体を反転させて逃げていく。ポイント的には取れたとしても金原の体力はかなり消耗するはずだ。

そして、判定はドロー。延長ラウンドとなるわけだが、2人とももうヘロヘロ。それでもパンチを叩きつけ合う両者のファイトに会場は総立ち状態だ。そして、金原の右フックが一閃！ メネーはガクッとヒザを落として明らかなダウン、決着がついたわけである。

だが、この闘いで古傷の肋骨を折った金原は痛み止めの注射を打って2回戦に出場。ノゲイラを相手に1ラウンドこそ闘い抜いたが、2ラウンド27秒、裸絞めでタップしたのだった。

しかし、結果としてはこの日のジャパン勢唯一の準決勝進出者であり、前回の田村と並んだことにもなる。たしかに決勝進出という明確な結果は出なかったものトーナメントというのは組み合わせの運・不運もあり、それを含めて実力という言い方もあるけど、これでダメだと判断するのは早いような気がするんですが、どうでしょうか、山本さん？

もちろん、この日の坂田＆田村の試合っぷりはバッシングされても仕方ないものだとは思います。それは同感です。

続いて、髙阪の準々決勝はランディ・クートゥアー。ともに打撃勝負に出た両者だが、クートゥアーの〝左手で首を抱えて右手でアッパー作戦〟に髙阪はかなり苦しめられ、アクシデントのバッティングももらって出血と持ち味が出せず。結局、フルラウンド闘って判定負けとなってしまった。だが、髙阪の凄いところはここからなのだ。

試合後のインタビューで記者から「クートゥアーの印象は？」と聞かれると「うん。スライムってあるでしょ。あのスライムの中から手が出てくる感じなんですよ。粘っこいというか」なのである。悔しさとか、そういうものはシャワーとともに洗い流し、試合後たった10分ほどで、もう分析を始めて、自分の言葉で闘いを理解しようとしている。つくづく不思議な人なのである。

そして、その反対に位置する人が山本憲尚（のりひさ＝宜久より改名）こと血尿しか信じない男。栄養源はニンニクエキスの注射という闘犬まがいのことを喜

RESULTS

- デイブ・メネー（ミネソタ・マーシャルアーツ・アカデミー）
- 金原弘光（リングス・ジャパン）
- アントニオ・ロドリゴ・ノゲイラ（ブラジリアン・トップチーム）
- ヴォルク・ハン（リングス・ロシア）
- ランディー・クートゥアー（チーム・クエスト）
- 髙阪剛（リングス・ジャパン）
- ヴァレンタイン・オーフレイム（リングス・オランダ）
- 山本憲尚（リングス・ジャパン）

優勝／アントニオ・ロドリゴ・ノゲイラ
優勝賞金20万ドル

優勝はブラジルのノゲイラ！ リングス・ファンには残念だけど、キャラクターと試合内容の面白さはタダゴトじゃない！

んでやりながら、「なんだか口がニンニク臭い！」とHPの日記で怒り、その仕舞いには「全然元気にならない！」と栄養摂取以上のハードな運動をしてるのを自覚しない、その姿勢に男惚れさせられることしきりなのだ。

だからこそ、オーフレイムとの準々決勝（1R45秒、山本のタップアウト）はヤマノリの鍛え抜いたローキックの妙技をもっともっと味わいたかったわけである。WWFのロック様風に言わせてもらうと、「イフ・ユー・スメ～ル（ニンニク臭）・ローキック・イズ・キッキング！（デタラメ英語）」な感じ。しかし、ズトンと放った一発が見れただけでも良しである。

そんなわけで、今回のKOKは結果だけみれば、ジャパン勢が金原を残して全員準々決勝で敗退。ハンも敗退。オーフレイムも決勝でノゲイラに負け、とリングス・ファン的には残念だろう。

だが、選手ひとり一人のキャラクターの際だちぶりと、試合内容の面白さはタダゴトじゃない。それはハンにしろ、オーフレイムにしろ、高阪にしろ、金原にしろ、ヤマノリにしろ、リングス勢が全員、新ルールに対応するために努力し、着実に成果を出してるためだ。しかも、ヤリ方はみんなマチマチ。だから、どんな結果が出るのか、やってみなきゃ分からないし、例え、想像してみても気持ちいい方向にその想像を裏切ってくれる。熱くなるのは当然なのだ。

そう。KOKとは王者の中の王者であると同時にキング・オブ・キャラクター、つまり、人間臭い個性までがムキ出しとなる世界で唯一つの場なのである。

そして、最後に、おまけを1つ。この日、ノゲイラの強さを改めて実感した観客は多かったと思うが、さらに彼の入場曲も場違い感たっぷりで話題騒然となっていた。で、あの曲はノゲイラがスポンサードを受けるを「ヴァスコ・ダ・ガマ」関連のモノで、サッカーチーム「ヴァスコ・ダ・ガマ」のテーマ曲。ちなみに「100年の栄光」（SONYレーベル492185）収録曲なので、どうしても気になる方はご注文をどうぞ。以上！■

中村カタブツ君の PPJ of KOK

準々決勝

	金原弘光	メネー
モチベーション（闘志・気迫）	10	10
技術・戦略	9	8
KOスピリット	10	9
勝ちっぷり負けっぷり	10	10
全体的な印象・インパクト	10	9
合　計	49	46

準々決勝

	ノゲイラ	ハン
モチベーション（闘志・気迫）	10	10
技術・戦略	10	9
KOスピリット	10	9
勝ちっぷり負けっぷり	5	10
全体的な印象・インパクト	5	10
合　計	40	48

準々決勝

	クートゥアー	高阪　剛
モチベーション（闘志・気迫）	10	10
技術・戦略	10	9
KOスピリット	9	8
勝ちっぷり負けっぷり	5	10
全体的な印象・インパクト	5	10
合　計	39	47

準々決勝

	V.オーフレイム	山本憲尚
モチベーション（闘志・気迫）	10	10
技術・戦略	10	8
KOスピリット	10	10
勝ちっぷり負けっぷり	5	10
全体的な印象・インパクト	5	10
合　計	40	48

スペシャルマッチ1

	A.オーフレイム	チャントゥーリア
モチベーション（闘志・気迫）	8	8
技術・戦略	7	5
KOスピリット	8	5
勝ちっぷり負けっぷり	5	5
全体的な印象・インパクト	6	5
合　計	34	28

※1R1分6秒、裸絞めでオーフレイムが勝利

準決勝

	ノゲイラ	金原弘光
モチベーション（闘志・気迫）	10	8
技術・戦略	10	8
KOスピリット	10	5
勝ちっぷり負けっぷり	8	5
全体的な印象・インパクト	8	8
合　計	46	34

準決勝

	V.オーフレイム	クートゥアー
モチベーション（闘志・気迫）	10	10
技術・戦略	10	9
KOスピリット	10	10
勝ちっぷり負けっぷり	10	10
全体的な印象・インパクト	10	10
合　計	50	49

スペシャルマッチ2

	柳澤龍志	坂田　亘
モチベーション（闘志・気迫）	8	8
技術・戦略	5	5
KOスピリット	5	5
勝ちっぷり負けっぷり	5	5
全体的な印象・インパクト	5	5
合　計	28	28

※判定2-1で柳澤の勝利

スペシャルマッチ3

	ババル	田村潔司
モチベーション（闘志・気迫）	9	8
技術・戦略	9	9
KOスピリット	8	5
勝ちっぷり負けっぷり	5	5
全体的な印象・インパクト	5	8
合　計	36	35

※判定2-0でババルが勝利

決　勝

	ノゲイラ	V.オーフレイム
モチベーション（闘志・気迫）	10	10
技術・戦略	10	8
KOスピリット	10	10
勝ちっぷり負けっぷり	10	10
全体的な印象・インパクト	10	8
合　計	50	46

『プライド』参戦表明!

“ノーフィアー”の

高山善廣の真意

去る2月28日、NOAH事務所で会見を行い、突如フリー宣言をした高山善廣。そして、ナ、ナント！「『プライド』を含めた総合格闘技のリングにも進出する」という旨の衝撃発言が飛び出した。高山の真意はなんなのか。さっそく、高山本人を直撃した！

『プライド』はプロレスの敵？

いや、あれを「敵」とか「触らないように」とか「別モノ」って言うプロレスラーが

プロレスの敵なんだ！

聞き手◎“Show”大谷泰顕
撮影◎山口比佐夫（インタビューカット）
平工幸雄（試合写真）

▶大森隆男と組んでのノーフィアーで、全日本、NOAH、ZERO—ONE……と縦横無尽に暴れまくる高山。当然、『プライド』でもやってくれるだろう！

三沢社長に「『プライド』に出たい」って伝えたら、「いいよ〜」って軽く

高山　今日はなんですか?

——いやぁ〜、今日は高山さんが「『プライド』に出たい」っていう話をしてるということでですね……。

高山　はい。

——実を言うと、高山さんがこんなに早く「『プライド』に出たい」なんて発言するとは思ってなかったんですよ。

高山　なんですか、こんなに早くって(笑)。

——いや、噂で「5月の『プライド』にはNOAHの選手が上がるかも」なんてことを聞いたことがあったんですよ。

高山　あ、そうなんですか。へぇ〜。

——自分としてはいつ頃から具体的に動き始めたんですか?

高山　いや、それは話し合ってから。

——話し合うっていうと、森下社長と?

高山　そう。去年の終わりぐらいですよ。秋とか冬とか、寒くなってからですね。やっぱ『プライド』はどういう日程でやって、どういうイベントにしていくのかも聞きたかったたし。

——ワンマッチでやるのかトーナメントにするのかとか。

高山　そうそう。だって、やみくもに「僕、出たいです」って言うのもアホみたいじゃないですか。プロレスラーなんだから「プロレス」もやるし。NOAHも大事にしていきたいし。

——じゃあ「プロレス」をやりながら『プライド』にも出ると。

高山　そうなっちゃいますね。さすがに昼に「プロレス」の試合が終わって、夜に『プライド』に出るなんてことを、僕はしないと思うんですけど(笑)。

——あ、アレク選手みたいなことはしないと。

高山　たぶん(笑)。

——じゃあNOAHの「GHC」王座と『プライド』の両方でトップを目指すと。

高山　うん。「二兎を追うものはナントカ」って言葉もあるけど、両方取れてラッキー!　みたいな、アハハハハ!

——当然、高山さんが「出たい」っていう意思を示してくれれば、森下社長は「嫌だ」とは言わなかったと思うんです。

高山　そうですね。「嫌だ」って言われるかドキドキしちゃって(苦笑)。ただ、その頃はまだNOAHに所属してたから三沢光晴社長に話したんですよ。「俺はこういうことがしたいんだけど、どうすればいいのか」って。そしたら、三沢社長と森下社長も何度かは会ってたらしいんで、「一緒に会いに行こうか」ってことになって。

——そういうことなのかあ。この前やった会見でも、三沢社長は「その選手自身が出たいんだったら出ればいい」みたいなことを言ってたんですよね。

高山　そう。あの人はホントにそういう人ですからね。こっちが「こんなこと言ったらどう思うかなあ」って思いながら「出たいんですよねぇ」って言うと、「いいよ〜」って軽く言ってくれるし。

——いいよ〜(笑)。三沢社長はそういう感じだけど、例えば馬場さんは『プライド』的なものは好きじゃないっていう感じだったんでしょ?

高山　どうだろう。好きじゃないっていえば、三沢さんも好きじゃないのかもしれない。

——というと?

高山　好きだったら、自分がやってるでしょう。

——そうかそうか。

高山　それは分かんないですよ。ただ、三沢社長も「いち選手として考えたら、そういう気持ちはよく分かる」って言ってくれたし。あの〜、なんていうのかな、NOAHだからやらせてもらえるっていうのはあると思うんですよ。

——ああっ、そっかあっ!　やっぱり馬場さんがご存命の頃の全日本プロレスだったら、難しかった?

高山　分かんない、これはっかりは。でも、たぶん難しかったんじゃないかと思うよ。

——じゃあ三沢社長は許容範囲が広いんですね。

高山　実は意外にジャイアント、アハハハハ!

——ジャイアント三沢(笑)。でも、やっぱり高山さんが『プライド』に出てきたらNOAHだったり、ノーフィアーだったりっていうものを感じさせながら出てきたほうが、見るほうとしては面白いと思うんですよ。

高山　どうですかね。まあ、NOAHだろうが、ノーフィアーだろうが、高山は高山なんで。ただ、プロレスラー・高山が出るっていう意識はあっても、『プライド』だけに出るわけじゃないから、必然的にNOAHとかノーフィアーっていうのが後ろにはありますよ。

——ホントそうなりますよね。

高山　結局、自分はそう思ってなくても、周りは勝手にそう見るだろうから。

——例えば、セコンドにもうひとりのノーフィアー・大森隆男選手がつくっていうことはあるんですか?

高山　まあ、日程的に問題がなければ、来てくれるんじゃないですか?

——いやあ、それは楽しみだなあ!

高山　そうですか?

——そりゃあそうですよ!　そしたら自然とNOAHとかノーフィアーが見えてくるなぁ。で、今回のフリー宣言というか『プライド』出陣宣言を、髙田延彦選手なり、桜庭和志選手には伝えたんですか?

高山　サク(桜庭)にはまだ正式には言ってないですね。ほら、最近までアメリカに行ってたでしょう。ただ、髙田さんにはもう年明けに。やっぱ俺がこの業界が始めた時の最初の親分ですし、向こう(『プライド』)のトップ選手だし、礼儀として報告っていうか。

——そしたら?

高山　「あ、そうか」って明るい声で。「見たいなあ、俺もお前がそういうのをやるところ。遠慮しないでウチ(髙田道場)に練習しに来てよ」って感じで。

——実際、『プライド』でどんなことをや

闘いたいのはボブチャンチンとマーク・コールマン。そういう人とやらないと、俺が出る意味はない

ってやろうと思ってます？

高山　試合で？

—そうそう。

高山　炎のコマとか、アハハハハ！

—それはそれで見たいけど（笑）。

高山　どうだろうね。やってみなけりゃ、自分があそこでどういうことができるか分かんないからね。サクだってあんなにノビノビし出したのは何戦か積んでからじゃないですか。だからまずはやってみないと。

—ふ〜ん……。じゃあ5月の『プライド』は楽しみですね。

高山　いや、「5月」とは言ってないですよ。

—えっ？　じゃあそれはマスコミが「5月」って言ってるだけなんですね。

高山　3月はNOAHのシリーズに出るから無理だけど、「次は5月」って聞いたから、「早ければそうなるかも」って言っただけなんですけどね。

—ああ、そういうことなんですね。

高山　だからホントこれからですよ。

—一部では相手の名前も出てますけど、高山さんの口からぜひ闘いたい相手の名前を言ってほしいんですよ。

高山　単純に言えば、他の日本人に土をつけられてないガイジン選手とやっていきたいんですよ。そうすると、だいぶ狭まってくるでしょ？

—そしたらイゴール・ボブチャンチンとマーク・コールマンっていう名前が出てきますよね。

高山　まあ、その2人くらいしか今のところ頭には浮かばないですよね。

—ボブチャンチンかコールマンかぁ。

高山　怖いでしょう？

—エンセン井上選手なんか、ボブチャンチンにボコボコにされてましたからね。

高山　あれは凄かったよねぇ。

—自分の顔が変形したらどうしよう、とかって思わないんですか？

高山　いや、もう変形してるから、アハハハハハ！

—いやいやいや。それでもそういう選手と闘ってみたいんですか？

高山　そういう人とやらないと、俺が出る意味はないでしょう。やっぱり『プライド』のリングは「プロレス」とは違うって言う人もいるけど、そういう部分も評価してもらいながらリングに立ちたいんで。どっかの格闘技雑誌だと、『ポッと出のプロレスラーがすぐ『プライド』に出て』とか言うけど、やっぱお客さんから銭を取ってやるイベントなんだから、お客さんがワクワクしてチケットを握りしめるような試合をしなきゃダメだと思うんですよ。それを「格闘技側」と呼ばれている人がとやかく言うんだったら、俺をブッ飛ばせばいいだけだし。

—いや、ホントホント。

高山　もちろん、俺もそう言われないようにやるし。それでいいんだと思うんですよ。

—じゃあそれ用の練習をちょっとはしていくというか。

高山　いや、「ちょっと」じゃ失礼でしょう。僕の昔の仲間だって、それをやってるわけだから、それをナメてないから「ちょっと」なんて思わないですよ。ただ、そのルール、そのリングにおいてはビギナーだからね。

—さっき「ガイジン選手と闘いたい」って言ったけど、やっぱり日本人選手ともやってほしいな、と思うんですよ。例えば、大型の日本人選手で今、一番光ってる小川直也選手が相手だったら、大型同士で迫力もあるだろうし。

高山　強い選手だから興味はありますけどね。でも、俺が「やりたい」って言っても、「誰それ？」って言われちゃうからなあ、アハハハハ！

—そんなことはないでしょう。

高山　でもまあ、安田（忠夫）さんのことを「知らない」って言った人だからね。それじゃあバカだろう、とは思いますよ。だってあの人は、新日本に世話になってたこともあったんだから、アハハハハ！

—例えばNOAHだと、特に秋山準選手とか本田多聞選手とか、田上明選手なんかだったら、絶対に『プライド』で見てみたいと思うんですよね。

高山　ケンカしたら強いんじゃないの？

—ですよね。

高山　だから、安田さんに期待が集まるんじゃないの？　あの身体で突進したらどうなるのかとかさ。まあ、そしたらみんなに「＝（イコール）」になっちゃうじゃないですか。ま、本田さんや秋山選手なんかはアマレス出身だから、すぐに直結みたいになるけど。

—じゃあ、高山さんは「プロレス側」とか「格闘技側」とかって感じますか？

高山　あんまりないんですけどね。あのね、「プロレス」とか「格闘技」とかっていうよりは「こいつは嫌だ」とか「こいつは好き」っていう感じ。「格闘技側」と呼ばれている人でも「この人は面白いよな」っていう人はいるし、「プロレス側」の人でも「こんなのがいるから『プロレス』があぁだこうだ言われるんだ」っていう人もいるし。だから俺にとってはそういう感じですよ。

—なるほどなあ。僕なんか「プロレス側」って言われているところに行くと「格闘技側の住人だ」みたいなことを言われて、逆に「格闘技側」と言われているところに行くと「プロレス側の住人が来た」みたいなことを言われるんですよ。

高山　分かりますよ、分かります。

—だから面倒臭くなって、そんなのどっちだっていいじゃん！　って思っちゃうんですよね。『プロレス』も『格闘技』も一緒だよって。だって『プロレスは格闘技』だと思ってるんだから。高山さんは違います？

高山　いや、俺は「プロレスラー」だから、あえて言えば「プロレス側」なんだろうけど、べつに「格闘技」を敵視はしてないですよ。NOAHの立ち上げの時に、あるインタビュアーが『プライド』とか総合格闘技はプロレスの敵」っていう言い方をしたから、「それは違うよ。あ

▲あの「10・9」では飯塚高史とも対戦。この時もそうだったが、『プライド』でもトップロープを跨いでの入場が見られるのか？　「跨げる高さだったらね、アハハハハ！」（高山）

▼Uインター時代に一世を風靡したゴールデンカップスについて「もう俺は絶対にあれはやらないですよ」としながらも、「安生（洋二）さんはもったいないって気がしますね。プロレスやったらホント面白いじゃないですか。だから、もっとやりようがあるような。（山本）喧一もあの若さで変に背負い込んでやってるけど、もっと考えを変えて、柔軟にして。あのままリングスにいたほうが伸びたんじゃないかとも思うし。たしかに立派なこと言って一生懸命にやってるのは分かるけど、なんかもったいないなって。だいたい人の言うことを聞かないからね、アハハハハ！」と、かつての仲間を気にかけていた

俺は日本国籍だけど、"ガイジン"でいたい。やっぱり「外敵」でありたいから

れを『敵』とか『触らないように』とか『別モノ』とか言うプロレスラーがプロレスの敵なんだ」って言ったんですよ。

——そうそうそう！

高山　よく「格闘技側」と呼ばれるところにいる人が成功して「僕の子供の頃に描いていたプロレスのイメージはこれなんです」って言ってますけど、それでいいと思うんですよ。僕もそれと同じで、僕の思う「プロレス」の範疇にはそれ（総合格闘技）も含まれてますからね。ただ、K—1はいくら「グローブ付けて殴り合う」って言っても、ちょっと違うような気もするけど（苦笑）。でもまあ、闘いを見せてお金をもらってるんだから「プロレス」でしょう。

——馬場さんも「K—1はプロレスだ」って言ってたもんね。ただ、『プライド』というかバーリ・トゥードが出てきた時に、長州力さんが「俺の目の黒いうちは絶対にあれは認めない」みたいなことを言ったりして、新日本系のほうが、よくも悪くも反応するじゃないですか。

高山　うん。

——全日本系のほうは、あんまり反応しなかったじゃないですか。その辺はどう思ってたんですか？

高山　その辺はもう考え方だから。育ちが違えば、考え方も違うし。

——例えば、高山さんの場合、元々はUインターっていう猪木系で生まれたわけだけど、その後に馬場さんをかじったわけじゃないですか。

高山　かじった（苦笑）。

——馬場さん本人をかじったわけじゃないんだけど（苦笑）。

高山　べつに俺は馬場さんの弟子じゃないし（笑）。そういうことを言ったらアレなのかなあ。

——いやいやいや。でも馬場さんって「プロレス」とか「格闘技」という範疇を超えてたじゃないですか。

高山　う〜ん……、どういうことですか？

——これは僕の認識ですけど、「プロレス」とか「格闘技」を包み込めるくらい広いというかジャイアントな。

高山　ジャイアント、アハハハハ！

——だから高山さんは、髙田さんで始まってるんだけど、馬場さんの考え方までかじった上で『プライド』に出てくるのって面白いと思うんですよ。

高山　でも、俺が全日本プロレスに入った時は、やっぱ"外敵"として入ってるから。で、自分の在り方として昔のプロレスって、日本人レスラーが"ガイジン"を迎え撃つっていう構図があったじゃないですか。

——はいはいはい。

高山　だけど、当時の全日本プロレスにはアメリカ国籍の人はいたけど、"ガイジン"っていないような気がしたんですよ。そういう意味での"ガイジン"が。

——ああ、なるほど、なるほど。

高山　だから俺は日本国籍だけど、"ガイジン"というつもりで。それが面白いんじゃないですかね。

——やっぱり闘っているうちに分かり合ってきちゃうもんなんですか？

高山　"ガイジン"のつもりでも、いつの間にか中の人になっちゃうんですよ。

——中の人に。

高山　昔のガイジンって、夏はミル・マスカラス、次のシリーズはブッチャー、その次はハンセン＆ブロディっていう感じで、日本にいない時でもアメリカで試合してるから、つまり「外の人＝"ガイジン"」だったんですよ。年に何回かしか来なくてね。だから俺はフリーになってNOAHも上がるけど、外に出て他の血を浴びてくるわけですよ。相手の血か、俺の血か分からないけど、アハハハハ！

——そんな（苦笑）。

高山　そうすると、また"ガイジン"になれるから、そしたらNOAHのリングがまた面白くなると思うんですよ。

——逆に『プライド』に対しても外敵でありたい、みたいな意識があるから、NOAHに上がったりするわけですよね。

高山　うんうんうん。やっぱ闘いだから。試合が終わったら仲良くっていうか、まあたしかに試合が終われば、それなりに分かりあえることもあるだろうけど、外敵でいいんじゃないですかね。

——そしたら、見る側も面白く見ていられますもんね。

高山　やるほうは大変だけどね（苦笑）。みんなから憎まれるってことは。でも客が盛り上がるってことは、嫌らしい言い方だと、自分のビジネスが成功するってことだから、アハハハハ！

——でも『プライド』っていうと、アントニオ猪木さんがプロデュースする試合もあったりするじゃないですか。

高山　あ、そうなの？

——えっ、知らなかったんですか？

高山　うん。知らない、アハハハハ！

——知らない（笑）。

高山　だったらファン冥利に尽きますわ。でも、べつに猪木さんのところに行くつもりはないし。三沢社長みたいに「猪木さんは嫌い」なんて言うつもりはないけど、アハハハハ！

——高山さんの考える猪木評ってどんな感じですか？

高山　猪木さん？　猪木さんは「1、2、3」って数えて「ダー」って言う人、アハハハハ！

——藤田和之選手が『プライド』に出た時に、「猪木イズム最後の継承者」って呼ばれましたけど、高山さんがどういうふうに名付けられていくのか、凄く楽しみなんですよねぇ。

高山　馬場イズムじゃないからね。

——かといって「三沢魂」でもないし。

高山　それも全然違うよね。

——どうするのかなあ。

高山　アイアム・プロレスラー・トゥー？

——アイアム・プロレスラー・トゥー？

高山　「俺もプロレスラー」。それは冗談だけどね、アハハハハ！　■

はみだしShow

「Showさん、NOAHに嫌われてますよ」と高山が言った。「なんでえ？」と聞くと、「あの座談会のメンバーに入ってたら勘違いされますよ。あれは面白い時と、何言ってんだ!? わけ分かんねえなって時がありますよね」とも言っていた。ただし、ちょっと待ってほしい。NOAHの皆さん、あんな偽言だらけの座談会は気にしないでください。マジに僕以外の人の発言はほっといて！

祝 プロ初勝利記念インタビュー

大山峻護

「グレイシーと寝技で勝負してみたい！ 得意技ですか？ パンチですっ！」

2・24「キング・オブ・ザ・ケイジ7」でプロデビュー戦で、一撃パンチで秒殺し戦慄のデビューを果たした大山峻護。早くもアメリカでは「サクラバに続く日本のスター選手になれる！」と注目を集めている。プロ格闘家として大山はどんな選手になっていこうとしているのか。さっそく話を聞いてみた。

聞き手◎石黒由佳子

▲試合で見せる大胆さとは裏腹に、普段の話しぶりはとても穏やかだった。早く日本のファンにも大山の試合を見てもらいたい

—大山選手、実に見事な勝利でしたが、デビュー戦ということで、緊張はしなかったですか?

大山 しなかったですね。完全にイメージを固めていたので。自分が入場してケイジに入って、こうやって倒すというイメージがあって全部できましたから。

—へぇ～、それは凄いなぁ。でもさすがに雨でつるつる滑ったのは計算外ですよね(笑)。

大山 あ、あれは計算外ですね(笑)。

—それで、あの一発のカウンターパンチで決めちゃったんですけど、これも計算外だと思いますけど、自分の拳をケガしたんですよね(笑)。

大山 あ～、はい。思いっきり殴りすぎて(笑)。

—試合をするたびに拳のところはケガしちゃうんですか?

大山 前の大会で倒した時もやっちゃいましたね。

—それは、パンチ力が強すぎて自分の体というか、拳が耐えられないってことなんですかね。

大山 う～ん、そう言いますよね。打撃は手塚さんという方に教わっているんですけども、手塚さんもそういうふうに言ってましたから。

—そういえば、その手塚さんから聞いたんですけど、練習で目をつぶって大山選手のパンチを受けると、蹴りを食らっているみたいに感じるって。

大山 あ～、どうなんでしょうね。でも、手塚さんは試合の1カ月前くらいに「大山君は一発で倒すだろうなぁ」って言ってたんですよ。そのとおりになったんですよね(笑)。

—そのとおりって簡単にはいかないもんなんですけどね(笑)。これまで柔道やサンボなどをやってこられてますけど、その中でも今一番自信のある技っていうのは?

大山 パンチですかね(笑)。でも、手塚さんに言わせれば「大山君の打撃はまだ30パーセントの威力だから、もっと上げていかないとダメだよ」って言われているんですよ。

—えっ? あれでまだ30パーセント? ボークは完全にいっちゃった目をしてましたよ?

髙田さんのスター性と桜庭さんのような華のある試合ができる選手になりたい

大山 そう言われても、手塚さんにはまだまだダメだって言われてますから。

—う～ん、パンチ力や技術を上げるのはいいですけど、あまり上げすぎても自分の体というか、拳がついていけなくなるんじゃないですか?

大山 ハハハハハ、どうでしょうね。

—基本的に打撃が好きなんですか?

大山 好きですね。楽しいですよ、やってて。

—打撃が楽しいだなんて、結構、昔はケンカでならしてたんじゃないですか?

大山 ケ、ケンカはそんなにしてないですよ。小学校の時ぐらいまでですかね。1回だけ高校の時に、自分がどれくらい強いのか試してみたくてやったことがありました。それは勝ちましたね。

—やってみたら、自分は本当に強かったって感じですか?(笑)。

大山 その時は投げましたね。路上で。

—コンクリートですよね。それは一番ひどいやり方だなぁ(笑)。

大山 払い腰で……。

—払い腰の後は?(笑)。

大山 それで終わりましたねぇ。

—そりゃあ、終わりますよね(笑)。

大山 頭からは落としてないですよ。でも、その1回だけですよ。あの後味が嫌いなんですよ。終わった後の。自己嫌悪に陥るんです。「なんでこういうことをしちゃったのかなぁ」……。

—「もっと、こうすれば良かった」って(笑)。

大山 いや、違う、違う(笑)。「体鍛えてるのになんでこんなことしてるんだろう」っていう感じですね。

—へぇ～、ケンカして自己嫌悪に陥る格闘家の話って初めて聞きましたよ。話がそれちゃいましたけど、実際に短すぎて分からないかもしれませんが、ボークはどうでした?

大山 印象は……なんか倒すことに集中していたので怖さも感じなかったですし。

—大きさは感じましたか?

大山 う～ん、ちょっととは。対峙した時はちょっと大きいかなくらいですね。柔道ではもっと大きいヤツと練習しているので、はい。

—ああ、そうか、そうか。実に堂々としてましたよね。関係者の評価も高いみたいですよ。アメリカで桜庭選手に次ぐ日本のスターになれるって言われてましたから。

大山 ホ、ホントですか? 嬉しいですね。桜庭さんが目標なので。

—でも、今回の試合でアマチュアの世界とプロはまったく違う世界というのを実感したんじゃないですか? 観客のリアクションもすぐに感じられるし、マスコミにも騒がれたりして、今までの世界とまったく違う世界でしょ?

大山 まったく違う世界です。勝てばというか、いい試合をすればなんでも手に入るんだなぁというのは漠然と感じました。サラリーマンの時とは全然違うもんだなぁと。

—今回、大山選手は名前も変えたり、髪の毛をちょっと伸ばしてみたりして見栄え的な部分でも、プロという部分で何か考えたでしょ? そういうのはプロなんだから何かしなくちゃいけないと思ったんですか?

大山 プロレスファンだったんで、いろいろ考えるの好きなんですよね(笑)。頭の中でいろいろ。

—プロレスファンだったんですかぁ。

大山 はい。新日の道場までお父さんにサインをもらいに連れて行ってもらった

りして、小林邦昭さんにサインしてもらいました。なんだか知らないけど、小林さんのサインが3枚くらいありましたよ。いつも小林さんだったんで（笑）。

――珍しい柔道家ですよね（笑）。

大山　そうですか？（笑）。でも、多いですよ、プロレスファンって。

――実際にそこから一歩進む人は少ないですよね。

大山　少ないですね、怖いですから。やっぱり一歩踏み出すのが、一番怖いですから。柔道衣を脱いでそういう世界に入るのって怖いんですよ。結構、柔道家で強い人で「俺ならやれるよ」って言ってる人はいるんですけど、そういう人に限ってやんないですから。

――大山選手は思い切って脱いじゃいましたもんね。もう、踏み出したら結構はっちゃけちゃうタイプなんですか？

大山　そうですね（笑）。踏み出すまでは悩みましたけど。

――踏み出すために柔道を捨てていかないと、なかなか自分でいけないという感じだったんですか？

大山　変身願望じゃないですけど、今までの自分を1回全部捨ててというのが昔からあってですね。

――変身願望……？

大山　はい。柔道といっても5歳からずっとやってて、空気みたいに染みついてるものじゃないですか。そういうものを1度パッと捨てて別の自分を作りたいなと。

――なるほど。でも、見る側としては大山選手を柔道家として見るじゃないですか。それは柔道での実績を考えてもそう思われるのはしょうがないですよね。そういう部分を除いて、自分自身のプロとしてのイメージキャラクターっていうのはなんですか？

大山　う～ん………………。

――じゃあ、自分が昔憧れてたこの人みたいに、自分は子供たちにこういうふうに見られたいんだっていう感じのキャラクターは？

大山　あ～、かっこよさみたいなのは髙田さん！

――あ～、髙田選手ですかぁ。髙田選手のかっこよさというのは、どこに一番感じますか？

大山　いつもスターのオーラが出てるじゃないですか。ああいうふうになりたいですね。普通にお会いしてもなんか出てるじゃないですか。

――なるほどね。そう言えば、大山選手は俳優学校に行ってたんですよね。

大山　な、なんで知ってるんですか？　役者志望なもんで（笑）。

――志望？　今でも志望なの？（笑）。

大山　格闘技が終わったら……。今は忙しくて全然行ってないんですよ。

――そこの学校はアンディも通っていたところですよね。

大山　そうなんですよ、よく知ってますねぇ。2、3年前の話なんですけどね。

――なぜ、知ってるのかというと、はせキョーから聞いたんです。

大山　えっっっっ？　はせキョーがぁぁぁぁっ？

――なんで動揺してるんですか（笑）。

大山　うっそぉぉぉぉっ！

――ホントですって。

大山　あ、あのぉ、僕のこと知ってるんですか、は、はせキョーが？

――はっ？　ええ、はせキョーも今、その学校に通ってるみたいですから。

大山　こ、光栄だなぁ。

――今、通い直そうと思いましたね？

今は『プライド』に1日も早く出たいですね。あの場で闘って興奮してみたいです

大山　お、思いましたぁぁぁ。

――ダメですよ、これから忙しくなるんですから。

大山　は、はいっ。そうですよね。今は『プライド』に1日も早く出たいですね。あの場で闘って興奮してみたいです。

――そうそう、そうでなくちゃ困りますよ（笑）。大山選手の『プライド』の印象は？

大山　世界の選ばれた人が集まる祭典みたいな感じで、あの場に立つことっていうのがホントに凄く大変なことであり、名誉なことなんだなぁと感じますね。

――これからプロとしてどういう試合をしていきたいんですか？

大山　同じことはできないと思うんですけど、桜庭さんみたいにああいう華があって、みんながワッと楽しめる試合を心掛けていきたいですね。

――『プライド』で闘いたい人は？

大山　やっぱりハイアンやヘンゾですね。『プライド』を見に行って、一番印象に残ったのがハイアンで、こいつと殴り合ったら楽しいだろうなぁと漠然と前から思ったんです。

――漠然と殴り合いたいと思うんですかぁ。凄いなぁ（笑）。ハイアンも含め、グレイシーと闘いたいですか？

大山　グレイシーはやってみたいですね。ホイスが復帰してくれたら、思い切り寝技で勝負してみたいし。

――寝技で勝負したいって言っちゃうのが柔道家という感じでいいですねぇ。

▲渡米前の模様が一面になった新聞を見て「うわ～、凄い」と喜んでいた大山。目標である桜庭のように、今度は試合で一面を飾りたいところだ

大山　そうなったら、もう一回柏崎先生のところに行って寝技を教えてもらいます。あとは、ニュートンとも寝技勝負で闘ってみたいですね。

――寝技がやりたい試合と、殴り合いたい試合と極端ですよね（笑）。

大山　はい（笑）。そうは言っても殴っちゃうかもしれないですけど。以前、桜庭さんの雑誌のインタビューか何かで、会場全体に意識を持っていくと、発想が広がって、相手は突拍子もないことをしてくるからびっくりしちゃうというのを読んだんですよ。桜庭さんのように華のある試合をするためにはもっと引き出しをたくさん持たないとできないですからね。現実的に、まだ引き出しが少ないし、覚えることもいっぱいあるので頑張ります。

――桜庭選手のような華のあるファイターを目指すのもいいんですけど、柔道を背負って、一歩踏み出した格闘家として大いに期待してますので頑張ってくださいね。『プライド』デビュー戦を楽しみにしてます。

大山　はい。本当に覚悟を決めてこの世界に入ってきたんで、もうなんの迷いもありませんから。誰とでも闘えるように自分を磨くだけです。■

アレクサンダー大塚インタビュー

「もうVTはメッツアーとしかやらないよ！勝つまでやる！」

またまた失言のオンパレード！今度は猪木にまで噛みついた!!

『キング・オブ・ザ・ケイジ7』でガイ・メッツアーに再戦を挑んだものの、額をカットされ返り討ちにあってしまったアレク。ショックで落ち込んでいるだろうと思っていたが、開き直ったのか、淡々とした口調でこちらの質問に答えてくれた。メッツアーのこと、タイソンのこと、アメリカでの珍道中を中心に語ってくれた。

聞き手◎山本宗忠

――前回のインタビューで、さらにインターネットでのアレク・バッシングに火をつけましたね（笑）。

アレク そうだね。その割にはスレッドが伸びなかったなあ。バカ負けしたんでしょう。むしろ、もっとバカであってほしかったね、ファンは。

――ファンのほうが付き合いきれなかったんでしょうね（笑）。

アレク まだまだ熱が弱いよね。今の若いファンは熱が弱すぎ。中途半端。だって途中から全然話題が逸れているんだもん。フワフワ問題から。ダメだよそんなんじゃ。ワイは嫌いなヤツはとことん嫌いになるもん。絶対に喋らないし。

――バッシングするファンを試合で見返してやろうとは思わないですか？

アレク いや、ファンが嫌がる試合をしていこうと思うね。「もう何をやってんだよ、アレク〜。お前、もう帰れよ〜」って言われるような、そういう意地悪い試合をして、そうやってイラついているヤツらを見て楽しむ。もう自由気ままにやらしてもらうよ、本当に。

――でも、アレクさんと言ったら、どんな相手でも真っ向勝負に出て、いい試合をして、ファンを沸かせてきたじゃないですか。

アレク もう、そういう時代は終わったね。自分の中でというよりは、時代の流れで。ワイはもうそう読んでいる、ウン！

――そうですか……。では、『キング・オブ・ザ・ケイジ7』の話を聞かせてください。初めての金網はいかがでした？

アレク 金網のほうが自分を出せる幅が広がるね。

――幅が広がるというのは？

アレク 前にも言ったように、金網の上からミサイルキックとかね。あと、スパイダームーブ。

――スパイダームーブ？　なんですか、それ？

アレク 金網にへばりついて動くの。カサカサカサって。そういう新たな発見があったね。できそうじゃん。と言うか、やったら面白そうだなと。ルールに「やってはダメ」とは書いてないんだから。いかにルールの網の目をかいくぐって面白いことをするか、それがプロですよ。

――そうですね……。

アレク 「しょうもないこと言いやがって」とか思ってんだろ！

――思ってないですよ！（笑）。だって、ボク、アレクさんのこと格好良いって思ってますよ。

アレク フン（笑）。じゃあ、今晩どう？

――えっ!?　アレクさんは両刀？

アレク 両刀だよ（キッパリ）。

――また〜（笑）。

アレク 本当だよ〜。今晩、「宗をやってもいい」って柳沢発行人から許可も取ってあるから。

――ウソだ〜（笑）。オレが思うアレクさんの格好良さっていうのは、違うんですよ。

アレク じゃあ、なんなの？

――試合当日の朝、ホテルのロビーで待ち合わせしたじゃないですか。

アレク うん。

――その時に、一緒にその場にいた大山選手と今村選手を見て、やっぱり緊張しているなって思ったんですよ。で、アレクさんを見たら、アレクさんもシリアスな顔をしていて、さすがに同じ相手には2度続けて負けられないんだなって思ったんですよ。そうしたら「宗！　宗！」ってボクを呼んで、何かなって思ったら、「あのウェートレス、オレに気があると思わない、デヘヘ……」って（笑）。

大山君の顔を見ながら、……オナニーしちゃった♥

アレク フッハッハッハッハ！（笑）。良く覚えてんな〜！

――それ言われた時、「やっぱりアレクさんは凄いなあ、全然緊張してないじゃん」って思ったんですよ！

アレク そんなことで格好良いなって思うなよ、オイ（笑）。そんなの男だったら誰でも思うじゃん！　男は誰でも、いつ何時、性欲は失わないだろ。

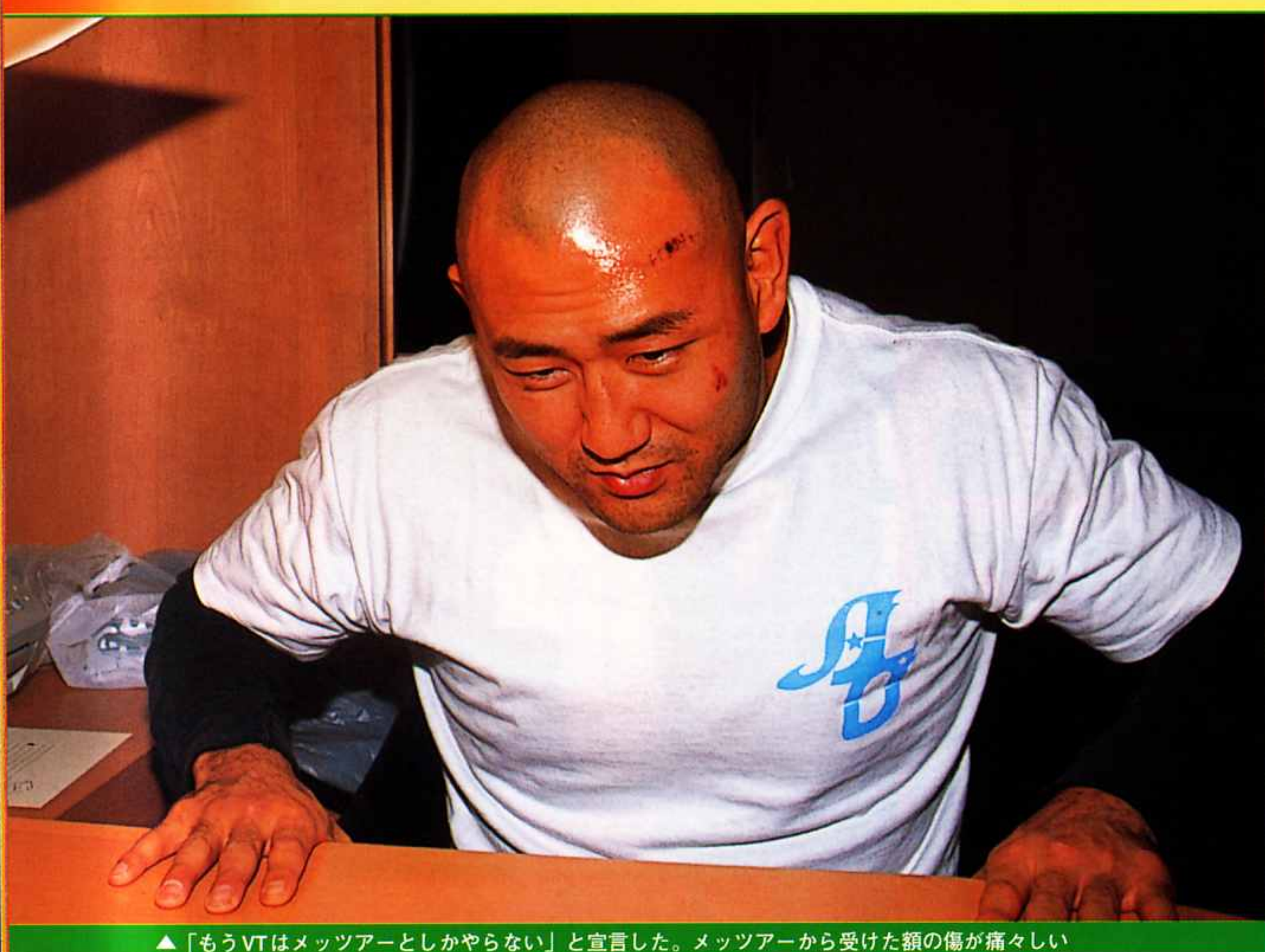
――時と場合があるじゃないですか（笑）。試合当日ですよ！

アレク そんなことないよ。だって、試合4日前から2日前の2泊の間は大山君とツインだったからオナニーできなかったけど、前日からシングルになったからオナニーしたモン。

――「したモン」って（笑）。

アレク ……ゴメン、やっぱり本当のこと言うわ。

――どうしたんですか？

アレク 実はね、大山君とツインだった時にね、大山君が寝ている間に……コッソリ、オナニーしちゃった。

▲「もうVTはメッツアーとしかやらない」と宣言した。メッツアーから受けた額の傷が痛々しい

――うそぉ!?(笑)。

アレク　大山君、コレ見たら、ビックリするだろうなぁ。しかも、大山君の顔を見ながら……イッちゃった♥

――話を『キング・オブ・ザ・ケイジ7』に戻します! ヒジ打ちで額をカットされて、レフェリーストップ負けという結果だったんですが、アレクさん自身はその結果についてどう思われますか?

アレク　もう、一本と同じもんでしょう。しゃあないです。認めざるを得ない。

――やはりメッツアーは強かったですか?

アレク　強いです。て言うかね、……また反感を買うなコレ。まあいいか。

――どうぞ言ってください(笑)。

アレク　ある意味ね、ボクがこう負け続けることによって、メッツアーの強さを引き出しているんだよ。

――ワッハッハッハッハ!(笑)。たしかに最近のメッツアーの評判はいいですね(笑)。

アレク　だろ? 本当に誰のおかげだと思っているんだよ。でも実際試合をやってみて、変わったというものの、変わり方がまだまだ甘いね。たしかに、『プライド10』とワイとやった『プライド12』の時とは変わっていた。でも、今回みたいに、いざ地元で試合を落とせないとか、雨が降ってコンディションが悪いとか、自分のマイナスポイントがあった時には、明らかに硬いよね。

――メッツアーはまだまだ変わりきれてないと。

アレク　もうね、VTではメッツアーとしかやらない。それで、これからワイがドンドン変えていきますよ。自分の骨身を削って、負け続けることによってね。

――そんなネガティブにならないでください。

アレク　いや、これはポジティブですよ。もうメッツアーとしか闘わないモン。それで、ず～と負け続けて、最後の最後にボクが勝っておしまいです。

――じゃあ、次に闘いたい相手というのは……。

アレク　ガイ・メッツアー。まあ、メッツアーもそうなんだけど、ライオンズ・デン自体がなんか気に入らないのよ。ピート・ウィリアムスの試合だって、ワイは見てないけど、結果聞いて許せなくてね。

――1R終了直後にピートがヒザ蹴り入れて勝った試合ですね。

アレク　そうそう。ピートの相手のリック・マティスは、バトラーツUSAの選手だし、仲間だと思っているからね。……許せないよ。だって、ワイがここまで落とされたのは、ライオンズ・デンの大将(ケン・シャムロック)と副大将(ガイ・メッツアー)だからね。しかも、ケンには復活の踏み台にされてさ。まあ、すぐにケンと対戦というのは無理だろうし、そんなのはワイもわきまえているから、とりあえず最初にガイをね。

――このままでは逃がさないと。

アレク　勝つまでやるよ、勝つまで!

――メッツアーはどう思っていると思います?

アレク　「オーツカとは相性がいいから、楽して勝てる。それでギャラももらえるんだからオイシイぜ」とか思っているに違いないよ。

――次のメッツアー戦はいつになるでしょうか?

アレク　ワイ的には『プライド13』でやりたいよ。それくらいガイ・メッツアーしか見えてない。VTにおいては。4月

ボクがこう負け続けることによって、メッツアーの強さを引き出しているんだよ。

本誌独占スクープ! アレク、タイソンに挑戦状を叩きつける!!

▲日本語が分からないことをいいことに、ジムのトレーナーからタイソンのテクニックを伝授

◀ジム内を見つめながら、タイソンを待つ

▲挑戦状を片手に、タイソンの所属する「ゴールデン・グローブス・ジム」に現れた

◀なんと挑戦状を叩きつけにきたにも関わらず、トイレを借りるアレク

▲タイソンのポスターを見つけると、「コイツを倒して、日本の話題をかっさらってやる!」とうそぶいた

にまた『KOTC』があるみたいだけど、それもガイ・メッツアーでいいよ。「いいよ」ってワイが決めることじゃないけど……お願いします!!（怒）。

――逆ギレ！（笑）。そうですか、そこまでメッツアーと闘いたいと。でも、マイク・タイソンに挑戦状を叩きつけに行きましたよね。

アレク　それは日本の話題をかっさらおうと思ったから。ワイが泊まっていたホテルから数時間のところにジムがあるって聞いてね。

――でも、残念ながらいなかったですね。

アレク　残念だね。ワイ的には、タイソンが挑戦状を受け取らずとも、そのまま殴り込んで対戦しちゃおうと思ったんだよ。

――今、日本では猪木さんとタイソンの話題で一色ですからね。

アレク　あのね、いつまでもね、プロレス業界はアントニオ猪木という人間に動かされてちゃダメですよ。誰かがね、アントニオ猪木を崩していかないと。みんな持ち上げるでしょ？

――持ち上げますね。

アレク　それがダメだね。たしかに猪木さんは、人がやらないことをやるから注目されるし、しかも、猪木さんには今までやってきた過去の実績があるから、マスコミ・ファンも「アントニオ猪木だったらしかねないな」と思う。そういうふうに思わせるように自分で作り上げてきたことは認めるし、プロとして素晴らしいと思う。でも、同じプロの土俵でいるなら、神様みたいに祭り上げるだけだったら超えられないじゃん。一プロレスラーとしては認めるけども、認めた上で、さらにその上を行くことをワイはしたいから。

▲インタビュアーを挑発するアレク。ホモ説は本当だった!?

いつまでもアントニオ猪木という人間に動かされてちゃダメですよ。

――たしかにアントニオ猪木の行動をジャマする人というのはいないので、それをすることによって、猪木さんより上にいけるかもしれませんね。

アレク　でも、ジャマをしたことによって、潰れていく人もたくさんいる。で、ワイもそうすることによって「ああ、アレクサンダー大塚も潰れるな」って思われるだろうね。けど、ワイはワイなりに、そうならないためにも地力を付けるよ。

――ジムへは、挑戦状を置いてきただけですか？

アレク　もう一つ置いていきそうになったんだけど。タイソンのジムでウンコしたくなって、トイレを借りた。

――挑戦状を置いてきたところでウンコ！

アレク　そうしたらさ、ウンコが流れなくてヤバイと思っちゃってさ。逆流して便器から溢れるギリギリのところまできて、ゴボゴボって流れたから良かったんだけど。旅の恥はかき捨てとは言え、挑戦状を出そうとしたところのトイレにウンコを残していったら、ちょっと格好悪いなあと思ってね。あと、したことと言えば、ラスベガスに行ったついでに……。

――カジノですね（笑）。

アレク　やった。初めてのラスベガスだったんで、そっちのほうはちょっとビビッちゃったね。1クレジットが5セントのスロットからスタートしちゃった。その次に25セントのところに行ったんだけど、どんどんすっちゃって。5セントのところに戻ろうと思ってさ、〝5〟って書いてあるところに行ったんだ。そうしたら5セントじゃなくて5ドルでさ！　10ドル入れたら2クレジットしかなくて、「ワァーオ！」ってビックリしちゃって。「もう、引くに引けねえ」って思ってやったんだけど、スコーン、スコーンと飲まれちゃってさ。

――最終的にはどうだったんですか？

アレク　300ドルの負け。でも、300ドルっていったら3万円ちょいだもんね。全然普通だもんね。

――でも、楽しかったんじゃないですか？

アレク　楽しかったね。そうだ、ワイ、今、『ヤンナイ・タイムス』って風俗雑誌のフリーペーパーに短歌書いているんだけど、このインタビューの最後も短歌で締めようか。

――いろんなことやっているんですね（笑）。

アレク　ワイ、短歌には自信あるモン。小学校3年の時、『全国一茶祭り』で入賞したんだから！

――分かりました（笑）。ぜひ、お願いします。

アレク　『我が道は　どうするべきか　迷わずに　勝手に進めば　道になるはず』。

――なんか猪木さんの『道』に似ていませんか？

アレク　う、うるせえ！　……そんなことより、そろそろベッドに行こうか？

――あわわ……。■

仰天企画発覚！

島田裕二レフェリーがぶち上げた

このオヤジは何者だ!?

バトラーツVSライオンズ・デン 全面対抗戦!!

島田裕二レフェリーが仰天企画をぶち上げた！　島田レフェリーは、バトラーツとライオンズ・デンとの数々の因縁に業を煮やし、全面対抗戦に踏み切ることを明らかにした。「夏までには実現させたい」と語る島田レフェリーだが、果たして、本当に実現するのか？

聞き手◎山本宗忠

——昨日はお疲れさまでした。『キング・オブ・ザ・ケイジ7』を振り返ってみていかがですか？

島田　まずやっぱりね、インディアンの町はいい。オレは憧れてたんだよ。で、会場に着いたら、アメリカ人が並んでたじゃん。試合開始の2〜3時間前から。あああゆう気質は好きだね。とんでもない田舎だったじゃん。ロスから3時間だし、ポスターも貼ってねえし、会場にあるカジノも田舎の婆さんしか来ないようなところだったし（笑）。そんなところでも、あれだけ人が集まったじゃん。だから、アメリカ人というのは、好きなものには探してでも行くんだなあって。そういう意味じゃ、アメリカ人の熱を凄く感じる大会だったね。

——その気に入った大会で、島田さんがセコンドに付いたアレクサンダー大塚選手は負けてしまいました。

島田　負けじゃないね！　あんな雨の降るコンディションでさ、選手が可哀想だよ。主催者も、ちゃんとしたテントとか張らないとダメだよ。まあ、お互い同じ条件だから、言い訳になっちゃうけど。でも、それにしても雨でマット上が濡れているというのは、レスリング出身でタックルが得意なアレクには可哀想だったね。

——滑って踏ん張りが利かないみたいでしたもんね。

島田　大山君なんて、パンチを打とうとしただけで滑っていたじゃん。今村君もやっぱりタックルにいけなかったしね。そういう意味じゃ、もう一回、コンディションを整えた上でやりたいね。まあ、そんなことは、どうだっていいんだよ。オレは言いたいことがあって、お前を呼んだんだよ！

―なんですか？

島田　アレクの試合が終わって、一緒に病院に行ってたからオレは見ていなかったんだけどさ。デュセル・バットが主催するバトラーツUSAのリック・マティスも、ライオンズ・デンのピート・ウィリアムスと闘ったんだけどさ。お前も見てたろ？

―終了ゴングが鳴った直後の……。

島田　そうそうゴングが鳴った後に蹴っているんだよ。許せないよ、ワザと反則するようなヤツはね。聞いたところ、下から関節を取られそうになっていたらしいじゃん。

―足関節技を取られそうな場面もありました。

島田　ピートはヤバイと思ったんだよ。それで、ワザと反則したんだよ。これは明らかに、ライオンズ・デンがバトラーツに喧嘩を売っているんだよ！　オレらをナメているんだよ！（怒）。こうなったら対抗戦をやってやると思ってよ！

―今日はなんか怖いですね。

島田　当たりめえだよ。昔からケン・シャムロックは気に入らなかったんだよ。

―ああ、ケンと言えば、昔、バトラーツの前身の藤原組に参戦していましたもんね。

島田　ケンは藤原組の時にずっと出ていてたんだよ。で、忘れもしないよ、藤原組が分裂した後に呼ぼうとしたんだよ。そうしたら、「お前のところは、メガネ（スーパー）ももういないし、貧乏だからイヤだ。船木のところに行く」って、電話を切られた苦い思い出があるんだよ。それ以来、口はきいてなかったんだよね。久々にきいたのは、『プライドGP』開幕戦の時。その時も「お前、オレに触ったな！」とか、なんとかいちゃもんつけてきてさ。ナメるなっちゅうんだよ。

―まだわだかまりがあると。

島田　しかも、あのスター気取りが嫌いなんだよ。「マネー！　マネー！」言っているやつは、そのうち痛い目に遭わせてやるよ。

―ルールはどうなるのでしょう？　『プライド』ルール？

島田　なんだっていいよ。向こうが望むルールでやってやるよ。レフェリーもジャッジもライオンズ・デンでいいよ。猪木さんも言っているだろ、「リングに上げるまでが勝負」だって。

―可能性はどれくらいですか？

島田　実はすでにアクションを起こしたんだよ。これは、『SRS・DX』だけに言うけどさ、『キング・オブ・ザ・ケイジ7』の次の日にサイン会があったろ？

―桜庭選手のですね。

島田　オレも行ったんだよ。そこで、オレもこっそり一人で「『プライド』レフェリー、ユージ・シマダのサイン会」を行っていたんだけど、そこにいたんだよ。これだってヤツが！

―誰ですか？

島田　ケンのお父さんのボブさん。ボブ・シャムロック。とりあえず話しかけて、「ユーはグレート・ファーザーだ。息子たちも頑張っているし、ライオンズ・デンも素晴らしい！　日本に来ないか？」って言ったんだよ。そうしたら、「行きたい！」って。

―ほお！

島田　で、「バトラーツはアレクサンダー大塚をはじめ、みんな強いんだ。どうだい対抗戦をやってみないか？」って言ってみたんだよ。そうしたら、「素晴らしい企画だ！　ぜひ、実現に向けて動いてくれ!!」って言ってくれたんだよ。

―凄いですね！

島田　で、オレは「綱引きで対戦を決めよう」って言ったら、「どういうルールだ？」って興味津々なんだよ。それで、絵に描いて説明したら、「面白いなあ！」って。

―ボブさん、乗り気ですね！（笑）。

島田　大乗り気よ！　「早速、日時と会場を押さえろ」って言ってくれたんだよ。

―勝算は？

島田　あるに決まってんだろ。勝ち越して、道場を乗っ取ってやるよ。

―メンバーはどうなるんですか。

島田　アレクだろ、臼田、ヨネ、日高、junji.com、アーバン・ケン、土方。ここに、カール・マレンコ、リック・マティスをどう絡ますかだな。

―本気ですね～！

島田　大マジよ。勢いで薬丸も呼んじゃおうってくらい大マジ。ガイもアレク戦の翌日に「あれじゃ、オレも勝ったとは思っていない」って言ってくれたから。3度目は対抗戦でだね。

―試合後も「納得していない」って言ってましたね。

島田　メッツアーもあれじゃ嬉しくない

▲ケン・シャムロックの後ろに立っている男は、ボブ・シャムロック。ケンのお父さんだ。ボブさんは対抗戦に大乗り気だという

明らかにライオンズ・デンはバトラーツに喧嘩を売っているんだよ！ オレらを舐めているんだよ!!

▲「コイツらを見ただけでムカツク」と語る島田レフェリー。写真のガイ・メッツアーもアレックス・アンドラデも、対抗戦が実現すれば当然名乗りを上げてくるだろう

バトラーツVSライオンズ・デン
『7VS7綱引きマッチ』出場予想メンバー

バトラーツ　VS　**ライオンズ・デン**

石川雄規

ケン・シャムロック

アレクサンダー大塚

ガイ・メッツアー

モハメド・ヨネ

ピート・ウィリアムス

臼田勝美

バーノン“タイガー”ホワイト

日高郁人

アレックス・アンドラデ

junji. com

トレイ・テリグマン

土方隆司

ジェリー・ボーランダー

アーバン・ケン

トニー・ガリンド

だろうしね。あれで喜んでいるようじゃ三流だよ。

――ライオンズ・デンはどういったメンバー構成でくるでしょうか？

島田　ガイ・メッツアー、ピート・ウィリアムス、今村君に勝ったアレックス・アンドラデ、バーノン〝タイガー〟ホワイト、トレイ・テリグマン、ジェリー・ボーランダー、トニー・ガリンド、あとここにボブさんをどう絡めるかだろうな。

――ボブさんを絡ましたらダメですよ（笑）。

島田　いや、あのジイさんは強いと見たね。でも、ケン・シャムロックは出さない。ケンが、セコンドについて地団駄踏む姿を見たいんだよ。

――では、石川社長も。

島田　出さない。大将同士は見て指示するだけ。

――大会はいつ頃になりそうですか？

島田　『プライド』が開催されない月だね。だから、6月とか8月とか。もしくは、『プライド』と2DAYSだね。会場は両国国技館あたりがいいな。まあ、東京ドームでやってもいい。3時～5時までがバトラーツで、6時から客入れ替えて『プライド』とか。会場代は『プライド』に払ってもらってな。

――では、対抗戦はそんなに先のことではない？

島田　なるべく早くやるよ。まあ、夏までには実現させたいね。とりあえず、帰ったらスポンサー探しだ。いいスポンサー知らない？

――知るわけないじゃないですか（笑）。

島田　編集長のタニー（谷川貞治）に言って、フジテレビを動かせよ。まあ、見てくれよ。ライオンズ・デンに赤っ恥かかせてやるぜ。バトラーツが最強軍団っていうのを分からせてやるよ。それで、向こうが「もう一度」って言うなら、オレらがアメリカに乗り込んでいって、今度はUFCでやってやるよ。で、UFCでも勝って、全米で名前を売ってから、みんなでWWFに出る！

――最終的にはWWFだったんですか!?

島田　ライオンズ・デン、UFCを踏み台にすれば、ビンスが声をかけてくれるはずだよ。

――聞きづらいことなんですけど、全敗という可能性も……？

島田　しねえよ！（怒）。負けたヤツは腹を切らせる。

――切腹!?

島田　当たり前だよ。侍が負けてどうすんだよ。でも、ぶっちぎりで全勝だよ。まあ、不安と言ったら、junji.comくらいだけだ。

――ワッハッハッハ（笑）。

島田　まあ、ジュンジを落としたとしても6勝だからな（笑）。

――この企画は他のバトラーツの選手は……。

島田　まだ、言ってない。言わなくても、ウチは興行会社だからね。決まったら、みんな試合をしなけりゃいけないんだよ。

――文句は言わないと。

島田　言わない。だって、その先にはWWFっていう大きな夢があるんだよ。そんなライオンズ・デンあたりにビビっててどうすんだよ。

――そうですか。それでは最後に抱負をお願いします。

島田　全勝するよ。こっちには隠し玉もあるからな。ライオンズ・デン、待ってろよ！■

ブラジル・シュートボクセ（ヴァンダレイ・シウバなどが所属するジム）から来た、ムエタイがベースの打撃屋・アンデウソン。加藤は終始顔面にいいパンチをもらい続け、大差の判定負け。しかし、その心にはたしかに“加藤版・大和魂”があった!!

見た目は少々朴訥（ぼくとつ）系♥ だけど、やっぱり心は大和魂

ブラジル・シュートボクセの“クモ男”に加藤、大差の判定負け!

	加藤鉄史	アンデウソン
モチベーション（闘志・気迫）	8	7
技術・戦略	4	8
KOスピリット	7	6
勝ちっぷり負けっぷり	8	4
全体的な印象・インパクト	10	3
合計	37	28

Girl Meets Shooter
私が加藤に出逢ったら……

189センチの長身と、手足のリーチを活かして加藤をコーナーに追い込むアンデウソン。加藤も打撃で立ち合うが、アンデウソンの的確なパンチが顔面に何発もヒット！

ミドル級にしてこの長身！（189センチ）アンデウソン、手足長すぎ！

▲キャー、この身長差！

ガール・ミーツ・シューター♥

加藤鉄史という、魅力的なシューターに私は出逢った!!（26歳だし、ガールって年じゃないけど－）

加藤との初対面は、本誌41号でエンセン＆ＫＩＤとともにインタビューした時。それまで修斗に関してはまったくの食わず嫌いだった私は、加藤についてもビデオで何度か見た程度。しかし加藤は「修斗の魅力を教えて！」と言う不躾なお願いに、「デヘへ……（笑）」と口ごもりながらも、トツトツと答えてくれた。オシャレっぽいイメージが先行している修斗の中で、こんなにも純粋で素朴な選手がいたのかと、私は改心させられるとともに、朴訥キャラの加藤に、修斗よりも魅せられてしまったのだ。

ミドル級1位という実力がありながら、どこか地味なイメージの加藤。ＰＵＲＥＢＲＥＤ大宮に所属し、「エンセンさんに憧れる」と言っていた若きシューター。今回の試合前、加藤はエンセンと一緒にタイへ行き、ムエタイのジムで打撃練習を積み、「今度こそは打撃で闘いたい」と決意を語っていた。

そんな加藤が、今日、私の目の前で、ブラジルのアンデウソンという無名の打撃屋に、顔面をボコボコにされ、大差の判定負けを喫してしまった。

アンデウソン・シウバは、あの〝戦慄のヒザ小僧〟ヴァンダレイ・シウバと同じブラジルのシュートボクセ所属で、ムエタイをベースにしているが寝技や関節技もできる総合ファイター。日本ではまったく無名だが、「得意技はヒザ蹴り」と言うとおり（今回は出す必要もなかったそうだが……）、そ

SHOOTO TO THE TOP

修斗

3.2★後楽園ホール

ついに"クモ男"を捕獲成功! しかし巧みに外され……

▲片足タックルに入るも潰され、逆にこの"クモ男"に捕まってパンチを浴びることに

▲グラウンドに持ち込み、加藤のアームロックが極まりかけた瞬間。しかし巧みに外されてしまう

★第6試合/セミファイナル・ミドル級5分3R
○アンデウソン・シウバ（3R判定3-0）加藤鉄史●
<ブラジル/シュートボクセ> <PUREBRED大宮>
※採点…29-27、30-28、29-28

▲"クモ男"の長い足が加藤に絡みつく。三角を極められたまま、さらに殴られ続ける加藤……

アンデウソンのコメント

「初来日だったけど、素晴らしい試合ができたので良かった。（加藤の印象は）グラウンドに持ち込まれると危ないと思ったんで、スタンドでムエタイのスタイルで闘うことを心掛けた。（得意のヒザ蹴りが出なかったが？）今日の試合ではヒザ蹴りは必要なかった。自分は彼よりもリーチが長いので、手を使えば良かったから」

加藤のコメント

「すいません、負けちゃいました。デへへ……（力ない笑）。まさかあんなうまい選手だとは思わなかったです。背も高いしリーチも長かったんで……。最初から打撃でいこうって決めてたんですけど、向こうのほうがうまかったですね……。タックルにも入れなくて、たくさん殴られちゃいました。もっと練習して、頑張ります（写真：試合前、リング上の加藤）」

エンセンのコメント

「加藤は今日、気持ちは見せることできたネ。それが一番大事だから、結果は関係ないヨ。だから勉強になったほうが勝ちネ。加藤は今日、勉強できたから良かったヨ。（アンデウソンは）いい選手ネ。ムエタイの選手だけど、寝技も知ってるから凄い。マッハとかクックとやったら、ミドル級ももっと面白くなると思う。背も高いし、足も太いし、よく加藤と体重が合ってたネ。ワタシとやれる選手かと思ったヨ（笑）」

「加藤は今日、勉強できたから良かったヨ」（エンセン）

▲ボブチャンチン戦の時のエンセンほどではないが、試合後の加藤の顔はボコボコに腫れ上がってしまった

▲非情にも試合終了のゴングが鳴る。加藤は自力では起きあがれないほどダメージを受けた。セコンドに就いたエンセン、朝日らが抱きかかえる

のクモのような長い手足を利用した打撃は、侮れないものがあった。
　そのアンデウソンを、加藤は打撃で倒そうとした。打たれても打たれても、加藤は怯むことなく自分のペースで相手に向かっていった。しかし、身長差（実に20センチ近い！）やリーチの違いを見せつけられ、なかなか懐に入れない。タックルに行くも、アンデウソンの長い手足に遮られてしまった。加藤が出ようとすれば、カウンターで顔面にパンチを合わせられ、ダウンこそしなかったものの、終了のゴングが鳴った時には、自力で立ち上がれないほどだった。しかし、今回の試合で加藤は〝加藤版・大和魂〟を見せた。それは、確実に何人かのファンに伝わったはずだ。
　試合後、控室を訪れると、加藤は少し笑って見せたが、傷の痛々しさが加藤の心情を物語っていた。
　女の子にモテる格闘家の条件が、①とにかくカッコイイ、②圧倒的に強い、③試合が面白い、の3つだとしたら、残念ながら加藤はひとつもクリアしていない。「常に自分のために闘う」と言う加藤は、クリアしようとも思わないだろう。しかし、エンセンの言うとおり、今日の試合で加藤が学んだことは大きかったはず。もっと打撃を練習すれば近い将来必ず強くなる。それに、いつも無愛想に見られがちだが、時折見せる笑顔は非常にキュートでカワイイ♥　カワイイというのは、時としてカッコイイことよりも重要だ。他のオシャレ系の人気シューターとはまったく違う魅力を持つ朴訥青年・加藤を、私は心から応援する!!　（日比）

大和魂伝承
エンセンイズム

レスリングのサラブレッド KID、修斗デビュー

大器の片鱗キラリ!!

	KID	塩澤正人
モチベーション（闘志・気迫）	8	8
技術・戦略	7	7
KOスピリット	9	5
勝ちっぷり負けっぷり	5	3
全体的な印象・インパクト	9	2
合　計	38	25

▲「最後はスゴい良かったネ（笑）。デビュー戦でこれだけ見せてくれたから合格点」。愛弟子の勝利にエンセンはこの表情

山本徳郁（のりふみ）。レスリングのミュンヘン五輪日本代表の父を持ち、姉・美憂と妹・聖子は女子レスリング世界チャンピオン。自身も幼少からレスリングを始め、99年の全日本選手権準優勝。アテネ五輪日本代表の有力候補と言われている。修斗は1年前に始め、昨年の全日本アマ修斗では優勝、満を持してのプロデビューだ。

山本〝ＫＩＤ〟徳郁。プロデビューに際し、山本は〝ＫＩＤ〟をリングネームにした。

「中学の頃から可愛がってもらっている先輩たちに昔から『ＫＩＤ』と呼ばれていたんで、リングネームもそうしたんです」

かっこいい……。年は23歳だがあどけなさが残り、ヤンチャな悪ガキの雰囲気に、このリングネームがピッタリ似合っている。なんかちょっと悔しいくらいだ。

ボクなんか中学時代のあだ名は「タコス」。同級会などで友人にうっかりあだ名で呼ばれたら、呼んだほうも呼ばれたボクも、思わず赤面してしまう。

ま、そんなことはどうでもいいのだが、この日がデビュー戦にもかかわらず、ＫＩＤには独特の輝きがあった。まず目がいい。試合前に相手を睨む目。試合中に相手を見据える目。試合直後の興奮冷めやらぬ目。べつにそっちの趣味はないのだが、男のボクでもちょっとイカすなぁと思ってしまった。

ルックスよりも実力が大事なのは言うまでもない。どんなにカッコ良くたって、弱かったりチキンだったりしたら人気は出ないし、ファンに支持されない。しかし、ＫＩＤが見た目だけでないことを

修斗

3.2★後楽園ホール

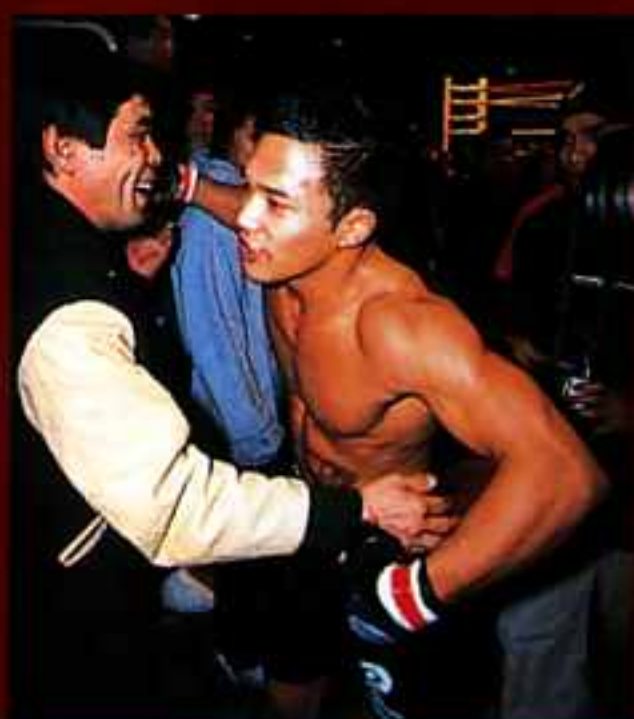
ハート&テク&ルックス◎ 大化けの可能性大だ

▲先輩・朝日昇が「80キロくらいのヤツのパンチ」と言うほどKIDのパンチは重い。打撃勝負にでたのもうなずける

▲デビュー戦とは思えない落ちつきぶり。表情もいい！

KIDのコメント

「レスリングと同じで、緊張は全然なかったです。自己採点は0.5点。タックルもいけたんですけど、相手が寝技がうまかったんで、そこで膠着しちゃうとお客さんの払ったお金がもったいないと思って立ち技で勝負しました。一流の人たちがセコンドで教えてくれたんで全然怖くなかったです。もっと体力つけて上を狙っていきます」

山本美憂、聖子の兄弟 KIDはやっぱりサラブレッド！

▲リングを下りると父の郁栄さんも祝福。強ばっていたKIDの表情が一気に緩んだ

▲試合前にアップしながら姉・美憂、妹・聖子と談笑するKID

ラスト20秒、突如、KIDがキレた！

▲ラスト20秒になると、KIDが突然、ガードを下げて塩澤を威嚇しながら、打撃で真っ向勝負を挑んだ。場内から大声援が飛び、観客もヒートアップ

▲寝技のうまい塩澤は、猪木—アリ状態から、巧みな足使いを見せてKIDを苦しめた

▲昨年のアマチュア修斗優勝のKIDと3位の塩澤。デビュー戦とはいえ、両者技術は高く、慎重な試合展開となった

★第1試合/ライト級5分2R
○山本“KID”徳郁（3R判定3-0）塩澤正人●
<PUREBRED大宮>　<和術慧舟會>
※採点…20-19、20-19、20-19

今日の試合で感じとった人は多いだろう。それどころか、近い将来、修斗を担うスター選手になる可能性を直感した人も少なくないのではないだろうか。

たしかに結果は判定勝ちで、鮮烈なKOデビューとはいかなかった。しかし、ラスト20秒からの弾けっぷり、キレっぷりはインパクト絶大。一瞬にして会場をヒートアップさせたのは、やはりKIDの持つ天分と言っていいだろう。

レスリング出身選手の闘い方の定石は、タックルで倒し、いいポジションをとって優位に試合を展開することだが、KIDはあえてその闘い方をしなかった。その理由を「タックルにいこうと思えばいけたけど、塩澤選手は寝技が得意だったし膠着するとお客さんの払ってくれたお金がもったいないから」。デビュー戦でお客さんのことまで考えられる選手はあまりいない。さすがはエンセンに憧れ、エンセンの元で練習を積んでいる男だ。ついでに最後のキレっぷりもしっかり師匠ゆずりときている。

そのエンセン「今日はデビュー戦だし、あれで合格点。自分の強さ分かったと思うし、勉強として最高ネ」と目を細めた。

道場の先輩であり、同じ階級のトップファイターでもある朝日昇は「あいつの持っている力はあんなもんじゃないですよ。レスリングのベースは半端じゃないし、パンチの重さは同じクラスのものじゃない。心も強い。正直、俺は年だしあいつとはやりたくないよ」。

果たして、次はどんな試合を見せてくれるのか。楽しみな選手がデビューした。

（林）

これぞ、メインの仕事！

フェザー級王者・マモル、シウバの同門・リマを十字でバッサリ！

マモルのコメント

「気合いは充分だったんですけど、ちょっと硬かったですね。反省点はいっぱい出てくるでしょうけど、一本勝ちできたので今日１日だけは喜んでいたいです。十字は狙いどおり。作戦がハマりました。ブラジル人とは初めてですけど、誰が相手でも同じ階級だし、同じ人間ですから。このベルトは誰にも渡す気はないです」

リマのコメント

「非常に厳しい闘いだった。１回目の計量で引っかかってしまって、食事もせずにサウナに行ってたんだ。コンディション的には良くなかった。マモルはわずかなチャンスをモノにしたね。もっともっと練習して次回は必ず勝つよ。日本の修斗のイベントは素晴らしいね。ファンも凄く良くて、選手としては闘いやすいイベントだったよ」

▲３度目のテイクダウンでフィニッシュ。リマのサイドについたマモルは、クルッと反対側に回りこんで十字を極める。抜群のタイミングとスピードだった

★第7試合/メインイベント・60キロ契約5分3R
○マモル（1R3分57秒、腕ひしぎ十字固め）ジルド・リマ●
<シューティングジム横浜>　<ブラジル/シュートボクセ>

▶軽量級らしく、タックルもスピード感にあふれていた

	マモル	ジルド・リマ
モチベーション（闘志・気迫）	8	2
技術・戦略	7	6
KOスピリット	8	6
勝ちっぷり負けっぷり	8	5
全体的な印象・インパクト	7	3
合　計	38	22

このベルトは、誰にも渡さない！

▲リマの狙いは、タックルに合わせたフロントチョーク。一度は極まりかけたらしい

◀今回はノンタイトル戦だったが、試合後にベルトを誇示。王者としての責任感が、マモルを成長させているようだ

興行におけるメインイベントの役割は、生半可でなく大きい。野球の四番バッターが単なる四番目の打者でないように、メインイベンターもまた、ただの〝最終試合に出る選手〟であってはならない。桑原卓也や植松直哉といった若い選手も、メインに出場したものの納得のいく試合ができず、唇を噛んだことがある。

だから、今大会のマモルのメイン登場も、正直ちょっと不安ではあった。フェザー級王者だけに実力はあるのだが、〝通を唸らせるテクニック〟だけでは、メインは務まらないのである。タイトルを獲得した秋本じん戦にしても「もしこれがメインだったら」と思うとゾッとするような内容でしかなかった。

マモル本人も「メインの重圧は感じてました」と言う。初のブラジル人との対戦となればなおさらだろう。対戦相手はジルド・リマ。あのヴァンダレイ・シウバの同門である、危険なストライカーだ。

だが、終わってみれば試合はマモルの鮮やかな一本勝ち。フィニッシュは、まるで関節技の教則ビデオを見るような、完璧な腕十字だった。以前のマモルなら「負けたくない」という思いにかられて安全運転に走り、地味な試合になる可能性もあったが、ベルトの重さ、チャンピオンとしての自覚がマモルを成長させていたのだ。

「このベルト、誰が相手でも渡す気はないですから」

メインの仕事をキッチリこなし、さらに自信を高めた22歳の可能性は、まさに青天井である。この試合を見て、そう確信した。（橋本）

SHOOTO TO THE TOP

修斗

3.2★後楽園ホール

中尾の一本勝ちにも会場は"？"

▲このところ勝ち星がなかった中尾受太郎だが、この日は一本勝ち。が、1Rからマウントを奪ったのに、なかなか自分からは攻めようとしない姿に、会場全体を"？"マークが覆った

◀1Rには左ストレートでダウンも奪った。実力差は明らかだったのだが、中尾はひたすら慎重に相手のスキを待つ。結局、極めたのは3Rの後半。手で直接首を絞めるというムチャな技だった。対戦相手のデニーは反則をアピールしたが、「レフェリーにOKの確認をしたんで」と中尾

★第3試合/ミドル級5分3R
○中尾受太郎（3R3分09秒、テクニカル一本勝ち）トーマス・デニー●
<シューティングジム大阪> <アメリカ/ワイルドマン・バーリトゥード>
※チョーク

ベテラン・大石に突如ブレイクの兆し

▲ライト級からフェザー級へ戦場を移してから、大石真丈は絶好調だ。1月は西澤正樹をTKOに下し、今回は太田吉信を圧倒した末、スリーパーで一本勝ち。「最近、ようやく寝技が分かってきた」というベテランには俄然、注目だ

◀「いいパンチもらっちゃって、鼻血が……」と、両穴にティッシュを詰めてインタビューを受ける大石。カッコつけなさすぎなのが却ってカッコいい、そんな32歳である

★第4試合/60キロ契約5分3R
○大石真丈（2R2分48秒、スリーパーホールド）太田吉信●
<Kzファクトリー> <四王塾>

エンセン井上プロデュース、「PUREBRED京都」3月10日（土）オープン！

エンセン井上がプロデュースした総合格闘技ジム「PUREBRED京都」が、3月10日（土）にオープンする。エンセン、朝日昇、加藤鉄史、山本美憂ら、PUREBRED所属のプロ格闘家が交代で指導にやって来てくれるこの京都ジム。しかも設備やスペースも充実していて、会員になれば好きな時間にトレーニングをすることができる。現在、第一次会員100名を募集中だ。第一次会員には特典として、3月10日のオープニングイベント（エンセンによるスペシャルスパーリングあり）と、翌日に行われるPUREBRED大宮所属のプロ選手によるスペシャルレッスンにご招待。本格的に総合を学びたい人はもちろん、初心者や女性も大歓迎だ！

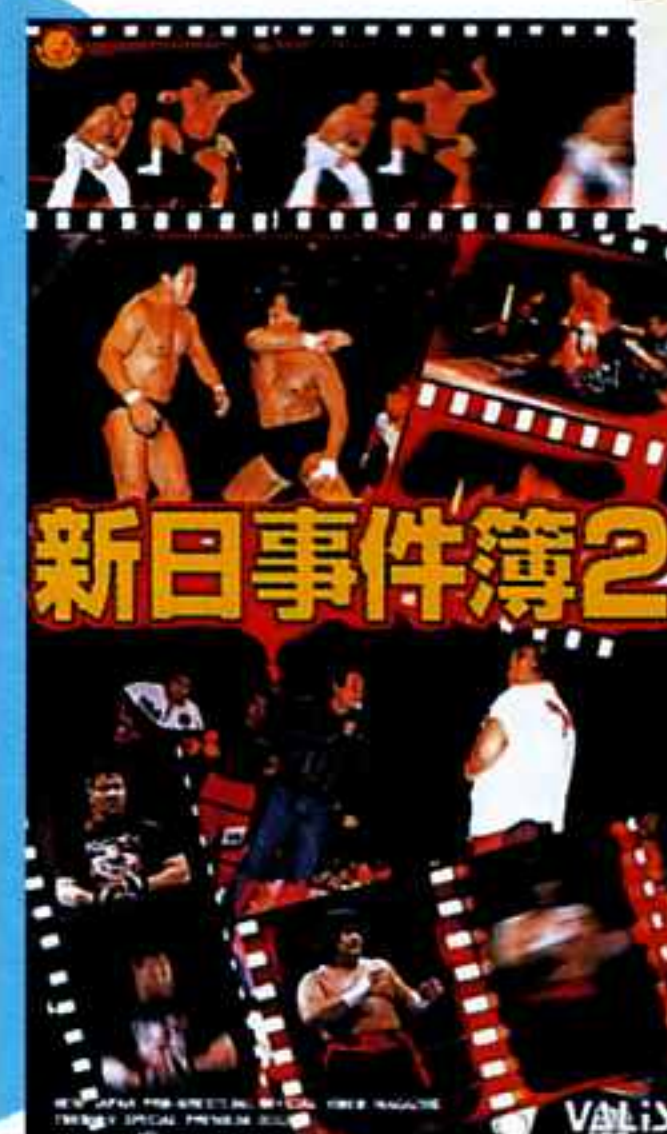
▲2月27日には都内でオープン記念パーティが開かれた。エンセンもこの日は正装でご挨拶。パーティには船木誠勝をはじめ、髙橋義生、藤田和之、マッハ、ルミナ、魔裟斗など、そうそうたるメンバーがお祝いに駆け付けた

【PUREBRED京都】

◆場所/京都府京都市中京区六角通り柳馬場東入大黒町72-1
アリストビル6F（京都市営烏丸線四条駅、阪急烏丸駅より徒歩5分）
◆営業時間/【平日】13:00～22:00 【土曜日】12:00～22:00 【日曜日】10:00～18:00
◆入会金/20,000円（一般）/15,000円（高校生以下）
◆月会費/10,000円
◆年一括払い/100,000円
◆お問い合わせ/PUREBRED京都☎075-254-7777
※価格は全て税別

▲第5試合ではライアン・ボウ（無所属）と八隅孝平（パレストラ東京）が対戦。激しいポジションの奪い合いとなったが、1Rにアームロック、3Rに十字を取りかけたボウが判定3－0で勝利した。五味隆典を苦しめた鋭い打撃は、今回も光っていた

▶寝技のテクニックに定評のある門脇英基（下・和術慧舟會）は第2試合に登場。デビュー3連勝を狙ったが、横浜ジムの竹内幸司を相手にドローに終わった

【猪木事務所提供】
あのSoulの販促用チビTシャ(非売品)！
サクマシンには着せられなかった！
●SoulチビTシャツ
※この商品に関するお問い合わせは、(株)デスバレー ☎03-3787-4391まで
5名様
【スパイスバンク提供】
新日の移動用のバスがチョロQになった！
●新日本プロレスチョロQバス
※この商品に関するお問い合わせは、スパイスバンク ☎03-3203-4618まで
5名様
【K-1事務局提供】
昨年、読プレに出し忘れてた！
●K-1ワールドグランプリ2000記念ネックピース
10名様
人生のホームレスをやっている人だけにあげます！
たっつぁん 読者プレゼント 万座ビーチ
【ダイエットブッチャースリムスキン提供】
●GIVE ME AN ARM BAR パーカー(サイズM・L)
ただいま、三代目魚武濱田成夫とのコラボT制作中！
GIVE ME AN ARM BAR
3名様
※ダイエットブッチャーの商品は、直販店『オクタゴン』(渋谷区神宮前5-16-8 ☎03-3486-5539)で買えます。4月からはもちろん『グレート・アントニオ』でも買えるぜえ。
【ヴァリス提供】
闘魂Vスペシャル最新作の嵐！
●ビデオ『闘魂Vスペシャル特別編・武藤敬司VS大谷晋二郎』
武藤敬司 VS 大谷晋二郎
Keiji Mutoh vs Shinjiro Ohtani
3名様
●DVD『衝撃！ 三銃士ヒストリー PART.6 武藤敬司』
武藤敬司
衝撃！三銃士ヒストリー PART.6
3名様
●DVD『衝撃！ 三銃士ヒストリー PART.5 橋本真也』
橋本真也
衝撃！三銃士ヒストリー PART.5
3名様
●ビデオ『闘魂Vスペシャル特別編・ファイナル・バトル2000』
Final Battle 2000
21世紀への最終決戦
3名様
※この商品に関するお問い合わせは、ヴァリス ☎03-5351-5181まで
新日事件簿2
●ビデオ『闘魂Vスペシャル特別編・新日事件簿2』
3名様
たっつぁん万座ビーチ 応募
42

もはや1ページじゃ紹介しきれない

SRS・DX 格闘技グッズ通販情報

■サクラバマシン・フィギュア
¥5,250（税込）
2000年5月1日
『プライドGP2000』
二回戦／対ホイス・グレイシー戦タイプ
ソフトビニール製・全長27cm／
桜庭Tシャツ（ver.1）＆
着脱可能マスクつき
限定3900体！
©髙田道場

サクベルト＆キーホルダーを制作中！

■アントンTシャツ
¥3,500（税込）
カラー/ホワイト
サイズ/XL・L・M・S
※SサイズはキッズのLサイズです。
©Inoki International,Inc

■ワンフーTシャツ（ver.1）
¥2,000（税込）
カラー/ホワイト
サイズ/L・M・S
©RHODES

【サムライスポーツ提供】

世界が恐れるIQ彫り師、藤本修羅主宰の闘う侠のブランド「サムライスポーツ」！

●サムライスポーツTシャツ（サイズXL）

2名様

※サムライスポーツでは、Tシャツのほかロングスリーブやパーカー、覆面、マウスパッドなどオリジナル商品を多数リリース中。この商品に関するお問い合わせは、サムライスポーツカスタマーセンター☎06-6636-0043まで

【本誌編集部提供】

スーパーアイドル、加藤鉄史のサインを手に入れろ！

●大宮三銃士（エンセン＆加藤＆kid）寄せ書きサイン色紙

5名様

■応募方法

ハガキには必ず応募券を貼ろう！

右ページ下の応募券を官製ハガキに貼って、
① 郵便番号・住所・電話番号
② お名前
③ 年齢・ご職業
④ 希望プレゼント名
⑤ 今号で面白かった記事とその理由（複数可）
⑥ 今号で面白くなかった記事とその理由（複数可）
⑦ 本誌に対するご意見・ご感想

を書いて、ビシバシ応募してください！　なお、このハガキのご意見を無闇に「ワンフー・マクダニエル」で掲載させていただくことがあります。実名がマズイ人は、ペンネームも記載してください。

あて先…〒101-0054　東京都千代田区神田錦町3-14-12　神田NSビル8F　SRS・DX編集部「たっつぁん万座ビーチ⑫」係まで
締め切り…3月29日（木）当日消印有効

SRS・DX格闘技グッズ通信販売

電話カマ〜ン!!

★アレクサンダー・カレリン〈RUSSIA〉

"カレリンズ・リフト"Tシャツ
¥4,000(税込)
白／サイズXL・L・M・S

BACK
WRESTLING RUSSIA

"ハロー・シドニー!!"Tシャツ ¥4,000(税込)
生成・オレンジ／サイズXL・L・M・S
※オレンジはSサイズはございません。

★アントニオ猪木〈猪木事務所〉

闘魂御守
¥1,000(税込)
赤・紺

★佐竹雅昭〈怪獣王国〉

BACK

佐竹死刑Tシャツ
¥3,500(税込)
黒／サイズL・S

★小川直也〈U.F.O.〉

オーチャンTシャツⒶ ¥3,500(税込)
黒／サイズL・M

オーチャンTシャツⒷ ¥3,500(税込)
ラグラン／サイズL・M・S

★髙田延彦〈髙田道場〉

BACK

"アイ・アム・プロレスラー"Tシャツ
¥3,990(税込)
白／サイズL・M・S

★アレクサンダー大塚〈格闘探偵団バトラーツ〉

AO/DC Tシャツ(Ver.2)
¥3,500(税込)
黒／サイズL・M・S

BACK

BACK

AO/DC Tシャツ ¥3,500(税込)
黒／サイズL・S
※ロゴ部分はどちらもラメです。

ご注文方法

①ご注文は電話受付のみです。

「SRS・DX」通販専用NAVIダイヤル
(0570) 007800
※携帯電話からは掛かりません。
または、**(03) 3295-4450**
受付曜日・時間／**月曜日〜土曜日・AM10:00〜PM6:00**

②商品お渡し方法

代金引換でのお受け取りとなります。
商品代金のほかに送料約700円(ゆうパック)、代引手数料約250円(いずれも地域によって異なります)がかかります。
お届けはご注文をいただいてから、一週間前後で郵送いたします。
(ご注文が集中した場合は、お時間をいただく事があります。ご了承ください)

③ご注意

代金、送料の先払いはお受けできません。
サイズ交換等の返品・交換はお受けできません。不良品等の理由による返品・交換の場合は、商品到着後10日以内にお電話にてご連絡ください。(期日を過ぎた場合は、受け付け致しかねます)
『SRS・DX』編集部では、ご注文を受け付けておりません。

サクラバマシン・フィギュア&アントンTシャツはP117に掲載!

第１章　日本人の３人に２人は包茎です。

●東京上野クリニックには、同様の性春の悩みを抱える男性から、年間3万件以上にものぼる相談電話が寄せられています。人気の秘密は年中無休、24時間体制で無料相談が受けられること。これなら周囲に気兼ねすることなく、いつでも、どこからでも好きな時に相談することが可能です。

第２章　包茎は百害あって一利なし。

●包茎の百害損した男たちのエピソードの数々
「包茎が原因で雑菌が溜まり性病をくり返した」（大阪市・29歳会社員Oさんのケース）
「包茎は早漏気味になりやすい」（浜松市・25歳会社員Kさんのケース）
●包茎治療の百利包茎治療で得した男たちのエピソードの数々
「ムスコが一皮むけたら人間も一皮むけた」（大阪市・36歳会社員Aさんのケース）
「いつでも「気持ちいい」セックスができる」（東京都・27歳会社員Fさんのケース）

第３章　最新の技術・無痛治療法。

●この不安を解消するために、東京上野クリニックが導入したのがバイオジェクター。これは麻酔薬をペニスの表面に噴霧して、その時のガスの圧力で皮の感覚を麻痺させます。
●そこで上野クリニックが採用したのが深部冷却法です。これは特殊な柔らかいジェルを半凍結するまで冷やし、それを直接ペニスに巻き付ける方法です。こうすることによって、皮膚の深部まで麻痺させることに成功しました。

第４章　ていねいな手作業「無傷」の仕上がり。

●上野クリニックは機械を用いず、すべて手作業で手術を行います。そして、超精密な手作業技術だからできる、自然な仕上がりを実現します。
●軽度の包茎の方にお勧めしているのが切らない手術法です。これは根元の部分で余った皮を集めて、特殊な組織繊維剤で軽くくっつける方法です。

第５章　男の性を尊重した「安心」の提供。

●スタッフは全員男性。受付から治療にいたるまで一貫して熟練した男性スタッフがあたっています。
●包茎治療で通院した事実を秘密にしたいという誰もが抱く思いを、東京上野クリニックは尊重します。それゆえ、当院では知り合いの人たちだけではなく、来院された他の患者さんとも顔を合わせることのないよう、完全予約制にて診療時間を調整しています。

第６章　早めの対応が肝心な性病治療。

●時々、亀頭周囲や陰茎を注意深く観察してみてください。もしツブツブを発見したら、一人で悩まず、早期治療することをお勧めします。というのも、特殊な機械を使って正しい治療を施さないと、コンジロームは再び増殖を開始する厄介な病気だからです。

第７章　男女とも快感をアップする法。

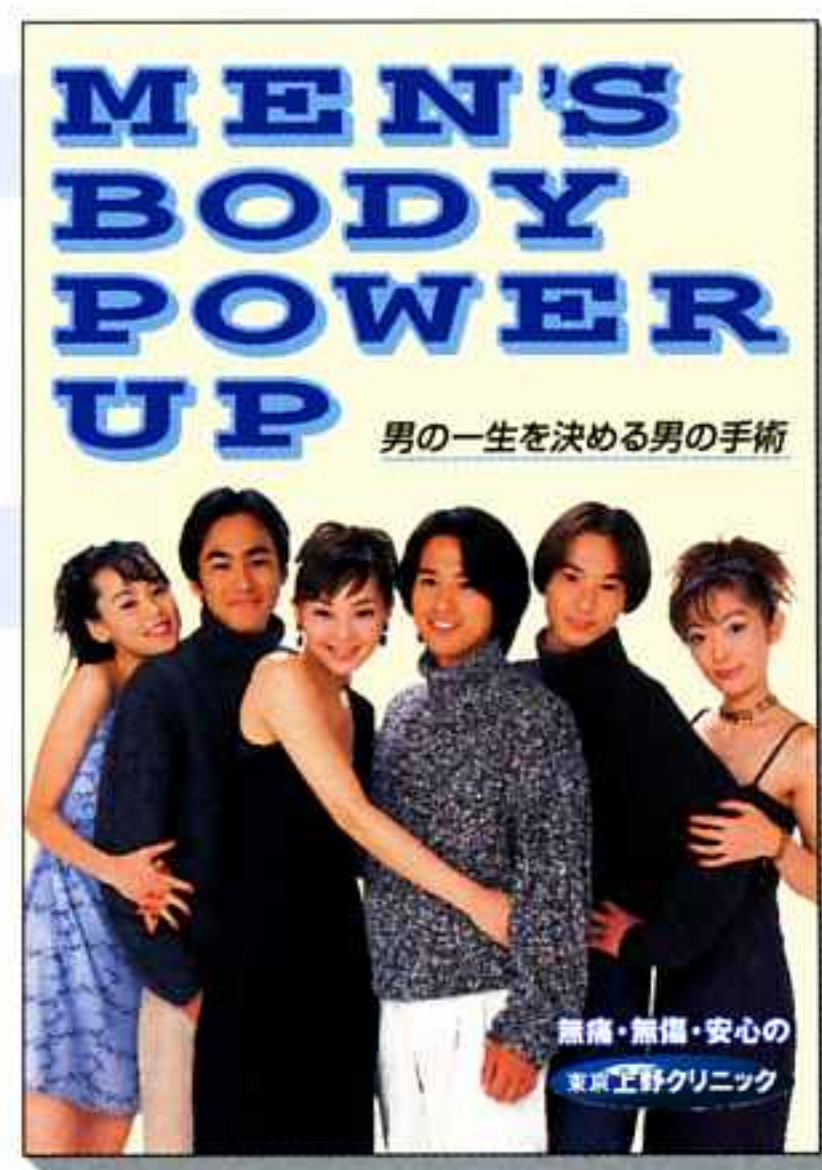
●包皮のだぶつきは、年齢が30代に突入すると徐々に性感を妨げるようになり、ひいては精力の低下につながっていくのです。

第８章　男をさらに磨く改造計画。

●東京上野クリニックでは、この過敏な亀頭を人体無害のコラーゲンを使った独自の特殊な注入方法で、早漏をある程度抑えることができるようになりました。

（以上：目次より）

男の人生を変える一冊。

キーワードは「無痛」「無傷」「安心」。
過去15万人の治療実績を誇る
上野クリニックの技術と安心が
一冊の本になりました。
あなたの下半身の悩みにしっかり、
まじめにお答えします。

「MEN'S BODY POWER UP」
定価648円（税別）
判型：A5判　ページ数：80頁

発行所／株式会社双葉社
〒162-8540　東京都新宿区東五軒町3番28号

この本についてのお問い合わせは

泌尿器科・形成外科・性病科
東京上野クリニック

TEL/03-5543-3700

24時間無料電話相談
0120-508-550
携帯・PHSからもご利用できます。

メンズ総合案内
テープ案内
資料請求
個別相談
0120-087-008
携帯・PHSからもご利用できます。

SRS DX
3・22 4・12合併号 No.42

2・23 UFC／2・24 KING OF THE CAGE詳報!
マイク・タイソン vs 小川直也戦の真相を追う!

平成12年4月25日第3種郵便物認可　平成13年4月12日発行　第3巻・6号・通算42号
編集人・谷川貞治　発行人・柳沢忠之　発行所・(株)フジテレビ出版／
(株)ローデス　〒101-0054　東京都千代田区神田錦町3-14-12
神田NSビル8F　電話／03-3295-4445
発売所・(株)扶桑社 〒105-8070 東京都港区海岸1丁目15番1号

定価680円 本体648円

雑誌 21582-4/12　T1121582040686　Printed in Japan